

平成 30 年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

訪問看護事業所における  
看護師等の従業者数の規模別にみた  
サービスの実態に関する調査研究事業  
報告書

平成 31 (2019) 年 3 月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング



訪問看護事業所における看護師等の従業者数の規模別にみた  
サービスの実態に関する調査研究事業 報告書

<< 目 次 >>

第1節 事業実施概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査実施方法.....	1
3. 事業実施体制.....	2
第2節 回収状況.....	3
第3節 訪問看護ステーション調査の結果の詳細.....	4
1. 事業所の基本情報.....	4
(1) 事業所の概要.....	4
(2) 職員の状況.....	14
2. 訪問看護の提供実績等.....	30
(1) 訪問看護の利用者数.....	30
(2) 介護保険における加算等の状況.....	43
3. 利用終了者.....	65
4. 事業所の運営等の状況.....	67
(1) 緊急の対応.....	67
(2) 医療機関や介護保険施設からの退院・退所日に、介護保険における必要な訪問 看護が提供できなかったことの有無.....	72
(3) 訪問看護の記録にかかる時間.....	73
(4) 訪問対象の範囲.....	74
(5) 地域活動等.....	79
(6) ICTの利用状況.....	87
(7) 事業所において、訪問看護の質を高めるために取り組んでいること.....	93
(8) 外部の専門性の高い看護師との連携状況.....	96
5. 収支の状況.....	99
6. Web 調査への回答の可否.....	107
7. 利用料の請求等.....	108
第4節 予防訪問看護の終了者(利用者票①・②)の結果の詳細.....	109
1. 利用者の状態等.....	109
2. 訪問看護の提供の状況等.....	135
第5節 看取りを行った利用者(利用者票③)の結果の詳細.....	155
1. 利用者の状態等.....	155
2. 訪問看護の提供の状況等.....	175
第6節 要介護の利用者(利用者票④)の結果の詳細.....	208
1. 利用者の状態等.....	208
2. 訪問看護の提供の状況等.....	236



## 第1節 事業実施概要

### 1. 目的

訪問看護ステーションは、看護職員数が常勤換算 2.5 人から開設でき、比較的規模の小さい事業所が多い。利用者数や訪問回数の急な増加や夜間の対応、職員の外部研修への参加等、安定的な訪問看護の提供には課題があるとの指摘もある。一方で、職員人数が多く、事業所規模が大きい訪問看護ステーションは、他サービスの展開や地域活動、研修の受入れ等、多様なサービス・活動を発展的に展開し、地域における専門職集団としての役割に期待が高まっている。

本事業では、訪問看護事業所の従業者数等の規模や地域特性別に、訪問看護の提供実態や事業所の運営実態について把握することを目的とする。

### 2. 調査実施方法

#### ① 調査方法

訪問看護ステーションを対象に郵送配布、郵送回収。想定する記入者は訪問看護ステーションの管理者または利用者の状況に詳しい職員。

#### ② 調査対象

・訪問看護ステーション：4,774 か所程度

※平成 30 年 3 月の介護報酬の請求実績のある事業所から、2 分の 1 抽出

#### ③ 主な調査内容

(事業所調査)

- ・事業所の基本情報：所在地、開設主体、同一法人が有する事業
- ・職員の状況：職員数、職員体制
- ・サービス提供の実態：訪問看護の提供実態・実績、利用終了者の状況
- ・事業所の運営状況
- ・収支の状況

／等

(利用者調査)

以下の条件にあてはまる人の心身の状況やサービス提供の実態。

- ① 要支援者で利用終了者
- ② 看取りを行った利用者
- ③ 要介護の利用者

#### ④ 調査期間

平成 30 年 11 月 30 日～12 月 26 日

※回収状況を考慮し、1 月 23 日までに当社到着分を対象に集計を行った。

### 3. 事業実施体制

事業の進め方や調査票の設計及び分析結果について検討するために、調査研究委員会を設置した。委員会の構成メンバーは、次のとおり。

(敬称略、五十音順)

(○：委員長)

#### 【委員】

- |         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 河嶋 知子   | 独立行政法人地域医療機能推進機構本部<br>医療担当副部长       |
| 高砂 裕子   | 一般社団法人全国訪問看護事業協会 常務理事               |
| 田中 和子   | わそら街なかナースステーション<br>老人看護専門看護師        |
| ○ 永田 智子 | 慶應義塾大学 看護医療学部 教授                    |
| 沼田 美幸   | 公益社団法人日本看護協会 医療政策部長                 |
| 松尾 亮爾   | 熊本県健康福祉部長寿社会局<br>認知症対策・地域ケア推進課 課長補佐 |

#### 【オブザーバー】

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 杉田 塩  | 厚生労働省老健局老人保健課 看護専門官 |
| 大竹 尊典 | 厚生労働省老健局老人保健課 看護係長  |

#### 【事務局】 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 星芝 由美子 | 社会政策部 主任研究員          |
| 深山 雄一郎 | 社会システム共創部 シニアコンサルタント |
| 岩室 秀典  | 研究開発部 主任研究員          |

#### 【調査研究委員会の開催時期・議題】

	時期	議題
第1回	8月9日	・事業の進め方 ・調査項目案
第2回	9月27日	・アンケート票案の検討
第3回	2月21日	・アンケート集計結果の速報報告
第4回	3月27日	・報告書案について

## 第2節 回収状況

調査票の有効回収数は1,650件（有効回収率34.6%）であった。

図表2-1 回収状況

発送数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
4,774件	1,774件	37.1%	1,650件	34.6%

### 第3節 訪問看護ステーション調査の結果の詳細

#### 1. 事業所の基本情報

##### (1) 事業所の概要

##### ① 所在地

事業所の所在地は「東京都」が9.8%、「大阪府」が8.9%であった。

図表3-1 所在地（問2）

都道府県	発送数	構成比	回収数	構成比	回収率
北海道	205	4.3%	77	4.7%	37.6%
青森県	57	1.2%	25	1.5%	43.9%
岩手県	46	1.0%	15	0.9%	32.6%
宮城県	67	1.4%	28	1.7%	41.8%
秋田県	31	0.6%	11	0.7%	35.5%
山形県	30	0.6%	15	0.9%	50.0%
福島県	58	1.2%	28	1.7%	48.3%
茨城県	72	1.5%	25	1.5%	34.7%
栃木県	43	0.9%	11	0.7%	25.6%
群馬県	85	1.8%	33	2.0%	38.8%
埼玉県	177	3.7%	67	4.1%	37.9%
千葉県	155	3.2%	46	2.8%	29.7%
東京都	482	10.1%	161	9.8%	33.4%
神奈川県	297	6.2%	96	5.8%	32.3%
新潟県	62	1.3%	34	2.1%	54.8%
富山県	33	0.7%	17	1.0%	51.5%
石川県	47	1.0%	15	0.9%	31.9%
福井県	38	0.8%	12	0.7%	31.6%
山梨県	25	0.5%	8	0.5%	32.0%
長野県	79	1.7%	33	2.0%	41.8%
岐阜県	78	1.6%	26	1.6%	33.3%
静岡県	94	2.0%	48	2.9%	51.1%
愛知県	283	5.9%	82	5.0%	29.0%
三重県	67	1.4%	22	1.3%	32.8%
滋賀県	50	1.0%	16	1.0%	32.0%
京都府	124	2.6%	43	2.6%	34.7%
大阪府	499	10.5%	147	8.9%	29.5%
兵庫県	280	5.9%	101	6.1%	36.1%
奈良県	63	1.3%	21	1.3%	33.3%
和歌山県	57	1.2%	14	0.8%	24.6%
鳥取県	28	0.6%	6	0.4%	21.4%
島根県	35	0.7%	14	0.8%	40.0%
岡山県	52	1.1%	21	1.3%	40.4%
広島県	129	2.7%	54	3.3%	41.9%
山口県	62	1.3%	27	1.6%	43.5%
徳島県	39	0.8%	6	0.4%	15.4%
香川県	38	0.8%	10	0.6%	26.3%

(続き)

都道府県	発送数	構成比	回収数	構成比	回収率
愛媛県	59	1.2%	13	0.8%	22.0%
高知県	30	0.6%	9	0.5%	30.0%
福岡県	231	4.8%	86	5.2%	37.2%
佐賀県	28	0.6%	8	0.5%	28.6%
長崎県	51	1.1%	18	1.1%	35.3%
熊本県	90	1.9%	32	1.9%	35.6%
大分県	52	1.1%	14	0.8%	26.9%
宮崎県	51	1.1%	16	1.0%	31.4%
鹿児島県	70	1.5%	22	1.3%	31.4%
沖縄県	45	0.9%	13	0.8%	28.9%
無回答	-	-	4	0.2%	-
合計	4,774	100.0%	1,650	100.0%	34.6%

## ② 開設年

事業所の開設年は「2011～2015年」が25.6%、「1996年～2000年」が23.0%であった。

図表3-2 開設年(問3)

	件数	構成比
1990年以前	5	0.3%
1991年～1995年	165	10.0%
1996年～2000年	380	23.0%
2001年～2005年	158	9.6%
2006年～2010年	150	9.1%
2011年～2015年	422	25.6%
2016年以降	290	17.6%
無回答	80	4.8%
全体	1,650	100.0%

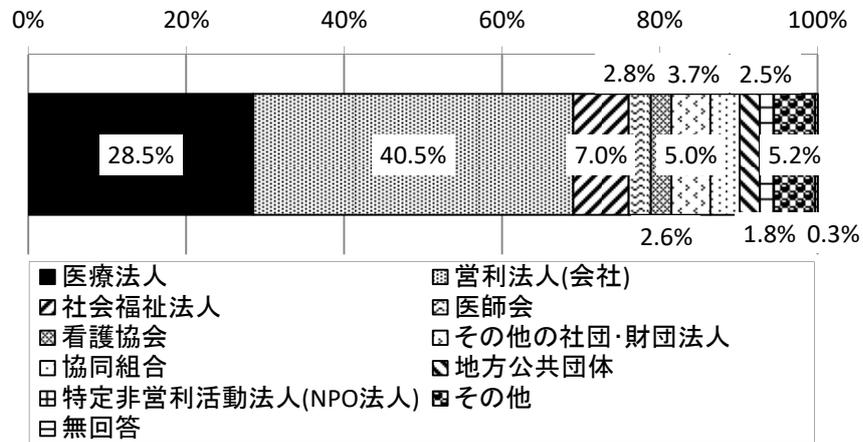
図表3-3 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 開設年

		合計	Q3 開設年							無回答
			1990年以前	1991年～1995年	1996年～2000年	2001年～2005年	2006年～2010年	2011年～2015年	2016年以降	
全体		1,650 100.0%	5 0.3%	165 10.0%	380 23.0%	158 9.6%	150 9.1%	422 25.6%	290 17.6%	80 4.8%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	1 0.5%	10 5.0%	25 12.6%	17 8.5%	18 9.0%	63 31.7%	54 27.1%	11 5.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	1 0.2%	35 5.6%	135 21.4%	54 8.6%	58 9.2%	178 28.3%	140 22.2%	29 4.6%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	1 0.3%	16 4.7%	70 20.6%	31 9.1%	24 7.1%	93 27.4%	88 26.0%	16 4.7%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	0 0.0%	19 6.5%	65 22.3%	23 7.9%	34 11.7%	85 29.2%	52 17.9%	13 4.5%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	2 0.6%	39 11.2%	97 28.0%	35 10.1%	37 10.7%	74 21.3%	44 12.7%	19 5.5%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	0 0.0%	36 15.9%	67 29.6%	32 14.2%	22 9.7%	48 21.2%	14 6.2%	7 3.1%
	10.0人以上	130 100.0%	1 0.8%	38 29.2%	34 26.2%	13 10.0%	7 5.4%	26 20.0%	6 4.6%	5 3.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	4 0.3%	104 8.8%	247 20.9%	107 9.1%	121 10.2%	317 26.8%	229 19.4%	53 4.5%
	1～2か所	191 100.0%	0 0.0%	28 14.7%	51 26.7%	19 9.9%	14 7.3%	42 22.0%	25 13.1%	12 6.3%
	3～9か所	118 100.0%	1 0.8%	14 11.9%	38 32.2%	13 11.0%	5 4.2%	26 22.0%	16 13.6%	5 4.2%
	10か所以上	88 100.0%	0 0.0%	15 17.0%	21 23.9%	14 15.9%	7 8.0%	21 23.9%	9 10.2%	1 1.1%
Q21 訪問対象範囲	12 km超	698 100.0%	3 0.4%	71 10.2%	173 24.8%	53 7.6%	66 9.5%	185 26.5%	126 18.1%	21 3.0%
	12 km以下	707 100.0%	2 0.3%	69 9.8%	156 22.1%	81 11.5%	67 9.5%	174 24.6%	118 16.7%	40 5.7%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	2 0.4%	48 8.7%	105 19.0%	57 10.3%	52 9.4%	151 27.3%	108 19.5%	30 5.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	0 0.0%	32 11.0%	62 21.4%	25 8.6%	29 10.0%	83 28.6%	45 15.5%	14 4.8%
	その他の市	806 100.0%	3 0.4%	85 10.5%	213 26.4%	76 9.4%	69 8.6%	187 23.2%	137 17.0%	36 4.5%

### ③ 開設主体

事業所の開設主体は「営利法人（会社）」が40.5%、「医療法人」が28.5%であった。

図表3-4 開設主体 (n=1,650) (問4)



参考: 開設(経営)主体別事業所数の構成割合(詳細票)

総数	地方公共団体	日本赤十字社・社会保険関係団体・独立行政法人	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	協同組合	営利法人(会社)	特定非営利活動法人(NPO)	その他
100.0	2.1	2.0	6.7	27.3	8.2	1.9	49.6	1.6	0.6

介護サービス施設・事業所調査(平成29年度調査) (平成29年10月1日現在)

図表3-5 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 開設主体

		合計	Q4 開設主体										
			医療法人	営利法人(会社)	社会福祉法人	医師会	看護協会	その他の社団・財団法人	協同組合	地方公共団体	特定非営利活動法人	その他	無回答
全体		1,650 100.0%	470 28.5%	669 40.5%	116 7.0%	46 2.8%	43 2.6%	82 5.0%	61 3.7%	42 2.5%	30 1.8%	86 5.2%	5 0.3%
Q10(1)③ 看護職員: 常勤+非常勤 職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	47 23.6%	116 58.3%	10 5.0%	2 1.0%	0 0.0%	9 4.5%	2 1.0%	2 1.0%	4 2.0%	5 2.5%	2 1.0%
	3.0人以上 ~5.0人未満	630 100.0%	191 30.3%	263 41.7%	53 8.4%	10 1.6%	6 1.0%	19 3.0%	22 3.5%	20 3.2%	13 2.1%	31 4.9%	2 0.3%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	95 28.0%	152 44.8%	32 9.4%	2 0.6%	3 0.9%	8 2.4%	11 3.2%	8 2.4%	7 2.1%	19 5.6%	2 0.6%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	96 33.0%	111 38.1%	21 7.2%	8 2.7%	3 1.0%	11 3.8%	11 3.8%	12 4.1%	6 2.1%	12 4.1%	0 0.0%
	5.0人以上 ~7.0人未満	347 100.0%	107 30.8%	130 37.5%	20 5.8%	11 3.2%	12 3.5%	19 5.5%	13 3.7%	9 2.6%	5 1.4%	21 6.1%	0 0.0%
	7.0人以上 ~10.0人未満	226 100.0%	57 25.2%	70 31.0%	20 8.8%	14 6.2%	14 6.2%	16 7.1%	15 6.6%	5 2.2%	1 0.4%	13 5.8%	1 0.4%
	10.0人以上	130 100.0%	43 33.1%	34 26.2%	9 6.9%	5 3.8%	9 6.9%	11 8.5%	6 4.6%	5 3.8%	3 2.3%	5 3.8%	0 0.0%
	事業所と同一法人 が有する訪問看護 事業所数	無	1,182 100.0%	356 30.1%	518 43.8%	77 6.5%	38 3.2%	7 0.6%	42 3.6%	18 1.5%	40 3.4%	25 2.1%	59 5.0%
1~2か所		191 100.0%	68 35.6%	53 27.7%	18 9.4%	7 3.7%	12 6.3%	10 5.2%	12 6.3%	1 0.5%	2 1.0%	8 4.2%	0 0.0%
3~9か所		118 100.0%	27 22.9%	34 28.8%	5 4.2%	0 0.0%	22 18.6%	10 8.5%	16 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.5%	1 0.8%
10か所以上		88 100.0%	7 8.0%	36 40.9%	12 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	17 19.3%	8 9.1%	0 0.0%	1 1.1%	7 8.0%	0 0.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	199 28.5%	264 37.8%	49 7.0%	17 2.4%	26 3.7%	36 5.2%	22 3.2%	29 4.2%	13 1.9%	42 6.0%	1 0.1%
	12km以下	707 100.0%	205 29.0%	303 42.9%	51 7.2%	20 2.8%	13 1.8%	32 4.5%	30 4.2%	6 0.8%	15 2.1%	30 4.2%	2 0.3%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	161 29.1%	265 47.9%	36 6.5%	18 3.3%	6 1.1%	21 3.8%	17 3.1%	0 0.0%	8 1.4%	20 3.6%	1 0.2%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	72 24.8%	123 42.4%	28 9.7%	3 1.0%	11 3.8%	17 5.9%	13 4.5%	1 0.3%	8 2.8%	13 4.5%	1 0.3%
	その他の市	806 100.0%	237 29.4%	280 34.7%	52 6.5%	25 3.1%	26 3.2%	44 5.5%	31 3.8%	41 5.1%	14 1.7%	53 6.6%	3 0.4%

#### ④（営利法人の場合）資本金

事業所の開設主体が営利法人の場合、資本金は中央値で 330 万円であった。

図表3-6（営利法人の場合）資本金（問 5）

単位：円

回答件数	中央値
515	3,300,000.0

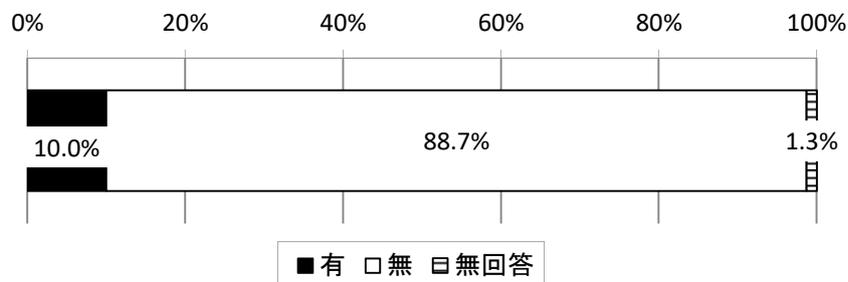
図表3-7（営利法人の場合）資本金（問 5）

No.		件数	割合
1	100 万円以下	114	17.0%
2	100 万円超～500 万円以下	200	29.9%
3	500 万円超～1,000 万円以下	98	14.6%
4	1,000 万円超	103	15.4%
	無回答	154	23.0%
	全体	669	100.0%

⑤ サテライト事業所の有無

サテライト事業所は「有」が10.0%であった。「有」の場合、他に有するサテライト事業所数は平均1.5か所であった。

図表3-8 サテライト事業所の有無 (n=1,650) (問 6)



図表3-9 「有」の場合：他に有するサテライト事業所数 (問 6)

単位：か所

回答件数	平均値	標準偏差	中央値
157	1.5	1.0	1.0

図表3-10 「有」の場合：他に有するサテライト事業所数の分布 (問 6)

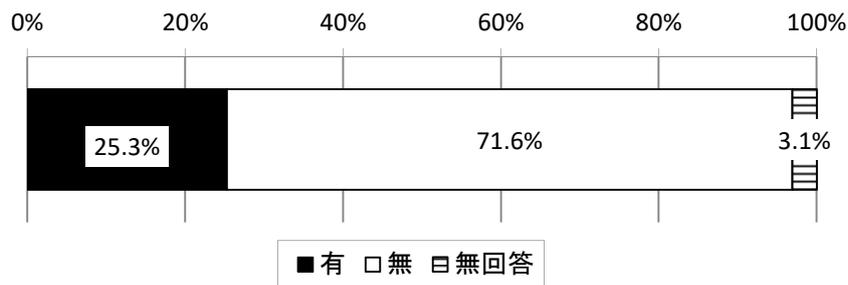
No.	カテゴリー名	n	%
1	無	1,464	88.7%
2	1か所	113	6.8%
3	2か所	27	1.6%
4	3か所以上	17	1.0%
	無回答	29	1.8%
	全体	1,650	100.0%

⑥ 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数

事業所と同一法人が有する訪問看護事務所は、「有」が25.3%であった。「有」の場合、他に有する訪問看護事業所数は平均12.3か所であった。

分布をみると、「1～2か所」が11.6%、「3～9か所」が7.2%、「10か所以上」が5.3%であった。

図表3-11 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所の有無 (n=1,650) (問7)



図表3-12 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数 (問7)

単位：か所

回答件数	平均	標準偏差	中央値
397	12.3	30.9	3.0

図表3-13 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数の分布 (問7)

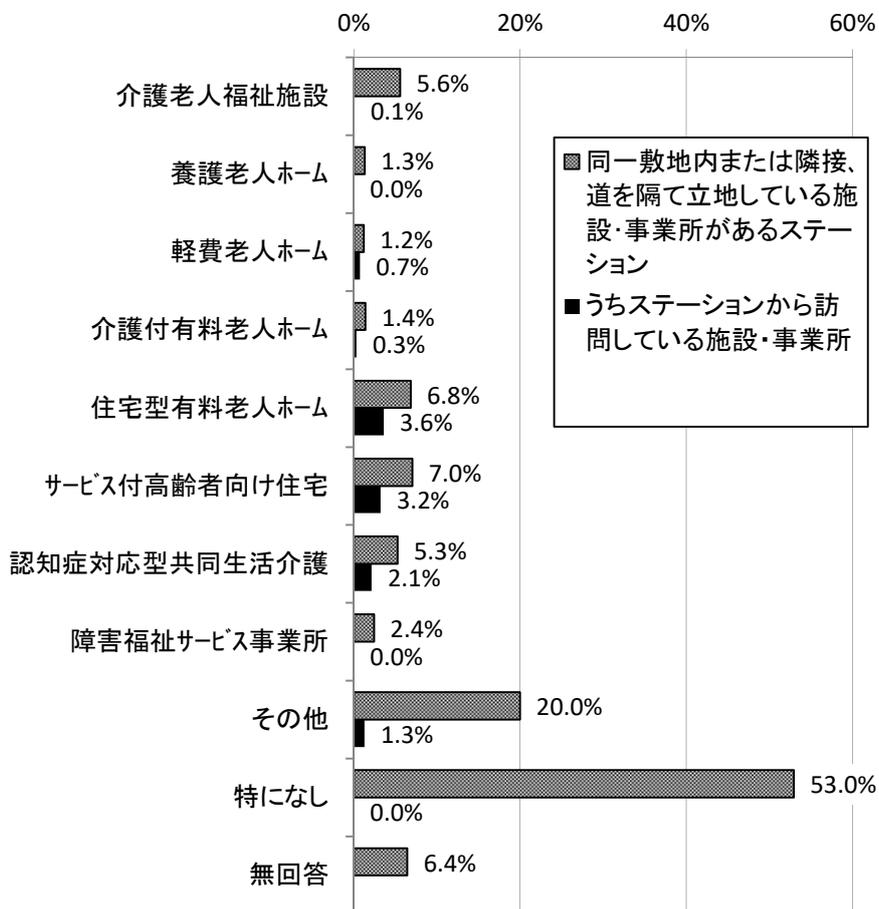
No.	カテゴリー名	n	%
1	無	1,182	71.6%
2	1～2か所	191	11.6%
3	3～9か所	118	7.2%
4	10か所以上	88	5.3%
	無回答	71	4.3%
	全体	1,650	100.0%

⑦ 同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所

同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所は「サービス付高齢者向け住宅」が7.0%、「住宅型有料老人ホーム」が6.8%であった。うち、ステーションから訪問している施設・事業所は「住宅型有料老人ホーム」が3.6%、「サービス付高齢者向け住宅」が3.2%であった。また、サービス付高齢者向け住宅の種別をみると、「非特定施設」が58.1%であった。

同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所がある場合で、訪問看護ステーションから訪問している施設・事業所の訪問比率は、「軽費老人ホーム」が60.0%、「住宅型有料老人ホーム」が52.2%、「サービス付高齢者向け住宅」が45.7%であった。

図表3-14 同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所と訪問看護ステーションから訪問している施設・事業所（複数回答）(n=1,650) (問 8)



図表3-15 サービス付高齢者向け住宅の種別（複数回答）(n=93) (問 8)



図表3-16 同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所がある場合で、訪問看護ステーションから訪問している施設・事業所（複数回答）(問 8)

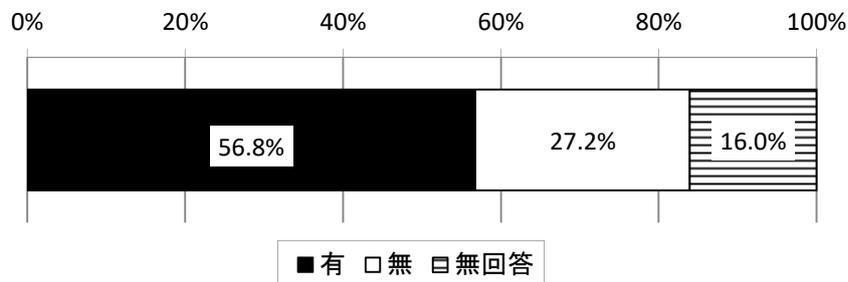
単位：か所

	同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所があるステーション	うちステーションから訪問している施設・事業所	訪問している比率
介護老人福祉施設	92	1	1.1%
養護老人ホーム	22	0	0.0%
軽費老人ホーム	20	12	60.0%
介護付有料老人ホーム	23	5	21.7%
住宅型有料老人ホーム	113	59	52.2%
サービス付高齢者向け住宅	116	53	45.7%
認知症対応型共同生活介護	87	35	40.2%
障害福祉サービス事業所	40	0	0.0%
その他	330	21	6.4%

1) (施設への訪問がある場合) 同一建物等減算の有無

同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所への訪問がある場合、同一建物等減算は「有」が56.8%であった。

図表3-17 事業所が訪問している施設がある場合：同一建物等減算の有無 (n=162) (問 9)



## (2) 職員の状況

ここでは、平成30年10月1日現在の職員の状況についてたずねた。

### ① 職員数（実人数）

職種ごとの常勤職員数（実人数）は、「看護職員」が平均4.4人、「リハビリ職員」が平均1.4人であった。

非常勤職員数（実人数）は、「看護職員」が平均2.8人、「リハビリ職員」が平均1.1人であった。

常勤職員と非常勤職員の和をみると、看護職員では平均7.3人であった。

図表3-18 職種別職員数:実人数（問10.①、②）

単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
看護職員・常勤	1,596	7,089	4.4	2.9	4.0
看護職員・非常勤	1,596	4,546	2.8	3.2	2.0
看護職員・常勤と非常勤の和	1,596	11,635	7.3	4.6	6.0
リハビリ職員・常勤	1,596	2,312	1.4	3.3	0.0
リハビリ職員・非常勤	1,596	1,786	1.1	2.3	0.0
リハビリ職員・常勤と非常勤の和	1,596	4,098	2.6	4.5	1.0
看護補助者・常勤	1,596	42	0.0	0.2	0.0
看護補助者・非常勤	1,596	53	0.0	0.3	0.0
看護補助者・常勤と非常勤の和	1,596	95	0.1	0.4	0.0
事務員・常勤	1,596	756	0.5	0.7	0.0
事務員・非常勤	1,596	601	0.4	0.6	0.0
事務員・常勤と非常勤の和	1,596	1,357	0.9	0.9	1.0
その他・常勤	1,596	96	0.1	0.5	0.0
その他・非常勤	1,596	51	0.0	0.5	0.0
その他・常勤と非常勤の和	1,596	147	0.1	0.8	0.0

## ② 常勤換算数

職種ごとの職員数について、常勤換算数でみると、「看護職員」が平均 5.6 人、「リハビリ職員」が平均 1.6 人であった。

図表3-19 職種別職員数:常勤換算数 (問 10.③)

単位:人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
看護職員	1,471	8,249	5.6	3.4	4.6
看護職員(看護職員の回答のみ有効だったものを含む)	1,532	8,615	5.6	3.5	4.6
リハビリ職員	1,471	2,417	1.6	3.6	0.5
看護補助者	1,471	57	0.0	0.2	0.0
事務員	1,471	966	0.7	0.8	0.5
その他	1,471	95	0.1	0.4	0.0
合計	1,471	11,784	8.0	6.2	6.2

図表3-20 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

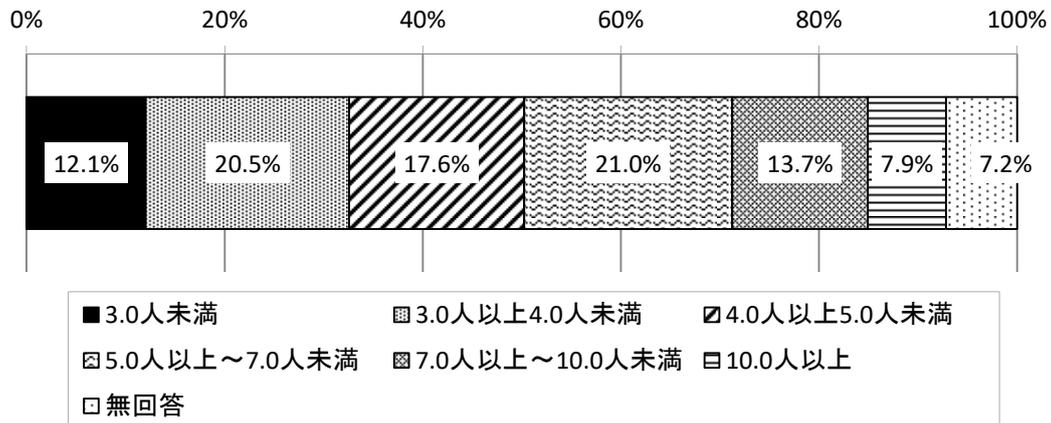
### 看護職員の規模:常勤換算数

看護職員	常勤換算数	件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,532	5.6	3.5	4.6
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199	2.6	0.1	2.6
	3.0人以上~5.0人未満	630	3.8	0.6	3.8
	再掲3.0人以上4.0人未満	339	3.3	0.3	3.3
	再掲4.0人以上5.0人未満	291	4.3	0.3	4.3
	5.0人以上~7.0人未満	347	5.8	0.6	5.8
	7.0人以上~10.0人未満	226	8.1	0.8	8.0
	10.0人以上	130	14.1	4.9	12.3
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,099	5.2	3.0	4.3
	1~2か所	180	6.7	4.8	5.1
	3~9か所	109	7.2	4.0	5.9
	10か所以上	86	6.5	3.3	6.3
Q21 訪問対象範囲(キロ以内)	12km超	658	5.5	3.2	4.5
	12km以下	650	5.8	3.7	4.9
地域性	東京都内と政令指定都市	507	6.0	3.7	5.0
	県庁所在地と中核市	276	5.8	3.7	4.7
	その他の市	748	5.3	3.1	4.5

図表3-21 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別  
リハビリ職員の規模:常勤換算数

リハビリ職員	常勤換算数	件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,471	1.6	3.6	0.5
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	187	0.9	1.4	0.0
	3.0人以上～5.0人未満	606	1.0	1.9	0.1
	再掲3.0人以上4.0人未満	328	1.0	1.8	0.1
	再掲4.0人以上5.0人未満	278	1.1	2.0	0.3
	5.0人以上～7.0人未満	336	1.4	2.6	0.5
	7.0人以上～10.0人未満	221	2.6	4.2	1.0
	10.0人以上	121	4.7	8.4	2.3
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,058	1.5	3.5	0.2
	1～2か所	167	2.5	4.3	1.0
	3～9か所	104	2.4	3.8	1.0
	10か所以上	85	1.3	2.2	0.4
Q21 訪問対象としている地域の距離範囲(キロ以内)	12km超	632	1.6	3.4	0.5
	12km以下	628	1.8	3.9	0.6
地域性	東京都内と政令指定都市	490	2.0	3.7	0.7
	県庁所在地と中核市	263	1.7	3.3	0.4
	その他の市	717	1.4	3.5	0.2

図表3-22 看護職員数(常勤換算数)の分布(問10.③)(n=1,532)



図表3-23 リハビリ職員数(常勤換算数)の分布 (問 10.③)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0人	638	38.7%
2	0人超～1人未満	185	11.2%
3	1人以上～2人未満	244	14.8%
4	2人以上～3人未満	149	9.0%
5	3人以上～5人未満	122	7.4%
6	5人以上	133	8.1%
	無回答	179	10.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-24 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

リハビリ職員の規模：常勤+非常勤職員の常勤換算数

		合計	Q10(2)③ リハビリ職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数						無回答
			0人	0人超 ～1人 未満	1人以上 ～2 人未満	2人以上 ～3 人未満	3人以上 ～5 人未満	5人以上	
全体		1,650 100.0%	638 38.7%	185 11.2%	244 14.8%	149 9.0%	122 7.4%	133 8.1%	179 10.8%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	105 52.8%	19 9.5%	25 12.6%	22 11.1%	10 5.0%	6 3.0%	12 6.0%
	3.0人以上～ 5.0人未満	630 100.0%	290 46.0%	88 14.0%	108 17.1%	57 9.0%	37 5.9%	26 4.1%	24 3.8%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	164 48.4%	51 15.0%	52 15.3%	24 7.1%	21 6.2%	16 4.7%	11 3.2%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	126 43.3%	37 12.7%	56 19.2%	33 11.3%	16 5.5%	10 3.4%	13 4.5%
	5.0人以上～ 7.0人未満	347 100.0%	148 42.7%	43 12.4%	63 18.2%	25 7.2%	31 8.9%	26 7.5%	11 3.2%
	7.0人以上～ 10.0人未満	226 100.0%	69 30.5%	26 11.5%	32 14.2%	31 13.7%	24 10.6%	39 17.3%	5 2.2%
	10.0人以上	130 100.0%	26 20.0%	9 6.9%	16 12.3%	14 10.8%	20 15.4%	36 27.7%	9 6.9%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	493 41.7%	122 10.3%	171 14.5%	104 8.8%	84 7.1%	84 7.1%	124 10.5%
	1～2か所	191 100.0%	46 24.1%	33 17.3%	27 14.1%	16 8.4%	18 9.4%	27 14.1%	24 12.6%
	3～9か所	118 100.0%	26 22.0%	16 13.6%	22 18.6%	14 11.9%	12 10.2%	14 11.9%	14 11.9%
	10か所以上	88 100.0%	41 46.6%	9 10.2%	14 15.9%	9 10.2%	6 6.8%	6 6.8%	3 3.4%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	282 40.4%	66 9.5%	116 16.6%	67 9.6%	49 7.0%	52 7.4%	66 9.5%
	12km以下	707 100.0%	249 35.2%	93 13.2%	103 14.6%	61 8.6%	58 8.2%	64 9.1%	79 11.2%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	191 34.5%	69 12.5%	75 13.6%	45 8.1%	48 8.7%	62 11.2%	63 11.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	112 38.6%	31 10.7%	33 11.4%	38 13.1%	27 9.3%	22 7.6%	27 9.3%
	その他の市	806 100.0%	335 41.6%	85 10.5%	136 16.9%	66 8.2%	47 5.8%	48 6.0%	89 11.0%

図表3-25 看護職員とリハビリ職員の合計

単位：人

	件数	平均値	標準偏差	中央値
看護職員+リハビリ職員：常勤換算数	1,471	7.3	5.7	5.7

図表3-26 リハビリ職員数の看護職員とリハビリ職員の合計数に対する割合

単位：%

	件数	平均値	標準偏差	中央値
リハビリ職員÷看護職員+リハビリ職員	1,471	15.6	19.0	7.1

図表3-27 リハビリ職員数の看護職員とリハビリ職員の合計数に対する割合の分布

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	638	38.7%
2	0%超～10%未満	138	8.4%
3	10%以上～20%未満	195	11.8%
4	20%以上～30%未満	173	10.5%
5	30%以上～40%未満	129	7.8%
6	40%以上～50%未満	92	5.6%
7	50%以上～60%未満	54	3.3%
8	60%以上～70%未満	34	2.1%
9	70%以上～80%未満	18	1.1%
10	80%以上～90%未満	0	0.0%
11	90%以上～100%未満	0	0.0%
12	100%	0	0.0%
	無回答	179	10.8%
	全体	1,650	100.0%

③ 60歳以上の職員数（常勤換算数）

60歳以上の職員（常勤換算数）は、「看護職員」が平均0.4人であった。

図表3-28 職種別職員数:60歳以上の職員(常勤換算数)(問10.③)

単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
看護職員	1,471	583	0.4	0.7	0.0
リハビリ職員	1,471	13	0.0	0.1	0.0
看護補助者	1,471	2	0.0	0.0	0.0
事務員	1,471	35	0.0	0.1	0.0
その他	1,471	14	0.0	0.1	0.0

④ 平成29年度の新規採用数

平成29年度の職種ごとの新規採用数（実人数）は「看護職員」が平均1.2人、「リハビリ職員」が平均0.3人であった。

平成29年度の新規採用数のうち、新卒者の実人数は、いずれの職種でも平均0.0人であり、看護師職員については、本設問の回答事業所全体(1,596事業所)での合計で、21人であった。

平成29年度の新規採用数のうち、潜在看護師の実人数は、平均0.1人、本設問の回答事業所全体(1,596事業所)での合計で、186人であった。

図表3-29 職種別職員数:平成29年度の新規採用数:実人数(問10.④)

単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
看護職員	1,596	1,946	1.2	1.9	1.0
内、新卒者	1,596	21	0.0	0.1	0.0
内、潜在看護師	1,596	186	0.1	0.5	0.0
リハビリ職	1,596	486	0.3	1.0	0.0
内、新卒者	1,596	16	0.0	0.1	0.0
看護補助者	1,596	11	0.0	0.1	0.0
内、新卒者	1,596	1	0.0	0.0	0.0
事務員	1,596	147	0.1	0.3	0.0
内、新卒者	1,596	4	0.0	0.1	0.0
その他	1,596	15	0.0	0.1	0.0
内、新卒者	1,596	0	0.0	0.0	0.0

⑤ 平成 29 年度の退職者数

平成 29 年度の退職者数（実人数）は「看護職員」が平均 0.9 人、「リハビリ職員」が平均 0.2 人であった。

図表3-30 職種別職員数:平成 29 年度の退職者数:実人数 (問 10.⑤)

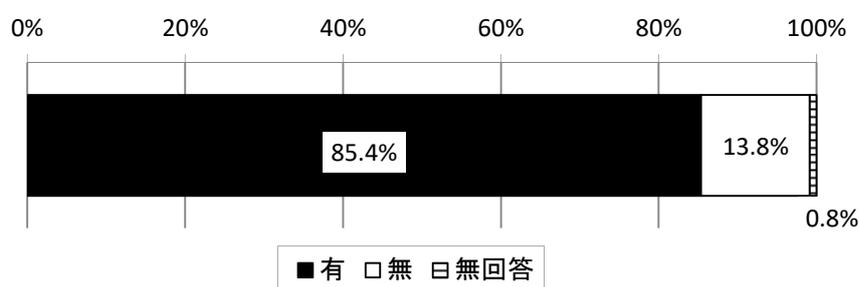
単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
看護職員	1,596	1,486	0.9	1.5	0.0
リハビリ職員	1,596	262	0.2	0.6	0.0
看護補助者	1,596	8	0.0	0.1	0.0
事務員	1,596	114	0.1	0.3	0.0
その他	1,596	5	0.0	0.1	0.0

⑥ 職員の定年制の状況

職員の定年制は「有」が 85.4%であった。「有」の場合、定年の年齢は平均 61.7 歳であった。

図表3-31 職員の定年制の有無 (n=1,650) (問 10.⑥)



図表3-32 定年の年齢 (問 10.⑥)

単位：歳

回答件数	平均	標準偏差	中央値	最大値
1,371	61.7	2.6	60.0	80

図表3-33 定年の年齢の分布 (問 10.⑥)

No.	カテゴリー名	n	%
1	無	227	13.8%
2	60 歳以下	924	56.0%
3	61 歳～65 歳	412	25.0%
4	66 歳以上	35	2.1%
	無回答	52	3.2%
	全体	1,650	100.0%

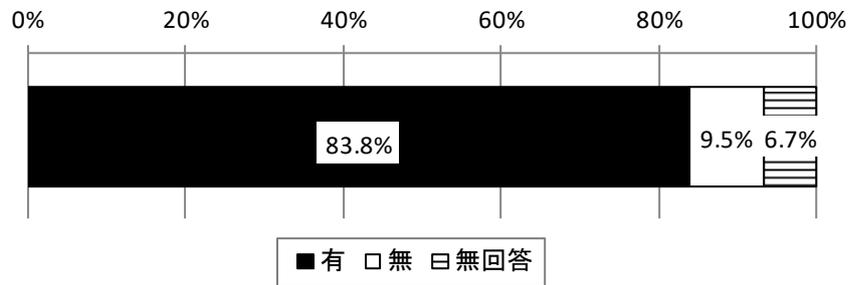
図表3-34 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 定年の年齢

		合計	Q10⑥sq 定年の年齢				
			無	60歳以下	61歳～65歳	66歳以上	無回答
全体		1,650 100.0%	227 13.8%	924 56.0%	412 25.0%	35 2.1%	52 3.2%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	52 26.1%	78 39.2%	56 28.1%	8 4.0%	5 2.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	85 13.5%	350 55.6%	164 26.0%	10 1.6%	21 3.3%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	54 15.9%	180 53.1%	82 24.2%	9 2.7%	14 4.1%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	31 10.7%	170 58.4%	82 28.2%	1 0.3%	7 2.4%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	37 10.7%	205 59.1%	86 24.8%	6 1.7%	13 3.7%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	17 7.5%	155 68.6%	47 20.8%	3 1.3%	4 1.8%
	10.0人以上	130 100.0%	12 9.2%	86 66.2%	23 17.7%	6 4.6%	3 2.3%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	194 16.4%	636 53.8%	299 25.3%	24 2.0%	29 2.5%
	1～2か所	191 100.0%	13 6.8%	114 59.7%	52 27.2%	4 2.1%	8 4.2%
	3～9か所	118 100.0%	3 2.5%	89 75.4%	17 14.4%	4 3.4%	5 4.2%
	10か所以上	88 100.0%	7 8.0%	47 53.4%	25 28.4%	2 2.3%	7 8.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	97 13.9%	405 58.0%	162 23.2%	16 2.3%	18 2.6%
	12km以下	707 100.0%	102 14.4%	388 54.9%	186 26.3%	12 1.7%	19 2.7%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	83 15.0%	281 50.8%	158 28.6%	13 2.4%	18 3.3%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	29 10.0%	184 63.4%	66 22.8%	6 2.1%	5 1.7%
	その他の市	806 100.0%	114 14.1%	459 56.9%	188 23.3%	16 2.0%	29 3.6%

⑦ 継続雇用制度の導入の有無

定年制が「有」の場合、継続雇用制度の導入状況は、「有」が83.8%であった。

図表3-35 (定年制が「有」の場合)継続雇用制度の導入の有無 (n=1,409) (問 10.⑦)



図表3-36 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

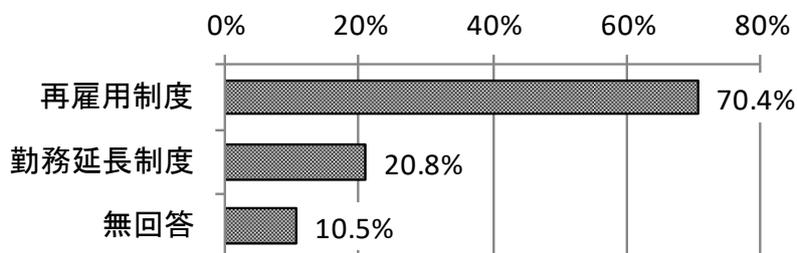
継続雇用制度の導入の有無

		合計	Q10⑦ 継続雇用制度の導入の有無		
			有	無	無回答
	全体	1,409 100.0%	1,181 83.8%	134 9.5%	94 6.7%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	147 100.0%	121 82.3%	15 10.2%	11 7.5%
	3.0人以上～5.0人未満	538 100.0%	445 82.7%	58 10.8%	35 6.5%
	再掲3.0人以上4.0人未満	279 100.0%	230 82.4%	29 10.4%	20 7.2%
	再掲4.0人以上5.0人未満	259 100.0%	215 83.0%	29 11.2%	15 5.8%
	5.0人以上～7.0人未満	307 100.0%	260 84.7%	27 8.8%	20 6.5%
	7.0人以上～10.0人未満	209 100.0%	182 87.1%	18 8.6%	9 4.3%
	10.0人以上	117 100.0%	101 86.3%	6 5.1%	10 8.5%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	978 100.0%	808 82.6%	106 10.8%
1～2か所		176 100.0%	149 84.7%	11 6.3%	16 9.1%
3～9か所		114 100.0%	101 88.6%	5 4.4%	8 7.0%
10か所以上		81 100.0%	74 91.4%	6 7.4%	1 1.2%
Q21 訪問対象範囲	12km超	593 100.0%	500 84.3%	56 9.4%	37 6.2%
	12km以下	604 100.0%	510 84.4%	56 9.3%	38 6.3%
地域性	東京都内と政令指定都市	468 100.0%	385 82.3%	55 11.8%	28 6.0%
	県庁所在地と中核市	260 100.0%	215 82.7%	26 10.0%	19 7.3%
	その他の市	681 100.0%	581 85.3%	53 7.8%	47 6.9%

1) (継続雇用制度の導入が「有」の場合) 継続雇用制度の種類

継続雇用制度の導入が「有」の場合、継続雇用制度の種類は、「再雇用制度」が70.4%、「勤務延長制度」が20.8%であった。

図表3-37 継続雇用制度の種類 (複数回答) (n=1,181) (問 10.⑦)

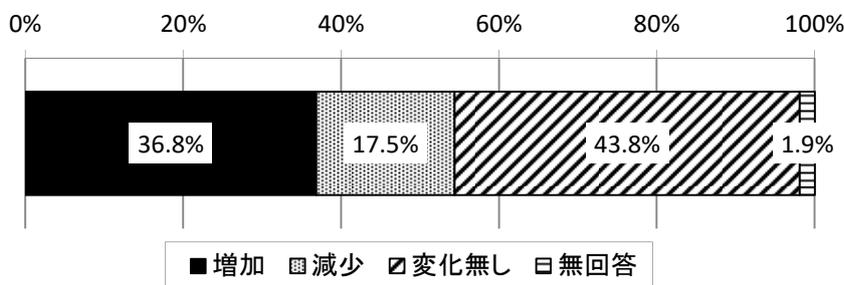


⑧ 職員の増減 (1年前との比較)

1) 看護職員

看護職員の増減は、1年前と比較して「増加」が36.8%、「減少」が17.5%、「変化なし」が43.8%であった。「増加」の場合、増加人数は平均1.5人であり、「減少」の場合、減少人数は平均1.3人であった。

図表3-38 職員の増減:看護職員 (n=1,650) (問 10.⑧)



図表3-39 職員の増減数:看護職員 (問 10.⑧)

単位:人

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
増加	591	1.5	1.1	1.0
減少	280	1.3	1.1	1.0

図表3-40 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

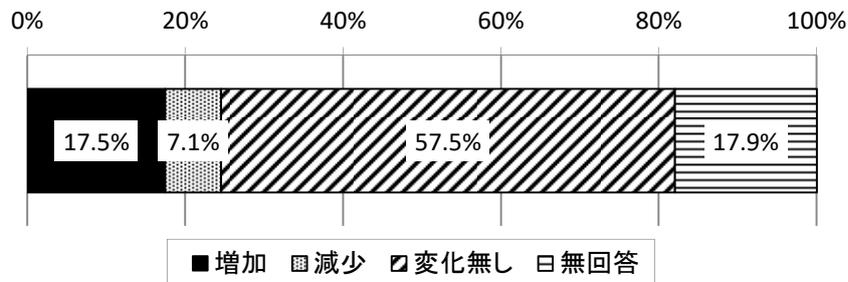
職員の増減:看護職員

		合計	Q10⑧(1) 職員の増減:看護職員			
			増加	減少	変化無し	無回答
全体		1,650 100.0%	608 36.8%	289 17.5%	722 43.8%	31 1.9%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	37 18.6%	32 16.1%	127 63.8%	3 1.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	201 31.9%	118 18.7%	298 47.3%	13 2.1%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	93 27.4%	60 17.7%	177 52.2%	9 2.7%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	108 37.1%	58 19.9%	121 41.6%	4 1.4%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	147 42.4%	66 19.0%	130 37.5%	4 1.2%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	106 46.9%	38 16.8%	79 35.0%	3 1.3%
	10.0人以上	130 100.0%	75 57.7%	22 16.9%	31 23.8%	2 1.5%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	425 36.0%	191 16.2%	546 46.2%
1～2か所		191 100.0%	72 37.7%	35 18.3%	80 41.9%	4 2.1%
3～9か所		118 100.0%	55 46.6%	24 20.3%	37 31.4%	2 1.7%
10か所以上		88 100.0%	33 37.5%	26 29.5%	27 30.7%	2 2.3%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	252 36.1%	119 17.0%	319 45.7%	8 1.1%
	12km以下	707 100.0%	268 37.9%	132 18.7%	296 41.9%	11 1.6%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	210 38.0%	110 19.9%	220 39.8%	13 2.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	108 37.2%	42 14.5%	134 46.2%	6 2.1%
	その他の市	806 100.0%	290 36.0%	137 17.0%	367 45.5%	12 1.5%

## 2) リハビリ職員

リハビリ職員の増減は、1年前と比較して「増加」が17.5%、「減少」が7.1%、「変化なし」が57.5%であった。「増加」の場合、増加人数は平均1.5人であり、「減少」の場合、減少人数は平均1.3人であった。

図表3-41 職員の増減:リハビリ職員 (n=1,650) (問 10.⑧)



図表3-42 職員の増減数:リハビリ職員 (問 10.⑧)

単位:人

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
増加	284	1.5	1.9	1.0
減少	110	1.3	1.2	1.0

図表3-43 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

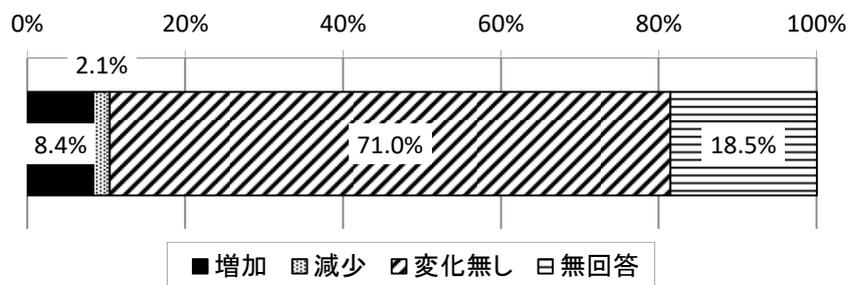
職員の増減:リハビリ職員

		合計	Q10⑧(2) 職員の増減:リハビリ職員			
			増加	減少	変化無し	無回答
全体		1,650 100.0%	288 17.5%	117 7.1%	949 57.5%	296 17.9%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	28 14.1%	6 3.0%	122 61.3%	43 21.6%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	97 15.4%	47 7.5%	380 60.3%	106 16.8%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	48 14.2%	22 6.5%	210 61.9%	59 17.4%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	49 16.8%	25 8.6%	170 58.4%	47 16.2%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	66 19.0%	21 6.1%	198 57.1%	62 17.9%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	49 21.7%	23 10.2%	118 52.2%	36 15.9%
	10.0人以上	130 100.0%	29 22.3%	18 13.8%	68 52.3%	15 11.5%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	210 17.8%	70 5.9%	686 58.0%
1～2か所		191 100.0%	32 16.8%	21 11.0%	113 59.2%	25 13.1%
3～9か所		118 100.0%	26 22.0%	17 14.4%	58 49.2%	17 14.4%
10か所以上		88 100.0%	15 17.0%	6 6.8%	51 58.0%	16 18.2%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	120 17.2%	43 6.2%	424 60.7%	111 15.9%
	12km以下	707 100.0%	129 18.2%	62 8.8%	400 56.6%	116 16.4%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	108 19.5%	45 8.1%	313 56.6%	87 15.7%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	58 20.0%	27 9.3%	153 52.8%	52 17.9%
	その他の市	806 100.0%	122 15.1%	45 5.6%	482 59.8%	157 19.5%

### 3) その他の職員

その他の職員の増減は、1年前と比較して「増加」が8.4%、「減少」が2.1%、「変化なし」が71.0%であった。「増加」の場合、増加人数は平均1.1人であり、「減少」の場合、減少人数は平均1.0人であった。

図表3-44 職員の増減:その他の職員 (n=1,650)(問10.⑧)



図表3-45 職員の増減数:その他の職員 (問10.⑧)

単位:人

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
増加	136	1.1	0.6	1.0
減少	33	1.0	0.5	1.0

## 2. 訪問看護の提供実績等

ここでは、平成30年9月の訪問看護の提供実績等をたずねた。

### (1) 訪問看護の利用者数

#### ① 平成30年9月の訪問看護の利用者数等

##### 1) 介護保険の訪問看護

平成30年9月の介護保険の訪問看護の利用者は、1事業所あたりの合計では平均56.1人であった。要介護度別にみると、利用実人員数は、「要介護2」が平均12.6人、「要介護1」が平均11.2人であった。

看護職員の訪問回数合計は、1事業所あたりの合計では平均219.8回であった。

要介護度別では、「要介護5」が平均47.0回、「要介護2」が平均45.5回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、1事業所あたりの合計では平均81.9回であった。「要介護2」が平均19.4回、「要介護1」「要介護3」がそれぞれ平均13.7回であった。

リハビリ職員の算定回数は、1事業所あたりの合計では平均180.7回であった。「要介護2」が平均43.2回、「要介護1」が平均31.0回であった。

複数のステーションが関与している人数は、1事業所あたりの合計で平均1.2人であった。

図表3-46 要介護度別:利用実人員数(問11.①)

単位:人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援1	1,428	3,652	2.6	3.6	2.0
要支援2	1,428	7,317	5.1	6.8	3.0
要介護1	1,428	15,937	11.2	11.2	8.0
要介護2	1,428	17,963	12.6	12.1	10.0
要介護3	1,428	12,236	8.6	8.6	7.0
要介護4	1,428	11,383	8.0	8.0	6.0
要介護5	1,428	11,593	8.1	8.4	6.0
合計	1,428	80,081	56.1	50.3	45.0

図表3-47 看護職員の規模別 利用実人員数(合計)(問11.①)

単位:人

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1428	56.1	50.3	45.0
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	181	29.6	22.5	23.0
	3.0人以上~5.0人未満	552	40.4	28.3	36.0
	5.0人以上~7.0人未満	298	59.5	37.4	56.0
	7.0人以上~10.0人未満	196	80.2	50.3	74.0
	10.0人以上	116	132.8	93.2	119.0

図表3-48 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 利用実人員数

(1事業所ありの合計)(問 11.①)

		合計	Q11(1)8 介護保険の訪問看護:利用実人員数(a)_合計					無回答
			20人以下	21人～40人	41人～60人	61人～80人	81人以上	
全体		1,650 100.0%	274 16.6%	365 22.1%	321 19.5%	200 12.1%	268 16.2%	222 13.5%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	77 38.7%	59 29.6%	30 15.1%	8 4.0%	7 3.5%	18 9.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	113 17.9%	214 34.0%	132 21.0%	60 9.5%	33 5.2%	78 12.4%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	72 21.2%	132 38.9%	62 18.3%	17 5.0%	16 4.7%	40 11.8%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	41 14.1%	82 28.2%	70 24.1%	43 14.8%	17 5.8%	38 13.1%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	36 10.4%	48 13.8%	84 24.2%	76 21.9%	54 15.6%	49 14.1%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	14 6.2%	17 7.5%	41 18.1%	38 16.8%	86 38.1%	30 13.3%
	10.0人以上	130 100.0%	10 7.7%	5 3.8%	11 8.5%	10 7.7%	80 61.5%	14 10.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	226 19.1%	293 24.8%	221 18.7%	133 11.3%	150 12.7%	159 13.5%
	1～2か所	191 100.0%	17 8.9%	31 16.2%	36 18.8%	30 15.7%	49 25.7%	28 14.7%
	3～9か所	118 100.0%	11 9.3%	13 11.0%	28 23.7%	19 16.1%	35 29.7%	12 10.2%
	10か所以上	88 100.0%	12 13.6%	15 17.0%	21 23.9%	9 10.2%	20 22.7%	11 12.5%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	115 16.5%	174 24.9%	134 19.2%	84 12.0%	100 14.3%	91 13.0%
	12km以下	707 100.0%	107 15.1%	138 19.5%	145 20.5%	97 13.7%	136 19.2%	84 11.9%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	91 16.5%	91 16.5%	109 19.7%	75 13.6%	115 20.8%	72 13.0%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	48 16.6%	73 25.2%	55 19.0%	36 12.4%	40 13.8%	38 13.1%
	その他の市	806 100.0%	134 16.6%	201 24.9%	157 19.5%	89 11.0%	113 14.0%	112 13.9%

図表3-49 要介護度別：看護職員の訪問回数合計（問 11.①）

単位：回

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	8,411	5.9	7.9	4.0
要支援 2	1,428	19,394	13.6	16.1	9.0
要介護 1	1,428	56,980	39.9	37.8	31.0
要介護 2	1,428	64,920	45.5	41.1	36.5
要介護 3	1,428	46,335	32.4	32.4	25.0
要介護 4	1,428	50,698	35.5	45.6	25.0
要介護 5	1,428	67,095	47.0	82.3	29.5
合計	1,428	313,833	219.8	205.1	182.0

図表3-50 看護職員の訪問回数の合計の分布（問 11.①）

No.	カテゴリー名	回答件数	割合
1	50 回以下	144	8.7%
2	51 回～100 回	188	11.4%
3	101 回～150 回	229	13.9%
4	151 回～200 回	225	13.6%
5	201 回～250 回	198	12.0%
6	251 回～300 回	158	9.6%
7	301 回～350 回	91	5.5%
8	351 回～400 回	48	2.9%
9	401 回～450 回	40	2.4%
10	451 回～500 回	23	1.4%
11	501 回以上	84	5.1%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-51 要介護度別：リハビリ職員の訪問回数（問 11.①）

単位：回

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	4,684	3.3	9.4	0.0
要支援 2	1,428	13,516	9.5	24.9	0.0
要介護 1	1,428	19,497	13.7	32.7	0.0
要介護 2	1,428	27,713	19.4	40.2	0.0
要介護 3	1,428	19,600	13.7	29.4	0.0
要介護 4	1,428	17,504	12.3	25.8	0.0
要介護 5	1,428	14,465	10.1	21.0	0.0
合計	1,428	116,979	81.9	162.6	12.0

図表3-52 リハビリ職員の訪問回数の合計の分布(問 11.①)

No.		回答件数	割合
1	0 回	644	39.0%
2	1 回～50 回	269	16.3%
3	51 回～100 回	170	10.3%
4	101 回～150 回	114	6.9%
5	151 回～200 回	60	3.6%
6	201 回～300 回	65	3.9%
7	301 回～500 回	59	3.6%
8	501 回以上	47	2.8%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-53 要介護度別:リハビリ職員の算定回数 (問 11.①)

単位:回

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	9,811	6.9	20.0	0.0
要支援 2	1,428	29,762	20.8	54.5	0.0
要介護 1	1,428	44,216	31.0	80.7	0.0
要介護 2	1,428	61,679	43.2	94.8	0.0
要介護 3	1,428	43,633	30.6	70.5	0.0
要介護 4	1,428	37,681	26.4	56.7	0.0
要介護 5	1,428	31,201	21.8	45.2	0.0
合計	1,428	257,983	180.7	379.1	22.0

図表3-54 要介護度別:リハビリ職員の算定回数の分布 (問 11.①)

No.		回答件数	割合
1	0 回	644	39.0%
2	1 回～50 回	148	9.0%
3	51 回～100 回	103	6.2%
4	101 回～150 回	111	6.7%
5	151 回～200 回	70	4.2%
6	201 回～300 回	105	6.4%
7	301 回～500 回	104	6.3%
8	501 回以上	143	8.7%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-55 要介護度別:複数のステーションが関与している人数 (問 11.①)

単位:人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	13	0.0	0.1	0.0
要支援 2	1,428	55	0.0	0.4	0.0
要介護 1	1,428	152	0.1	0.6	0.0
要介護 2	1,428	255	0.2	0.8	0.0
要介護 3	1,428	284	0.2	0.8	0.0
要介護 4	1,428	330	0.2	0.9	0.0
要介護 5	1,428	577	0.4	1.2	0.0
合計	1,428	1,666	1.2	3.6	0.0

図表3-56 要介護度別:複数のステーションが関与している人数の分布 (問 11.①)

No.		回答件数	割合
1	0人	1,015	61.5%
2	1人	149	9.0%
3	2人	79	4.8%
4	3人	44	2.7%
5	4人	28	1.7%
6	5人	21	1.3%
7	6人~10人	66	4.0%
8	11人以上	26	1.6%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

## 2) 介護保険の訪問看護の利用者に対する医療保険の利用者

平成 30 年 9 月の介護保険の訪問看護の利用者のうち、医療保険の訪問看護の利用者は、1 事業所あたりの合計で、平均 1.3 人であった。

介護保険の訪問看護の利用者に対する医療保険による訪問回数は、1 事業所あたりの平均で 15.2 回であった。

図表3-57 要介護度別:利用実人員数 (問 11.②)

単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	43	0.0	0.2	0.0
要支援 2	1,428	92	0.1	0.4	0.0
要介護 1	1,428	210	0.1	0.9	0.0
要介護 2	1,428	326	0.2	1.0	0.0
要介護 3	1,428	259	0.2	0.7	0.0
要介護 4	1,428	352	0.2	0.8	0.0
要介護 5	1,428	622	0.4	1.1	0.0
合計	1,428	1,904	1.3	3.8	0.0

図表3-58 医療保険の訪問看護:利用実人員数の合計の分布 (問 11.②)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0 人	806	48.8%
2	1 人	263	15.9%
3	2 人	138	8.4%
4	3 人	90	5.5%
5	4 人	39	2.4%
6	5 人以上	92	5.6%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-59 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 利用実人員数

		合計	Q11(6)8 医療保険の訪問看護:利用実人員数(a)の内数_合計						無回答
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
全体		1,650 100.0%	806 48.8%	263 15.9%	138 8.4%	90 5.5%	39 2.4%	92 5.6%	222 13.5%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	131 65.8%	27 13.6%	13 6.5%	1 0.5%	4 2.0%	5 2.5%	18 9.0%
	3.0人以上～ 5.0人未満	630 100.0%	346 54.9%	101 16.0%	39 6.2%	26 4.1%	11 1.7%	29 4.6%	78 12.4%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	203 59.9%	50 14.7%	18 5.3%	12 3.5%	2 0.6%	14 4.1%	40 11.8%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	143 49.1%	51 17.5%	21 7.2%	14 4.8%	9 3.1%	15 5.2%	38 13.1%
	5.0人以上～ 7.0人未満	347 100.0%	154 44.4%	56 16.1%	36 10.4%	25 7.2%	10 2.9%	17 4.9%	49 14.1%
	7.0人以上～ 10.0人未満	226 100.0%	88 38.9%	40 17.7%	34 15.0%	14 6.2%	6 2.7%	14 6.2%	30 13.3%
	10.0人以上	130 100.0%	29 22.3%	27 20.8%	13 10.0%	19 14.6%	5 3.8%	23 17.7%	14 10.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	593 50.2%	192 16.2%	93 7.9%	63 5.3%	24 2.0%	58 4.9%	159 13.5%
	1～2か所	191 100.0%	88 46.1%	27 14.1%	19 9.9%	12 6.3%	6 3.1%	11 5.8%	28 14.7%
	3～9か所	118 100.0%	54 45.8%	18 15.3%	12 10.2%	7 5.9%	4 3.4%	11 9.3%	12 10.2%
	10か所以上	88 100.0%	39 44.3%	18 20.5%	9 10.2%	3 3.4%	2 2.3%	6 6.8%	11 12.5%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	348 49.9%	109 15.6%	54 7.7%	42 6.0%	12 1.7%	42 6.0%	91 13.0%
	12km以下	707 100.0%	338 47.8%	128 18.1%	62 8.8%	36 5.1%	21 3.0%	38 5.4%	84 11.9%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	282 51.0%	91 16.5%	42 7.6%	27 4.9%	15 2.7%	24 4.3%	72 13.0%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	122 42.1%	50 17.2%	26 9.0%	23 7.9%	8 2.8%	23 7.9%	38 13.1%
	その他の市	806 100.0%	401 49.8%	122 15.1%	70 8.7%	40 5.0%	16 2.0%	45 5.6%	112 13.9%

図表3-60 要介護度別：医療保険による訪問回数（問 11.②）

単位：回

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
要支援 1	1,428	186	0.1	1.1	0.0
要支援 2	1,428	620	0.4	2.7	0.0
要介護 1	1,428	1,543	1.1	6.1	0.0
要介護 2	1,428	2,710	1.9	7.6	0.0
要介護 3	1,428	2,649	1.9	6.7	0.0
要介護 4	1,428	4,406	3.1	10.5	0.0
要介護 5	1,428	9,578	6.7	23.8	0.0
合計	1,428	21,692	15.2	40.0	0.0

図表3-61 医療保険の訪問看護：訪問回数の合計の分布（問 11.②）

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	806	48.8%
2	1回～10回	172	10.4%
3	11回～20回	145	8.8%
4	21回～30回	108	6.5%
5	31回～50回	84	5.1%
6	51回以上	113	6.8%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

### 3) 医療保険のみの利用者

平成30年9月の医療保険のみの訪問看護の利用者について、利用実人員数は平均21.6人、訪問回数合計は平均164.8回であった。

図表3-62 医療保険のみの利用者:利用実人員数、訪問回数合計(問11.③)

単位:人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
利用実人員数	1,428	30,857	21.6	26.1	14.0
訪問回数合計	1,428	235,302	164.8	189.7	109.0

図表3-63 医療保険のみの利用者:利用実人員数の合計の分布(問11.③)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0人	72	4.4%
2	1人~10人	487	29.5%
3	11人~20人	369	22.4%
4	21人~30人	212	12.8%
5	31人~50人	160	9.7%
6	51人以上	128	7.8%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-64 医療保険のみの利用者:訪問回数の合計の分布(問11.③)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	72	4.4%
2	1回~50回	291	17.6%
3	51回~100回	312	18.9%
4	101回~150回	233	14.1%
5	151回~200回	140	8.5%
6	201回~300回	161	9.8%
7	301回以上	219	13.3%
	無回答	222	13.5%
	全体	1,650	100.0%

図表3-65 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 利用実人員数

		合計	Q11(8) 医療保険のみの利用者:利用実人員数						無回答
			0人	1人～ 10人	11人～ 20人	21人～ 30人	31人～ 50人	51人以上	
全体		1,650 100.0%	72 4.4%	487 29.5%	369 22.4%	212 12.8%	160 9.7%	128 7.8%	222 13.5%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	18 9.0%	122 61.3%	29 14.6%	7 3.5%	3 1.5%	2 1.0%	18 9.0%
	3.0人以上～ 5.0人未満	630 100.0%	26 4.1%	269 42.7%	172 27.3%	51 8.1%	22 3.5%	12 1.9%	78 12.4%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	17 5.0%	176 51.9%	76 22.4%	18 5.3%	6 1.8%	6 1.8%	40 11.8%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	9 3.1%	93 32.0%	96 33.0%	33 11.3%	16 5.5%	6 2.1%	38 13.1%
	5.0人以上～ 7.0人未満	347 100.0%	6 1.7%	50 14.4%	105 30.3%	78 22.5%	36 10.4%	23 6.6%	49 14.1%
	7.0人以上～ 10.0人未満	226 100.0%	8 3.5%	12 5.3%	37 16.4%	53 23.5%	54 23.9%	32 14.2%	30 13.3%
	10.0人以上	130 100.0%	3 2.3%	7 5.4%	6 4.6%	11 8.5%	36 27.7%	53 40.8%	14 10.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	60 5.1%	378 32.0%	269 22.8%	143 12.1%	96 8.1%	77 6.5%	159 13.5%
	1～2か所	191 100.0%	4 2.1%	54 28.3%	33 17.3%	27 14.1%	21 11.0%	24 12.6%	28 14.7%
	3～9か所	118 100.0%	0 0.0%	19 16.1%	32 27.1%	18 15.3%	24 20.3%	13 11.0%	12 10.2%
	10か所以上	88 100.0%	5 5.7%	14 15.9%	23 26.1%	16 18.2%	8 9.1%	11 12.5%	11 12.5%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	25 3.6%	210 30.1%	159 22.8%	80 11.5%	70 10.0%	63 9.0%	91 13.0%
	12km以下	707 100.0%	32 4.5%	187 26.4%	179 25.3%	107 15.1%	71 10.0%	47 6.6%	84 11.9%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	27 4.9%	145 26.2%	130 23.5%	74 13.4%	53 9.6%	52 9.4%	72 13.0%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	12 4.1%	89 30.7%	59 20.3%	39 13.4%	30 10.3%	23 7.9%	38 13.1%
	その他の市	806 100.0%	32 4.0%	253 31.4%	180 22.3%	99 12.3%	77 9.6%	53 6.6%	112 13.9%

#### 4) 介護保険＋医療保険のみの利用者

介護保険の利用者と医療保険のみの利用者の合計数は、1事業所あたり平均77.7人であった。

図表3-66 介護保険の利用者＋医療保険のみの利用者数

単位：人

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,428	77.7	63.7	62.0
Q10(1)③ 看護職員： 常勤+非常 勤職員の 常勤換算 数	3.0人未満	181	37.4	25.6	32.0
	3.0人以上～5.0人未満	552	53.3	33.8	47.5
	5.0人以上～7.0人未満	298	83.9	43.6	78.0
	7.0人以上～10.0人未満	196	116.2	57.5	104.0
	10.0人以上	116	188.2	106.6	175.5

	合計	Q11 介護保険の訪問看護利用実人員数+医療保険のみの利用実人員数							
		30人未満	30～50人未満	50～80人未満	80～100人未満	100～150人未満	150人以上	無回答	
全体	1,650 100.0%	229 13.9%	297 18.0%	403 24.4%	171 10.4%	187 11.3%	141 8.5%	222 13.5%	
Q10(1)③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	80 40.2%	59 29.6%	31 15.6%	7 3.5%	3 1.5%	1 0.5%	18 9.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	108 17.1%	186 29.5%	184 29.2%	41 6.5%	20 3.2%	13 2.1%	78 12.4%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	13 3.7%	25 7.2%	122 35.2%	62 17.9%	63 18.2%	13 3.7%	49 14.1%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	5 2.2%	6 2.7%	33 14.6%	43 19.0%	71 31.4%	38 16.8%	30 13.3%
	10.0人以上	130 100.0%	3 2.3%	4 3.1%	7 5.4%	8 6.2%	20 15.4%	74 56.9%	14 10.8%

② 介護保険の訪問看護の利用者における要介護度別の認知症高齢者日常生活自立度

平成 30 年 9 月の介護保険の訪問看護の利用者について、要介護度別に認知症高齢者日常生活自立度について回答があったのは、1,413 事業所から、合計 77,490 人分であった。

「要介護 2」で「自立度 I」が 6.3%、「要介護 1」で「自立度 I」が 5.7%であった。

図表3-67 要介護度別：認知症高齢者の日常生活自立度（問 12）

単位：人

	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	不明	合計
要支援 1	1,336 1.7%	1,351 1.7%	363 0.5%	256 0.3%	80 0.1%	10 0.0%	9 0.0%	8 0.0%	144 0.2%	3,557 4.6%
要支援 2	2,522 3.3%	2,832 3.7%	694 0.9%	414 0.5%	108 0.1%	23 0.0%	17 0.0%	4 0.0%	398 0.5%	7,012 9.0%
要介護 1	2,449 3.2%	4,392 5.7%	2,916 3.8%	3,106 4.0%	1,200 1.5%	266 0.3%	191 0.2%	79 0.1%	790 1.0%	15,389 19.9%
要介護 2	2,939 3.8%	4,900 6.3%	2,896 3.7%	3,133 4.0%	1,620 2.1%	463 0.6%	360 0.5%	81 0.1%	868 1.1%	17,260 22.3%
要介護 3	1,621 2.1%	2,633 3.4%	1,757 2.3%	2,244 2.9%	1,685 2.2%	588 0.8%	592 0.8%	110 0.1%	573 0.7%	11,803 15.2%
要介護 4	1,184 1.5%	2,034 2.6%	1,366 1.8%	1,805 2.3%	1,824 2.4%	873 1.1%	1,184 1.5%	247 0.3%	636 0.8%	11,153 14.4%
要介護 5	743 1.0%	1,052 1.4%	857 1.1%	1,238 1.6%	1,977 2.6%	1,150 1.5%	2,942 3.8%	765 1.0%	592 0.8%	11,316 14.6%
合計	12,794 16.5%	19,194 24.8%	10,849 14.0%	12,196 15.7%	8,494 11.0%	3,373 4.4%	5,295 6.8%	1,294 1.7%	4,001 5.2%	77,490 100.0%

注) 回答のあった 1,413 事業所での合計人数

③ 介護保険の利用者のうち、医療保険の利用者において、要介護度被保険者等のうち医療保険での訪問看護が必要となった理由別人数

平成 30 年 9 月の介護保険の訪問看護の利用者のうち、医療保険の訪問看護の利用者について、要介護度被保険者等のうち医療保険での訪問看護が必要となった人数の理由をみると、「特別訪問看護指示書が発行された」が平均 1.9 人、「それ以外の疾患の診断で医療保険の対象となった」が平均 0.3 人であった。

図表3-68 理由別：医療保険での訪問看護が必要となった人数（問 13）

単位：人

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
特別訪問看護指示書が発行された	760	1,414	1.9	2.3	1.0
末期の悪性腫瘍と診断され医療保険の対象となった	760	138	0.2	1.0	0.0
認知症以外の精神疾患と診断され医療保険の対象となった	760	63	0.1	1.1	0.0
それ以外の疾患の診断で医療保険の対象となった	760	233	0.3	1.3	0.0
その他	760	88	0.1	0.6	0.0

④ 要支援者について、主に訪問する職種別人数

要支援者について、主に「看護職員」が訪問した利用者は平均 5.4 人、「リハビリ職員」が訪問した利用者は平均 3.0 人であった。

図表3-69 要支援者:主に訪問する職種別人数 (問 14)

単位：人

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
看護職員	1,491	5.4	7.4	3.0
リハビリ職員	1,491	3.0	7.2	0.0

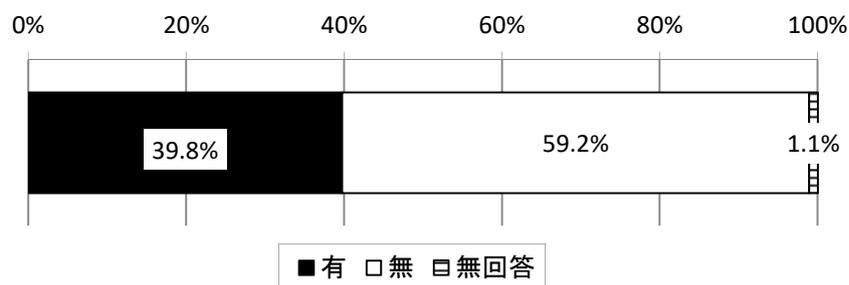
(2) 介護保険における加算等の状況

平成 30 年 9 月の介護保険における加算等の取得状況をたずねた。

① 退院時共同指導加算 (平成 30 年 9 月)

退院時共同指導加算は「有」が 39.8%であった。「有」の場合、算定件数は平均 1.6 件であった。

図表3-70 退院時共同指導加算(平成 30 年 9 月) (n=1,650) (問 15.①)



図表3-71 退院時共同指導加算の算定件数 (問 15.①)

単位：件

回答件数	平均	標準偏差	中央値
617	1.6	2.1	1.0

図表3-72 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別 退院時共同指

導加算の有無

		合計	Q15① 退院時共同指導加算の有無		
			有	無	無回答
全体		1,650 100.0%	656 39.8%	976 59.2%	18 1.1%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	53 26.6%	144 72.4%	2 1.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	188 29.8%	434 68.9%	8 1.3%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	99 29.2%	236 69.6%	4 1.2%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	89 30.6%	198 68.0%	4 1.4%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	183 52.7%	164 47.3%	0 0.0%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	115 50.9%	107 47.3%	4 1.8%
	10.0人以上	130 100.0%	82 63.1%	48 36.9%	0 0.0%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	431 36.5%	738 62.4%
1～2か所		191 100.0%	83 43.5%	106 55.5%	2 1.0%
3～9か所		118 100.0%	70 59.3%	46 39.0%	2 1.7%
10か所以上		88 100.0%	42 47.7%	45 51.1%	1 1.1%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	261 37.4%	432 61.9%	5 0.7%
	12km以下	707 100.0%	306 43.3%	394 55.7%	7 1.0%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	213 38.5%	331 59.9%	9 1.6%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	113 39.0%	175 60.3%	2 0.7%
	その他の市	806 100.0%	330 40.9%	469 58.2%	7 0.9%

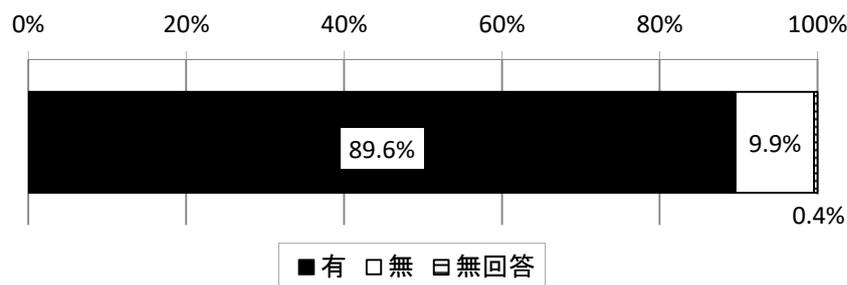
② 緊急時訪問看護加算の届出（平成 30 年 9 月）

緊急時訪問看護加算の届出は「有」が 89.6%、「無」が 9.9%であった。

「有」の場合、緊急時訪問看護加算の算定件数は平均 32.1 件であった。また、緊急時介護予防訪問看護加算の算定件数は平均 3.8 件であった。

緊急時訪問看護加算の届出が「無」の場合、届出をしていない理由は、「人材不足で体制確保ができない」が 50.6%、「24 時間対応が必要な利用者がいない」が 14.6%であった。

図表3-73 緊急時訪問看護加算の届出（平成 30 年 9 月）（n=1,650）（問 15.②）



図表3-74 緊急時訪問看護加算の算定件数（問 15.②）

単位：件

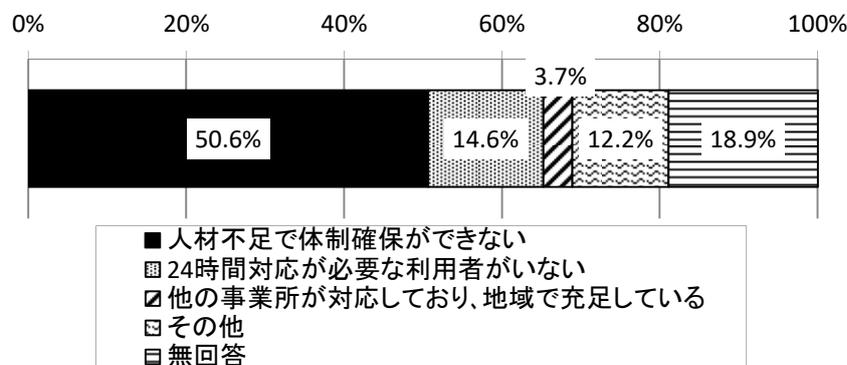
回答件数	平均	標準偏差	中央値
1,363	32.1	29.8	25.0

図表3-75 緊急時介護予防訪問看護加算の算定件数（問 15.②）

単位：件

回答件数	平均	標準偏差	中央値
1,284	3.8	5.2	2.0

図表3-76 緊急時訪問看護加算の届出が「無」の場合：届出をしていない理由（n=164）（問 15.②）



図表3-77 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

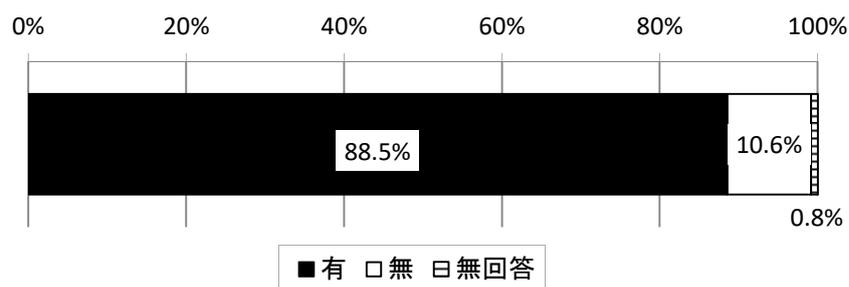
緊急時訪問看護加算の届出の有無

		合計	Q15② 緊急時訪問看護加算の届出の有無		
			有	無	無回答
全体		1,650 100.0%	1,479 89.6%	164 9.9%	7 0.4%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	159 79.9%	38 19.1%	2 1.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	550 87.3%	77 12.2%	3 0.5%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	289 85.3%	48 14.2%	2 0.6%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	261 89.7%	29 10.0%	1 0.3%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	328 94.5%	19 5.5%	0 0.0%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	210 92.9%	15 6.6%	1 0.4%
	10.0人以上	130 100.0%	124 95.4%	6 4.6%	0 0.0%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	1,053 89.1%	124 10.5%
1～2か所		191 100.0%	173 90.6%	17 8.9%	1 0.5%
3～9か所		118 100.0%	114 96.6%	3 2.5%	1 0.8%
10か所以上		88 100.0%	74 84.1%	14 15.9%	0 0.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	621 89.0%	76 10.9%	1 0.1%
	12km以下	707 100.0%	645 91.2%	59 8.3%	3 0.4%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	495 89.5%	56 10.1%	2 0.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	254 87.6%	34 11.7%	2 0.7%
	その他の市	806 100.0%	730 90.6%	73 9.1%	3 0.4%

### ③ 特別管理加算の届出（平成 30 年 9 月）

特別管理加算の届出は「有」が 88.5%であった。「有」の場合、訪問看護の算定件数は、「Ⅰ」が平均 6.3 件、「Ⅱ」が平均 4.7 件であった。介護予防訪問看護の算定件数は、「Ⅰ」が平均 0.3 件、「Ⅱ」が平均 0.8 件であった。

図表3-78 特別管理加算の届出(平成 30 年 9 月) (n=1,650) (問 15.③)



図表3-79 特別管理加算(訪問看護)の算定件数 (問 15.③)

単位：件

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
Ⅰ	1,330	6.3	8.8	4.0
Ⅱ	1,330	4.7	6.0	3.0
合計	1,330	11.0	13.7	8.0

図表3-80 特別管理加算介護予防訪問看護の算定件数 (問 15.③)

単位：件

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
Ⅰ	1,330	0.3	0.9	0.0
Ⅱ	1,330	0.8	1.3	0.0

図表3-81 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

特別管理加算の届出の有無

		合計	Q15③ 特別管理加算の届出の有無		
			有	無	無回答
全体		1,650 100.0%	1,461 88.5%	175 10.6%	14 0.8%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	155 77.9%	42 21.1%	2 1.0%
	3.0人以上～ 5.0人未満	630 100.0%	553 87.8%	67 10.6%	10 1.6%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	288 85.0%	45 13.3%	6 1.8%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	265 91.1%	22 7.6%	4 1.4%
	5.0人以上～ 7.0人未満	347 100.0%	325 93.7%	21 6.1%	1 0.3%
	7.0人以上～ 10.0人未満	226 100.0%	210 92.9%	16 7.1%	0 0.0%
	10.0人以上	130 100.0%	117 90.0%	13 10.0%	0 0.0%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	1,033 87.4%	138 11.7%
1～2か所		191 100.0%	175 91.6%	15 7.9%	1 0.5%
3～9か所		118 100.0%	111 94.1%	6 5.1%	1 0.8%
10か所以上		88 100.0%	77 87.5%	10 11.4%	1 1.1%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	615 88.1%	80 11.5%	3 0.4%
	12km以下	707 100.0%	644 91.1%	58 8.2%	5 0.7%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	483 87.3%	68 12.3%	2 0.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	249 85.9%	37 12.8%	4 1.4%
	その他の市	806 100.0%	729 90.4%	69 8.6%	8 1.0%

図表3-82 特別管理加算の算定件数の利用者数に対する算定割合

項目名	件数	平均値	標準偏差	中央値
I：訪問看護(要介護者)の算定割合	1,165	12.5	11.1	10.4
II：訪問看護(要介護者)の算定割合	1,165	9.7	8.1	8.3
I+II：訪問看護(要介護者)の算定割合	1,165	22.2	14.0	20.0
I：介護予防訪問看護(要支援者)の算定割合	1,167	3.2	10.8	0.0
II：介護予防訪問看護(要支援者)の算定割合	1,167	10.4	17.6	0.0
I+II：介護予防訪問看護(要支援者)の算定割合	1,167	13.6	20.7	0.0

図表3-83 利用者数に対する算定割合：I：訪問看護(要介護者)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	130	8.9%
2	0%超～10%未満	429	29.4%
3	10%～20%未満	389	26.6%
4	20%～30%未満	149	10.2%
5	30%～50%未満	50	3.4%
6	50%以上	18	1.2%
	無回答	296	20.3%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-84 利用者数に対する算定割合：II：訪問看護(要介護者)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	152	10.4%
2	0%超～10%未満	520	35.6%
3	10%～20%未満	388	26.6%
4	20%～30%未満	80	5.5%
5	30%～50%未満	21	1.4%
6	50%以上	4	0.3%
	無回答	296	20.3%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-85 利用者数に対する算定割合：I+II：訪問看護(要介護者)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	45	3.1%
2	0%超～10%未満	156	10.7%
3	10%～20%未満	366	25.1%
4	20%～30%未満	313	21.4%
5	30%～50%未満	238	16.3%
6	50%以上	47	3.2%
	無回答	296	20.3%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-86 利用者数に対する算定割合：Ⅰ：介護予防訪問看護（要支援者）

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	978	66.9%
2	0%超～10%未満	73	5.0%
3	10%～20%未満	52	3.6%
4	20%～30%未満	28	1.9%
5	30%～50%未満	17	1.2%
6	50%以上	19	1.3%
	無回答	294	20.1%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-87 利用者数に対する算定割合：Ⅱ：介護予防訪問看護（要支援者）

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	671	45.9%
2	0%超～10%未満	91	6.2%
3	10%～20%未満	150	10.3%
4	20%～30%未満	117	8.0%
5	30%～50%未満	77	5.3%
6	50%以上	61	4.2%
	無回答	294	20.1%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-88 利用者数に対する算定割合：Ⅰ＋Ⅱ：介護予防訪問看護（要支援者）

No.	カテゴリー名	n	%
1	0%	608	41.6%
2	0%超～10%未満	78	5.3%
3	10%～20%未満	150	10.3%
4	20%～30%未満	132	9.0%
5	30%～50%未満	102	7.0%
6	50%以上	97	6.6%
	無回答	294	20.1%
	非該当	189	
	全体	1,461	100.0%

図表3-89 特別管理加算の算定割合

I：訪問看護（要介護者）

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,165	12.5	11.1	10.4
Q10(1)③ 看護 職員：常勤+非 常勤職員の常 勤換算数	3.0人未満	133	9.7	11.8	7.1
	3.0人以上～5.0人未満	442	11.7	11.0	9.4
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	12.7	12.4	10.4
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	10.7	9.1	8.9
	5.0人以上～7.0人未満	263	13.5	11.5	10.7
	7.0人以上～10.0人未満	165	14.1	9.0	12.0
	10.0人以上	100	14.8	9.8	12.9
Q7sq 事業所と 同一法人が他 に有する訪問 看護事業所数	無	822	12.1	11.2	9.7
	1～2か所	140	12.9	11.1	10.4
	3～9か所	88	14.0	11.4	11.5
	10か所以上	65	14.4	11.7	12.3
Q21 訪問対象 としている地 域の距離範囲	12km超	503	12.8	11.5	10.3
	12km以下	518	12.4	10.4	10.5
地域性	東京都内と政令指定都市	382	10.4	8.5	9.0
	県庁所在地と中核市	202	12.7	10.9	10.5
	その他の市	581	13.9	12.4	11.5

II：訪問看護（要介護者）

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,165	9.7	8.1	8.3
Q10(1)③ 看護 職員：常勤+非 常勤職員の常 勤換算数	3.0人未満	133	9.9	10.9	7.1
	3.0人以上～5.0人未満	442	9.0	8.0	7.9
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	8.6	7.1	8.0
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	9.5	8.9	7.9
	5.0人以上～7.0人未満	263	9.9	7.4	9.2
	7.0人以上～10.0人未満	165	11.4	7.7	9.8
	10.0人以上	100	9.6	5.8	8.4
Q7sq 事業所と 同一法人が他 に有する訪問 看護事業所数	無	822	9.5	8.1	8.4
	1～2か所	140	10.4	9.6	8.2
	3～9か所	88	8.7	6.5	8.1
	10か所以上	65	11.7	7.1	11.3
Q21 訪問対象 としている地 域の距離範囲	12km超	503	9.4	7.6	8.6
	12km以下	518	10.1	8.3	8.5
地域性	東京都内と政令指定都市	382	9.5	7.5	8.3
	県庁所在地と中核市	202	9.4	7.1	8.5
	その他の市	581	9.9	8.7	8.6

I + II : 訪問看護 (要介護者)

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,165	22.2	14.0	20.0
Q10(1)③ 看護 職員:常勤+非 常勤職員の常 勤換算数	3.0人未満	133	19.6	16.3	15.4
	3.0人以上～5.0人未満	442	20.8	13.8	18.2
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	21.3	14.1	18.5
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	20.2	13.6	17.8
	5.0人以上～7.0人未満	263	23.4	13.9	21.1
	7.0人以上～10.0人未満	165	25.5	12.5	24.1
	10.0人以上	100	24.4	11.4	22.4
Q7sq 事業所と 同一法人が他 に有する訪問 看護事業所数	無	822	21.6	14.0	19.4
	1～2か所	140	23.4	15.5	20.0
	3～9か所	88	22.7	13.5	20.5
	10か所以上	65	26.0	13.8	23.5
Q21 訪問対象 としている地 域の距離範囲	12km超	503	22.2	14.0	20.4
	12km以下	518	22.4	13.4	20.0
地域性	東京都内と政令指定都市	382	19.9	12.0	18.2
	県庁所在地と中核市	202	22.1	13.6	19.4
	その他の市	581	23.8	15.1	22.2

I : 介護予防訪問看護 (要支援者)

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,167	3.2	10.8	0.0
Q10(1)③ 看護 職員:常勤+非 常勤職員の常 勤換算数	3.0人未満	133	1.4	7.4	0.0
	3.0人以上～5.0人未満	442	2.0	9.1	0.0
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	1.7	8.3	0.0
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	2.3	9.9	0.0
	5.0人以上～7.0人未満	264	4.5	11.8	0.0
	7.0人以上～10.0人未満	165	5.7	15.7	0.0
	10.0人以上	101	2.8	7.8	0.0
Q7sq 事業所と 同一法人が他 に有する訪問 看護事業所数	無	824	3.1	11.0	0.0
	1～2か所	140	2.8	10.6	0.0
	3～9か所	87	3.1	10.3	0.0
	10か所以上	66	3.1	8.2	0.0
Q21 訪問対象 としている地 域の距離範囲	12km超	504	3.7	11.8	0.0
	12km以下	519	2.9	10.5	0.0
地域性	東京都内と政令指定都市	381	2.7	9.3	0.0
	県庁所在地と中核市	203	3.0	11.7	0.0
	その他の市	583	3.6	11.4	0.0

Ⅱ：介護予防訪問看護（要支援者）

		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,167	10.4	17.6	0.0
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	133	7.3	18.8	0.0
	3.0人以上～5.0人未満	442	10.3	19.4	0.0
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	10.8	19.9	0.0
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	9.9	19.0	0.0
	5.0人以上～7.0人未満	264	11.3	16.0	2.5
	7.0人以上～10.0人未満	165	11.9	15.4	6.3
	10.0人以上	101	10.9	13.6	7.1
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	824	10.5	18.4	0.0
	1～2か所	140	10.5	15.0	1.1
	3～9か所	87	10.4	15.3	3.0
	10か所以上	66	12.1	18.1	1.7
Q21 訪問対象としている地域の距離範囲	12km超	504	10.4	17.9	0.0
	12km以下	519	10.1	15.9	0.0
地域性	東京都内と政令指定都市	381	9.2	15.8	0.0
	県庁所在地と中核市	203	8.9	13.9	0.0
	その他の市	583	11.8	19.6	0.0

Ⅰ + Ⅱ：介護予防訪問看護（要支援者）

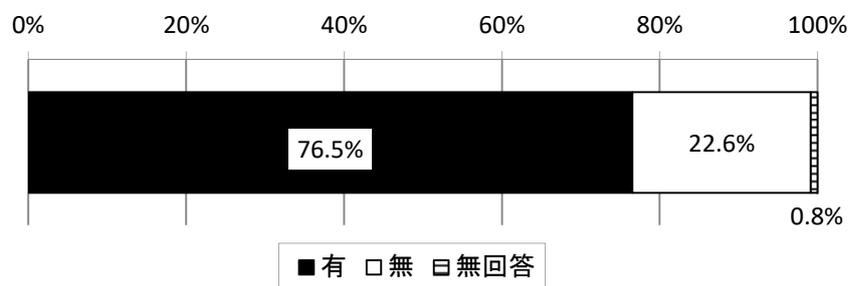
		件数	平均	標準偏差	中央値
全体		1,167	13.6	20.7	0.0
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	133	8.8	20.1	0.0
	3.0人以上～5.0人未満	442	12.4	21.3	0.0
	再掲3.0人以上4.0人未満	232	12.5	21.5	0.0
	再掲4.0人以上5.0人未満	210	12.2	21.0	0.0
	5.0人以上～7.0人未満	264	15.8	20.3	8.9
	7.0人以上～10.0人未満	165	17.6	21.6	11.1
	10.0人以上	101	13.7	15.8	10.0
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	824	13.5	21.5	0.0
	1～2か所	140	13.3	19.0	3.8
	3～9か所	87	13.5	19.0	6.3
	10か所以上	66	15.2	19.9	5.7
Q21 訪問対象としている地域の距離範囲	12km超	504	14.1	21.8	0.0
	12km以下	519	12.9	18.8	0.0
地域性	東京都内と政令指定都市	381	11.9	18.7	0.0
	県庁所在地と中核市	203	11.8	17.5	0.0
	その他の市	583	15.3	22.8	0.0

④ ターミナルケア加算の届出（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月末日のターミナルケア療養費を含む）

ターミナルケア加算の届出は「有」が 76.5%であった。「有」の場合、ターミナルケア加算の算定件数は、「ターミナルケア加算」が平均 1.9 件、「ターミナル療養費」が平均 4.0 件であった。

「ターミナルケア療養費」のうち、介護保険利用で死亡前 14 日以内に医療保険で訪問看護を提供した件数は、平均 0.4 件であった。

図表3-90 ターミナルケア加算の届出（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月末日のターミナルケア療養費を含む）（n=1,650）（問 15.④）



図表3-91 ターミナルケア加算の算定件数（問 15.④）

単位：件

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
ターミナルケア加算	1,177	1.9	3.6	1.0
ターミナルケア療養費	1,177	4.0	7.7	1.0
うち、介護保険利用で死亡前 14 日以内に医療保険で訪問看護を提供したもの	1,177	0.4	1.2	0.0

図表3-92 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

ターミナルケア加算の届出の有無

		合計	Q15④ ターミナルケア加算の届出の有無		
			有	無	無回答
全体		1,650 100.0%	1,263 76.5%	373 22.6%	14 0.8%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	127 63.8%	69 34.7%	3 1.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	454 72.1%	173 27.5%	3 0.5%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	230 67.8%	107 31.6%	2 0.6%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	224 77.0%	66 22.7%	1 0.3%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	291 83.9%	54 15.6%	2 0.6%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	191 84.5%	33 14.6%	2 0.9%
	10.0人以上	130 100.0%	112 86.2%	16 12.3%	2 1.5%
	Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	889 75.2%	282 23.9%
1～2か所		191 100.0%	148 77.5%	42 22.0%	1 0.5%
3～9か所		118 100.0%	100 84.7%	16 13.6%	2 1.7%
10か所以上		88 100.0%	68 77.3%	20 22.7%	0 0.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	539 77.2%	154 22.1%	5 0.7%
	12km以下	707 100.0%	550 77.8%	152 21.5%	5 0.7%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	399 72.2%	148 26.8%	6 1.1%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	214 73.8%	72 24.8%	4 1.4%
	その他の市	806 100.0%	650 80.6%	152 18.9%	4 0.5%

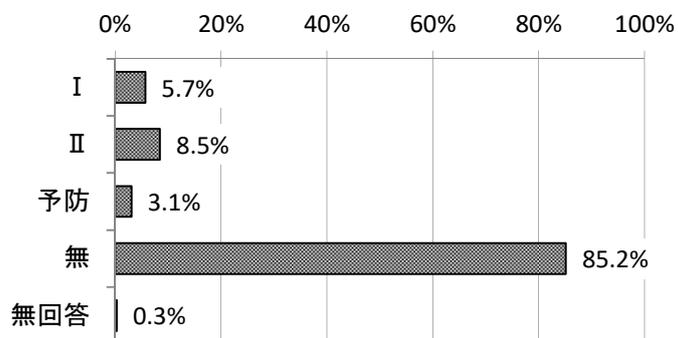
### ⑤ 看護体制強化加算の届出（平成 30 年 9 月）

看護体制強化加算の届出は「Ⅱ」が 8.5%、「Ⅰ」が 5.7%であり、「無」は 85.2%であった。

「Ⅱ」の場合、「Ⅰ」の届出をしていない理由は、「ターミナルケア加算の算定要件を満たせないため」が 57.1%、「看取り期の利用者が少ないため」が 39.3%であった。

「無」の場合、届出をしていない理由は、「特別管理加算の対象となる利用者が少ない」が 50.0%、「ターミナルケア加算の算定要件を満たせないため」が 27.3%、「毎月届出を変更したくないから」が 25.1%であった。

図表3-93 看護体制強化加算の届出（平成 30 年 9 月）（複数回答）（n=1,650）（問 15.⑤）



図表3-94 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

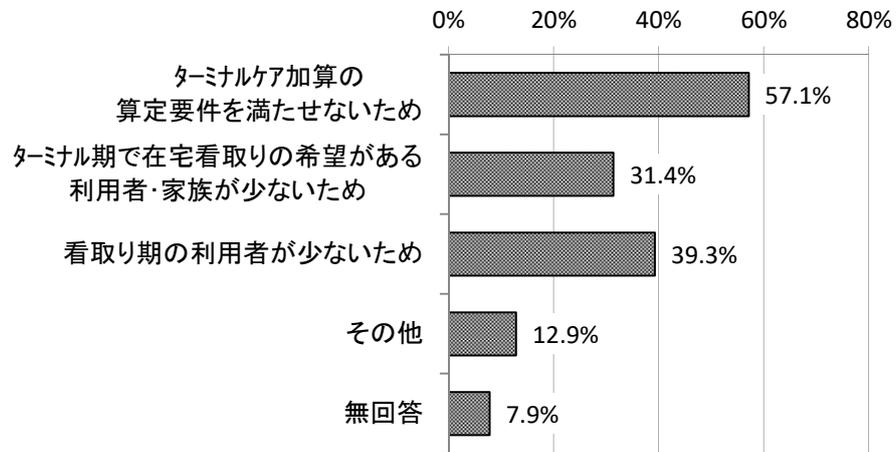
看護体制強化加算の届出の有無

		合計	Q15⑤ 看護体制強化加算の届出の有無				
			I	II	予防	無	無回答
全体		1,650 100.0%	94 5.7%	140 8.5%	51 3.1%	1,405 85.2%	5 0.3%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	4 2.0%	9 4.5%	1 0.5%	185 93.0%	1 0.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	20 3.2%	40 6.3%	18 2.9%	565 89.7%	1 0.2%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	9 2.7%	16 4.7%	6 1.8%	313 92.3%	1 0.3%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	11 3.8%	24 8.2%	12 4.1%	252 86.6%	0 0.0%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	20 5.8%	42 12.1%	15 4.3%	281 81.0%	1 0.3%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	25 11.1%	30 13.3%	9 4.0%	172 76.1%	0 0.0%
	10.0人以上	130 100.0%	18 13.8%	9 6.9%	4 3.1%	103 79.2%	0 0.0%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	56 4.7%	84 7.1%	38 3.2%	1,030 87.1%	4 0.3%
	1～2か所	191 100.0%	14 7.3%	21 11.0%	2 1.0%	156 81.7%	0 0.0%
	3～9か所	118 100.0%	7 5.9%	15 12.7%	1 0.8%	95 80.5%	1 0.8%
	10か所以上	88 100.0%	12 13.6%	12 13.6%	5 5.7%	65 73.9%	0 0.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	38 5.4%	65 9.3%	21 3.0%	590 84.5%	0 0.0%
	12km以下	707 100.0%	44 6.2%	57 8.1%	21 3.0%	603 85.3%	3 0.4%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	27 4.9%	33 6.0%	15 2.7%	491 88.8%	2 0.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	10 3.4%	29 10.0%	7 2.4%	248 85.5%	1 0.3%
	その他の市	806 100.0%	57 7.1%	78 9.7%	29 3.6%	665 82.5%	2 0.2%

1) (看護体制強化加算の届出が「Ⅱ」の場合)Ⅰの届出をしていない理由

図表3-95 看護体制強化加算の届出が「Ⅱ」の場合:Ⅰの届出をしていない理由(複数回答)(n=140)

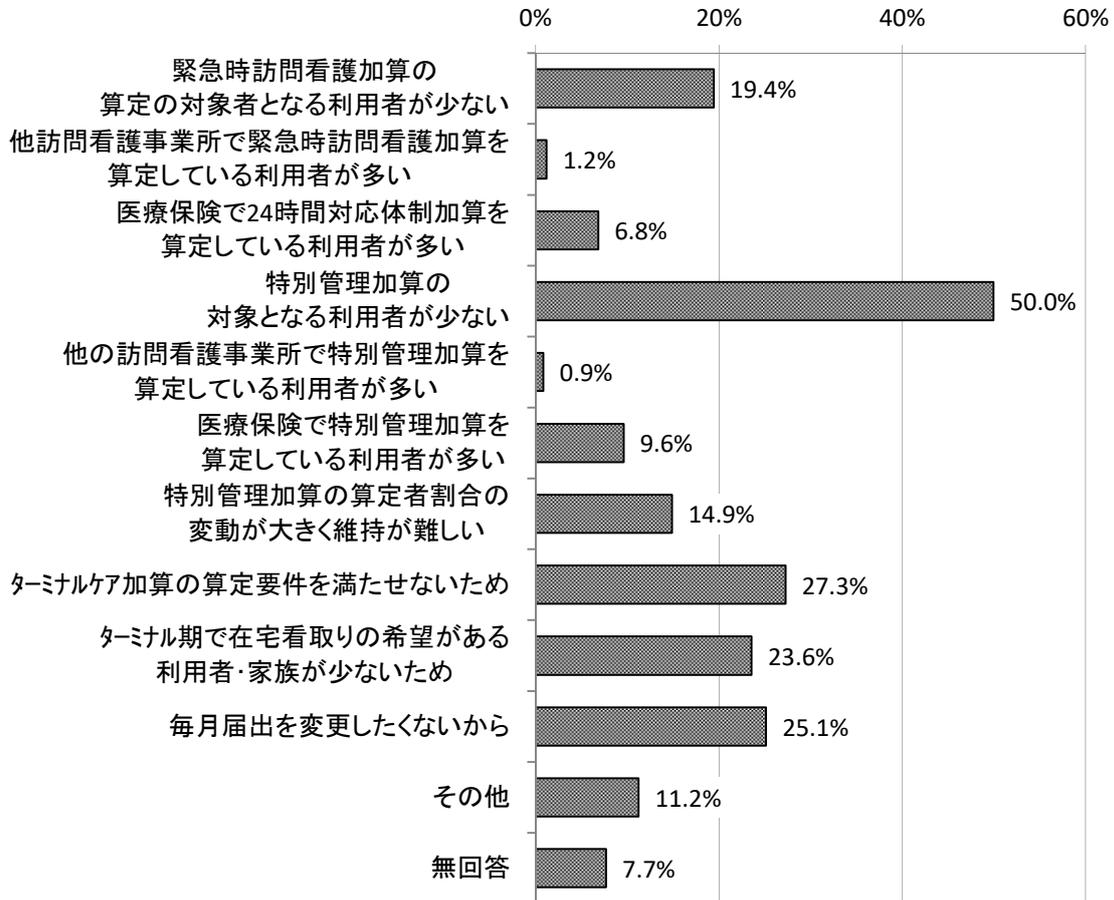
(問 15.⑤-1)



2) (看護体制強化加算の届出が「無」の場合) 届出をしていない理由

図表3-96 看護体制強化加算の届出が「無」の場合:届出をしていない理由(複数回答)(n=1,405)(問

15.⑤-2)



図表3-97 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別  
看護体制強化加算の届出をしていない理由

	合計	Q15⑤2 看護体制強化加算の届出をしていない理由								
		緊急時 訪問看護 加算の算定 の対象者となる 利用者が少ない	他訪問 看護事業所 で緊急時 訪問看護 加算算定している 利用者が多い	医療保 険で24 時間対 応体制 加算を算定している 利用者が多い	特別管 理加算 の対象 となる 利用者が少ない	他の訪 問看護 事業所で特別 管理加算を算定して いる利用者が多い	医療保 険で特別 管理加算を算定して いる利用者が多い	特別管 理加算 の算定 者割合 の変動 が大きく維持 が難しい	ターミナル ケア加算 の算定 要件を 満たせない ため	
全体	1,405 100.0%	273 19.4%	17 1.2%	96 6.8%	702 50.0%	12 0.9%	135 9.6%	209 14.9%	383 27.3%	
Q10(1) ③ 看護 職員： 常勤+ 非常 勤職 員の 常勤 換算 数	3.0人未満	185 100.0%	44 23.8%	7 3.8%	9 4.9%	73 39.5%	5 2.7%	9 4.9%	18 9.7%	38 20.5%
	3.0人以上～ 5.0人未満	565 100.0%	117 20.7%	6 1.1%	38 6.7%	278 49.2%	4 0.7%	45 8.0%	74 13.1%	149 26.4%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	313 100.0%	70 22.4%	5 1.6%	21 6.7%	156 49.8%	2 0.6%	18 5.8%	39 12.5%	67 21.4%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	252 100.0%	47 18.7%	1 0.4%	17 6.7%	122 48.4%	2 0.8%	27 10.7%	35 13.9%	82 32.5%
	5.0人以上～ 7.0人未満	281 100.0%	51 18.1%	1 0.4%	27 9.6%	153 54.4%	0 0.0%	38 13.5%	51 18.1%	89 31.7%
	7.0人以上～ 10.0人未満	172 100.0%	28 16.3%	1 0.6%	6 3.5%	91 52.9%	3 1.7%	23 13.4%	33 19.2%	58 33.7%
	10.0人以上	103 100.0%	14 13.6%	1 1.0%	7 6.8%	62 60.2%	0 0.0%	12 11.7%	19 18.4%	24 23.3%
q 事 業所 と同 一法 人が 有す る訪 問 看護 事業 所数	無	1,030 100.0%	197 19.1%	16 1.6%	75 7.3%	500 48.5%	10 1.0%	104 10.1%	154 15.0%	282 27.4%
	1～2 か所	156 100.0%	31 19.9%	0 0.0%	12 7.7%	83 53.2%	0 0.0%	13 8.3%	22 14.1%	43 27.6%
	3～9 か所	95 100.0%	14 14.7%	0 0.0%	3 3.2%	58 61.1%	0 0.0%	5 5.3%	18 18.9%	27 28.4%
	10 か所以上	65 100.0%	16 24.6%	0 0.0%	1 1.5%	34 52.3%	0 0.0%	5 7.7%	6 9.2%	17 26.2%
Q21 訪問 対象 範囲	12 km超	590 100.0%	124 21.0%	8 1.4%	43 7.3%	298 50.5%	6 1.0%	53 9.0%	84 14.2%	162 27.5%
	12 km以下	603 100.0%	116 19.2%	9 1.5%	35 5.8%	325 53.9%	4 0.7%	67 11.1%	105 17.4%	172 28.5%
地域 性	東京都内と政 令指定都市	491 100.0%	101 20.6%	6 1.2%	39 7.9%	257 52.3%	4 0.8%	51 10.4%	66 13.4%	125 25.5%
	県庁所在地と 中核市	248 100.0%	42 16.9%	4 1.6%	16 6.5%	114 46.0%	1 0.4%	18 7.3%	42 16.9%	72 29.0%
	その他の市	665 100.0%	130 19.5%	7 1.1%	41 6.2%	331 49.8%	7 1.1%	66 9.9%	101 15.2%	186 28.0%

⑥ 複数名訪問加算（Ⅰ及びⅡの合計）

複数名訪問加算の算定実人数は平均 0.4 人であった。

算定延件数は、「身体的理由」が平均 0.7 件、「暴力行為等」が平均 0.1 件、「その他」が平均 0.1 件であった。

複数名訪問したが、加算が算定できなかった延件数は、「身体的理由」が平均 0.3 件、「暴力行為等」が平均 0.0 件、「その他」が平均 0.4 件であった。

算定できなかった理由は、「同意が得られなかった」が平均 0.1 件、「その他」が平均 0.7 件であった。

図表3-98 算定実人数（問 15.⑥）

単位：人

回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
1,397	592	0.4	1.0	0.0

図表3-99 算定延件数（問 15.⑥）

単位：件

	回答件数	合計	平均	標準偏差	中央値
身体的理由	1,397	915	0.7	2.4	0.0
暴力行為等	1,397	90	0.1	0.7	0.0
その他	1,397	137	0.1	1.0	0.0

図表3-100 複数名訪問したが、加算が算定できなかった延件数（問 15.⑥）

単位：件

	回答件数	合計	平均	標準偏差	中央値
身体的理由	655	212	0.3	2.3	0.0
暴力行為等	655	10	0.0	0.2	0.0
その他	655	279	0.4	2.7	0.0

図表3-101 算定できなかった理由（問 15.⑥）

単位：件

	回答件数	合計	平均	標準偏差	中央値
同意が得られなかった	655	34	0.1	0.5	0.0
その他	655	467	0.7	3.9	0.0

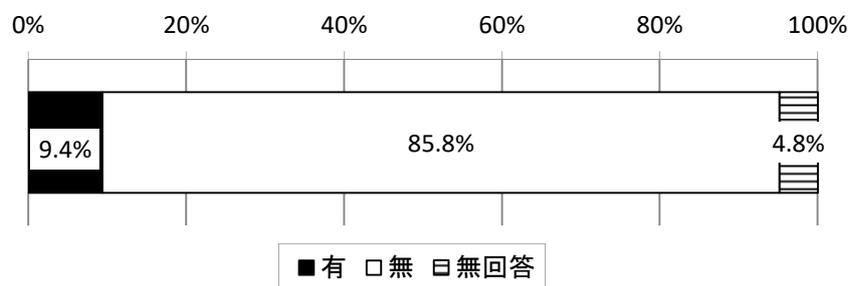
⑦ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供は「有」が9.4%、「無」が85.8%であった。

「有」の場合、提供者数は平均5.6人であった。提供の状況は、「訪問回数に報酬が見合っていない」が41.3%、「介護事業所との連携が上手く取れずやりづらさを感じる」が9.7%であり、「特に問題ない」は34.2%であった。

「無」の場合、連携していない理由は、「周囲に当該事業所がなく依頼がない」が40.6%、「人員の問題から連携依頼を受けることができない」が22.1%であった。

図表3-102 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供の有無  
(n=1,650) (問 15.⑦)

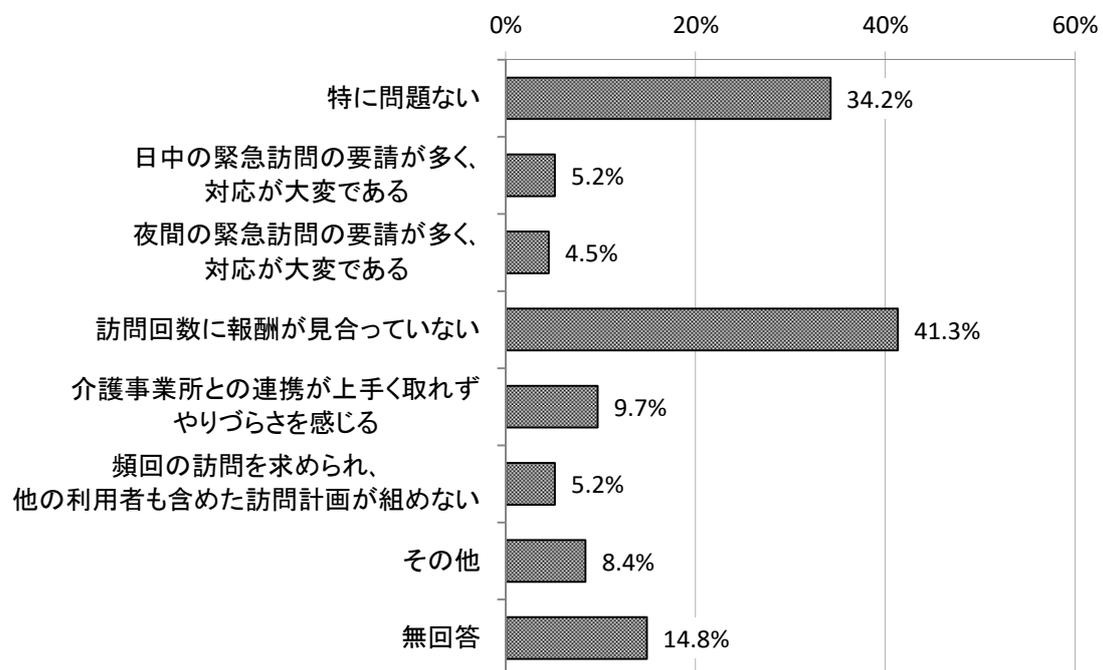


図表3-103 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供が「有」の場合：  
提供者数 (問 15.⑦)

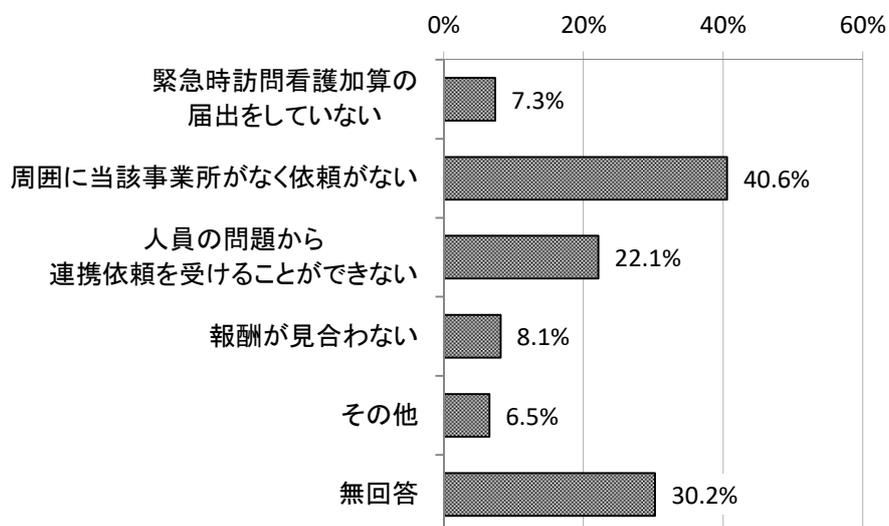
単位：人

回答件数	平均	標準偏差	中央値
144	5.6	14.2	2.0

図表3-104 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供が「有」の場合：  
提供の状況（複数回答）（n=155）（問 15.⑦）



図表3-105 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携した訪問看護の提供が「無」の場合：  
連携していない理由（複数回答）（n=1,415）（問 15.⑦）



⑧ サービス担当者会議

平成 30 年 4 月～9 月の 6 か月間におけるサービス担当者会議への参加回数は、平均 30.1 回であった。

図表3-106 サービス担当者会議への参加回数（問 15.⑧）

単位：回

回答件数	平均	標準偏差	中央値
1,483	30.1	30.9	20.0

### 3. 利用終了者

#### ① 要介護度別訪問看護の利用期間別人数

利用終了者の訪問看護の利用期間について、回答があったのは、1,486事業所から、合計10,966人分の利用者についてであった。

要介護度にかかわらずにみると、「1年以上」の利用者が40.6%であった。一方で、「1か月未満」が11.5%、「1か月以上3か月未満」が14.6%で合わせると終了者の26.1%が3か月未満の利用期間であった。

要介護度別にみると、「要介護5」で「1年以上」が9.5%、「要介護2」で「1年以上」が8.0%であった。

図表3-107 要介護度別：訪問看護の利用期間別 利用終了者数(問16)

単位：人

	1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上	合計
要支援1	55 0.5%	57 0.5%	62 0.6%	64 0.6%	126 1.1%	364 3.3%
要支援2	86 0.8%	104 0.9%	148 1.3%	153 1.4%	259 2.4%	750 6.8%
要介護1	197 1.8%	309 2.8%	237 2.2%	336 3.1%	659 6.0%	1,738 15.8%
要介護2	231 2.1%	310 2.8%	358 3.3%	398 3.6%	882 8.0%	2,179 19.9%
要介護3	209 1.9%	289 2.6%	282 2.6%	337 3.1%	730 6.7%	1,847 16.8%
要介護4	238 2.2%	263 2.4%	283 2.6%	373 3.4%	759 6.9%	1,916 17.5%
要介護5	240 2.2%	266 2.4%	256 2.3%	372 3.4%	1,038 9.5%	2,172 19.8%
合計	1,256 11.5%	1,598 14.6%	1,626 14.8%	2,033 18.5%	4,453 40.6%	10,966 100.0%

注) 回答のあった1,486事業所での合計人数

## ② 要介護度別転帰の理由別人数

利用終了者の転帰の理由について、回答があったのは、1,458 事業所から、合計 9,852 人分の利用者についてであった。

要介護度にかかわらず転帰の理由をみると、「入院・入所」で利用終了した人が 46.5%、「死亡」が 29.2%、「改善」が 13.3%であった。

要介護度別にみると、「要介護 5」で「死亡」が 10.0%、「要介護 2」で「入院・入所」が 9.8%であった。

図表3-108 要介護度別 転帰の理由別人数 (問 16)

単位：人

	死亡	入院・入所	改善	その他	合計
要支援 1	52 0.5%	90 0.9%	118 1.2%	53 0.5%	313 3.2%
要支援 2	90 0.9%	253 2.6%	214 2.2%	119 1.2%	676 6.9%
要介護 1	262 2.7%	701 7.1%	298 3.0%	228 2.3%	1,489 15.1%
要介護 2	434 4.4%	962 9.8%	271 2.8%	241 2.4%	1,908 19.4%
要介護 3	410 4.2%	896 9.1%	192 1.9%	168 1.7%	1,666 16.9%
要介護 4	652 6.6%	853 8.7%	136 1.4%	134 1.4%	1,775 18.0%
要介護 5	981 10.0%	824 8.4%	85 0.9%	135 1.4%	2,025 20.6%
合計	2,881 29.2%	4,579 46.5%	1,314 13.3%	1,078 10.9%	9,852 100.0%

注) 回答のあった 1,458 事業所での合計人数

#### 4. 事業所の運営等の状況

##### (1) 緊急の対応

##### ① 緊急の電話対応、緊急訪問の対応状況（平成30年7月～9月）

###### 1) 営業日

平成30年7月～9月の営業日における緊急の電話対応、緊急訪問の対応状況について、時間帯別にみると、早朝（6～8時）では「電話」が平均2.4件、「訪問」が平均1.3件であり、「訪問」のうち算定件数は平均1.2件であった。

日中（8～18時）では、「電話」が平均14.2件、「訪問」が平均10.1件であり、「訪問」のうち算定件数は平均9.2件であった。

夜間（18～22時）では、「電話」が平均6.8件、「訪問」が平均3.5件であり、「訪問」のうち算定件数は平均3.3件であった。

深夜（22～6時）では、「電話」が平均2.7件、「訪問」が平均1.8件であり、「訪問」のうち算定件数は平均1.8件であった。

図表3-109 時間帯別：対応状況：早朝（6～8時）（問17）

単位：件

	回答件数	合計値	平均	標準偏差	中央値
電話	1,445	3,499	2.4	5.3	0.0
訪問	1,445	1,865	1.3	3.0	0.0
うち、算定件数	1,445	1,712	1.2	2.6	0.0

図表3-110 時間帯別：対応状況：日中（8～18時）（問17）

単位：件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,445	20,538	14.2	37.4	4.0
訪問	1,445	14,530	10.1	23.9	4.0
うち、算定件数	1,445	13,300	9.2	23.7	3.0

図表3-111 時間帯別：対応状況：夜間（18～22時）（問17）

単位：件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,445	9,848	6.8	14.5	2.0
訪問	1,445	5,093	3.5	6.1	1.0
うち、算定件数	1,445	4,825	3.3	6.2	1.0

図表3-112 時間帯別：対応状況：深夜（22～6時）（問17）

単位：件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,445	3,874	2.7	9.0	0.0
訪問	1,445	2,586	1.8	6.3	0.0
うち、算定件数	1,445	2,555	1.8	6.6	0.0

図表3-113 対応状況:対応件数の分布(問17)

No.	カテゴリー名	早朝			日中		
		電話	訪問	うち算定件数	電話	訪問	うち算定件数
1	0件	45.2%	49.5%	52.4%	28.8%	22.5%	28.7%
2	1件	11.5%	15.6%	14.1%	5.3%	8.2%	7.2%
3	2件	8.1%	9.0%	8.5%	4.8%	6.5%	6.0%
4	3件	5.1%	4.3%	4.4%	4.7%	4.8%	3.9%
5	4件	3.7%	3.3%	2.7%	2.1%	3.8%	3.3%
6	5件	2.8%	1.5%	1.4%	4.1%	4.1%	4.0%
7	6件~10件	6.5%	3.1%	3.0%	11.3%	11.8%	10.9%
8	11件~20件	3.3%	1.0%	1.0%	11.2%	13.7%	12.2%
9	21件以上	1.3%	0.2%	0.1%	15.3%	12.2%	11.3%
	無回答	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
	全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

No.	カテゴリー名	夜間			深夜		
		電話	訪問	うち算定件数	電話	訪問	うち算定件数
1	0件	31.6%	30.2%	34.1%	47.1%	46.4%	48.6%
2	1件	7.8%	14.2%	13.5%	12.1%	14.9%	14.1%
3	2件	7.8%	8.8%	8.4%	8.1%	9.0%	8.2%
4	3件	6.0%	7.2%	6.4%	4.6%	4.8%	4.7%
5	4件	4.3%	5.0%	4.5%	3.2%	3.5%	3.3%
6	5件	3.6%	4.5%	4.3%	2.1%	2.4%	2.5%
7	6件~10件	11.3%	10.6%	9.4%	5.8%	4.1%	3.6%
8	11件~20件	8.1%	5.2%	5.0%	3.3%	1.9%	1.9%
9	21件以上	7.1%	1.8%	1.8%	1.3%	0.5%	0.5%
	無回答	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
	全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 2) 営業日以外

平成 30 年 7 月～9 月の営業日以外における緊急の電話対応、緊急訪問の対応状況について、時間帯別にみると、早朝（6～8 時）では、「電話」が平均 1.1 件、「訪問」が平均 0.6 件であり、「訪問」のうち算定件数は平均 0.5 件であった。

日中（8～18 時）では、「電話」が平均 8.1 件、「訪問」が平均 5.2 件であり、「訪問」のうち算定件数は平均 4.8 件であった。

夜間（18～22 時）では、「電話」が平均 2.8 件、「訪問」が平均 1.4 件であり、「訪問」のうち算定件数は平均 1.3 件であった。

深夜（22～6 時）では、「電話」が平均 1.1 件、「訪問」が平均 0.7 件であり、「訪問」のうち算定件数は平均 0.7 件であった。

図表3-114 時間帯別:対応状況:早朝(6～8時)(問17)

単位:件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,321	1,423	1.1	2.8	0.0
訪問	1,321	763	0.6	1.6	0.0
うち、算定件数	1,321	714	0.5	1.3	0.0

図表3-115 時間帯別:対応状況:日中(8～18時)(問17)

単位:件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,321	10,710	8.1	16.5	3.0
訪問	1,321	6,856	5.2	9.7	2.0
うち、算定件数	1,321	6,326	4.8	9.4	2.0

図表3-116 時間帯別:対応状況:夜間(18～22時)(問17)

単位:件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,321	3,715	2.8	5.4	1.0
訪問	1,321	1,841	1.4	2.6	0.0
うち、算定件数	1,321	1,782	1.3	2.7	0.0

図表3-117 時間帯別:対応状況:深夜(22～6時)(問17)

単位:件

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
電話	1,321	1,444	1.1	2.9	0.0
訪問	1,321	923	0.7	2.1	0.0
うち、算定件数	1,321	868	0.7	1.5	0.0

図表3-118 対応状況:対応件数の分布 (問 17)

No.	カテゴリー名	早朝			日中		
		電話	訪問	うち算定件数	電話	訪問	うち算定件数
1	0件	52.6%	56.7%	57.9%	28.5%	24.8%	29.1%
2	1件	11.0%	13.0%	12.2%	6.0%	10.4%	9.6%
3	2件	6.4%	5.6%	5.5%	5.4%	8.4%	7.6%
4	3件	3.5%	2.4%	2.2%	4.6%	6.2%	5.4%
5	4件	2.1%	1.3%	1.1%	4.5%	5.3%	5.2%
6	5件	1.1%	0.5%	0.6%	3.5%	3.0%	2.5%
7	6件～10件	2.1%	0.3%	0.4%	9.9%	10.5%	10.0%
8	11件～20件	0.8%	0.1%	0.2%	9.3%	7.2%	6.7%
9	21件以上	0.4%	0.1%	0.1%	8.3%	4.2%	3.9%
	無回答	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%
	全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

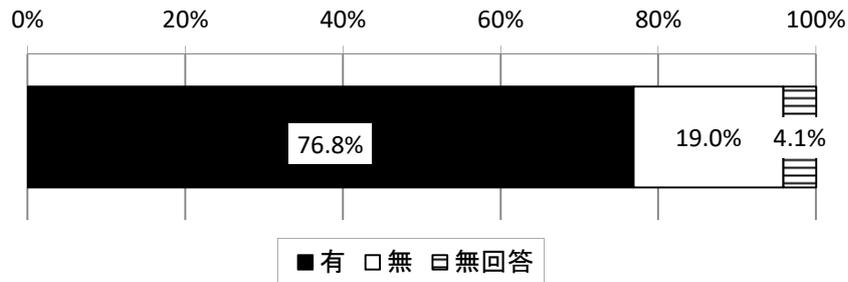
No.	カテゴリー名	夜間			深夜		
		電話	訪問	うち算定件数	電話	訪問	うち算定件数
1	0件	38.1%	42.0%	44.5%	53.8%	53.8%	54.7%
2	1件	9.8%	15.2%	14.0%	10.5%	14.4%	14.0%
3	2件	8.6%	8.8%	7.6%	5.6%	5.4%	5.3%
4	3件	4.8%	4.6%	4.2%	3.3%	3.3%	2.9%
5	4件	3.5%	3.0%	3.3%	1.9%	1.2%	1.3%
6	5件	2.9%	1.8%	1.6%	1.3%	1.0%	0.8%
7	6件～10件	7.5%	3.6%	3.5%	2.1%	0.8%	0.8%
8	11件～20件	3.4%	1.0%	1.0%	1.3%	0.2%	0.2%
9	21件以上	1.6%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%
	無回答	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%
	全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 夜間対応の手当の有無

夜間対応の手当は「有」が76.8%であった。「有」の場合、一日あたりの手当の金額は、「待機」は平均2,384.5円であった。

「出勤した場合」は1訪問あたりで設定されている場合は、平均4,066.0円、1時間あたりで設定されている場合は、平均2693.3円であった。

図表3-119 夜間対応の手当の有無 (n=1,650) (問 18)



図表3-120 夜間対応の手当の金額 (問 18)

単位：円/日

	回答件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
待機	1,016	2,384.5	3,288.6	2,000.0	50,000	0

図表3-121 夜間対応の手当の金額 (問 18)

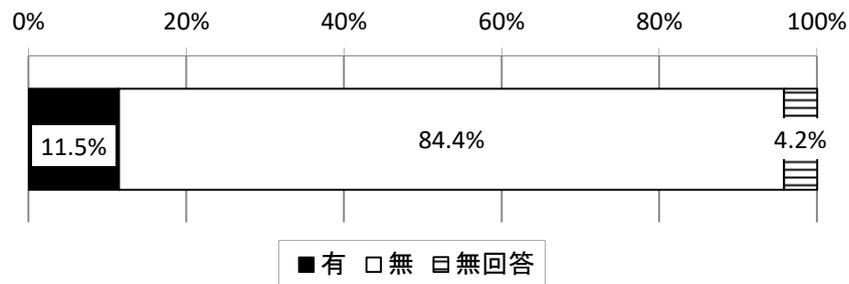
単位：円

	回答件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
1 訪問単位	75	4,066.0	1,783	4,000.0	10,000	1,000
1 時間単位	62	2,693.3	1,313	2,275.0	6,900	1,000

(2) 医療機関や介護保険施設からの退院・退所日に、介護保険における必要な訪問看護が提供できなかったことの有無

医療機関や介護保険施設からの退院・退所日に、介護保険における必要な訪問看護が提供できなかったことは、「有」が11.5%であった。「有」の場合、その人数は平均2.9人であった。

図表3-122 介護保険における必要な訪問看護が提供できなかったことの有無 (n=1,650) (問 19)



図表3-123 介護保険における必要な訪問看護が提供できなかった人数 (問 19)

単位：人

回答件数	平均	標準偏差	中央値
179	2.9	2.8	2.0

### (3) 訪問看護の記録にかかる時間

訪問看護の記録にかかる時間は、「日々の記録にかかった時間」は1日あたり平均46.3分、「日々の記録以外の利用者の記録にかかった時間」は平均55.0分であった。

図表3-124 訪問看護の記録にかかる時間 (問 20.①-③)

単位：分/日

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
日々の記録にかかった時間	1,456	46.3	25.0	40.0
日々の記録以外の利用者の記録にかかった時間	1,456	55.0	49.6	40.0

図表3-125 日々の記録にかかった時間の分布 (問 20.①)

No.	カテゴリー名	n	%
1	15分以内	111	6.7%
2	16分～30分	473	28.7%
3	31分～45分	235	14.2%
4	46分～60分	460	27.9%
5	61分以上	177	10.7%
	無回答	194	11.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-126 日々の記録以外の利用者の記録にかかった時間の分布 (問 20.①)

No.	カテゴリー名	n	%
1	15分以内	207	12.5%
2	16分～30分	490	29.7%
3	31分～45分	78	4.7%
4	46分～60分	400	24.2%
5	61分以上	281	17.0%
	無回答	194	11.8%
	全体	1,650	100.0%

#### (4) 訪問対象の範囲

##### ① 訪問対象としている地域の範囲

訪問対象としている地域の範囲は、事業所からの距離が平均 15.3 キロ以内であった。

図表3-127 訪問対象としている地域：事業所からの距離（問 21）

単位：キロ以内

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体		1,405	15.3	12.8	12.0	200.0	0.1
Q10(1)③ 看護職員： 常勤+非常 勤職員の常 勤換算数	3.0 人未満	160	15.2	9.9	15.0	70.0	0.1
	3.0 人以上～5.0 人未満	542	16.0	12.5	15.0	120.0	1.0
	再掲 3.0 人以上 4.0 人未満	284	15.9	11.6	15.0	80.0	1.0
	再掲 4.0 人以上 5.0 人未満	258	16.0	13.5	15.0	120.0	1.0
	5.0 人以上～7.0 人未満	303	14.4	11.1	10.0	70.0	0.1
	7.0 人以上～ 10.0 人未満	194	15.4	12.8	10.0	100.0	2.0
	10.0 人以上	109	14.6	10.9	12.0	50.0	2.0
事業所と同 一法人が有 する訪問看 護事業所数	無	1,009	15.4	11.1	15.0	100.0	0.1
	1～2 か所	166	14.8	18.2	10.0	200.0	1.0
	3～9 か所	100	13.4	13.6	10.0	120.0	2.0
	10 か所以上	74	14.6	13.2	10.0	70.0	2.0
訪問対象の 範囲	12 km超	698	23.8	13.3	20.0	200.0	13.0
	12 km以下	707	7.0	3.1	7.0	12.0	0.1
地域性	東京都内と政令 指定都市	478	9.3	9.1	6.0	120.0	1.0
	県庁所在地と中 核市	243	16.4	11.3	15.0	100.0	0.1
	その他の市	683	19.1	13.9	16.0	200.0	0.1

図表3-128 訪問対象としている地域：事業所からの距離の分布（問 21）

No.	カテゴリー名	n	%
1	5 km未満	171	10.4%
2	5 km以上～10 km未満	233	14.1%
3	10 km以上～15 km未満	320	19.4%
4	15 km以上～20 km未満	215	13.0%
5	20 km以上～30 km未満	284	17.2%
6	30 km以上	182	11.0%
	無回答	245	14.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-129 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

訪問対象としている地域：事業所からの距離

		合計	Q21 訪問対象範囲						無回答
			5 km未 満	5 km以 上～10 km未満	10 km 以上～ 15 km 未満	15 km 以上～ 20 km 未満	20 km 以上～ 30 km 未満	30 km 以上	
全体		1,650 100.0%	171 10.4%	233 14.1%	320 19.4%	215 13.0%	284 17.2%	182 11.0%	245 14.8%
Q10(1) ③ 看 護職 員：常 勤+非 常勤職 員の常 勤換算 数	3.0人未満	199 100.0%	16 8.0%	23 11.6%	39 19.6%	22 11.1%	37 18.6%	23 11.6%	39 19.6%
	3.0人以上～ 5.0人未満	630 100.0%	65 10.3%	81 12.9%	111 17.6%	88 14.0%	120 19.0%	77 12.2%	88 14.0%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	32 9.4%	46 13.6%	59 17.4%	41 12.1%	64 18.9%	42 12.4%	55 16.2%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	33 11.3%	35 12.0%	52 17.9%	47 16.2%	56 19.2%	35 12.0%	33 11.3%
	5.0人以上～ 7.0人未満	347 100.0%	42 12.1%	49 14.1%	77 22.2%	48 13.8%	54 15.6%	33 9.5%	44 12.7%
	7.0人以上～ 10.0人未満	226 100.0%	22 9.7%	32 14.2%	50 22.1%	26 11.5%	37 16.4%	27 11.9%	32 14.2%
	10.0人以上	130 100.0%	16 12.3%	19 14.6%	22 16.9%	16 12.3%	25 19.2%	11 8.5%	21 16.2%
Q7sq 事業所 と同一 法人が 他に有 する訪 問看護 事業所 数	無	1,182 100.0%	113 9.6%	165 14.0%	216 18.3%	167 14.1%	210 17.8%	138 11.7%	173 14.6%
	1～2か所	191 100.0%	20 10.5%	33 17.3%	51 26.7%	14 7.3%	28 14.7%	20 10.5%	25 13.1%
	3～9か所	118 100.0%	20 16.9%	13 11.0%	23 19.5%	23 19.5%	15 12.7%	6 5.1%	18 15.3%
	10か所以上	88 100.0%	12 13.6%	16 18.2%	16 18.2%	5 5.7%	19 21.6%	6 6.8%	14 15.9%
Q21 訪 問対象 範囲	12 km超	698 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 2.4%	215 30.8%	284 40.7%	182 26.1%	0 0.0%
	12 km以下	707 100.0%	171 24.2%	233 33.0%	303 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域性	東京都内と政 令指定都市	553 100.0%	137 24.8%	134 24.2%	101 18.3%	46 8.3%	44 8.0%	16 2.9%	75 13.6%
	県庁所在地と 中核市	290 100.0%	14 4.8%	27 9.3%	67 23.1%	53 18.3%	49 16.9%	33 11.4%	47 16.2%
	その他の市	806 100.0%	20 2.5%	72 8.9%	151 18.7%	116 14.4%	191 23.7%	133 16.5%	123 15.3%

図表3-130 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

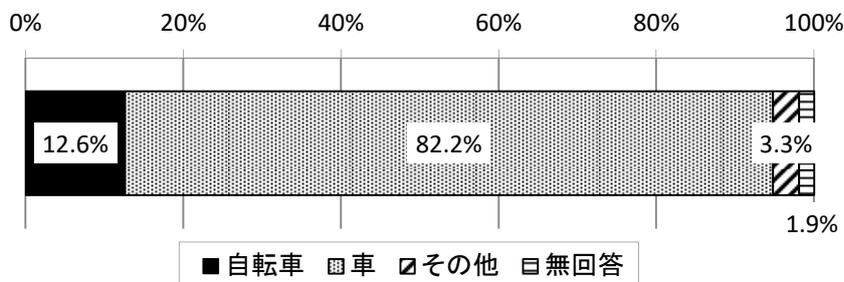
訪問対象としている地域：事業所からの距離

		合計	Q21 訪問対象範囲		
			12 km超	12 km以下	無回答
全体		1,650 100.0%	698 42.3%	707 42.8%	245 14.8%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	83 41.7%	77 38.7%	39 19.6%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	288 45.7%	254 40.3%	88 14.0%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	149 44.0%	135 39.8%	55 16.2%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	139 47.8%	119 40.9%	33 11.3%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	140 40.3%	163 47.0%	44 12.7%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	93 41.2%	101 44.7%	32 14.2%
	10.0人以上	130 100.0%	54 41.5%	55 42.3%	21 16.2%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	527 44.6%	482 40.8%	173 14.6%
	1～2か所	191 100.0%	66 34.6%	100 52.4%	25 13.1%
	3～9か所	118 100.0%	44 37.3%	56 47.5%	18 15.3%
	10か所以上	88 100.0%	30 34.1%	44 50.0%	14 15.9%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	109 19.7%	369 66.7%	75 13.6%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	139 47.9%	104 35.9%	47 16.2%
	その他の市	806 100.0%	450 55.8%	233 28.9%	123 15.3%

② 事業所からの移動に一番時間を要する利用者宅までの移動手段、移動時間

事業所からの移動に一番時間を要する利用者宅までの移動手段は「車」が82.2%、移動時間は平均30.5分であった。

図表3-131 移動に一番時間を要する利用者宅までの移動手段 (n=1,650) (問 22)



図表3-132 移動に一番時間を要する利用者宅までの移動時間 (問 22)

単位：分

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体		1,446	30.5	12.2	30.0	110.0	0.0
Q10(1)③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	180	30.4	13.5	30.0	110.0	1.0
	3.0人以上～5.0人未満	562	30.0	11.8	30.0	75.0	0.0
	再掲3.0人以上4.0人未満	307	30.5	12.6	30.0	75.0	1.0
	再掲4.0人以上5.0人未満	255	29.3	10.6	30.0	75.0	0.0
	5.0人以上～7.0人未満	300	31.1	12.5	30.0	90.0	1.0
	7.0人以上～10.0人未満	193	31.7	12.5	30.0	80.0	1.0
	10.0人以上	118	31.1	10.9	30.0	60.0	5.0
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,041	30.6	12.2	30.0	110.0	0.0
	1～2か所	169	28.7	11.7	30.0	80.0	1.0
	3～9か所	100	29.9	10.8	30.0	60.0	2.0
	10か所以上	76	31.4	12.5	30.0	80.0	3.0
Q21 訪問対象としている地域の距離範囲(キロ以内)	12km超	635	35.2	12.9	30.0	110.0	5.0
	12km以下	631	25.6	8.6	25.0	60.0	1.0
地域性	東京都内と政令指定都市	480	28.2	11.1	30.0	90.0	2.0
	県庁所在地と中核市	250	31.5	12.4	30.0	75.0	1.0
	その他の市	715	31.7	12.6	30.0	110.0	0.0

図表3-133 移動に一番時間を要する利用者宅までの移動時間の分布（問 22）

No.	カテゴリー名	n	%
1	10 分未満	22	1.3%
2	10 分以上～20 分未満	108	6.5%
3	20 分以上～30 分未満	410	24.8%
4	30 分以上～40 分未満	543	32.9%
5	40 分以上～50 分未満	246	14.9%
6	50 分以上～60 分未満	41	2.5%
7	60 分以上	76	4.6%
	無回答	204	12.4%
	全体	1,650	100.0%

## (5) 地域活動等

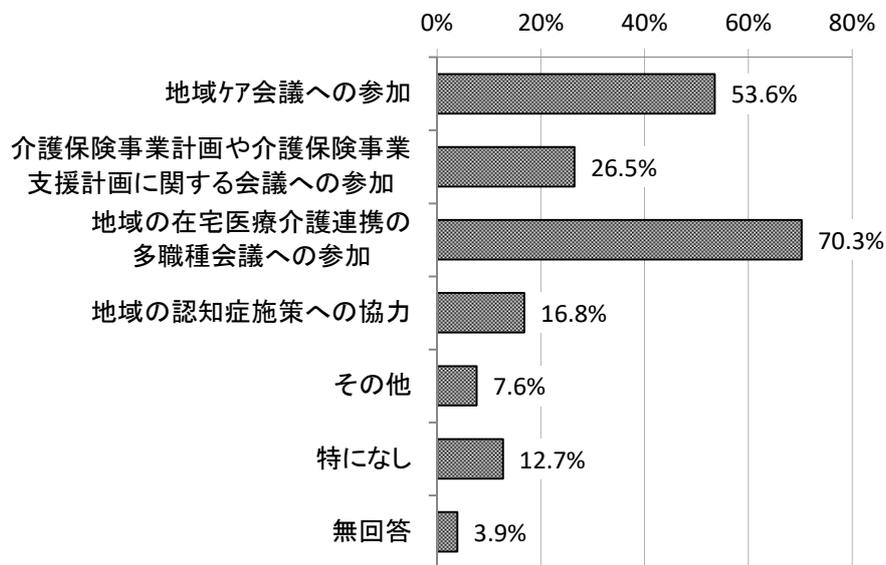
### ① 自治体の事業への協力または自治体が開催する会議への参加状況（平成 29 年度）

自治体の事業への協力または自治体が開催する会議への参加状況は、「地域の在宅医療介護連携の多職種会議への参加」が 70.3%、「地域ケア会議への参加」が 53.6%であった。

「地域ケア会議」への参加がある場合、参加回数は平均 3.7 回であった。

「地域の認知症対策への協力」をしている場合、協力内容は「認知症初期集中支援チームへの協力」が 41.4%、「認知症疾患医療センター等の認知症に関する専門医療機関との連携」が 25.2%であった。

図表3-134 自治体の事業への協力または自治体が開催する会議への参加状況（平成 29 年度）（複数回答）(n=1,650) (問 23)



図表3-135 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別  
自治体が開催する会議への参加について平成29年度に実績のあるもの

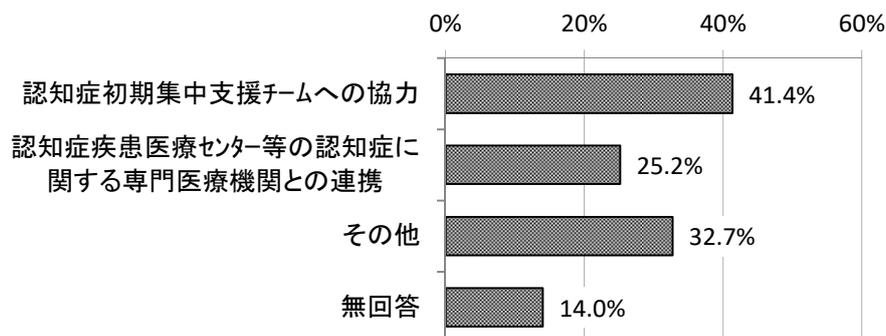
		合計	Q23 自治体が開催する会議への参加について平成29年度に実績のあるもの						無回答
			地域ケア会議への参加	介護保険事業計画や介護保険事業支援計画に関する会議への参加	地域の在宅医療介護連携の多職種会議への参加	地域の認知症施策への協力	その他	特になし	
全体		1,650 100.0%	884 53.6%	437 26.5%	1,160 70.3%	278 16.8%	126 7.6%	210 12.7%	65 3.9%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	83 41.7%	41 20.6%	129 64.8%	22 11.1%	14 7.0%	37 18.6%	6 3.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	324 51.4%	156 24.8%	433 68.7%	86 13.7%	47 7.5%	102 16.2%	17 2.7%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	170 50.1%	77 22.7%	227 67.0%	38 11.2%	31 9.1%	61 18.0%	8 2.4%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	154 52.9%	79 27.1%	206 70.8%	48 16.5%	16 5.5%	41 14.1%	9 3.1%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	189 54.5%	101 29.1%	250 72.0%	61 17.6%	24 6.9%	35 10.1%	18 5.2%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	126 55.8%	71 31.4%	170 75.2%	53 23.5%	25 11.1%	19 8.4%	12 5.3%
	10.0人以上	130 100.0%	91 70.0%	39 30.0%	104 80.0%	36 27.7%	10 7.7%	6 4.6%	5 3.8%
Q7sq 同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	611 51.7%	310 26.2%	819 69.3%	183 15.5%	95 8.0%	164 13.9%	45 3.8%
	1～2か所	191 100.0%	96 50.3%	43 22.5%	132 69.1%	36 18.8%	12 6.3%	28 14.7%	11 5.8%
	3～9か所	118 100.0%	72 61.0%	42 35.6%	92 78.0%	25 21.2%	8 6.8%	8 6.8%	3 2.5%
	10か所以上	88 100.0%	60 68.2%	22 25.0%	63 71.6%	18 20.5%	8 9.1%	6 6.8%	4 4.5%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	373 53.4%	194 27.8%	502 71.9%	115 16.5%	59 8.5%	91 13.0%	23 3.3%
	12km以下	707 100.0%	396 56.0%	189 26.7%	508 71.9%	130 18.4%	49 6.9%	88 12.4%	16 2.3%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	296 53.5%	134 24.2%	380 68.7%	111 20.1%	44 8.0%	70 12.7%	17 3.1%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	131 45.2%	70 24.1%	177 61.0%	33 11.4%	13 4.5%	59 20.3%	16 5.5%
	その他の市	806 100.0%	457 56.7%	233 28.9%	603 74.8%	134 16.6%	69 8.6%	80 9.9%	32 4.0%

図表3-136 「地域ケア会議への参加」がある場合：参加回数（問 23）

単位：回

回答件数	平均	標準偏差	中央値
769	3.7	5.3	2.0

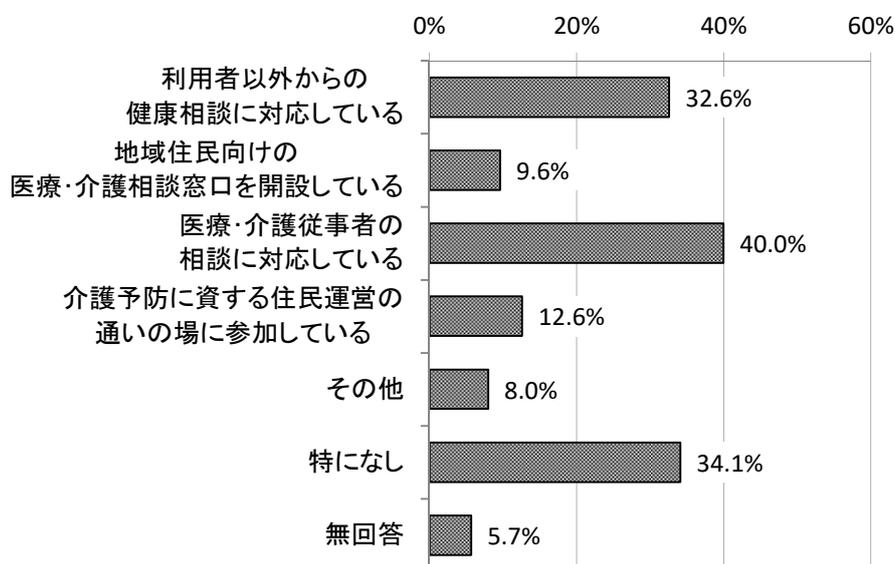
図表3-137 「地域の認知症施策への協力」をしている場合：協力内容（複数回答）(n=278)（問 23）



② その他の地域活動の実施状況（平成 29 年度）

その他の地域活動の実施状況は、「医療・介護従事者の相談に対応している」が 40.0%、「利用者以外からの健康相談に対応している」が 32.6%であった。

図表3-138 その他の地域活動の実施状況（平成 29 年度）（複数回答）(n=1,650)（問 24）



図表3-139 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

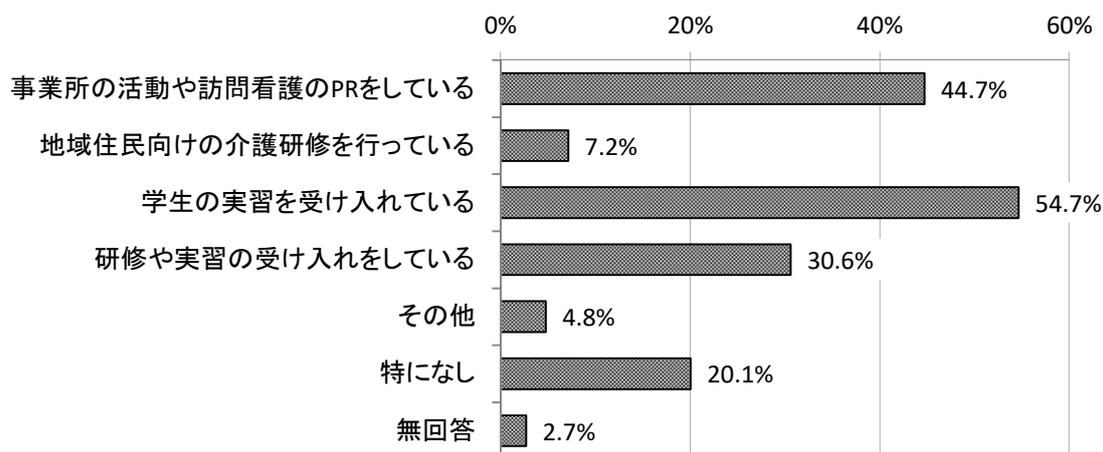
その他の地域活動について平成 29 年度に実施したもの

		合計	Q24 その他の地域活動について平成 29 年度に実施したもの						
			利用者 以外か らの健 康相談 に対応 してい る	地域住 民向け の医 療・介 護相談 窓口を 開設し ている	医療・ 介護従 事者の 相談に 対応し ている	介護予 防に資 する住 民運営 の通い の場に 参加し ている	その他	特にな し	無回答
全体		1,650 100.0%	538 32.6%	159 9.6%	660 40.0%	208 12.6%	132 8.0%	563 34.1%	94 5.7%
Q10(1) ③ 看 護職 員:常 勤+非 常勤職 員の常 勤換算 数	3.0 人未満	199 100.0%	51 25.6%	14 7.0%	62 31.2%	19 9.5%	17 8.5%	86 43.2%	14 7.0%
	3.0 人以上～ 5.0 人未満	630 100.0%	199 31.6%	41 6.5%	227 36.0%	68 10.8%	41 6.5%	250 39.7%	33 5.2%
	再掲 3.0 人以上 4.0 人未満	339 100.0%	105 31.0%	23 6.8%	123 36.3%	35 10.3%	22 6.5%	136 40.1%	16 4.7%
	再掲 4.0 人以上 5.0 人未満	291 100.0%	94 32.3%	18 6.2%	104 35.7%	33 11.3%	19 6.5%	114 39.2%	17 5.8%
	5.0 人以上～ 7.0 人未満	347 100.0%	111 32.0%	33 9.5%	139 40.1%	37 10.7%	30 8.6%	108 31.1%	18 5.2%
	7.0 人以上～ 10.0 人未満	226 100.0%	82 36.3%	34 15.0%	111 49.1%	42 18.6%	22 9.7%	57 25.2%	14 6.2%
	10.0 人以上	130 100.0%	56 43.1%	26 20.0%	74 56.9%	28 21.5%	14 10.8%	22 16.9%	4 3.1%
Q7sq 事業所 と同一 法人が 他に有 する訪 問看護 事業所 数	無	1,182 100.0%	391 33.1%	104 8.8%	468 39.6%	148 12.5%	91 7.7%	419 35.4%	66 5.6%
	1～2 か所	191 100.0%	59 30.9%	23 12.0%	86 45.0%	20 10.5%	13 6.8%	64 33.5%	11 5.8%
	3～9 か所	118 100.0%	44 37.3%	17 14.4%	46 39.0%	24 20.3%	8 6.8%	31 26.3%	6 5.1%
	10 か所以上	88 100.0%	20 22.7%	9 10.2%	33 37.5%	9 10.2%	12 13.6%	27 30.7%	6 6.8%
Q21 訪 問対象 範囲	12 km 超	698 100.0%	234 33.5%	71 10.2%	280 40.1%	87 12.5%	58 8.3%	246 35.2%	29 4.2%
	12 km 以下	707 100.0%	247 34.9%	69 9.8%	288 40.7%	101 14.3%	63 8.9%	232 32.8%	34 4.8%
地域性	東京都内と政 令指定都市	553 100.0%	193 34.9%	59 10.7%	232 42.0%	76 13.7%	47 8.5%	173 31.3%	28 5.1%
	県庁所在地と 中核市	290 100.0%	95 32.8%	25 8.6%	123 42.4%	36 12.4%	15 5.2%	102 35.2%	12 4.1%
	その他の市	806 100.0%	250 31.0%	75 9.3%	305 37.8%	96 11.9%	70 8.7%	287 35.6%	54 6.7%

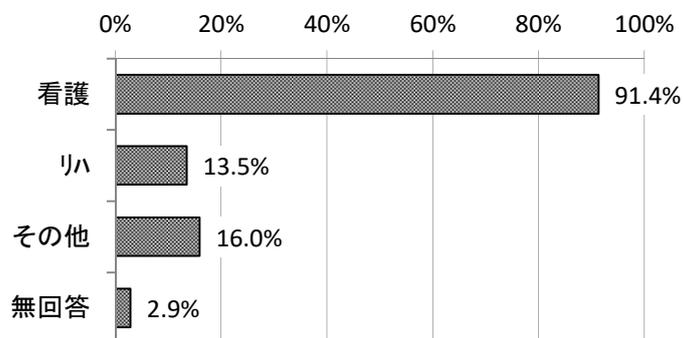
### ③ 訪問看護に関する啓発、研修活動の実績（平成 29 年度）

訪問看護に関する啓発、研修活動の実績は、「学生の実習を受け入れている」が 54.7%、「事業所の活動や訪問看護の PR をしている」が 44.7%であった。「学生の実習を受け入れている」場合、受け入れている学生は「看護」が 91.4%であった。

図表3-140 訪問看護に関する啓発、研修活動の実績(平成 29 年度) (複数回答) (n=1,650) (問 25)



図表3-141 「学生の実習を受け入れている」場合:受け入れている学生 (複数回答) (n=902) (問 25)



図表3-142 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

訪問看護に関する啓発、研修活動の実績(平成 29 年度)

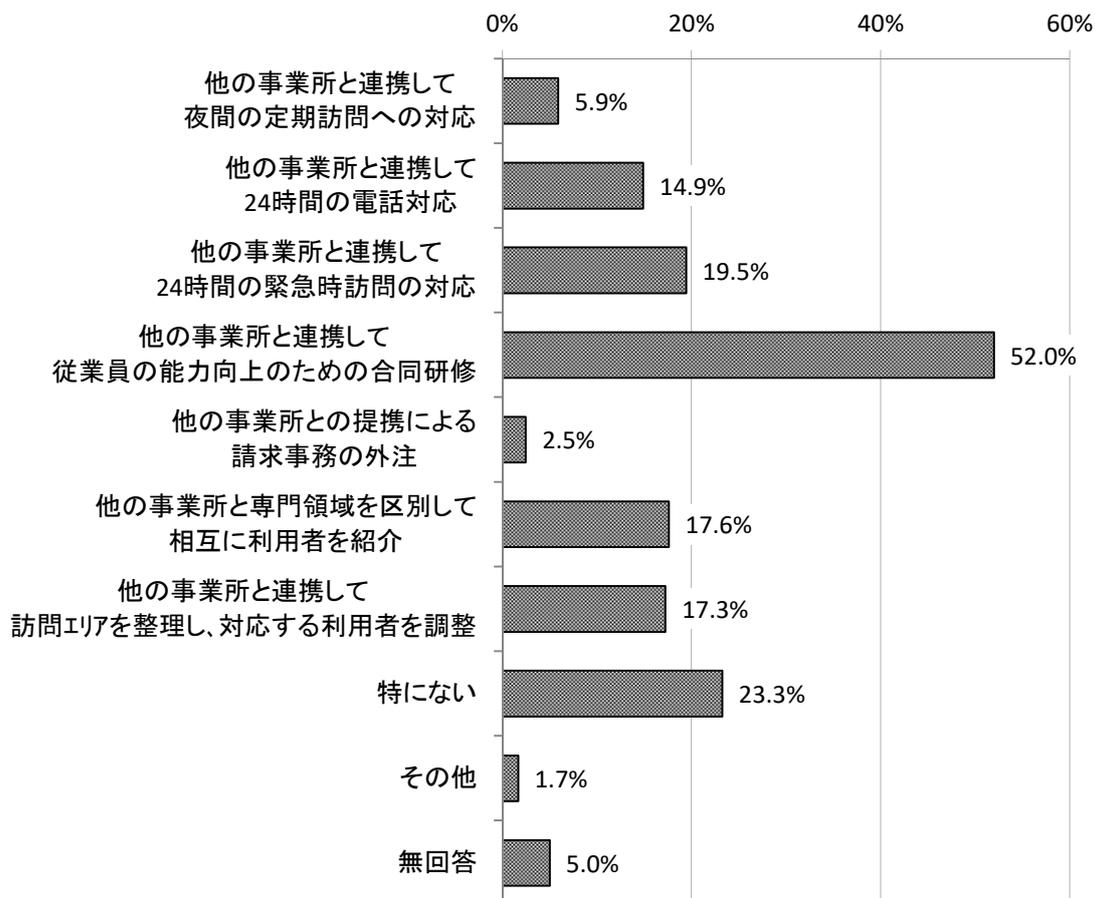
		合計	Q25 訪問看護に関する啓発、研修活動の実績(平成 29 年度)						無回答
			事業所の活動や訪問看護のPRをしている	地域住民向けの介護研修を行っている	学生の実習を受け入れている	研修や実習の受け入れをしている	その他	特になし	
	全体	1,650 100.0%	738 44.7%	118 7.2%	902 54.7%	505 30.6%	79 4.8%	331 20.1%	45 2.7%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	80 40.2%	9 4.5%	51 25.6%	24 12.1%	12 6.0%	72 36.2%	8 4.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	263 41.7%	29 4.6%	281 44.6%	134 21.3%	20 3.2%	163 25.9%	19 3.0%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	138 40.7%	16 4.7%	131 38.6%	61 18.0%	10 2.9%	94 27.7%	10 2.9%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	125 43.0%	13 4.5%	150 51.5%	73 25.1%	10 3.4%	69 23.7%	9 3.1%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	177 51.0%	30 8.6%	233 67.1%	122 35.2%	14 4.0%	39 11.2%	10 2.9%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	102 45.1%	23 10.2%	176 77.9%	121 53.5%	15 6.6%	21 9.3%	1 0.4%
	10.0人以上	130 100.0%	67 51.5%	19 14.6%	107 82.3%	76 58.5%	12 9.2%	7 5.4%	1 0.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	511 43.2%	75 6.3%	590 49.9%	320 27.1%	57 4.8%	266 22.5%	34 2.9%
	1～2か所	191 100.0%	77 40.3%	16 8.4%	123 64.4%	68 35.6%	13 6.8%	35 18.3%	5 2.6%
	3～9か所	118 100.0%	63 53.4%	16 13.6%	88 74.6%	61 51.7%	4 3.4%	10 8.5%	1 0.8%
	10か所以上	88 100.0%	44 50.0%	6 6.8%	60 68.2%	33 37.5%	3 3.4%	13 14.8%	3 3.4%
Q21 訪問対象範囲	12 km超	698 100.0%	316 45.3%	53 7.6%	393 56.3%	212 30.4%	36 5.2%	137 19.6%	9 1.3%
	12 km以下	707 100.0%	314 44.4%	56 7.9%	397 56.2%	230 32.5%	30 4.2%	135 19.1%	17 2.4%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	244 44.1%	38 6.9%	303 54.8%	177 32.0%	22 4.0%	105 19.0%	18 3.3%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	121 41.7%	21 7.2%	160 55.2%	82 28.3%	12 4.1%	57 19.7%	9 3.1%
	その他の市	806 100.0%	373 46.3%	59 7.3%	439 54.5%	246 30.5%	45 5.6%	168 20.8%	18 2.2%

#### ④ 他の介護サービス事業者等との連携により今後取り組みそうなこと

他の介護サービス事業者等との連携により今後取り組みそうなことは、「他の事業所と連携して従業員の能力向上のための合同研修」が52.0%、「他の事業所と連携して24時間の緊急時訪問の対応」が19.5%であった。

図表3-143 他の介護サービス事業者等との連携により今後取り組みそうなこと（複数回答）(n=1,650)

(問 26)



図表3-144 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別  
他の介護サービス事業所等との連携により今後取り組みそうなこと

		Q26 他の介護サービス事業所等との連携により今後取り組みそうなこと										
		合計	他の事業所と連携して夜間の定期訪問への対応	他の事業所と連携して24時間の電話対応	他の事業所と連携して24時間の緊急時訪問の対応	他の事業所と連携して従業員の能力向上のための合同研修	他の事業所との提携による請求事務の外注	他の事業所と専門領域を区別して相互に利用者を紹介	他の事業所と連携して訪問エリアを整理し、対応する利用者を調整	特にな	その他	無回答
		1,650 100.0%	98 5.9%	246 14.9%	321 19.5%	858 52.0%	41 2.5%	291 17.6%	285 17.3%	384 23.3%	28 1.7%	83 5.0%
Q10(1)③ 看護職員： 常勤+非常勤 職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	14 7.0%	29 14.6%	34 17.1%	97 48.7%	7 3.5%	29 14.6%	32 16.1%	59 29.6%	4 2.0%	5 2.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	39 6.2%	91 14.4%	109 17.3%	324 51.4%	20 3.2%	108 17.1%	101 16.0%	155 24.6%	10 1.6%	30 4.8%
	再掲3.0人以上4.0人未満	339 100.0%	20 5.9%	49 14.5%	58 17.1%	172 50.7%	11 3.2%	60 17.7%	42 12.4%	85 25.1%	5 1.5%	14 4.1%
	再掲4.0人以上5.0人未満	291 100.0%	19 6.5%	42 14.4%	51 17.5%	152 52.2%	9 3.1%	48 16.5%	59 20.3%	70 24.1%	5 1.7%	16 5.5%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	14 4.0%	52 15.0%	74 21.3%	185 53.3%	6 1.7%	65 18.7%	63 18.2%	72 20.7%	4 1.2%	19 5.5%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	14 6.2%	36 15.9%	59 26.1%	128 56.6%	5 2.2%	51 22.6%	46 20.4%	46 20.4%	5 2.2%	12 5.3%
	10.0人以上	130 100.0%	9 6.9%	16 12.3%	21 16.2%	72 55.4%	1 0.8%	23 17.7%	26 20.0%	30 23.1%	2 1.5%	6 4.6%
事業所と同一法人が有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	81 6.9%	191 16.2%	231 19.5%	605 51.2%	34 2.9%	209 17.7%	189 16.0%	281 23.8%	22 1.9%	54 4.6%
	1～2か所	191 100.0%	4 2.1%	17 8.9%	35 18.3%	94 49.2%	0 0.0%	34 17.8%	37 19.4%	51 26.7%	3 1.6%	8 4.2%
	3～9か所	118 100.0%	7 5.9%	20 16.9%	28 23.7%	70 59.3%	4 3.4%	21 17.8%	31 26.3%	17 14.4%	2 1.7%	5 4.2%
	10か所以上	88 100.0%	3 3.4%	10 11.4%	14 15.9%	53 60.2%	3 3.4%	15 17.0%	17 19.3%	20 22.7%	1 1.1%	7 8.0%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	45 6.4%	105 15.0%	135 19.3%	377 54.0%	17 2.4%	117 16.8%	122 17.5%	159 22.8%	16 2.3%	25 3.6%
	12km以下	707 100.0%	43 6.1%	115 16.3%	143 20.2%	375 53.0%	18 2.5%	133 18.8%	130 18.4%	169 23.9%	7 1.0%	25 3.5%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	31 5.6%	84 15.2%	104 18.8%	302 54.6%	17 3.1%	106 19.2%	96 17.4%	133 24.1%	3 0.5%	19 3.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	17 5.9%	40 13.8%	55 19.0%	137 47.2%	7 2.4%	55 19.0%	49 16.9%	61 21.0%	9 3.1%	17 5.9%
	その他の市	806 100.0%	50 6.2%	122 15.1%	162 20.1%	419 52.0%	17 2.1%	130 16.1%	140 17.4%	189 23.4%	16 2.0%	47 5.8%

## (6) ICT の利用状況

記録の電子化は「取り組んでいる」が 43.7%、「可能であれば取り組みたい」が 29.9%であった。

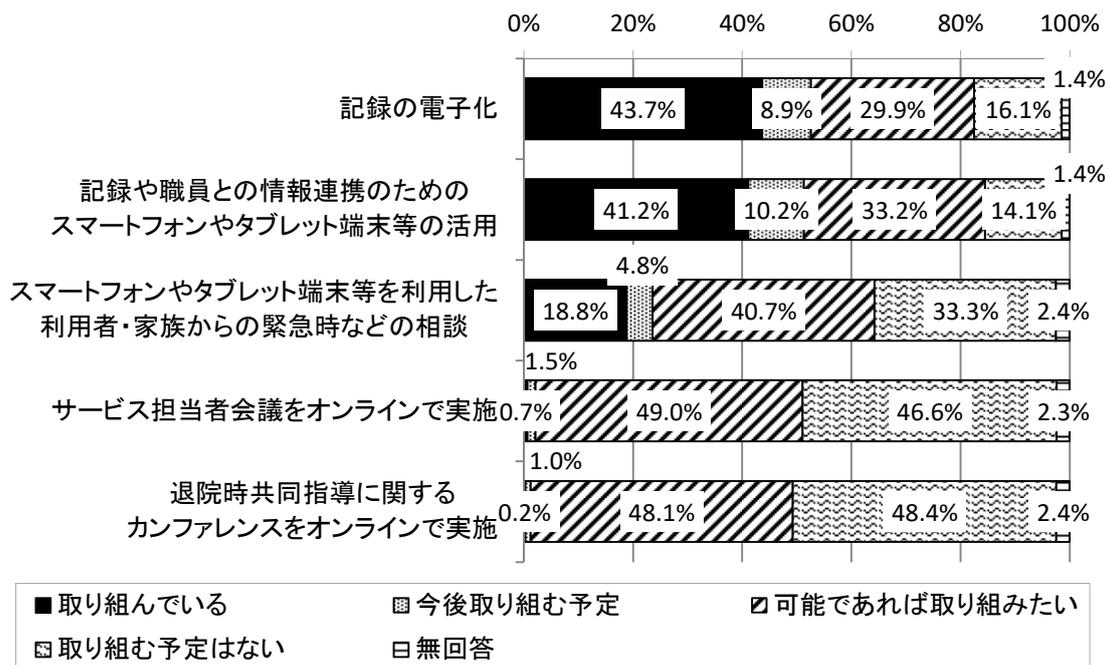
記録や職員との情報連携のためのスマートフォンやタブレット端末等の活用は、「取り組んでいる」が 41.2%、「可能であれば取り組みたい」が 33.2%であった。

スマートフォンやタブレット端末等を利用した利用者・家族からの緊急時などの相談は、「可能であれば取り組みたい」が 40.7%、「取り組む予定はない」は 33.3%であった。

サービス担当者会議のオンライン実施は「可能であれば取り組みたい」が 49.0%、「取り組む予定はない」は 46.6%であった。

退院時共同指導に関するカンファレンスのオンライン実施は、「可能であれば取り組みたい」が 48.1%、「取り組む予定はない」は 48.4%であった。

図表3-145 ICT の利用状況 (n=1,650) (問 27.①-⑤)



図表3-146 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

ICT 活用状況：記録の電子化

		合計	Q27① ICT 活用状況：記録の電子化				
			取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない	無回答
全体		1,650 100.0%	721 43.7%	147 8.9%	494 29.9%	265 16.1%	23 1.4%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	74 37.2%	12 6.0%	66 33.2%	46 23.1%	1 0.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	264 41.9%	42 6.7%	197 31.3%	117 18.6%	10 1.6%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	144 42.5%	16 4.7%	112 33.0%	62 18.3%	5 1.5%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	120 41.2%	26 8.9%	85 29.2%	55 18.9%	5 1.7%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	161 46.4%	26 7.5%	109 31.4%	47 13.5%	4 1.2%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	103 45.6%	34 15.0%	65 28.8%	21 9.3%	3 1.3%
	10.0人以上	130 100.0%	68 52.3%	18 13.8%	26 20.0%	18 13.8%	0 0.0%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	504 42.6%	93 7.9%	365 30.9%	204 17.3%	16 1.4%
	1～2か所	191 100.0%	75 39.3%	20 10.5%	68 35.6%	26 13.6%	2 1.0%
	3～9か所	118 100.0%	54 45.8%	22 18.6%	29 24.6%	12 10.2%	1 0.8%
	10か所以上	88 100.0%	53 60.2%	9 10.2%	11 12.5%	12 13.6%	3 3.4%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	315 45.1%	61 8.7%	211 30.2%	108 15.5%	3 0.4%
	12km以下	707 100.0%	304 43.0%	70 9.9%	213 30.1%	114 16.1%	6 0.8%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	279 50.5%	58 10.5%	145 26.2%	67 12.1%	4 0.7%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	119 41.0%	23 7.9%	93 32.1%	49 16.9%	6 2.1%
	その他の市	806 100.0%	323 40.1%	66 8.2%	256 31.8%	148 18.4%	13 1.6%

図表3-147 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

ICT 活用状況：スマートフォンやタブレット端末等の活用

		合計	Q27② ICT 活用状況：スマートフォンやタブレット端末等の活用				
			取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない	無回答
全体		1,650 100.0%	679 41.2%	168 10.2%	548 33.2%	232 14.1%	23 1.4%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	70 35.2%	12 6.0%	72 36.2%	44 22.1%	1 0.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	245 38.9%	56 8.9%	221 35.1%	99 15.7%	9 1.4%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	132 38.9%	24 7.1%	124 36.6%	55 16.2%	4 1.2%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	113 38.8%	32 11.0%	97 33.3%	44 15.1%	5 1.7%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	157 45.2%	31 8.9%	109 31.4%	44 12.7%	6 1.7%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	95 42.0%	37 16.4%	74 32.7%	18 8.0%	2 0.9%
	10.0人以上	130 100.0%	67 51.5%	19 14.6%	34 26.2%	10 7.7%	0 0.0%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	478 40.4%	110 9.3%	404 34.2%	176 14.9%	14 1.2%
	1～2か所	191 100.0%	73 38.2%	24 12.6%	71 37.2%	21 11.0%	2 1.0%
	3～9か所	118 100.0%	47 39.8%	24 20.3%	33 28.0%	11 9.3%	3 2.5%
	10か所以上	88 100.0%	44 50.0%	7 8.0%	21 23.9%	13 14.8%	3 3.4%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	284 40.7%	70 10.0%	228 32.7%	113 16.2%	3 0.4%
	12km以下	707 100.0%	310 43.8%	77 10.9%	234 33.1%	80 11.3%	6 0.8%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	254 45.9%	65 11.8%	174 31.5%	57 10.3%	3 0.5%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	116 40.0%	29 10.0%	93 32.1%	47 16.2%	5 1.7%
	その他の市	806 100.0%	309 38.3%	74 9.2%	281 34.9%	127 15.8%	15 1.9%

図表3-148 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

ICT 活用状況：スマートフォンやタブレット端末からの緊急時相談対応

		合計	Q27③ ICT 活用状況：スマートフォンやタブレット端末等からの緊急時相談対応				
			取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない	無回答
全体		1,650 100.0%	311 18.8%	79 4.8%	671 40.7%	549 33.3%	40 2.4%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	34 17.1%	7 3.5%	75 37.7%	81 40.7%	2 1.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	116 18.4%	25 4.0%	249 39.5%	226 35.9%	14 2.2%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	64 18.9%	12 3.5%	136 40.1%	122 36.0%	5 1.5%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	52 17.9%	13 4.5%	113 38.8%	104 35.7%	9 3.1%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	65 18.7%	15 4.3%	146 42.1%	112 32.3%	9 2.6%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	42 18.6%	15 6.6%	103 45.6%	59 26.1%	7 3.1%
	10.0人以上	130 100.0%	31 23.8%	8 6.2%	53 40.8%	37 28.5%	1 0.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	232 19.6%	54 4.6%	476 40.3%	398 33.7%	22 1.9%
	1～2か所	191 100.0%	22 11.5%	9 4.7%	94 49.2%	62 32.5%	4 2.1%
	3～9か所	118 100.0%	20 16.9%	10 8.5%	51 43.2%	34 28.8%	3 2.5%
	10か所以上	88 100.0%	23 26.1%	2 2.3%	27 30.7%	31 35.2%	5 5.7%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	126 18.1%	31 4.4%	291 41.7%	243 34.8%	7 1.0%
	12km以下	707 100.0%	148 20.9%	35 5.0%	286 40.5%	223 31.5%	15 2.1%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	120 21.7%	37 6.7%	228 41.2%	160 28.9%	8 1.4%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	53 18.3%	15 5.2%	118 40.7%	96 33.1%	8 2.8%
	その他の市	806 100.0%	137 17.0%	27 3.3%	325 40.3%	293 36.4%	24 3.0%

図表3-149 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

ICT 活用状況：サービス担当者会議をオンラインで実施

		合計	Q27④ ICT活用状況：サービス担当者会議をオンラインで実施				
			取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない	無回答
全体		1,650 100.0%	11 0.7%	24 1.5%	808 49.0%	769 46.6%	38 2.3%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	104 52.3%	93 46.7%	1 0.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	4 0.6%	8 1.3%	308 48.9%	297 47.1%	13 2.1%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	1 0.3%	5 1.5%	167 49.3%	161 47.5%	5 1.5%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	3 1.0%	3 1.0%	141 48.5%	136 46.7%	8 2.7%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	2 0.6%	3 0.9%	170 49.0%	160 46.1%	12 3.5%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	3 1.3%	3 1.3%	111 49.1%	104 46.0%	5 2.2%
	10.0人以上	130 100.0%	2 1.5%	5 3.8%	66 50.8%	57 43.8%	0 0.0%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	7 0.6%	15 1.3%	592 50.1%	547 46.3%	21 1.8%
	1～2か所	191 100.0%	0 0.0%	2 1.0%	98 51.3%	88 46.1%	3 1.6%
	3～9か所	118 100.0%	1 0.8%	2 1.7%	59 50.0%	52 44.1%	4 3.4%
	10か所以上	88 100.0%	1 1.1%	2 2.3%	33 37.5%	47 53.4%	5 5.7%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	4 0.6%	8 1.1%	348 49.9%	334 47.9%	4 0.6%
	12km以下	707 100.0%	4 0.6%	13 1.8%	351 49.6%	326 46.1%	13 1.8%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	3 0.5%	12 2.2%	291 52.6%	238 43.0%	9 1.6%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	3 1.0%	4 1.4%	140 48.3%	135 46.6%	8 2.8%
	その他の市	806 100.0%	5 0.6%	8 1.0%	376 46.7%	396 49.1%	21 2.6%

図表3-150 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

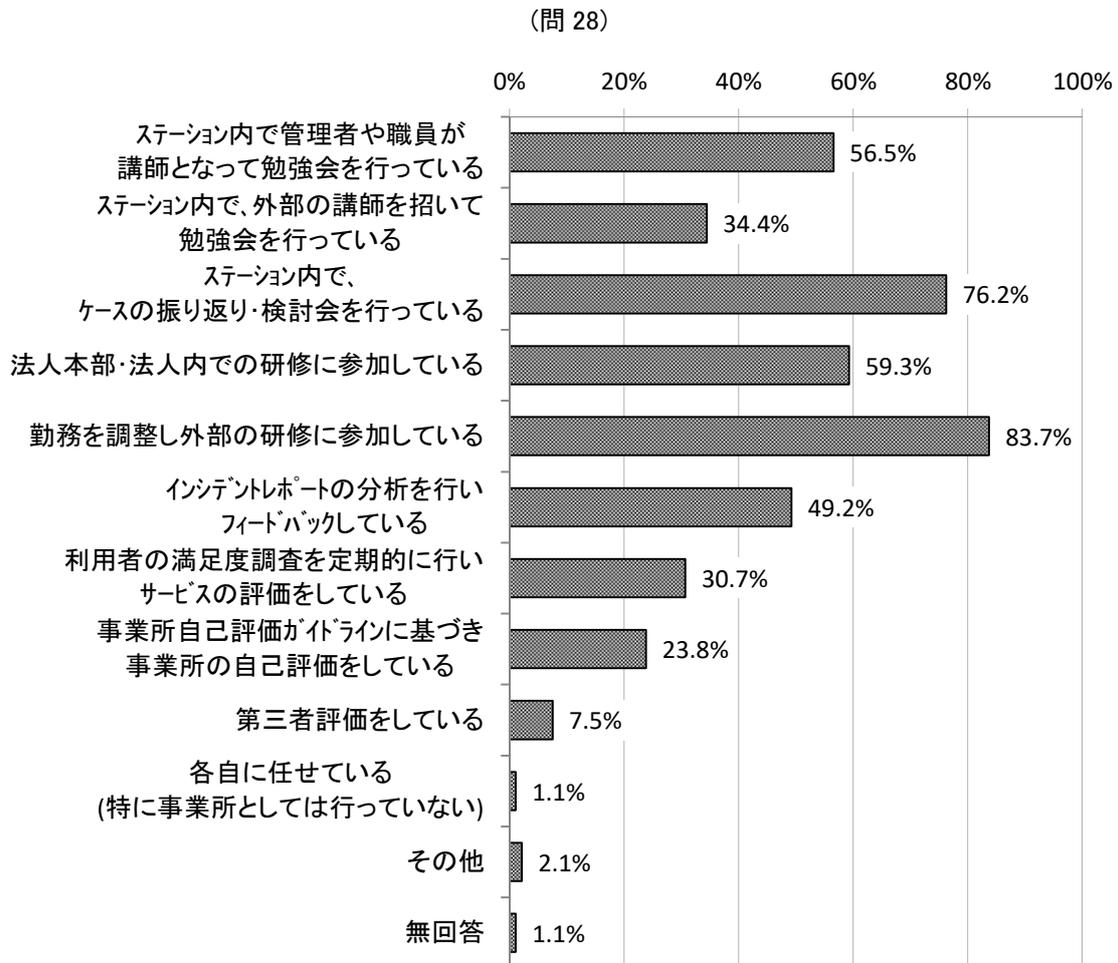
ICT 活用状況：退院時共同指導に関するカンファレンスをオンライン実施

		合計	Q27⑤ ICT 活用状況：退院時共同指導に関するカンファレンスをオンライン実施				
			取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない	無回答
全体		1,650 100.0%	4 0.2%	16 1.0%	793 48.1%	798 48.4%	39 2.4%
Q10(1) ③ 看護職員：常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	100 50.3%	97 48.7%	1 0.5%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	2 0.3%	4 0.6%	307 48.7%	303 48.1%	14 2.2%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	0 0.0%	2 0.6%	163 48.1%	168 49.6%	6 1.8%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	2 0.7%	2 0.7%	144 49.5%	135 46.4%	8 2.7%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	1 0.3%	3 0.9%	164 47.3%	167 48.1%	12 3.5%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	1 0.4%	2 0.9%	108 47.8%	111 49.1%	4 1.8%
	10.0人以上	130 100.0%	0 0.0%	4 3.1%	64 49.2%	61 46.9%	1 0.8%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	2 0.2%	9 0.8%	586 49.6%	565 47.8%	20 1.7%
	1～2か所	191 100.0%	0 0.0%	3 1.6%	94 49.2%	89 46.6%	5 2.6%
	3～9か所	118 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	54 45.8%	58 49.2%	4 3.4%
	10か所以上	88 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	32 36.4%	50 56.8%	5 5.7%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	2 0.3%	7 1.0%	342 49.0%	342 49.0%	5 0.7%
	12km以下	707 100.0%	1 0.1%	8 1.1%	344 48.7%	339 47.9%	15 2.1%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	0 0.0%	5 0.9%	296 53.5%	243 43.9%	9 1.6%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	2 0.7%	4 1.4%	137 47.2%	139 47.9%	8 2.8%
	その他の市	806 100.0%	2 0.2%	7 0.9%	359 44.5%	416 51.6%	22 2.7%

### (7) 事業所において、訪問看護の質を高めるために取り組んでいること

事業所において、訪問看護の質を高めるために取り組んでいることは「勤務を調整し外部の研修に参加している」が83.7%、「ステーション内で、ケースの振り返り・検討会を行っている」が76.2%であった。

図表3-151 事業所において、訪問看護の質を高めるために取り組んでいること（複数回答）(n=1,650)



図表3-152 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別  
事業所において訪問看護の質を高めるため取り組んでいること

	合計	Q28 訪問看護の質を高めるため取り組んでいること						
		ステーション内 で管理者 や職員が 講師とな って勉強 会を行っ ている	ステーション 内で、 外部の 講師を 招いて 勉強会 を行っ ている	ステーション 内で、ケ ースの振 り返 り・検 討会を 行っ ている	法人本 部・法 人内で の研修 に参加 してい る	勤務を 調整し 外部の 研修に 参加し ている	インテン トレポート の分析 を行い フィード バックし ている	
全体	1,650 100.0%	933 56.5%	568 34.4%	1,258 76.2%	978 59.3%	1,381 83.7%	812 49.2%	
Q10(1) ③ 看 護職 員:常 勤+非 常勤職 員の常 勤換算 数	3.0人未満	199 100.0%	94 47.2%	27 13.6%	134 67.3%	78 39.2%	153 76.9%	55 27.6%
	3.0人以上～5.0 人未満	630 100.0%	310 49.2%	149 23.7%	468 74.3%	354 56.2%	518 82.2%	265 42.1%
	再掲 3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	156 46.0%	67 19.8%	250 73.7%	178 52.5%	278 82.0%	124 36.6%
	再掲 4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	154 52.9%	82 28.2%	218 74.9%	176 60.5%	240 82.5%	141 48.5%
	5.0人以上～7.0 人未満	347 100.0%	207 59.7%	153 44.1%	279 80.4%	224 64.6%	305 87.9%	201 57.9%
	7.0人以上～10.0 人未満	226 100.0%	159 70.4%	120 53.1%	184 81.4%	162 71.7%	201 88.9%	148 65.5%
	10.0人以上	130 100.0%	111 85.4%	83 63.8%	112 86.2%	95 73.1%	119 91.5%	88 67.7%
Q7sq 事業所 と同一 法人が 他に有 する訪 問看護 事業所 数	無	1,182 100.0%	638 54.0%	377 31.9%	889 75.2%	624 52.8%	979 82.8%	516 43.7%
	1～2か所	191 100.0%	110 57.6%	70 36.6%	147 77.0%	130 68.1%	168 88.0%	105 55.0%
	3～9か所	118 100.0%	82 69.5%	57 48.3%	94 79.7%	99 83.9%	103 87.3%	92 78.0%
	10か所以上	88 100.0%	57 64.8%	39 44.3%	72 81.8%	71 80.7%	72 81.8%	59 67.0%
Q21 訪 問対象 範囲	12 km超	698 100.0%	397 56.9%	243 34.8%	560 80.2%	413 59.2%	596 85.4%	327 46.8%
	12 km以下	707 100.0%	420 59.4%	255 36.1%	543 76.8%	420 59.4%	599 84.7%	382 54.0%
地域性	東京都内と政令指 定都市	553 100.0%	338 61.1%	201 36.3%	424 76.7%	318 57.5%	464 83.9%	294 53.2%
	県庁所在地と中核 市	290 100.0%	179 61.7%	113 39.0%	217 74.8%	174 60.0%	235 81.0%	133 45.9%
	その他の市	806 100.0%	416 51.6%	254 31.5%	616 76.4%	486 60.3%	682 84.6%	385 47.8%

(続き)

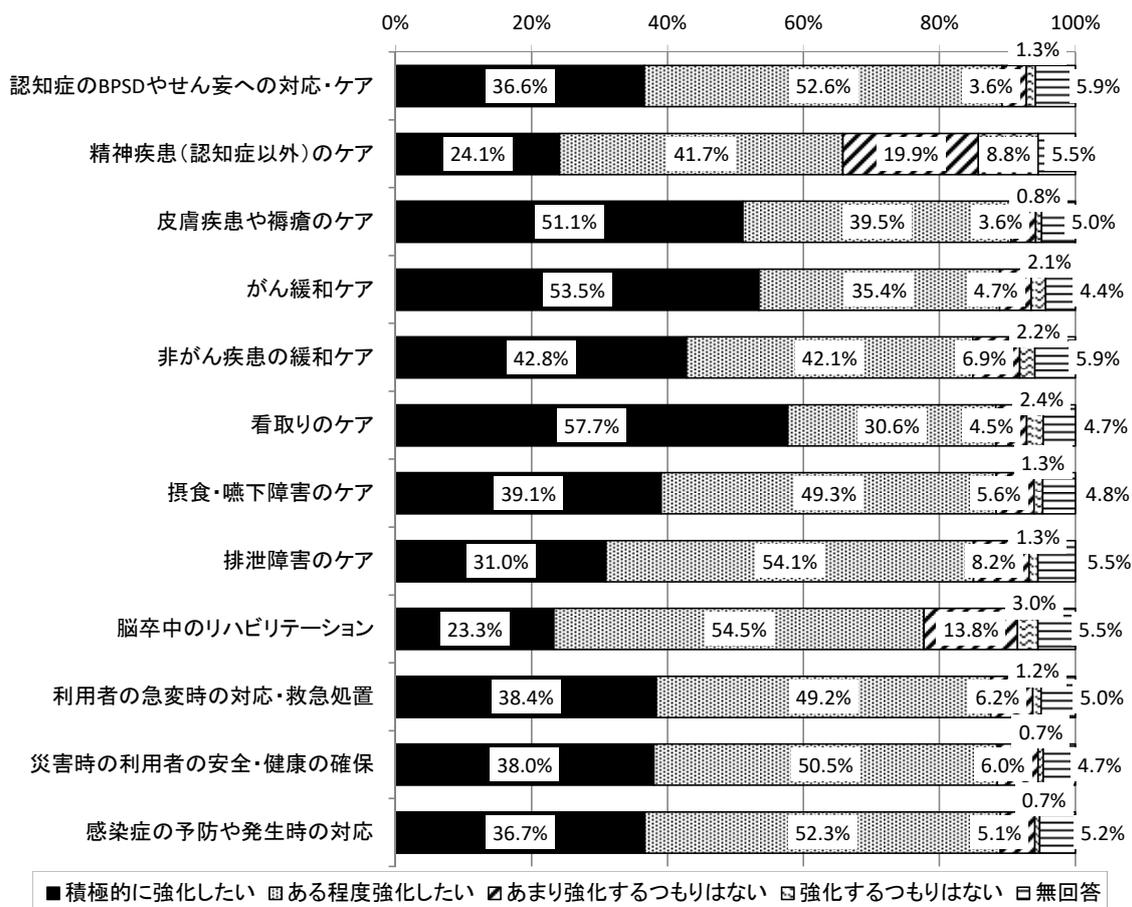
		合計	Q28 訪問看護の質を高めるため取り組んでいること					無回答
			利用者の満足度調査を定期的に行いサービスの評価をしている	事業所自己評価がトータルに基づき事業所の自己評価をしている	第三者評価をしている	各自に任せている(特に事業所としては行っていない)	その他	
全体		1,650 100.0%	506 30.7%	393 23.8%	124 7.5%	18 1.1%	35 2.1%	18 1.1%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0 人未満	199 100.0%	37 18.6%	26 13.1%	7 3.5%	3 1.5%	5 2.5%	1 0.5%
	3.0 人以上~5.0 人未満	630 100.0%	158 25.1%	130 20.6%	40 6.3%	9 1.4%	14 2.2%	5 0.8%
	再掲 3.0 人以上 4.0 人未満	339 100.0%	80 23.6%	63 18.6%	17 5.0%	6 1.8%	8 2.4%	2 0.6%
	再掲 4.0 人以上 5.0 人未満	291 100.0%	78 26.8%	67 23.0%	23 7.9%	3 1.0%	6 2.1%	3 1.0%
	5.0 人以上~7.0 人未満	347 100.0%	123 35.4%	88 25.4%	29 8.4%	2 0.6%	6 1.7%	4 1.2%
	7.0 人以上~10.0 人未満	226 100.0%	92 40.7%	73 32.3%	20 8.8%	2 0.9%	6 2.7%	1 0.4%
	10.0 人以上	130 100.0%	64 49.2%	49 37.7%	18 13.8%	0 0.0%	3 2.3%	2 1.5%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	294 24.9%	245 20.7%	66 5.6%	13 1.1%	26 2.2%	13 1.1%
	1~2 か所	191 100.0%	68 35.6%	53 27.7%	23 12.0%	2 1.0%	2 1.0%	3 1.6%
	3~9 か所	118 100.0%	61 51.7%	31 26.3%	19 16.1%	1 0.8%	4 3.4%	0 0.0%
	10 か所以上	88 100.0%	49 55.7%	42 47.7%	13 14.8%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.3%
Q21 訪問対象範囲	12 km超	698 100.0%	231 33.1%	155 22.2%	43 6.2%	5 0.7%	17 2.4%	1 0.1%
	12 km以下	707 100.0%	212 30.0%	185 26.2%	65 9.2%	9 1.3%	13 1.8%	3 0.4%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	166 30.0%	138 25.0%	50 9.0%	6 1.1%	13 2.4%	5 0.9%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	81 27.9%	73 25.2%	21 7.2%	1 0.3%	5 1.7%	5 1.7%
	その他の市	806 100.0%	259 32.1%	182 22.6%	53 6.6%	11 1.4%	17 2.1%	8 1.0%

(8) 外部の専門性の高い看護師との連携状況

① 今後強化したい領域

利用者への対応・ケア提供や、事業所としての体制整備に関して、今後強化したい領域として、「積極的に強化したい」割合が高かったのは、「看取りのケア」が57.7%、「がん緩和ケア」が53.5%、「皮膚疾患や褥瘡のケア」が51.1%であった。

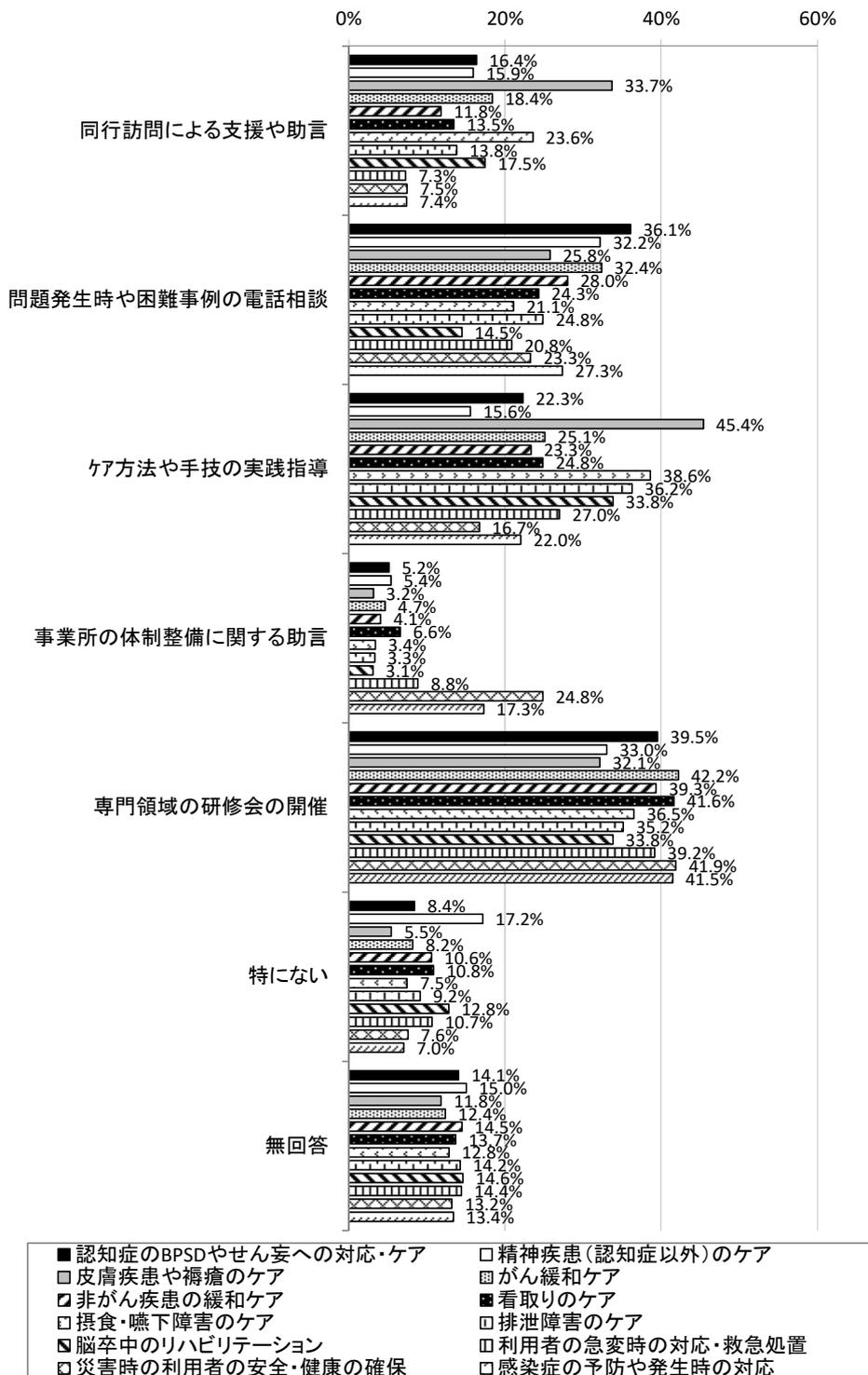
図表3-153 外部の専門性の高い看護師との連携状況：今後強化したい領域 (n=1,650) (問 29.(1).①-⑫)



② 専門性の高い看護師による支援・助言の希望

「皮膚疾患や褥瘡のケア」の「ケア方法や手技の実践指導」が45.4%であった。

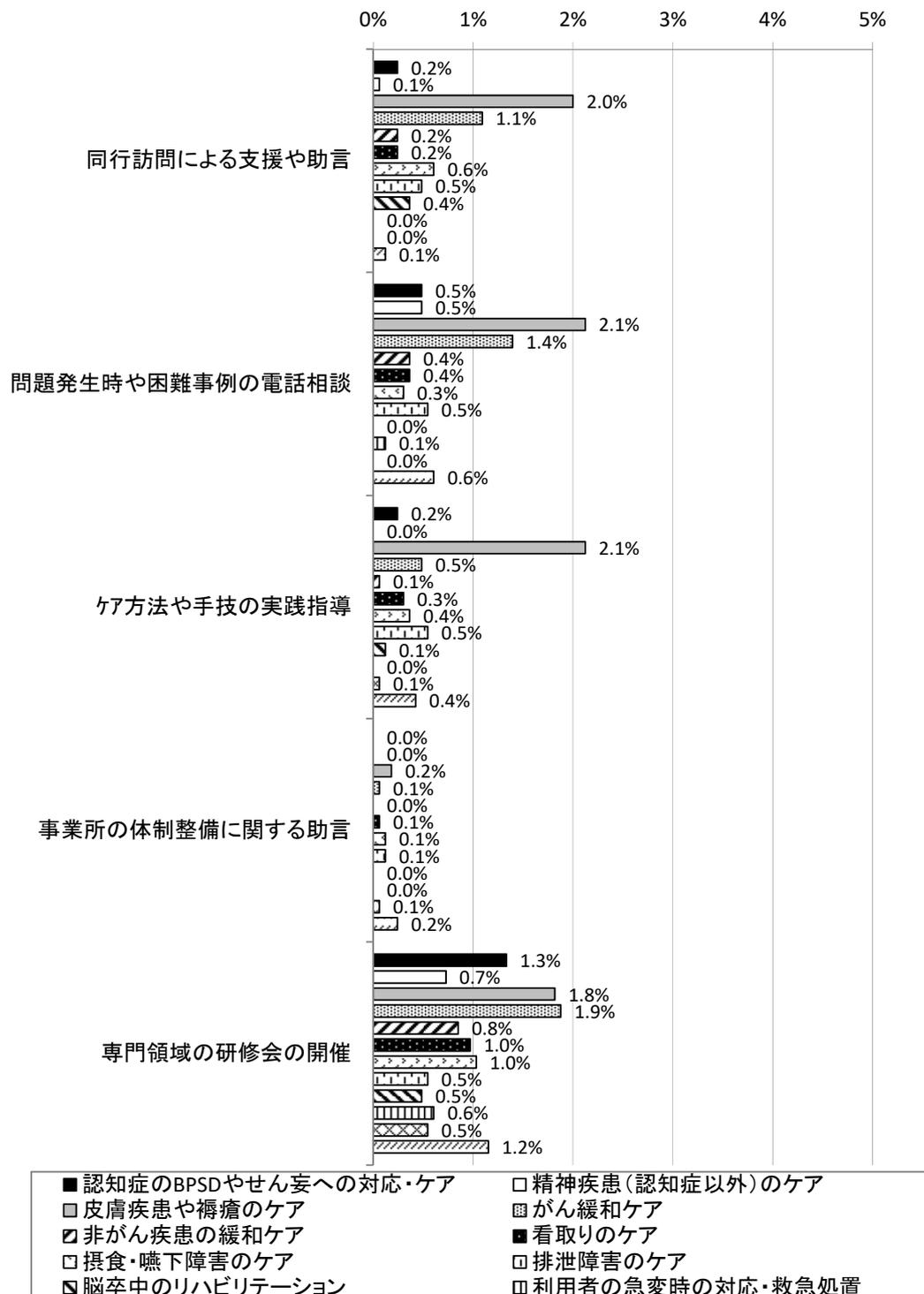
図表3-154 外部の専門性の高い看護師との連携状況：専門性の高い看護師による支援・助言の希望（複数回答）(n=1,650) (問 29.(2).①-⑫)



### ③ 専門性の高い看護師による支援・助言を受けていること

「皮膚疾患や褥瘡のケア」の「問題発生時や困難事例の電話相談」、「ケア方法や手技の実践指導」がそれぞれ2.1%であった。

図表3-155 外部の専門性の高い看護師との連携状況: 専門性の高い看護師による支援・助言を受けていること (複数回答) (n=1,650) (問 29.(2).①-⑫)

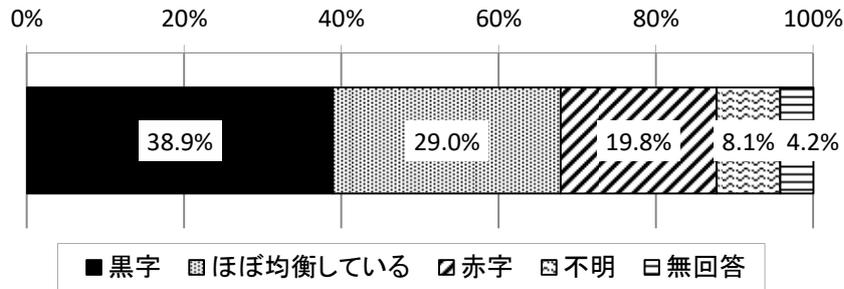


## 5. 収支の状況

### ① 訪問看護ステーションの収支比率（平成 30 年 9 月または直近）

平成 30 年 9 月または直近の訪問看護ステーションの収支比率は、「黒字」が 38.9%、「ほぼ均衡している」が 29.0%、「赤字」が 19.8%であった。

図表3-156 訪問看護ステーションの収支比率(平成 30 年 9 月または直近) (n=1,650) (問 30)



図表3-157 看護職員の規模・他に有する訪問看護事業所数・訪問対象範囲・地域別

訪問看護ステーションの収支比率

		合計	Q30 訪問看護ステーションの収支比率(平成30年9月または直近)				
			黒字	ほぼ均衡している	赤字	不明	無回答
全体		1,650 100.0%	642 38.9%	478 29.0%	327 19.8%	134 8.1%	69 4.2%
Q10(1) ③ 看護職員:常勤+非常勤職員の常勤換算数	3.0人未満	199 100.0%	38 19.1%	69 34.7%	66 33.2%	20 10.1%	6 3.0%
	3.0人以上～5.0人未満	630 100.0%	204 32.4%	189 30.0%	140 22.2%	67 10.6%	30 4.8%
	再掲3.0人以上 4.0人未満	339 100.0%	89 26.3%	107 31.6%	90 26.5%	38 11.2%	15 4.4%
	再掲4.0人以上 5.0人未満	291 100.0%	115 39.5%	82 28.2%	50 17.2%	29 10.0%	15 5.2%
	5.0人以上～7.0人未満	347 100.0%	169 48.7%	83 23.9%	60 17.3%	21 6.1%	14 4.0%
	7.0人以上～10.0人未満	226 100.0%	122 54.0%	61 27.0%	24 10.6%	11 4.9%	8 3.5%
	10.0人以上	130 100.0%	78 60.0%	33 25.4%	14 10.8%	3 2.3%	2 1.5%
Q7sq 事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	無	1,182 100.0%	412 34.9%	363 30.7%	257 21.7%	100 8.5%	50 4.2%
	1～2か所	191 100.0%	89 46.6%	54 28.3%	18 9.4%	22 11.5%	8 4.2%
	3～9か所	118 100.0%	69 58.5%	26 22.0%	15 12.7%	5 4.2%	3 2.5%
	10か所以上	88 100.0%	42 47.7%	14 15.9%	22 25.0%	6 6.8%	4 4.5%
Q21 訪問対象範囲	12km超	698 100.0%	259 37.1%	220 31.5%	145 20.8%	49 7.0%	25 3.6%
	12km以下	707 100.0%	297 42.0%	198 28.0%	136 19.2%	57 8.1%	19 2.7%
地域性	東京都内と政令指定都市	553 100.0%	216 39.1%	169 30.6%	102 18.4%	45 8.1%	21 3.8%
	県庁所在地と中核市	290 100.0%	118 40.7%	80 27.6%	54 18.6%	26 9.0%	12 4.1%
	その他の市	806 100.0%	308 38.2%	229 28.4%	170 21.1%	63 7.8%	36 4.5%

## ② 事業所の収益

平成29年度または直近把握可能な年度の事業所の収益は、合計で平均6,340.5万円、「介護報酬収益」が平均3,271.0万円、「医療保険等の療養費収益」が平均2,508.8万円であった。

図表3-158 収益別：事業所の収益（平成29年度または直近把握可能な年度）（問31）

単位：万円

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
介護報酬収益	997	3,271.0	9,195.3	2,029.0
医療保険等の療養費収益	997	2,508.8	9,277.6	1,361.0
保険外事業収益	997	159.2	838.7	15.0
収益計	1,158	6,340.5	21,088.2	3,780.5

図表3-159 事業所の収益（平成29年度または直近把握可能な年度）：介護報酬収益の分布（問31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	500万円未満	182	11.0%
2	500万円以上～1000万円未満	96	5.8%
3	1000万円以上～1500万円未満	97	5.9%
4	1500万円以上～2000万円未満	111	6.7%
5	2000万円以上～2500万円未満	107	6.5%
6	2500万円以上～3000万円未満	78	4.7%
7	3000万円以上～3500万円未満	66	4.0%
8	3500万円以上～4000万円未満	54	3.3%
9	4000万円以上～5000万円未満	65	3.9%
10	5000万円以上	141	8.5%
	無回答	653	39.6%
	全体	1,650	100.0%

図表3-160 事業所の収益（平成29年度または直近把握可能な年度）：医療保険等の療養費収益の分布（問31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	500万円未満	232	14.1%
2	500万円以上～1000万円未満	170	10.3%
3	1000万円以上～1500万円未満	133	8.1%
4	1500万円以上～2000万円未満	113	6.8%
5	2000万円以上～2500万円未満	87	5.3%
6	2500万円以上～3000万円未満	44	2.7%
7	3000万円以上～3500万円未満	51	3.1%
8	3500万円以上～4000万円未満	33	2.0%
9	4000万円以上～5000万円未満	42	2.5%
10	5000万円以上	92	5.6%
	無回答	653	39.6%
	全体	1,650	100.0%

図表3-161 事業所の収益（平成 29 年度または直近把握可能な年度）：保険外事業収益の分布（問

31)

No.	カテゴリー名	n	%
1	無	360	21.8%
2	20 万円未満	178	10.8%
3	20 万円以上～50 万円未満	98	5.9%
4	50 万円以上～100 万円未満	99	6.0%
5	100 万円以上～200 万円未満	106	6.4%
6	200 万円以上～300 万円未満	56	3.4%
7	300 万円以上	100	6.1%
	無回答	653	39.6%
	全体	1,650	100.0%

図表3-162 事業所の収益（平成 29 年度または直近把握可能な年度）：収益計の分布（問 31)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1000 万円未満	152	9.2%
2	1000 万円以上～2000 万円未満	136	8.2%
3	2000 万円以上～3000 万円未満	162	9.8%
4	3000 万円以上～4000 万円未満	157	9.5%
5	4000 万円以上～5000 万円未満	118	7.2%
6	5000 万円以上～6000 万円未満	108	6.5%
7	6000 万円以上～7000 万円未満	73	4.4%
8	7000 万円以上～8000 万円未満	55	3.3%
9	8000 万円以上～9000 万円未満	42	2.5%
10	9000 万円以上～1 億円未満	29	1.8%
11	1 億円以上	126	7.6%
	無回答	492	29.8%
	全体	1,650	100.0%

③ 事業所の費用（平成 29 年度または直近把握可能な年度）

平成 29 年度または直近把握可能な年度の事業所の費用は、合計で、5,704.9 万円、「給与費」が平均 4,204.3 万円、「その他」が平均 770.9 万円であった。

図表3-163 収益別：事業所の費用（平成 29 年度または直近把握可能な年度）（問 32）

単位：万円

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
給与費	928	4,204.3	6,910.4	2,941.5
その他	928	770.9	1,385.9	400.0
うち、委託費	928	26.2	151.3	0.0
費用計	1,076	5,704.9	19,357.2	3,494.5

図表3-164 事業所の費用（平成 29 年度または直近把握可能な年度）：給与費の分布（問 31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1000 万円未満	124	7.5%
2	1000 万円以上～2000 万円未満	179	10.8%
3	2000 万円以上～3000 万円未満	170	10.3%
4	3000 万円以上～4000 万円未満	127	7.7%
5	4000 万円以上～5000 万円未満	102	6.2%
6	5000 万円以上	226	13.7%
	無回答	722	43.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-165 事業所の費用（平成 29 年度または直近把握可能な年度）：その他の分布（問 31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	無	181	11.0%
2	200 万円未満	143	8.7%
3	200 万円以上～400 万円未満	138	8.4%
4	400 万円以上～600 万円未満	118	7.2%
5	600 万円以上～800 万円未満	85	5.2%
6	800 万円以上～1000 万円未満	55	3.3%
7	1000 万円以上～2000 万円未満	131	7.9%
8	2000 万円以上	77	4.7%
	無回答	722	43.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-166 事業所の費用（平成29年度または直近把握可能な年度）：その他のうち、委託費の分布

（問31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	無	720	43.6%
2	50万円未満	121	7.3%
3	50万円以上	87	5.3%
	無回答	722	43.8%
	全体	1,650	100.0%

図表3-167 事業所の費用（平成29年度または直近把握可能な年度）：費用計の分布（問31）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1000万円未満	131	7.9%
2	1000万円以上～2000万円未満	156	9.5%
3	2000万円以上～3000万円未満	166	10.1%
4	3000万円以上～4000万円未満	164	9.9%
5	4000万円以上～5000万円未満	111	6.7%
6	5000万円以上～6000万円未満	98	5.9%
7	6000万円以上～7000万円未満	55	3.3%
8	7000万円以上～8000万円未満	44	2.7%
9	8000万円以上～9000万円未満	37	2.2%
10	9000万円以上～1億円未満	18	1.1%
11	1億円以上	96	5.8%
	無回答	574	34.8%
	全体	1,650	100.0%

④ 看護職員に対する時間外手当（平成 30 年 9 月分または直近 1 か月分の総額）

平成 30 年 9 月分または直近 1 か月分の看護職員に対する時間外手当の総額は、平均 85,502.0 円であった。

図表3-168 看護職員に対する時間外手当（平成 30 年 9 月分または直近 1 か月分の総額）（問 33）

単位：円

回答件数	平均	標準偏差	中央値
965	85,502.0	113,468.7	42,120.0

図表3-169 看護職員に対する時間外手当の分布（平成 30 年 9 月分または直近 1 か月分の総額）

（問 33）

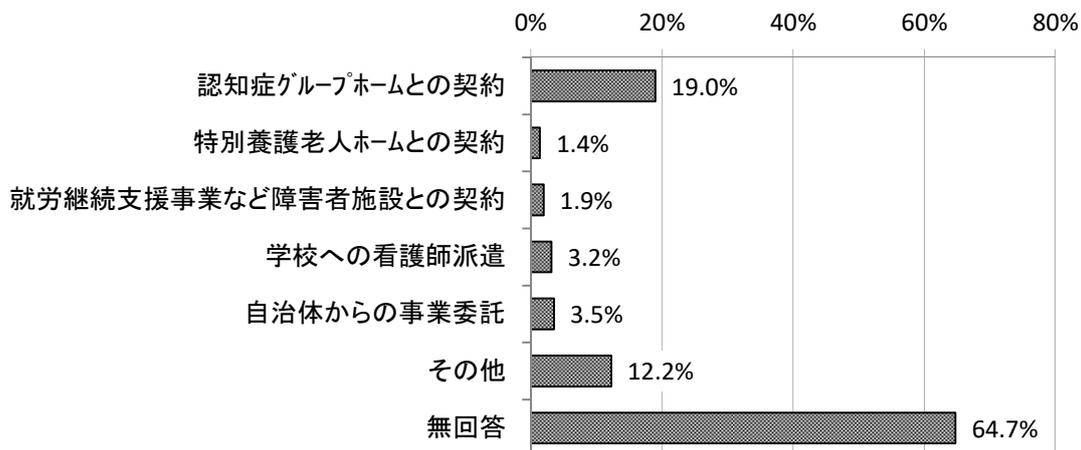
No.	カテゴリー名	n	%
1	無	184	11.2%
2	2 万円未満	151	9.2%
3	2 万円以上～4 万円未満	129	7.8%
4	4 万円以上～6 万円未満	105	6.4%
5	6 万円以上～10 万円未満	108	6.5%
6	10 万円以上～20 万円未満	163	9.9%
7	20 万円以上	125	7.6%
	無回答	685	41.5%
	全体	1,650	100.0%

⑤ 平成 30 年 9 月の保険外事業収益

平成 30 年 9 月の保険外事業収益は、「認知症グループホームとの契約」が 19.0%、「自治体からの事業委託」が 3.5%であった。

また、保険外事業収益の件数は、「自治体からの事業委託」が平均 3.9 件、「認知症グループホームとの契約」、「特別養護老人ホームとの契約」が平均 1.8 件であった。

図表3-170 平成 30 年 9 月の保険外事業収益 (複数回答) (n=1,650) (問 34)



図表3-171:件数 (問 34)

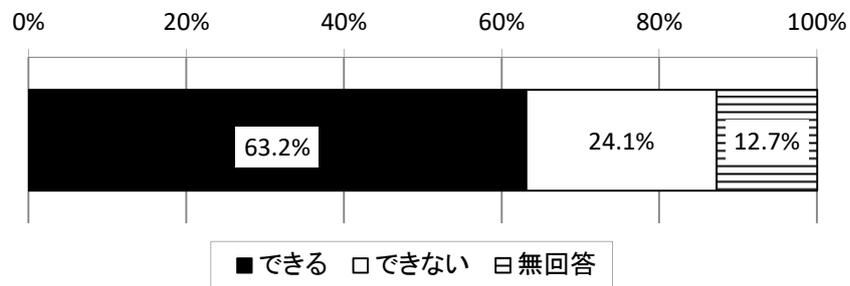
単位：件

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
認知症グループホームとの契約件数	312	1.8	1.5	1.0
特別養護老人ホームとの契約件数	20	1.8	1.3	1.0
就労継続支援事業など障害者施設との契約件数	28	1.5	1.2	1.0
学校への看護師派遣数 (学校数)	50	1.3	0.7	1.0
自治体からの事業委託件数	47	3.9	7.0	1.0
その他件数	154	8.3	26.3	2.0

## 6. Web 調査への回答の可否

Web 調査による回答の可否は、「できる」が 63.2%であった。

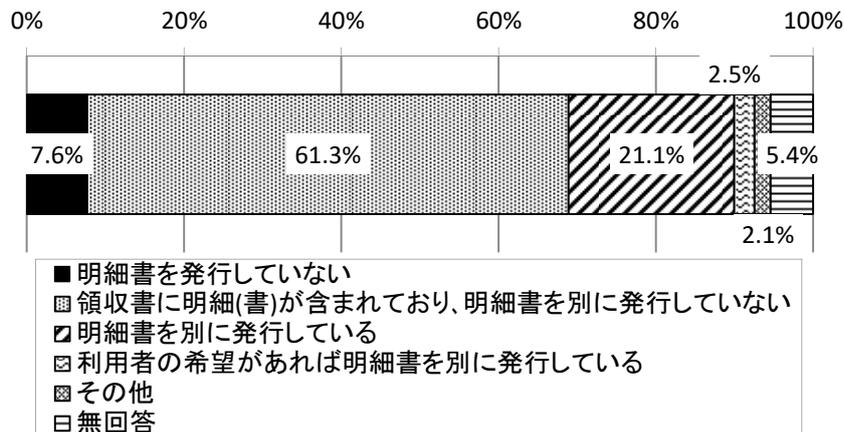
図表3-172 Web調査への回答の可否 (n=1,650) (問 37)



## 7. 利用料の請求等

医療保険の利用者への明細書の発行状況は、「領収書に明細（書）が含まれており、明細書を別に発行していない」が61.3%、「明細書を別に発行している」が21.1%であった。

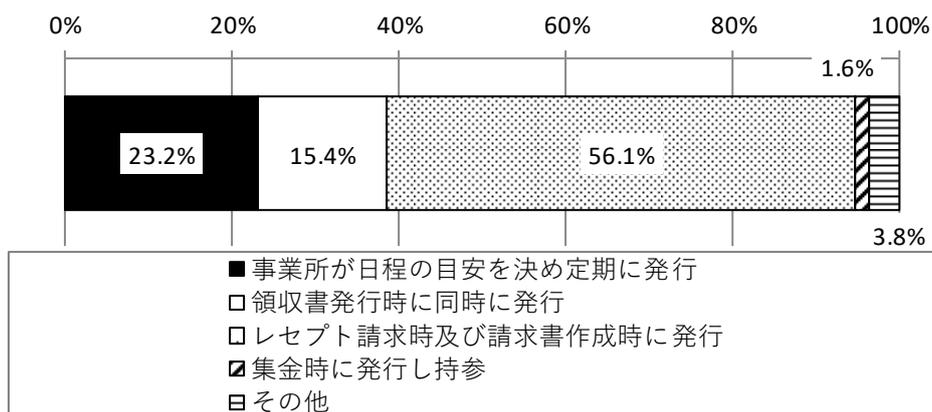
図表3-173 医療保険の利用者への明細書の発行状況 (n=1,650) (問 38)



明細書を別に発行している場合、そのタイミングについてたずねたところ、319件から回答を得られた。内訳は以下のとおりで、「レセプト請求時及び請求書作成時に発行」が56.1%、「事業所が日程の目安を決め定期的に発行」が23.2%、「領収書発行時に同時に発行」が15.4%であった。

「その他」は、「自己負担発生時」、「入金時」、「訪問時」等であった。

図表3-174 (明細書を別に発行している場合)タイミング (n=319) (問 38)



利用者の希望があれば明細書を別に発行している場合、そのタイミングは、「希望時」(13件)、「請求書発行時」(11件)等であった。

その他の具体的な内容としては「請求書に記載」(14件)、「請求書と領収書に明細を記載」(10件)等があった。

## 第4節 予防訪問看護の終了者（利用者票①・②）の結果の詳細

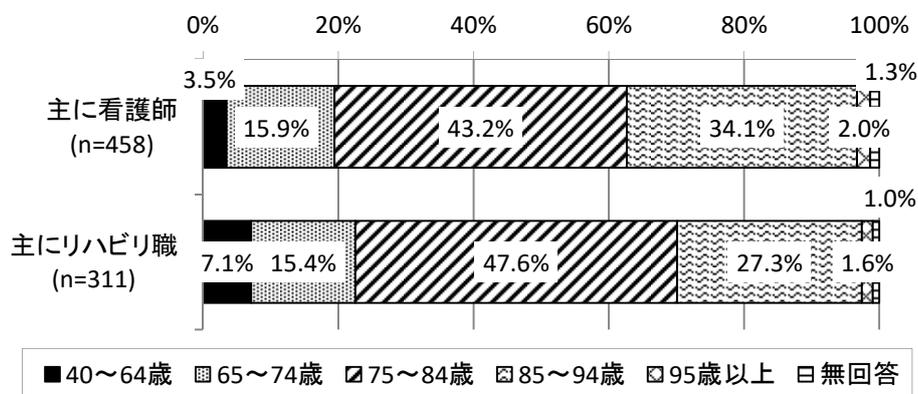
### 1. 利用者の状態等

#### ① 年齢

利用者の年齢は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「75～84歳」が43.2%、「85～94歳」が34.1%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「75～84歳」が47.6%、「85～94歳」が27.3%であった。

図表4-1 年齢（問1, 問24）

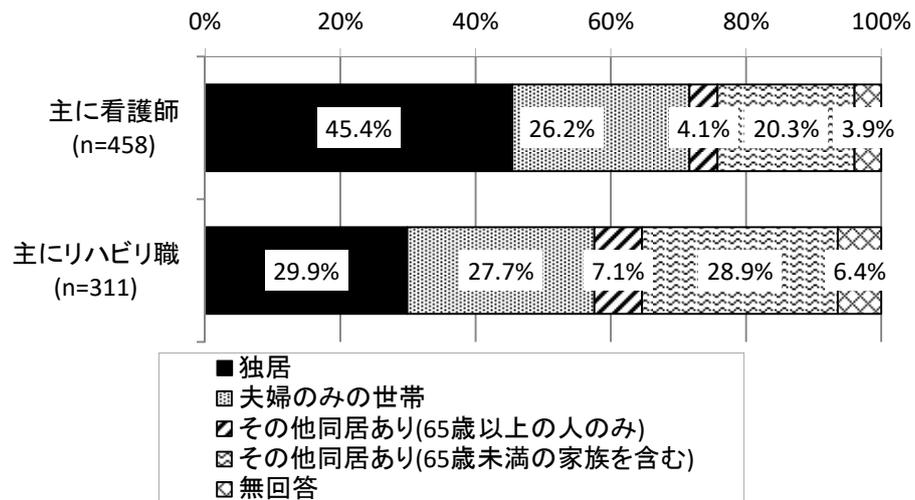


## ② 世帯構成

利用者の世帯構成は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「独居」が45.4%、「夫婦のみの世帯」が26.2%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「独居」が29.9%、「その他同居あり（65歳未満の家族を含む）」が28.9%であった。

図表4-2 世帯構成（問2, 問25）



### ③ 訪問看護の利用期間

訪問看護の利用期間は、主に看護師が訪問を行った利用者では、平均 412.9 日、中央値は 203.0 日であった。「50 日以内」が 15.9%、「51 日～100 日」が 13.1%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、平均 481.5 日、中央値は 293.0 日であった。「51 日～100 日」が 12.5%、「101 日～150 日」が 9.6%であった。

図表4-3 訪問看護の利用期間（問 3, 問 4, 問 26, 問 27）

	回答件数	平均値	標準偏差	中央値
主に看護師	449	412.9	552.5	203.0
主にリハビリ職	307	481.5	609.4	293.0

図表4-4 訪問看護の利用期間の分布（問 3, 問 4, 問 26, 問 27）

	主に看護師		主にリハビリ職	
	件数	構成比	件数	構成比
50 日以内	73	15.9%	22	7.1%
51 日～100 日	60	13.1%	39	12.5%
101 日～150 日	51	11.1%	30	9.6%
151 日～200 日	40	8.7%	23	7.4%
201 日～250 日	25	5.5%	28	9.0%
251 日～300 日	17	3.7%	19	6.1%
301 日～350 日	27	5.9%	20	6.4%
351 日～400 日	19	4.1%	13	4.2%
401 日～450 日	13	2.8%	6	1.9%
451 日～500 日	7	1.5%	11	3.5%
501 日～550 日	17	3.7%	12	3.9%
551 日～600 日	6	1.3%	7	2.3%
601 日～650 日	6	1.3%	7	2.3%
651 日～700 日	9	2.0%	5	1.6%
701 日～750 日	6	1.3%	10	3.2%
751 日～800 日	3	0.7%	5	1.6%
801 日～900 日	11	2.4%	5	1.6%
901 日～1000 日	12	2.6%	6	1.9%
1001 日～1100 日	7	1.5%	6	1.9%
1101 日～1200 日	6	1.3%	7	2.3%
1201 日～1300 日	3	0.7%	4	1.3%
1301 日～1400 日	2	0.4%	4	1.3%
1401 日～1500 日	5	1.1%	1	0.3%
1501 日～2000 日	10	2.2%	8	2.6%
2001 日～2500 日	8	1.7%	5	1.6%
2501 日以上	6	1.3%	4	1.3%
無回答	9	2.0%	4	1.3%
全体	458	100.0%	311	100.0%

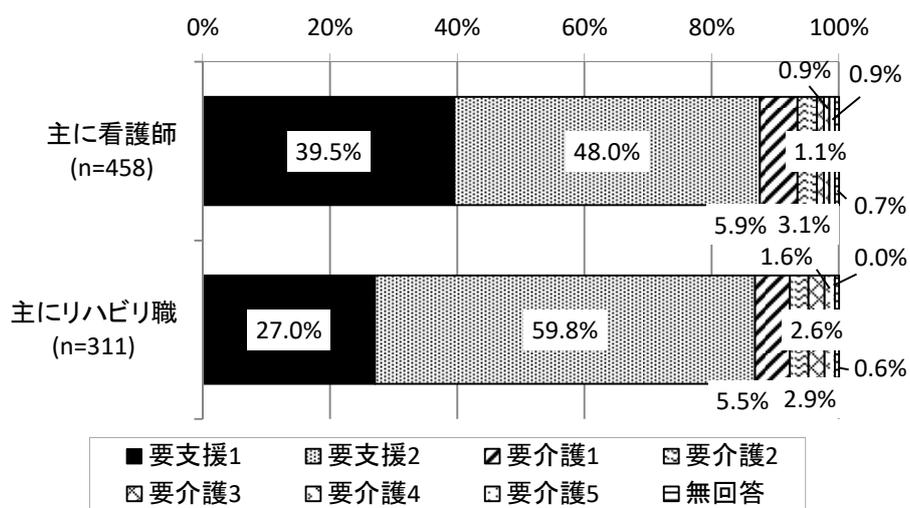
#### ④ 要介護度

##### 1) 利用開始時

利用開始時の要介護度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「要支援2」が48.0%、「要支援1」が39.5%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「要支援2」が59.8%、「要支援1」が27.0%であった。

図表4-5 要介護度:利用開始時 (問 5.①, 問 28.①)

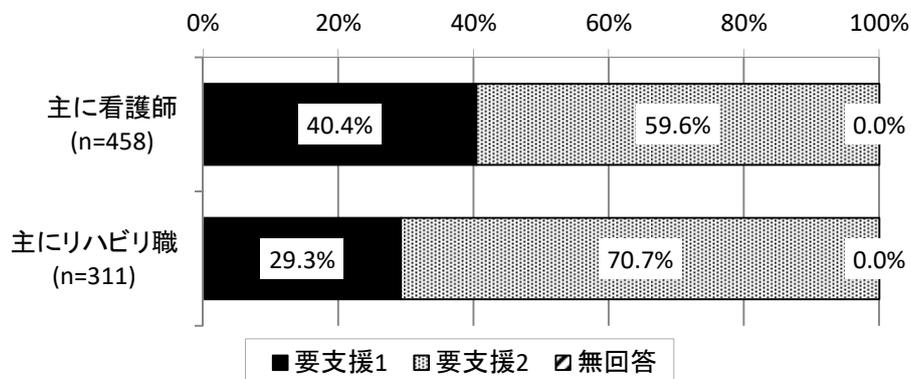


##### 2) 直近の認定

直近の要介護度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「要支援2」が59.6%、「要支援1」が40.4%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「要支援2」が70.7%、「要支援1」が29.3%であった。

図表4-6 要介護度:直近の認定 (問 5.②, 問 28.②)



### 3) 利用開始時別直近

(主に看護師)

図表4-7 要介護度: 利用開始時別直近(主に看護師)

		合計	Q5② 要介護度: 直近の認定		
			要支援 1	要支援 2	無回答
全体		541 100.0%	206 38.1%	335 61.9%	0 0.0%
Q5 ① 要介護度: 利用開始時	要支援 1	207 100.0%	172 83.1%	35 16.9%	0 0.0%
	要支援 2	265 100.0%	6 2.3%	259 97.7%	0 0.0%
	要介護 1	33 100.0%	10 30.3%	23 69.7%	0 0.0%
	要介護 2	17 100.0%	10 58.8%	7 41.2%	0 0.0%
	要介護 3	7 100.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%
	要介護 4	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
	要介護 5	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%

(主にリハビリ職)

図表4-8 要介護度:利用開始時別直近(主にリハビリ職)

		合計	Q28② 要介護度:直近の認定		
			要支援 1	要支援 2	無回答
全体		339 100.0%	97 28.6%	242 71.4%	0 0.0%
Q28 ① 要介護度: 利用開始時	要支援 1	88 100.0%	74 84.1%	14 15.9%	0 0.0%
	要支援 2	205 100.0%	12 5.9%	193 94.1%	0 0.0%
	要介護 1	19 100.0%	3 15.8%	16 84.2%	0 0.0%
	要介護 2	10 100.0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%
	要介護 3	8 100.0%	2 25.0%	6 75.0%	0 0.0%
	要介護 4	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
	要介護 5	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

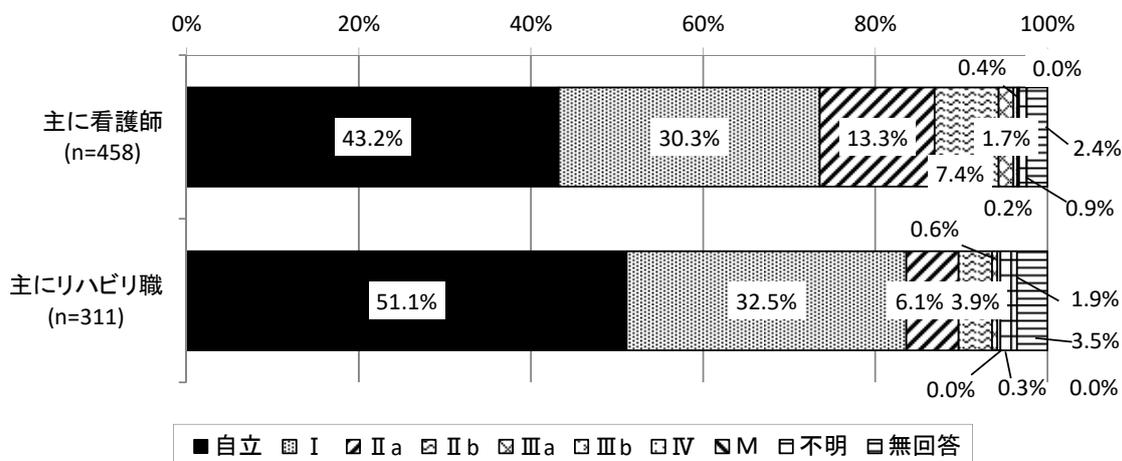
## ⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度

### 1) 利用開始時

利用開始時の認知症高齢者の日常生活自立度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「自立」が43.2%、「I」が30.3%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「自立」が51.1%、「I」が32.5%であった。

図表4-9 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時 (問 6.①, 問 29.①)

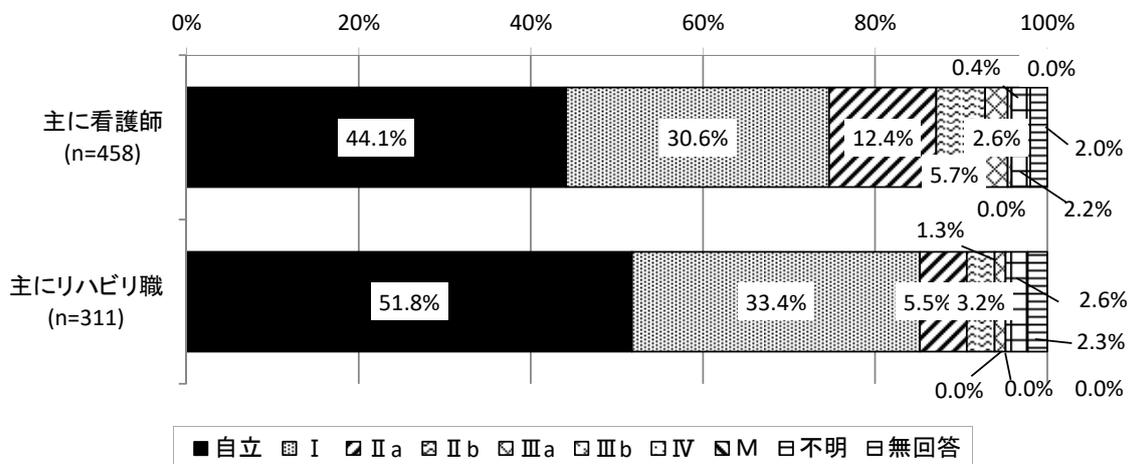


### 2) 直近

直近の認知症高齢者の日常生活自立度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「自立」が44.1%、「I」が30.6%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「自立」が51.8%、「I」が33.4%であった。

図表4-10 認知症高齢者の日常生活自立度:直近 (問 6.②, 問 29.②)



### 3) 利用開始時別直近

(主に看護師)

図表4-11 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時別直近(主に看護師)

		合計	Q6② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近									
			自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	無回答
全体		541 100.0%	225 41.6%	169 31.2%	74 13.7%	32 5.9%	15 2.8%	2 0.4%	1 0.2%	0 0.0%	12 2.2%	11 2.0%
利用開始時	自立	235 100.0%	208 88.5%	16 6.8%	5 2.1%	2 0.9%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.9%
	I	161 100.0%	12 7.5%	135 83.9%	8 5.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.5%	0 0.0%
	Ⅱa	74 100.0%	2 2.7%	8 10.8%	58 78.4%	4 5.4%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%
	Ⅱb	38 100.0%	2 5.3%	7 18.4%	1 2.6%	24 63.2%	2 5.3%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%
	Ⅲa	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	10 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	Ⅲb	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	Ⅳ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	M	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%

(主にリハビリ職)

図表4-12 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時別直近(主にリハビリ職)

		Q29② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近										
		合計	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	不明	無回答
全体		339 100.0%	172 50.7%	114 33.6%	18 5.3%	13 3.8%	4 1.2%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	9 2.7%	7 2.1%
利用開始時	自立	170 100.0%	163 95.9%	6 3.5%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	I	113 100.0%	6 5.3%	99 87.6%	2 1.8%	2 1.8%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%
	Ⅱ a	20 100.0%	1 5.0%	4 20.0%	14 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
	Ⅱ b	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	10 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%
	Ⅲ a	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	Ⅲ b	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	Ⅳ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	M	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%

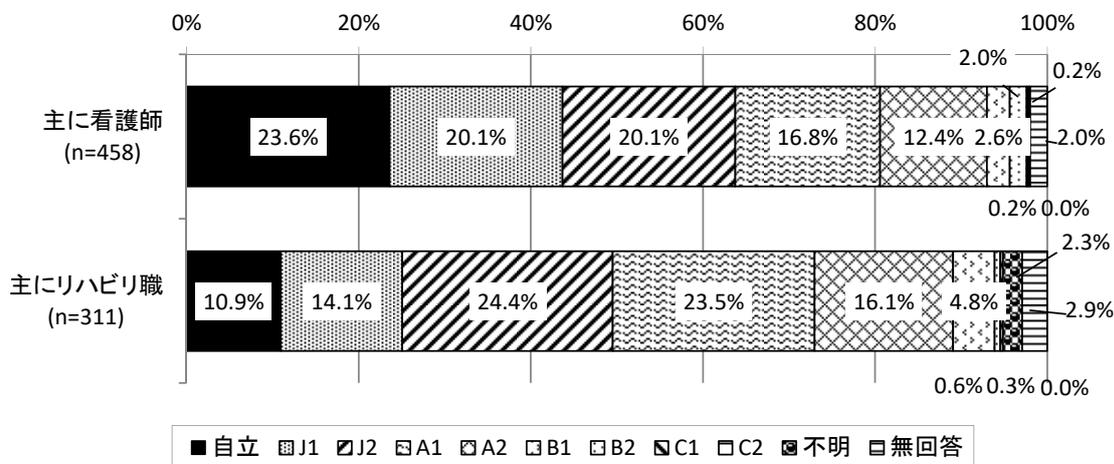
## ⑥ 日常生活自立度

### 1) 利用開始時

利用開始時の日常生活自立度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「自立」が23.6%、「J1」「J2」がそれぞれ20.1%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「J2」が24.4%、「A1」が23.5%であった。

図表4-13 日常生活自立度:利用開始時(問7.①, 問30.①)

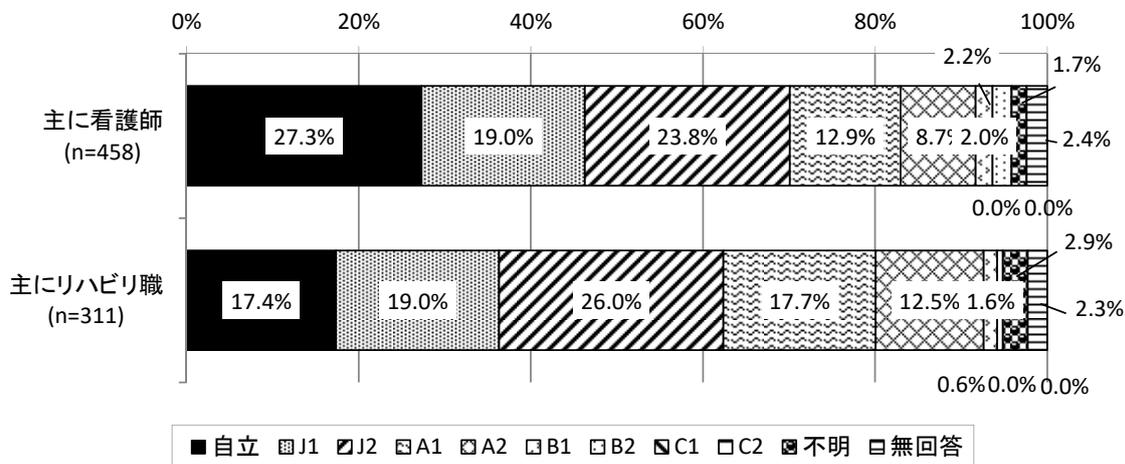


### 2) 直近

利用開始時の日常生活自立度は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「自立」が27.3%、「J2」が23.8%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「J2」が26.0%、「J1」が19.0%であった。

図表4-14 日常生活自立度:直近(問7.②, 問30.②)



### 3) 利用開始時別直近

(主に看護師)

図表4-15 日常生活自立度:利用開始時別直近(主に看護師)

		Q7② 日常生活自立度:直近											
		合計	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体		541 100.0%	130 24.0%	102 18.9%	125 23.1%	76 14.0%	53 9.8%	15 2.8%	13 2.4%	1 0.2%	3 0.6%	11 2.0%	12 2.2%
利用開始時	自立	124 100.0%	100 80.6%	7 5.6%	7 5.6%	2 1.6%	2 1.6%	1 0.8%	3 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%
	J1	112 100.0%	17 15.2%	74 66.1%	8 7.1%	6 5.4%	2 1.8%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%
	J2	103 100.0%	1 1.0%	8 7.8%	86 83.5%	3 2.9%	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	A1	95 100.0%	3 3.2%	7 7.4%	15 15.8%	59 62.1%	2 2.1%	3 3.2%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.2%	2 2.1%
	A2	67 100.0%	6 9.0%	2 3.0%	7 10.4%	4 6.0%	42 62.7%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	3 4.5%	0 0.0%
	B1	15 100.0%	0 0.0%	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	7 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	B2	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	C1	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	C2	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

(主にリハビリ職)

図表4-16 日常生活自立度:利用開始時別直近(主にリハビリ職)

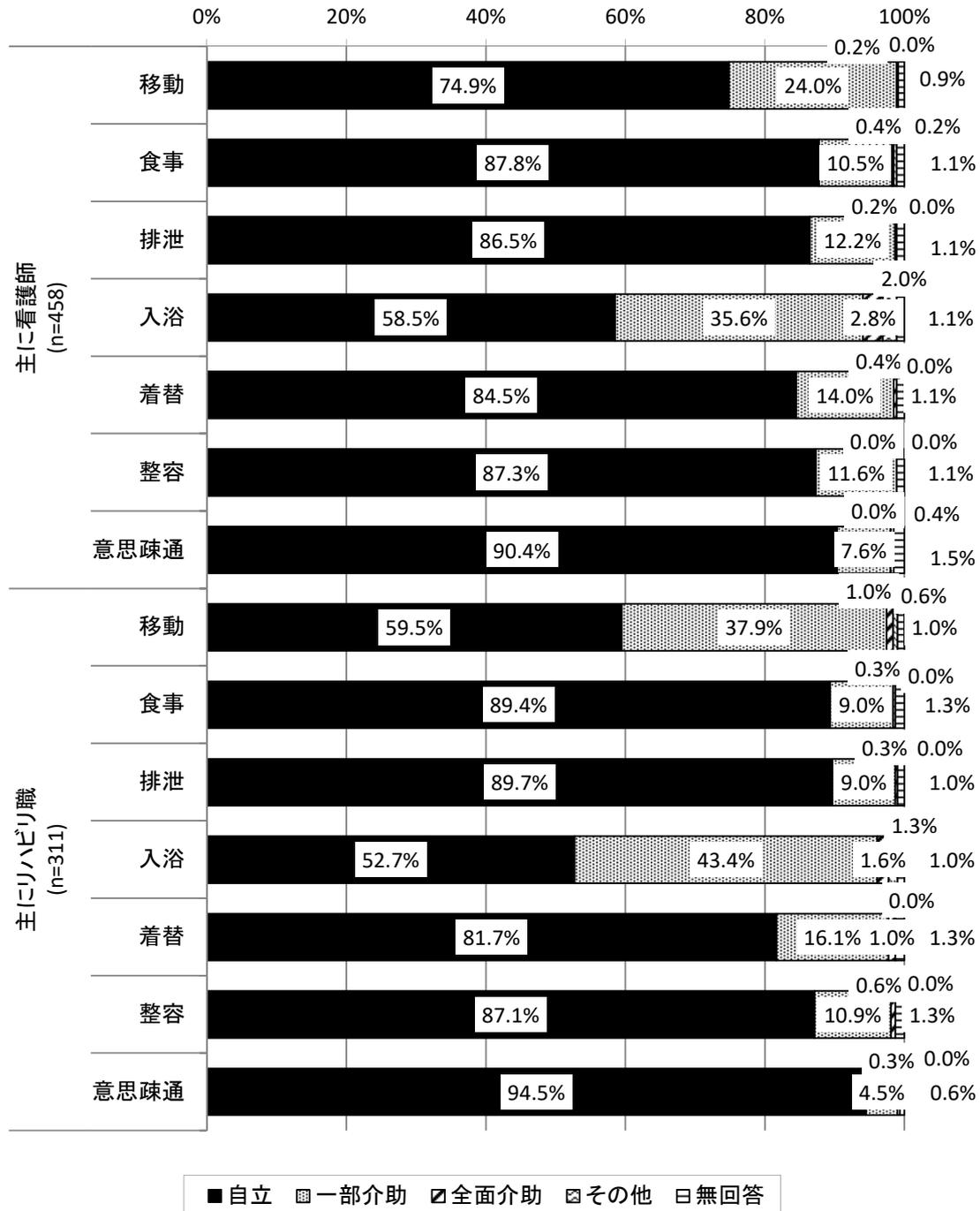
		Q30② 日常生活自立度:直近											
		合計	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体		339 100.0%	58 17.1%	61 18.0%	87 25.7%	65 19.2%	43 12.7%	6 1.8%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	9 2.7%	8 2.4%
利用開始時	自立	36 100.0%	34 94.4%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%
	J1	47 100.0%	11 23.4%	29 61.7%	3 6.4%	3 6.4%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	J2	80 100.0%	5 6.3%	12 15.0%	58 72.5%	2 2.5%	2 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%
	A1	86 100.0%	5 5.8%	11 12.8%	15 17.4%	46 53.5%	6 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.2%
	A2	54 100.0%	2 3.7%	5 9.3%	6 11.1%	9 16.7%	30 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%
	B1	17 100.0%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	4 23.5%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	B2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	C1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	C2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%

⑦ ADL の状況

1) 利用開始時

利用開始時の ADL の状況は、以下のとおりであった。

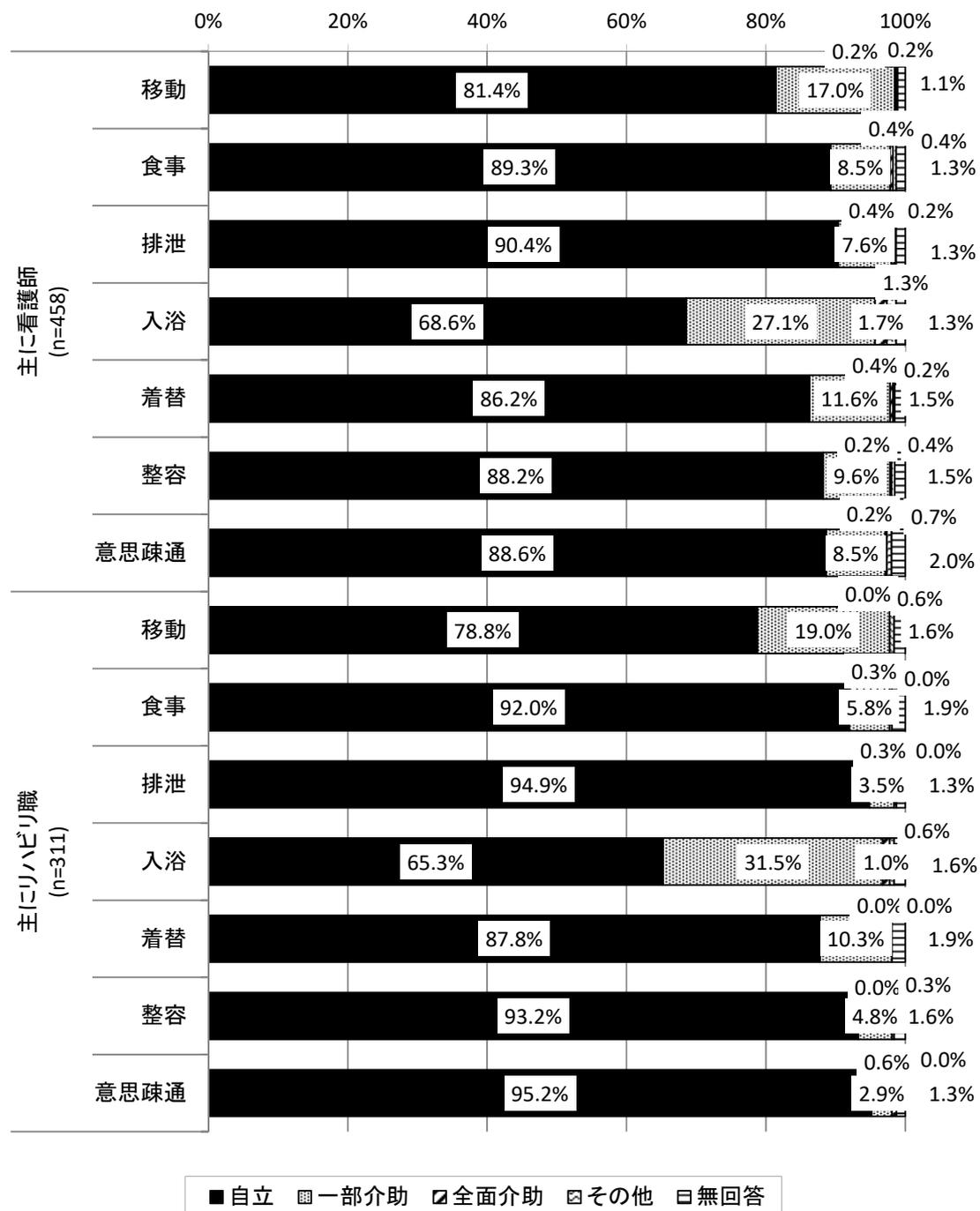
図表4-17 ADLの状況:利用開始時 (問 8.①, 問 31.①)



## 2) サービス利用終了時

サービス利用終了時のADLの状況は、以下のとおりであった。

図表4-18 ADLの状況：サービス利用終了時（問8.②，問31.②）



### 3) 利用開始時別サービス利用終了時

(主に看護師)

図表4-19 ADLの状況:利用開始時別サービス終了時(主に看護師)

		合計	Q8②1 サービス終了時 ADL 状況:移動				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		541 100.0%	411 76.0%	114 21.1%	8 1.5%	2 0.4%	6 1.1%
Q8①1 利用開始時 ADL 状況:移動	自立	399 100.0%	358 89.7%	36 9.0%	3 0.8%	1 0.3%	1 0.3%
	一部介助	135 100.0%	50 37.0%	78 57.8%	4 3.0%	1 0.7%	2 1.5%
	全面介助	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q8②2 サービス終了時 ADL 状況:食事				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		541 100.0%	467 86.3%	57 10.5%	7 1.3%	3 0.6%	7 1.3%
Q8①2 利用開始時 ADL 状況:食事	自立	472 100.0%	447 94.7%	16 3.4%	5 1.1%	2 0.4%	2 0.4%
	一部介助	59 100.0%	18 30.5%	40 67.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
	全面介助	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

		合計	Q8②3 サービス終了時 ADL 状況:排泄				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		541 100.0%	474 87.6%	50 9.2%	7 1.3%	3 0.6%	7 1.3%
Q8①3 利用開始時 ADL 状況:排泄	自立	471 100.0%	448 95.1%	13 2.8%	5 1.1%	3 0.6%	2 0.4%
	一部介助	62 100.0%	23 37.1%	37 59.7%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%
	全面介助	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q8②4 サービス終了時 ADL 状況:入浴				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		541 100.0%	337 62.3%	168 31.1%	15 2.8%	14 2.6%	7 1.3%
Q8①4 利用開始時 ADL 状況:入浴	自立	308 100.0%	270 87.7%	29 9.4%	4 1.3%	4 1.3%	1 0.3%
	一部介助	196 100.0%	56 28.6%	134 68.4%	4 2.0%	1 0.5%	1 0.5%
	全面介助	17 100.0%	6 35.3%	3 17.6%	7 41.2%	0 0.0%	1 5.9%
	その他	14 100.0%	3 21.4%	2 14.3%	0 0.0%	9 64.3%	0 0.0%

		合計	Q8②5 サービス終了時 ADL 状況:着替				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		541 100.0%	445 82.3%	76 14.0%	9 1.7%	3 0.6%	8 1.5%
Q8①5 利用 開始時 ADL 状況:着替	自立	454 100.0%	417 91.9%	26 5.7%	5 1.1%	3 0.7%	3 0.7%
	一部介 助	78 100.0%	24 30.8%	50 64.1%	3 3.8%	0 0.0%	1 1.3%
	全面介 助	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q8②6 サービス終了時 ADL 状況:整容				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		541 100.0%	461 85.2%	61 11.3%	7 1.3%	4 0.7%	8 1.5%
Q8①6 利用 開始時 ADL 状況:整容	自立	471 100.0%	441 93.6%	19 4.0%	5 1.1%	3 0.6%	3 0.6%
	一部介 助	63 100.0%	18 28.6%	42 66.7%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%
	全面介 助	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q8②7 サービス終了時 ADL 状況:意思疎通				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		541 100.0%	473 87.4%	51 9.4%	1 0.2%	6 1.1%	10 1.8%
Q8①7 利用 開始時 ADL 状況:意思 疎通	自立	489 100.0%	466 95.3%	17 3.5%	0 0.0%	2 0.4%	4 0.8%
	一部介 助	41 100.0%	5 12.2%	34 82.9%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%
	全面介 助	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

(主にリハビリ職)

図表4-20 ADLの状況:利用開始時別サービス終了時(主にリハビリ職)

		合計	Q31②1 サービス終了時 ADL 状況:移動				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		339 100.0%	264 77.9%	66 19.5%	2 0.6%	2 0.6%	5 1.5%
Q31①1 利用開始時 ADL 状況: 移動	自立	204 100.0%	189 92.6%	12 5.9%	1 0.5%	0 0.0%	2 1.0%
	一部介助	127 100.0%	70 55.1%	54 42.5%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%
	全面介助	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

		合計	Q31②2 サービス終了時 ADL 状況:食事				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		339 100.0%	310 91.4%	21 6.2%	1 0.3%	1 0.3%	6 1.8%
Q31①2 利用開始時 ADL 状況: 食事	自立	304 100.0%	297 97.7%	4 1.3%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.7%
	一部介助	30 100.0%	12 40.0%	17 56.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
	全面介助	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

		合計	Q31②3 サービス終了時 ADL 状況:排泄				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		339 100.0%	315 92.9%	17 5.0%	3 0.9%	0 0.0%	4 1.2%
Q31①3 利 用開始時 ADL 状況: 排泄	自立	305 100.0%	296 97.0%	5 1.6%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.7%
	一部介 助	30 100.0%	18 60.0%	12 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	全面介 助	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q31②4 サービス終了時 ADL 状況:入浴				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		339 100.0%	215 63.4%	109 32.2%	7 2.1%	2 0.6%	6 1.8%
Q31①4 利 用開始時 ADL 状況: 入浴	自立	176 100.0%	165 93.8%	8 4.5%	1 0.6%	0 0.0%	2 1.1%
	一部介 助	150 100.0%	47 31.3%	99 66.0%	3 2.0%	0 0.0%	1 0.7%
	全面介 助	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%

		合計	Q31②5 サービス終了時 ADL 状況:着替				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		339 100.0%	291 85.8%	40 11.8%	2 0.6%	0 0.0%	6 1.8%
Q31①5 利用開始時 ADL 状況: 着替	自立	277 100.0%	269 97.1%	4 1.4%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.7%
	一部介助	54 100.0%	20 37.0%	34 63.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	全面介助	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	Q31②6 サービス終了時 ADL 状況:整容				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		339 100.0%	309 91.2%	22 6.5%	2 0.6%	1 0.3%	5 1.5%
Q31①6 利用開始時 ADL 状況: 整容	自立	292 100.0%	286 97.9%	2 0.7%	2 0.7%	0 0.0%	2 0.7%
	一部介助	40 100.0%	20 50.0%	20 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	全面介助	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

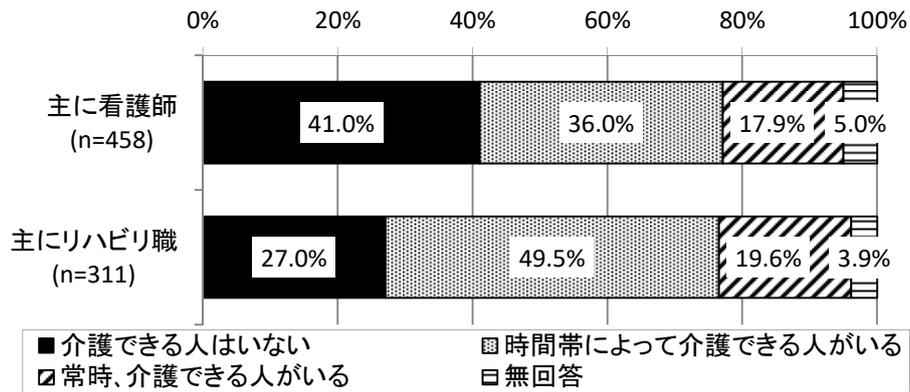
		合計	Q31②7 サービス終了時 ADL 状況:意思疎通				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		339 100.0%	321 94.7%	10 2.9%	3 0.9%	0 0.0%	5 1.5%
Q31①7 利 用開始時 ADL 状況: 意思疎通	自立	321 100.0%	316 98.4%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	3 0.9%
	一部介 助	14 100.0%	4 28.6%	9 64.3%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
	全面介 助	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑧ 介護力

介護力は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「介護できる人はいない」が41.0%、「時間帯によって介護できる人がいる」が36.0%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「時間帯によって介護できる人がいる」が49.5%、「介護できる人はいない」が27.0%であった。

図表4-21 介護力（問9、問32）

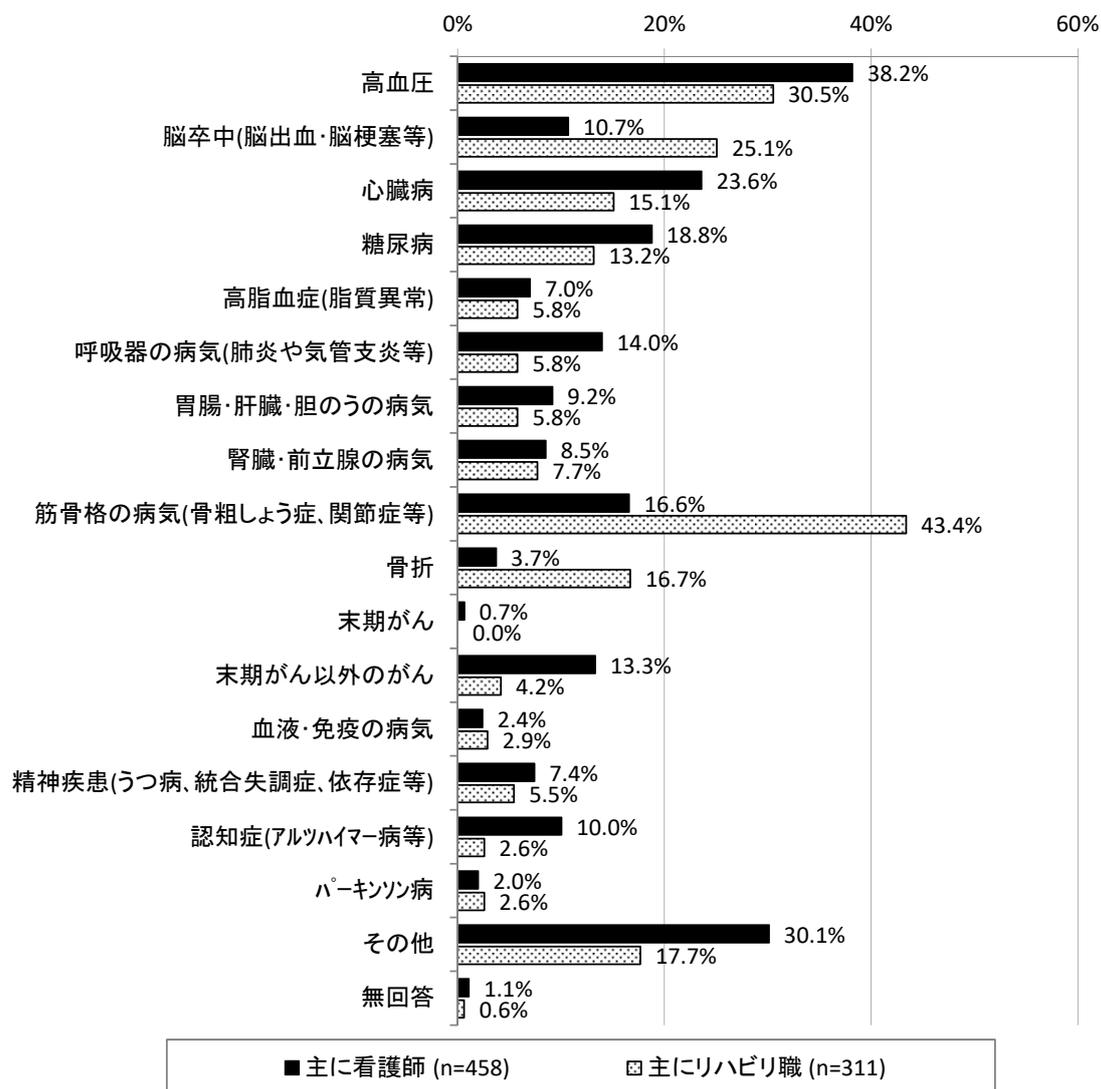


### ⑨ 在宅療養を続けている原因病名

在宅療養を続けている原因病名は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「高血圧」が38.2%、「心臓病」が23.6%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が43.4%、「高血圧」が30.5%であった。

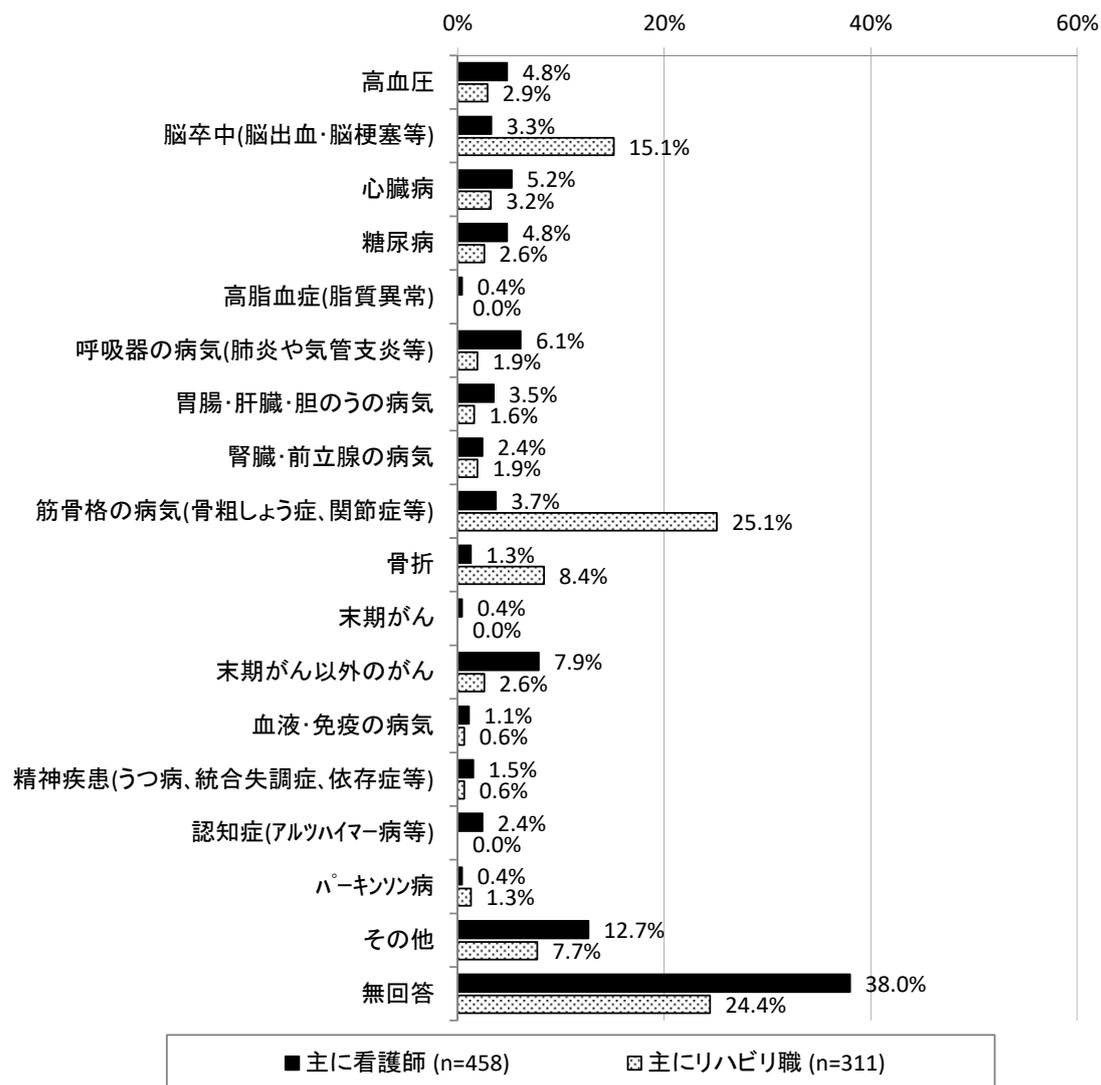
図表4-22 在宅療養を続けている原因病名（複数回答）(問 10, 問 33)



主傷病は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「末期がん以外のがん」が7.9%、「呼吸器系の病気（肺炎や気管支炎等）」が6.1%、「心臓病」が5.2%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が25.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が15.1%、「骨折」が8.4%であった。

図表4-23 主傷病（問10, 問33）

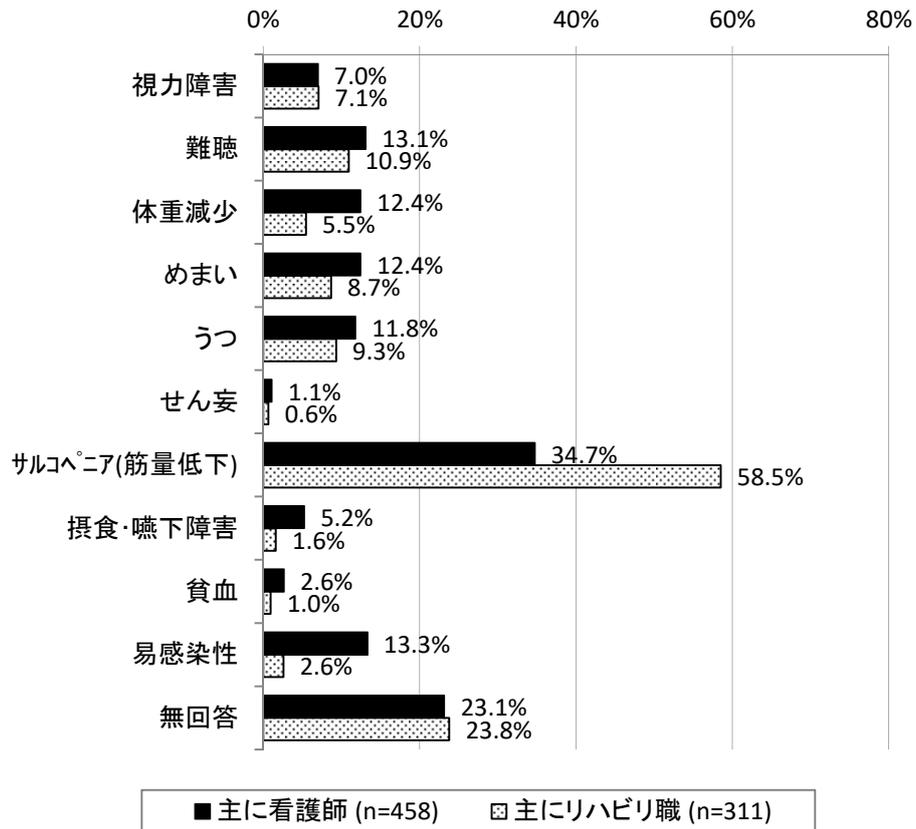


⑩ 利用者が抱える健康障害

利用者が抱える健康障害は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「サルコペニア（筋量低下）」が34.7%、「易感染症」が13.3%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「サルコペニア（筋量低下）」が58.5%、「難聴」が10.9%であった。

図表4-24 利用者が抱える健康障害（複数回答）(問 11, 問 34)



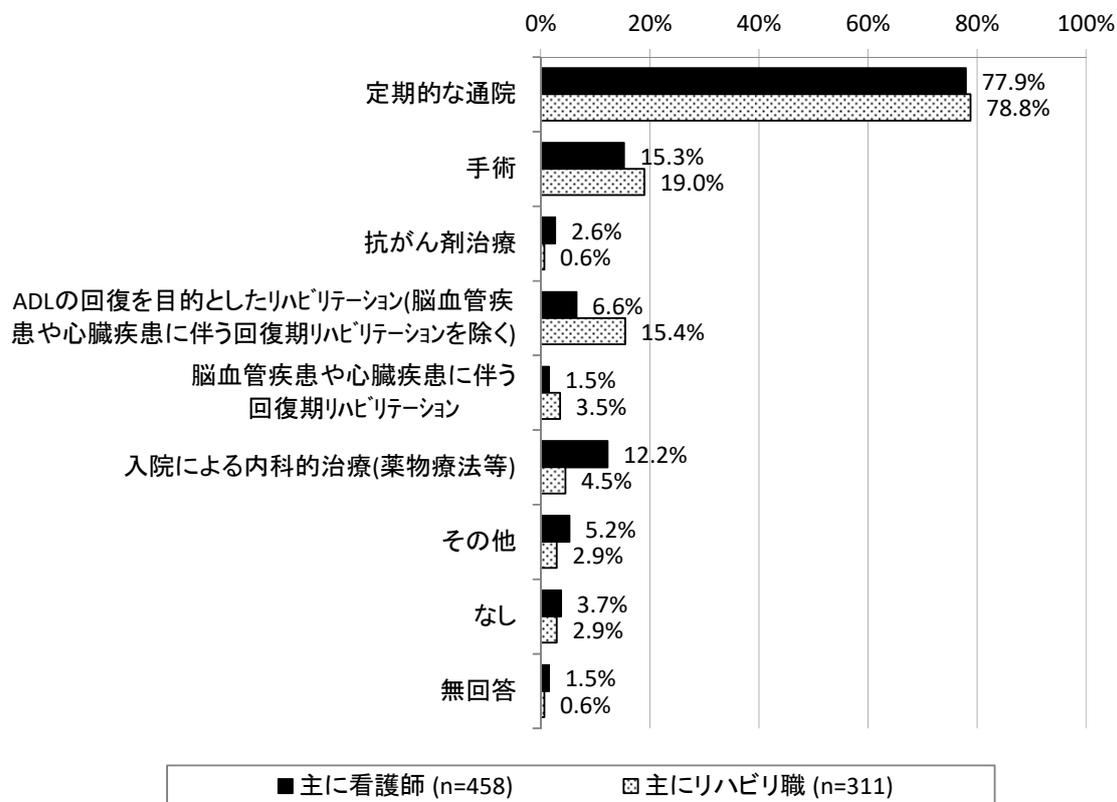
## 2. 訪問看護の提供の状況等

### ① 訪問看護サービス開始時に受けていた診療

訪問看護サービス開始時に受けていた診療は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「定期的な通院」が77.9%、「手術」が15.3%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「定期的な通院」が78.8%、「手術」が19.0%であった。

図表4-25 訪問看護サービス開始時に受けていた診療（複数回答）(問 12, 問 35)

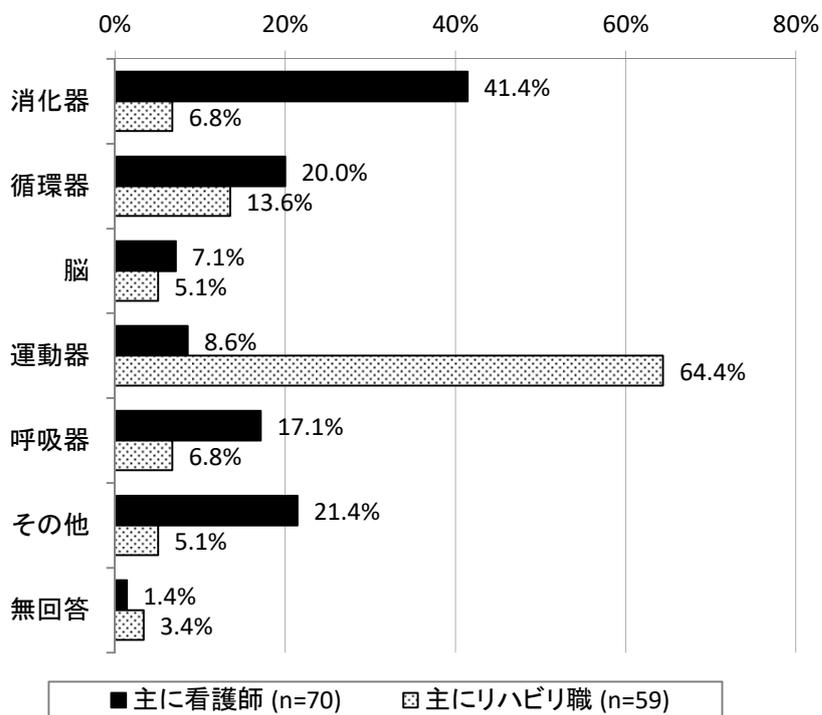


1) (「手術」を受けていた場合) 部位

「手術」を受けていた場合、その部位は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「消化器」が41.4%、「循環器」が20.0%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「運動器」が64.4%、「循環器」が13.6%であった。

図表4-26 「手術」を受けていた場合: 部位 (問 12, 問 35)

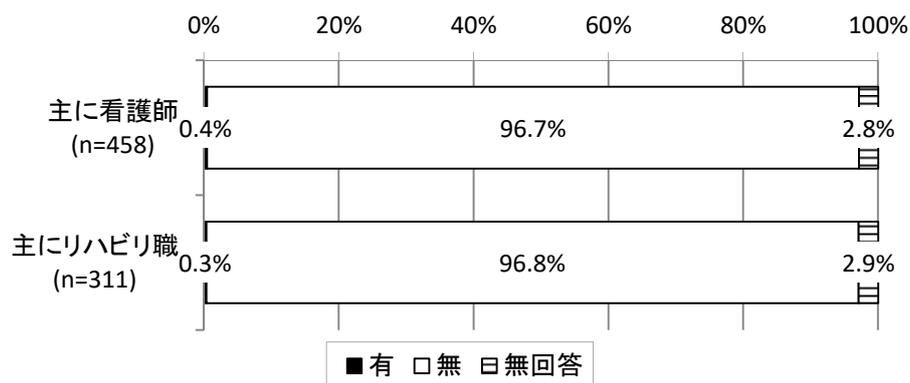


## ② 余命の見込みに関する説明の有無

余命の見込みに関する説明は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「有」が 0.4%であった。主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「有」が 0.3%であった。

「有」の場合、余命の見込みは、主にリハビリ職が訪問を行った利用者について、1人回答があり、12 か月であった。

図表4-27 余命の見込みに関する説明の有無（問 13, 問 36）



図表4-28 余命の見込みに関する説明が「有」の場合：余命の見込み（問 13, 問 36）

単位：か月

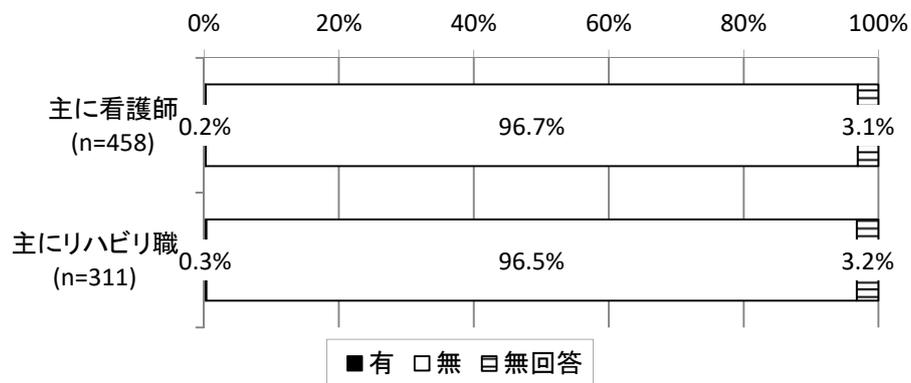
	回答件数	平均	標準偏差	中央値
主に看護師	0	—	—	—
主にリハビリ職	1	12.0	—	12.0

### ③ ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無

ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「有」が0.2%であった。主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「有」が0.3%であった。

「有」の場合、余命の見込みの記載は、主に看護師が訪問を行った利用者で1人あり、6か月であった。

図表4-29 ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無（問 14, 問 37）



図表4-30 訪問看護指示書への記載が「有」の場合：余命の見込みの記載（問 14, 問 37）

単位：か月

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
主に看護師	1	6.0	6.0	-
主にリハビリ職	0	-	-	-

#### ④ 介護保険での訪問回数（終了前1か月間）

終了1か月前の介護保険での看護職員の訪問回数は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「30分未満」が平均2.3回、「30分以上1時間未満」が平均1.5回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均0.3回、「作業療法士」が平均0.1回であった。

看護職員の訪問回数とリハビリ職員の訪問回数の合計は、平均4.3回であった。

図表4-31 主に看護師:介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月)(問15)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
20分未満	453	0.0	0.3	0.0
30分未満	453	2.3	2.8	2.0
30分以上1時間未満	453	1.5	2.4	0.0
1時間以上1時間30分未満	453	0.1	0.7	0.0
小計	453	3.8	2.9	4.0

図表4-32 主に看護師:介護保険での看護職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)(問15)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	5	1.1%
2	1回~3回	197	43.0%
3	4回	162	35.4%
4	5回~9回	73	15.9%
5	10回以上	16	3.5%
	無回答	5	1.1%
	全体	458	100.0%

図表4-33 主に看護師:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)(問16)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
理学療法士	453	0.3	1.5	0.0
作業療法士	453	0.1	1.0	0.0
言語聴覚士	453	0.0	0.0	0.0
小計	453	0.4	1.8	0.0

図表4-34 主に看護師:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)(問16)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	422	92.1%
2	1回~3回	4	0.9%
3	4回	9	2.0%
4	5回~9回	14	3.1%
5	10回以上	4	0.9%
	無回答	5	1.1%
	全体	458	100.0%

図表4-35 主に看護師:介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
合計	453	4.3	3.3	4.0

図表4-36 主に看護師:介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	3	0.7%
2	1回~3回	180	39.3%
3	4回	156	34.1%
4	5回~9回	85	18.6%
5	10回以上	29	6.3%
	無回答	5	1.1%
	全体	458	100.0%

小計が0の場合を除くと、看護職員の訪問回数は、「30分未満」が平均2.3回、「30分以上1時間未満」が平均1.5回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均4.5回、「作業療法士」が平均1.8回であった。

図表4-37 主に看護師:介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月)※小計が0の場合を除く  
(問15)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
20分未満	448	0.0	0.3	0.0
30分未満	448	2.3	2.8	2.0
30分以上1時間未満	448	1.5	2.4	0.0
1時間以上1時間30分未満	448	0.1	0.7	0.0
小計	448	3.9	2.9	4.0

図表4-38 主に看護師:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)※小計が0の場合を除く (問16)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
理学療法士	31	4.5	3.8	4.0
作業療法士	31	1.8	3.4	0.0
言語聴覚士	31	0.0	0.0	0.0
小計	31	6.3	3.0	6.0

終了1か月前の介護保険での看護職員の訪問回数は、主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「30分以上1時間未満」が平均0.6回、「30分未満」が平均0.4回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均6.7回、「作業療法士」が平均2.3回であった。

看護職員の訪問回数とリハビリ職員の訪問回数の合計は、平均10.3回であった。

図表4-39 主にリハビリ職:介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月)(問38)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
20分未満	310	0.1	0.9	0.0
30分未満	310	0.4	1.1	0.0
30分以上1時間未満	310	0.6	1.7	0.0
1時間以上1時間30分未満	310	0.0	0.3	0.0
小計	310	1.1	2.1	0.0

図表4-40 主にリハビリ職:介護保険での看護職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)(問38)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	171	55.0%
2	1回~3回	98	31.5%
3	4回	28	9.0%
4	5回~9回	9	2.9%
5	10回以上	4	1.3%
	無回答	1	0.3%
	全体	311	100.0%

図表4-41 主にリハビリ職:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)(問39)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
理学療法士	310	6.7	7.1	6.0
作業療法士	310	2.3	6.0	0.0
言語聴覚士	310	0.1	1.2	0.0
小計	310	9.2	7.9	8.0

図表4-42 主にリハビリ職:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)(問  
39)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	11	3.5%
2	1回~3回	30	9.6%
3	4回	39	12.5%
4	5回~9回	122	39.2%
5	10回以上	108	34.7%
	無回答	1	0.3%
	全体	311	100.0%

図表4-43 主にリハビリ職:介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数(終了前1  
か月)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
合計	310	10.3	8.7	8.0

図表4-44 主にリハビリ職:介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数の合計の  
分布(終了前1か月)

No.	カテゴリー名	n	%
1	0回	2	0.6%
2	1回~3回	27	8.7%
3	4回	27	8.7%
4	5回~9回	132	42.4%
5	10回以上	122	39.2%
	無回答	1	0.3%
	全体	311	100.0%

小計が0の場合を除くと、看護職員の訪問回数は、「30分以上1時間未満」が平均1.4回、「30分未満」が平均0.9回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均7.0回、「作業療法士」が平均2.4回であった。

図表4-45 主にリハビリ職:介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月)※小計が0の場合を除く(問38)

単位:回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
20分未満	139	0.1	1.4	0.0
30分未満	139	0.9	1.4	1.0
30分以上1時間未満	139	1.4	2.3	0.0
1時間以上1時間30分未満	139	0.1	0.5	0.0
小計	139	2.5	2.5	1.0

図表4-46 主にリハビリ職:介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)※小計が0の場合を除く(問39)

単位:回

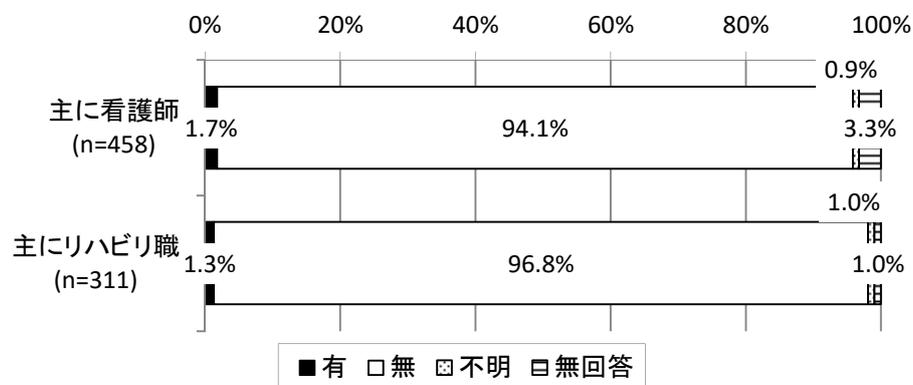
	回答件数	平均	標準偏差	中央値
理学療法士	299	7.0	7.1	6.0
作業療法士	299	2.4	6.0	0.0
言語聴覚士	299	0.1	1.2	0.0
小計	299	9.5	7.8	8.0

⑤ 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無（終了前1か月間）

終了前1か月間における、他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「有」が1.7%であった。主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「有」が1.3%であった。

「有」の場合、訪問回数は、主に看護師が訪問を行った利用者では平均3.3回、主にリハビリ職が訪問を行った利用者では平均5.5回であった。

図表4-47 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無（終了前1か月間）（問17，問40）



図表4-48 訪問が「有」の場合：訪問回数（問17，問40）

単位：回

	回答件数	平均	標準偏差	中央値
主に看護師	7	3.3	1.3	4.0
主にリハビリ職	2	5.5	3.5	5.5

⑥ 医療保険での訪問看護の回数（終了前1か月間）

終了前1か月間における、医療保険での訪問看護は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「あり」が3.5%であった。主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「あり」が0.6%であった。

「あり」の場合、訪問回数は、主に看護師が訪問を行った利用者では平均6.9回、主にリハビリ職が訪問を行った利用者では平均3.5回であった。

図表4-49 医療保険での訪問看護の有無(問18, 問41)

(主に看護師)

	件数	%
訪問看護あり	16	3.5%
訪問看護なし	370	80.8%
無回答	72	15.7%
全体	458	100.0%

(主にリハビリ職)

	件数	%
訪問看護あり	2	0.6%
訪問看護なし	274	88.1%
無回答	35	11.3%
全体	311	100.0%

図表4-50 医療保険での訪問看護の回数 ※1回以上ある場合(問18, 問41)

単位：回

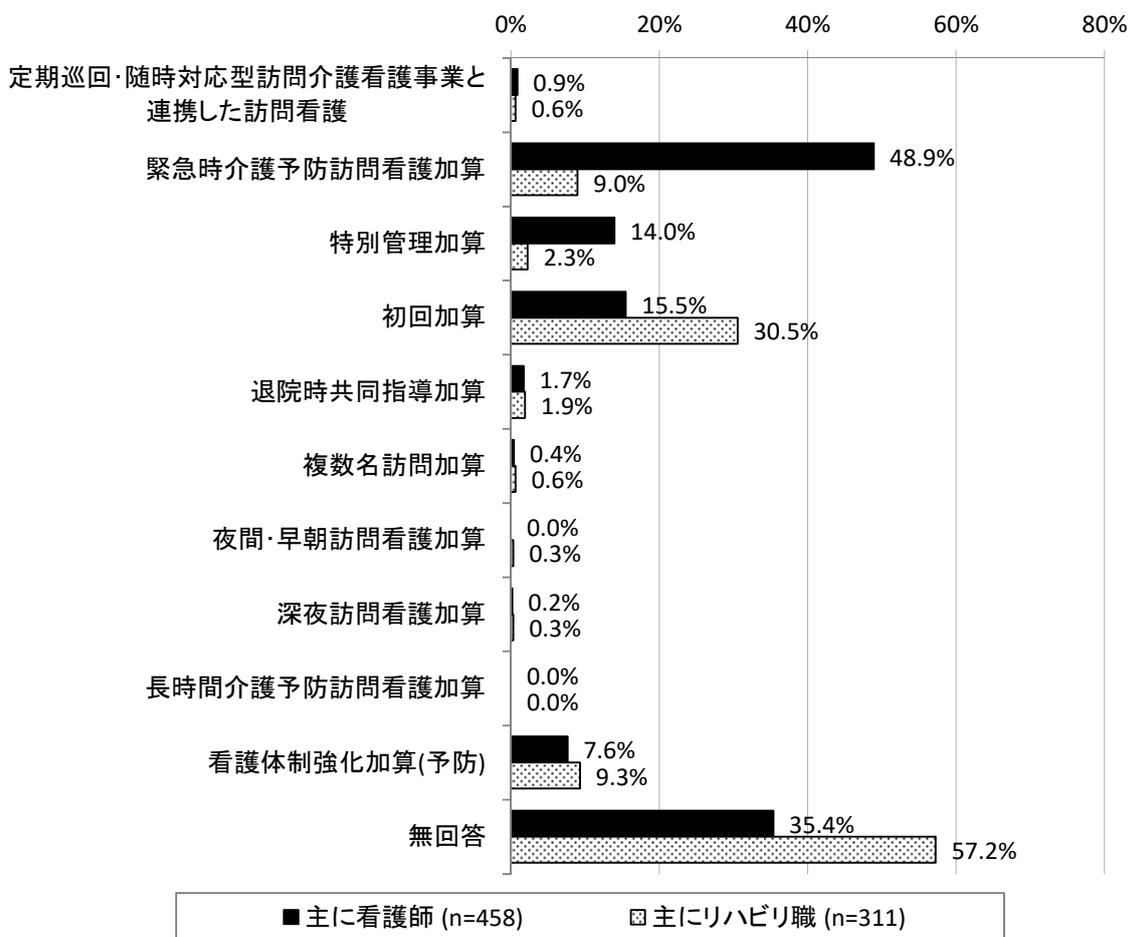
	回答件数	平均	標準偏差	中央値
主に看護師	16	6.9	4.2	6.5
主にリハビリ職	2	3.5	0.7	3.5

⑦ 訪問看護の加算等の状況

訪問看護の加算等の状況は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「緊急時介護予防訪問看護加算」が48.9%、「初回加算」が15.5%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「初回加算」が30.5%、「緊急時介護予防訪問看護加算」が9.0%であった。

図表4-51 訪問看護の加算等の状況（複数回答）(問 19, 問 42)

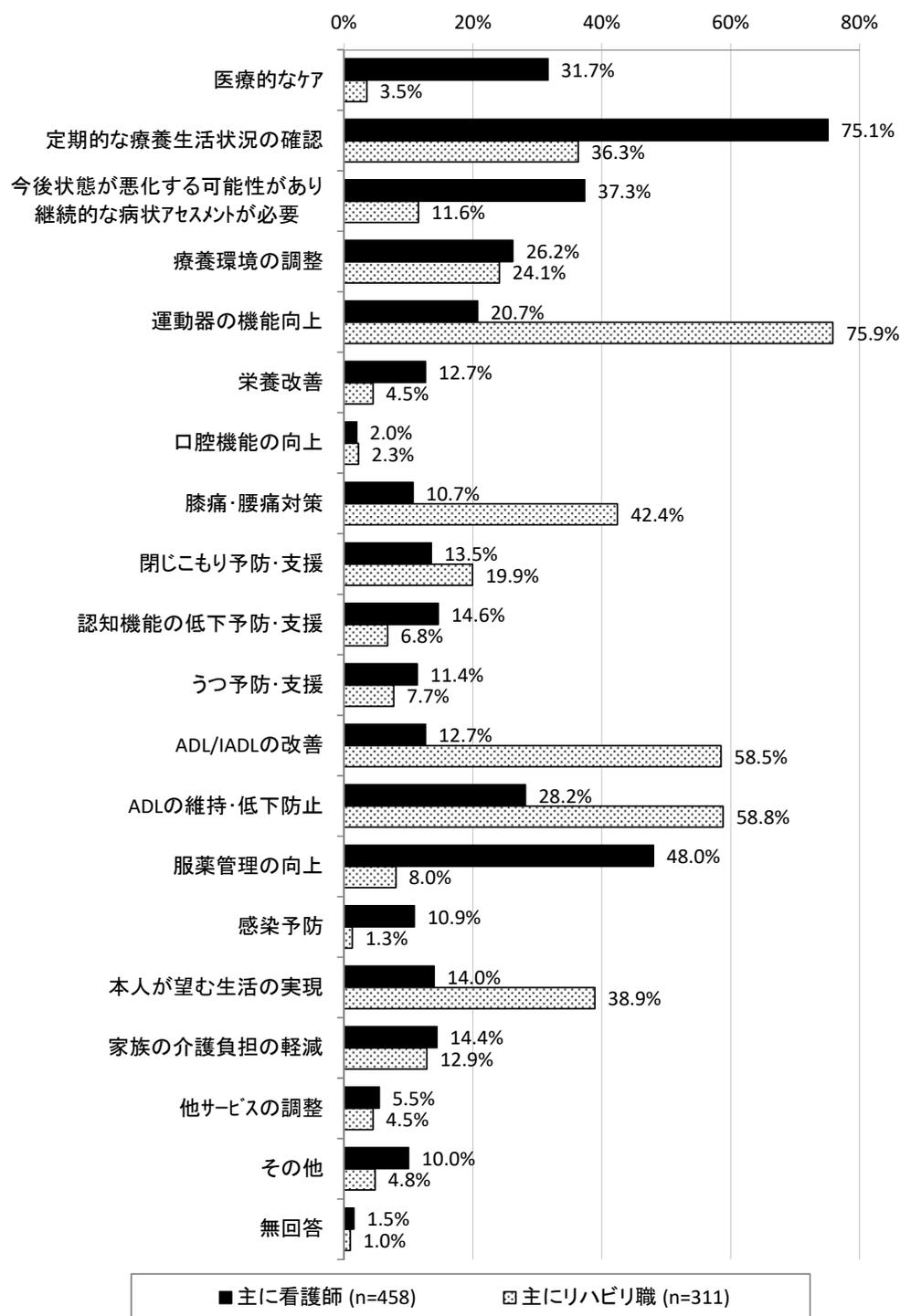


### ⑧ 訪問看護の目的

訪問看護の目的は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「定期的な療養生活状況の確認」が75.1%、「服薬管理の向上」が48.0%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「運動器の機能向上」が75.9%、「ADLの維持・低下防止」が58.8%であった。

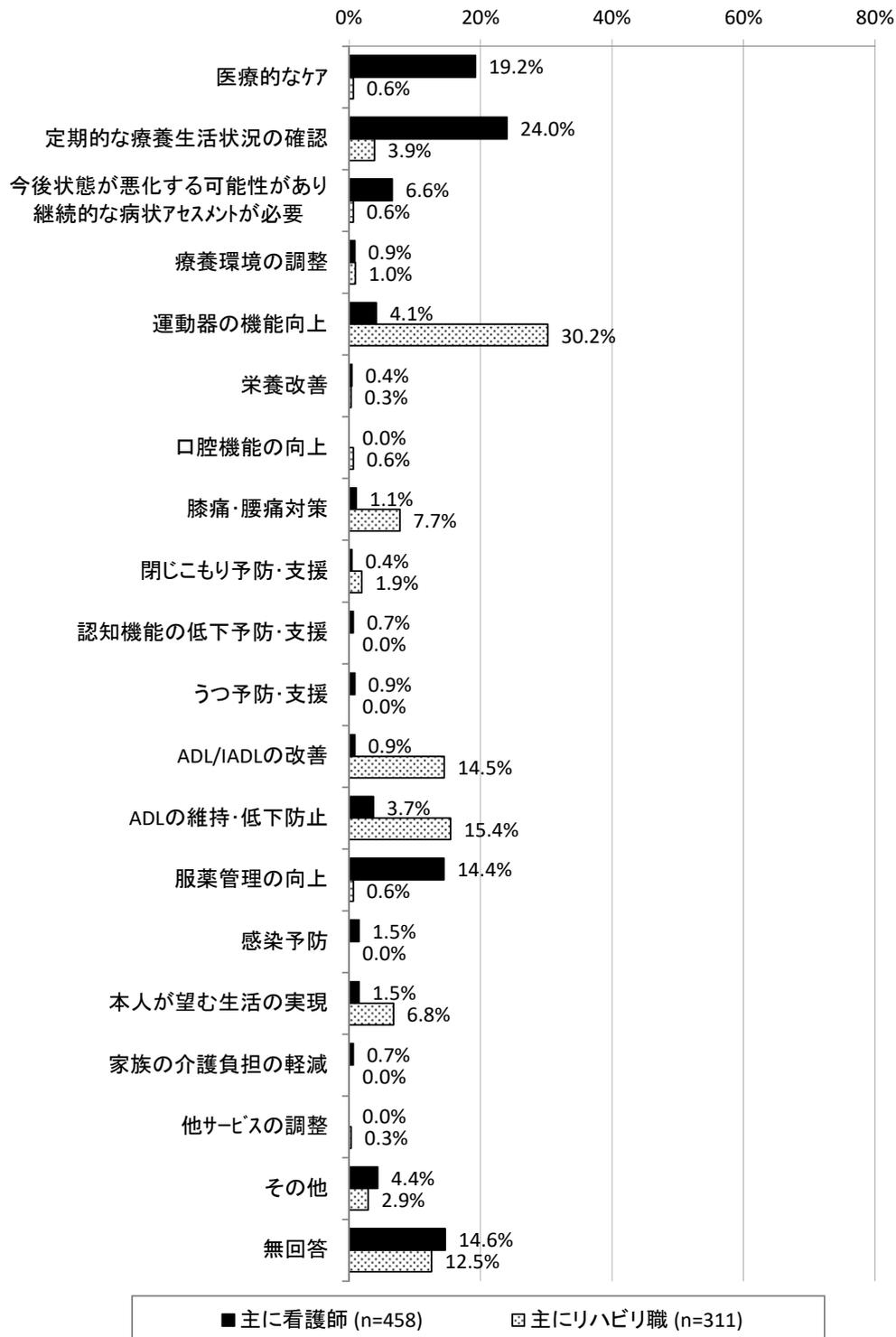
図表4-52 訪問看護の目的（複数回答）(問 20, 問 43)



訪問看護の主な目的（1つ）は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「定期的な療養生活状況の確認」が24.0%、「医療的なケア」が19.2%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「運動器の機能向上」が30.2%、「ADLの維持・低下防止」が15.4%であった。

図表4-53 訪問看護の主な目的（問20, 問43）

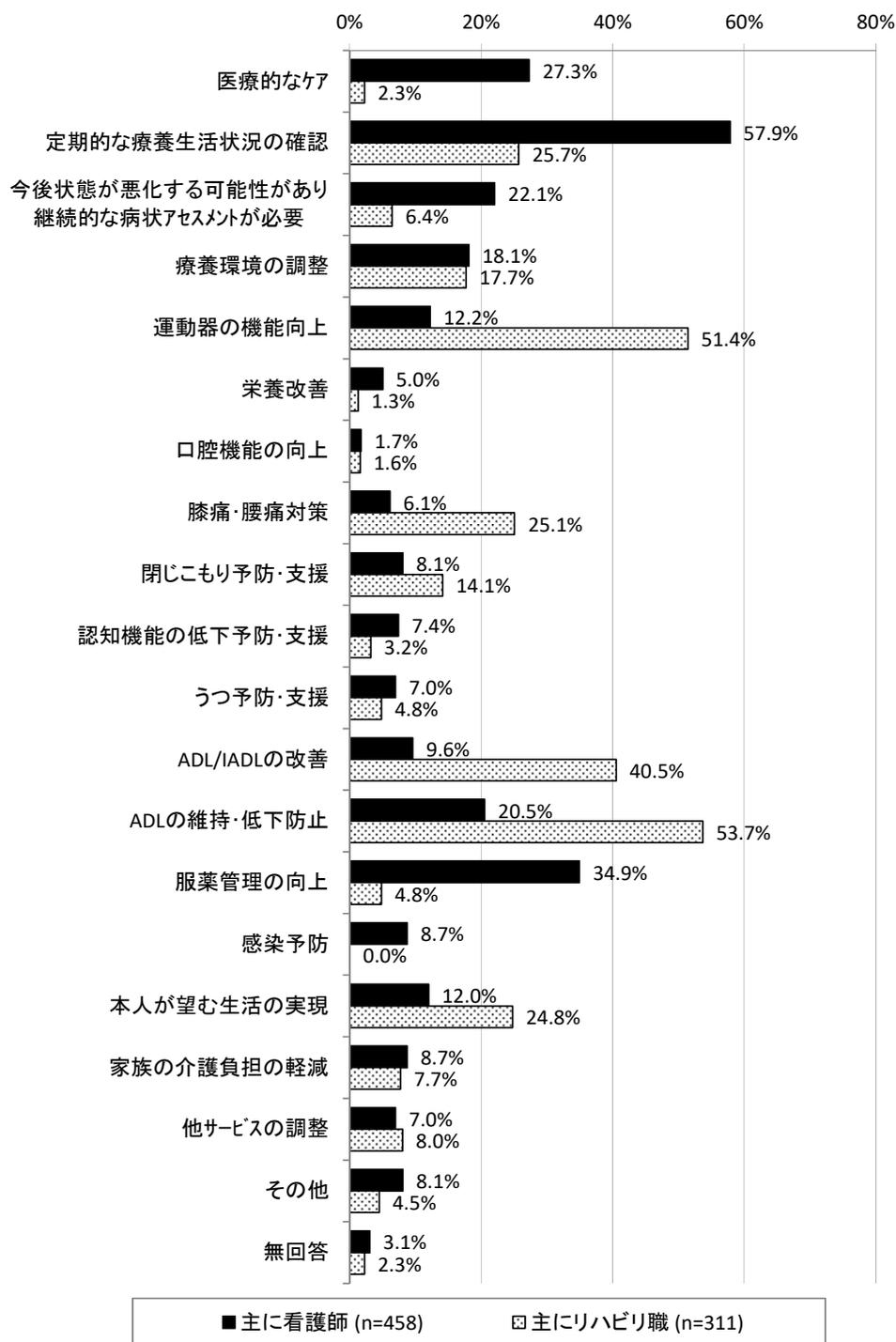


### ⑨ 利用終了時に目的・目標の達成ができた項目

利用終了時に目的・目標の達成ができた項目は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「定期的な療養生活状況の確認」が57.9%、「服薬管理の向上」が34.9%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「ADLの維持・低下防止」が53.7%、「運動器の機能向上」が51.4%であった。

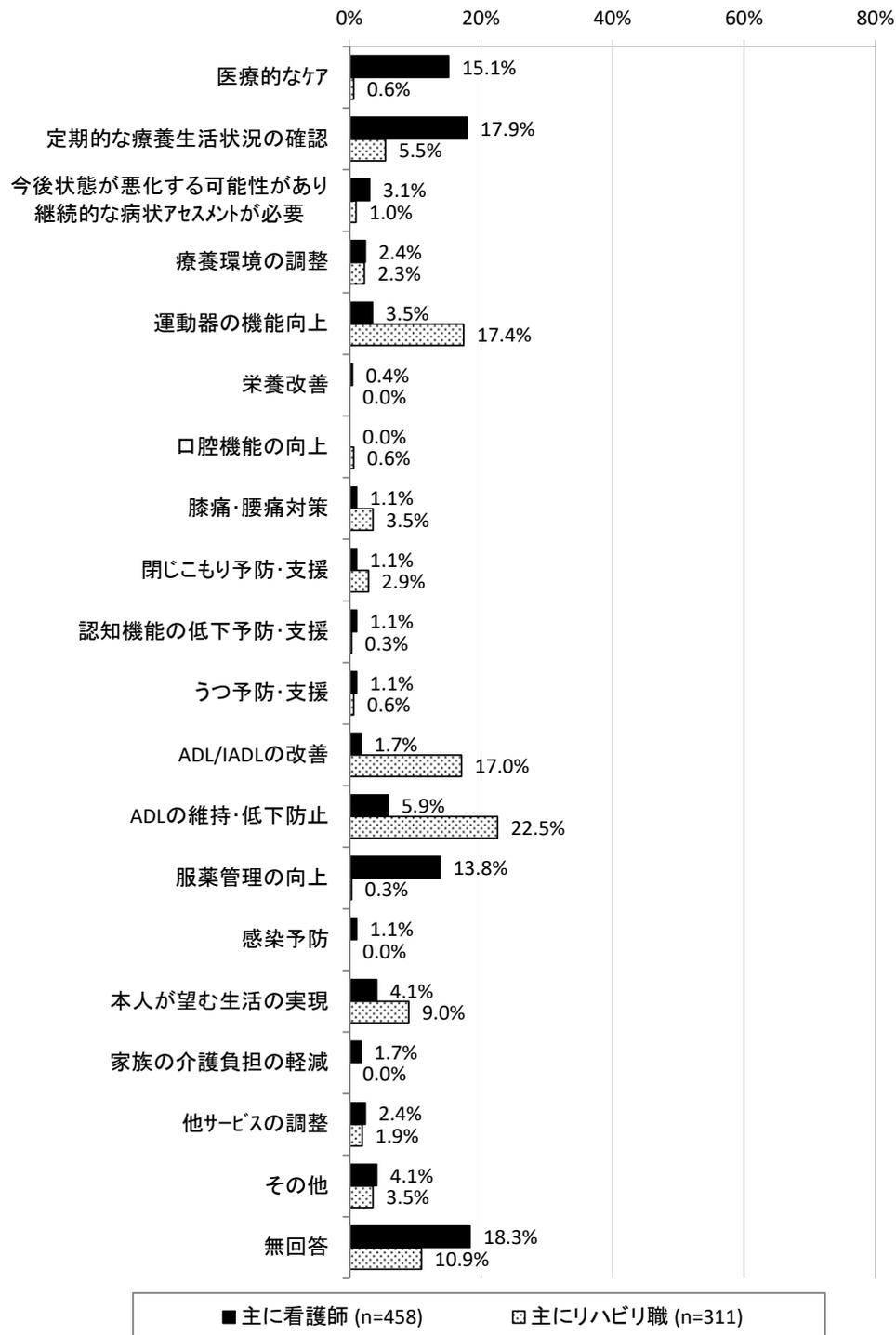
図表4-54 利用終了時に目的・目標の達成ができた項目（問21，問44）



利用終了時に最も目的・目標の達成ができた項目は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「定期的な療養生活状況の確認」が17.9%、「医療的なケア」が15.1%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「ADLの維持・低下防止」が22.5%、「運動器の機能向上」が17.4%であった。

図表4-55 利用終了時に最も目的・目標の達成ができた項目（問21，問44）



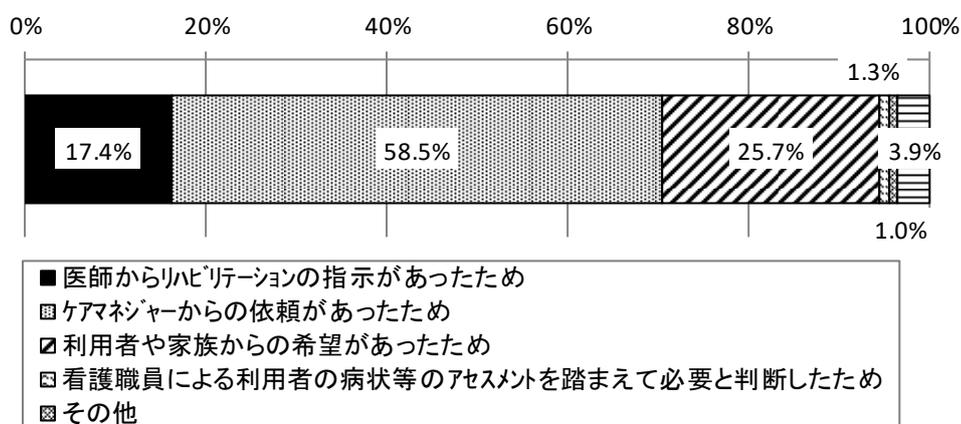
## ⑩ リハビリテーションの状況（利用者票②のみ）

主にリハビリ職が訪問を行った利用者について、リハビリテーションの状況をたずねた。

### 1) リハビリテーションが開始となった経緯

リハビリテーションが開始となった経緯は、「ケアマネジャーからの依頼があったため」が58.5%、「利用者や家族からの希望があったため」が25.7%、「医師からリハビリテーションの指示があったため」が17.4%であった。

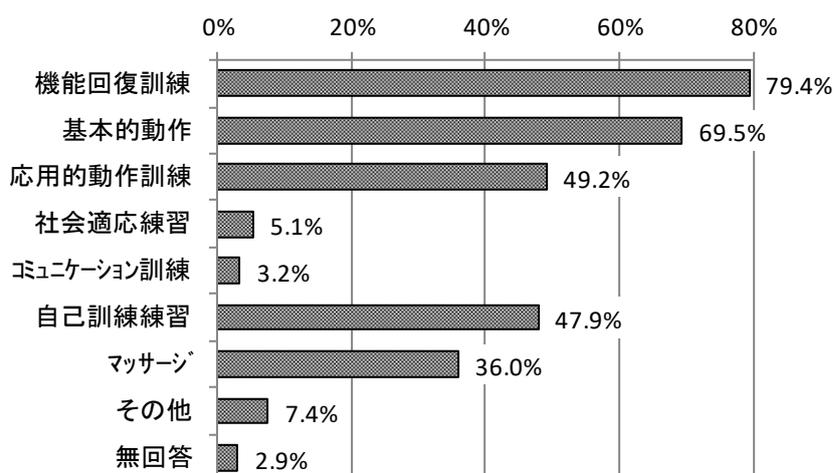
図表4-56 リハビリテーションが開始となった経緯（n=339）（問45）



### 2) リハビリテーションの内容

リハビリテーションの内容は、「機能回復訓練」が79.4%、「基本的動作」が69.5%、「応用的動作訓練」が49.2%であった。

図表4-57 リハビリテーションの内容（複数回答）（n=339）（問46）

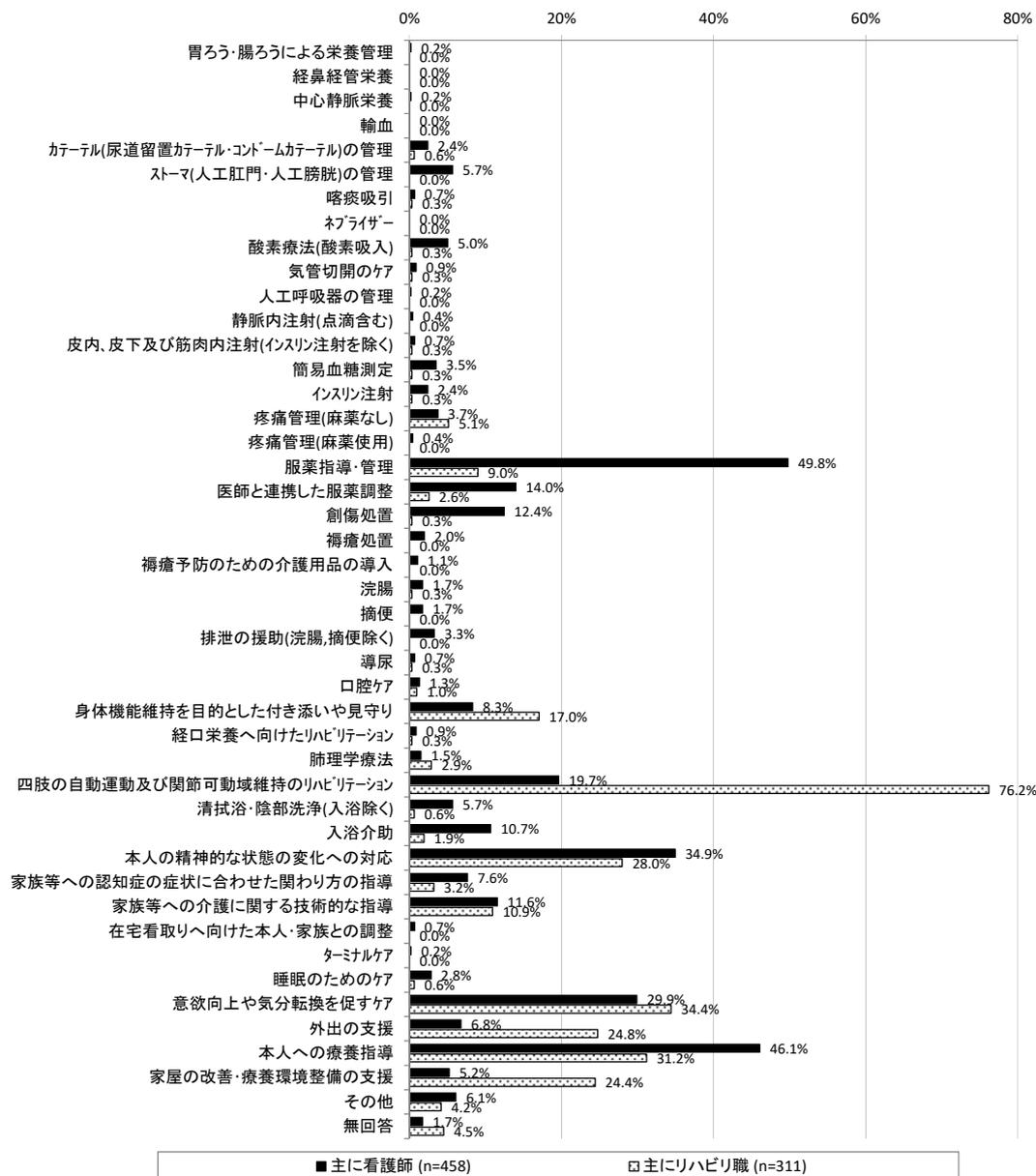


### ⑪ 提供したケア

提供したケアは、主に看護師が訪問を行った利用者では、「服薬管理・指導」が49.8%、「本人への療養指導」が46.1%、「本人の精神的な状態の変化への対応」が34.9%であった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション」が76.2%、「意欲向上や気分転換を促すケア」が34.4%、「本人への療養指導」が31.2%であった。

図表4-58 提供したケア（複数回答）（問 22, 問 47）



## ⑫ 訪問看護の終了理由

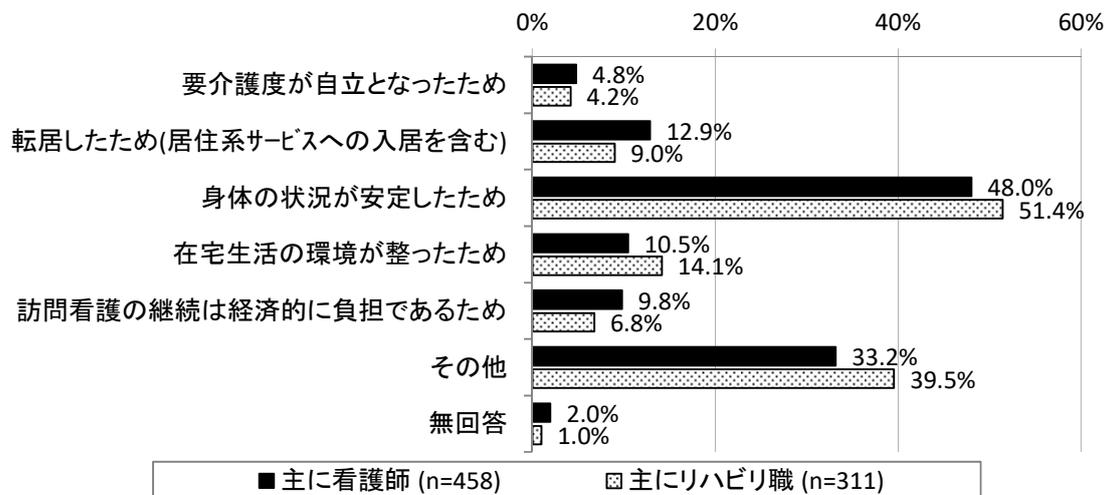
訪問看護の終了理由は、主に看護師が訪問を行った利用者では、「身体の状況が安定したため」が48.0%、「転居したため（居住系サービスへの入居を含む）」が12.9%、「在宅生活の環境が整ったため」が10.5%であった。

その他の具体的な内容は、「他事業の利用となった（通所介護、訪問介護、リハビリ等）」や「他のステーションへ移管」、「創部が治癒した」、「ストーマが外れた」「カテーテル抜去できた」「（自分・家族で）医療管理ができるようになった」等があった。また、「本人の希望」「本人の拒否」「家族の事情」等があった。

主にリハビリ職が訪問を行った利用者では、「身体の状況が安定したため」が51.4%、「在宅生活の環境が整ったため」が14.1%、「転居したため（居住系サービスへの入居を含む）」が9.0%であった。

その他の具体的な内容は、「他事業の利用となった（訪問リハビリ、通所介護、通所リハ等）」が多かった。また、「目標達成した」「本人の希望」「医師の指示」等があった。

図表4-59 訪問看護の終了理由（問23, 問48）



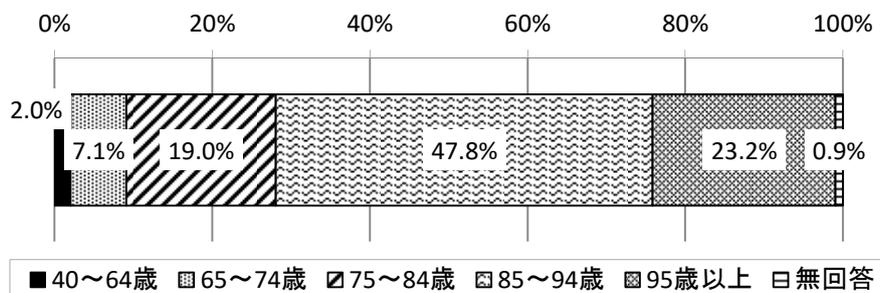
## 第5節 看取りを行った利用者（利用者票③）の結果の詳細

### 1. 利用者の状態等

#### ① 年齢

利用者の年齢は、「85～94歳」が47.8%、「95歳以上」が23.2%であった。

図表5-1 年齢 (n=1,075) (問 49)

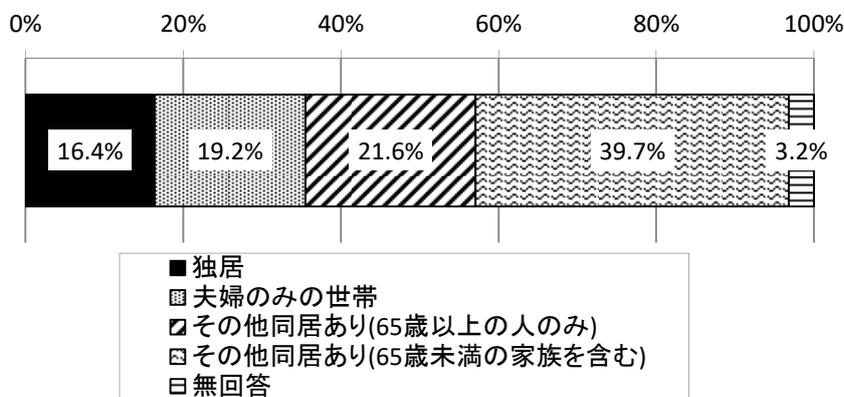


	合計	Q49 年齢					
		40～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答
全体	1,075	22	76	204	514	249	10
	100.0%	2.0%	7.1%	19.0%	47.8%	23.2%	0.9%
末期がんあり	211	13	40	75	72	7	4
	100.0%	6.2%	19.0%	35.5%	34.1%	3.3%	1.9%
末期がんなし	863	9	36	129	441	242	6
	100.0%	1.0%	4.2%	14.9%	51.1%	28.0%	0.7%

## ② 世帯構成

利用者の世帯構成は、「その他同居あり（65歳未満の家族を含む）」が39.7%、「その他同居あり（65歳以上の人のみ）」が21.6%であった。

図表5-2 世帯構成 (n=1,075) (問 50)

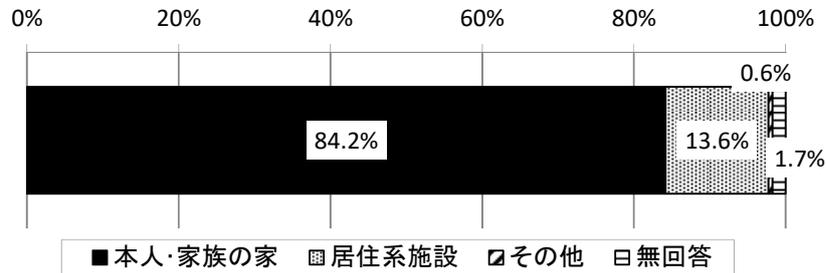


	合計	Q50 世帯構成				
		独居	夫婦のみの世帯	その他同居あり(65歳以上の人のみ)	その他同居あり(65歳未満の家族を含む)	無回答
全体	1,075 100.0%	176 16.4%	206 19.2%	232 21.6%	427 39.7%	34 3.2%
末期がんあり	211 100.0%	28 13.3%	78 37.0%	20 9.5%	82 38.9%	3 1.4%
末期がんなし	863 100.0%	148 17.1%	128 14.8%	212 24.6%	344 39.9%	31 3.6%

### ③ 住まい

利用者の住まいは、「本人・家族の家」が 84.2%、「居住系施設」が 13.6%であった。

図表5-3 住まい (n=1,075) (問 51)



	合計	Q51 住まい			
		本人・家族の家	居住系施設	その他	無回答
全体	1,075 100.0%	905 84.2%	146 13.6%	6 0.6%	18 1.7%
末期がんあり	211 100.0%	187 88.6%	17 8.1%	3 1.4%	4 1.9%
末期がんなし	863 100.0%	717 83.1%	129 14.9%	3 0.3%	14 1.6%

### ④ 訪問看護の利用期間

訪問看護の利用期間は、平均 509.1 日、中央値で 164.0 日であった。「50 日以内」が 25.8%、「51 日～100 日」が 13.2%であった。

図表5-4 訪問看護の利用期間 (問 52, 53)

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,061	509.1	828.1	164.0
末期がんあり	206	220.5	465.0	79.0
末期がんなし	854	579.3	880.3	226.5

図表5-5 訪問看護の利用期間の分布（問 52, 53）

	合計	利用期間							
		50日以内	51日～100日	101日～150日	151日～200日	201日～250日	251日～300日	301日～350日	351日～400日
全体	1,075 100.0%	277 25.8%	142 13.2%	88 8.2%	69 6.4%	33 3.1%	33 3.1%	29 2.7%	27 2.5%
末期がんあり	211 100.0%	81 38.4%	38 18.0%	21 10.0%	19 9.0%	8 3.8%	4 1.9%	4 1.9%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	196 22.7%	103 11.9%	67 7.8%	50 5.8%	25 2.9%	29 3.4%	25 2.9%	25 2.9%

	合計	利用期間							
		401日～450日	451日～500日	501日～550日	551日～600日	601日～650日	651日～700日	701日～750日	751日～800日
全体	1,075 100.0%	18 1.7%	23 2.1%	26 2.4%	19 1.8%	30 2.8%	9 0.8%	20 1.9%	8 0.7%
末期がんあり	211 100.0%	3 1.4%	3 1.4%	0 0.0%	3 1.4%	3 1.4%	2 0.9%	2 0.9%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	15 1.7%	20 2.3%	26 3.0%	16 1.9%	27 3.1%	7 0.8%	18 2.1%	8 0.9%

	合計	利用期間							
		801日～900日	901日～1000日	1001日～1100日	1101日～1200日	1201日～1300日	1301日～1400日	1401日～1500日	1501日～2000日
全体	1,075 100.0%	24 2.2%	27 2.5%	11 1.0%	10 0.9%	18 1.7%	9 0.8%	12 1.1%	36 3.3%
末期がんあり	211 100.0%	2 0.9%	3 1.4%	2 0.9%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	22 2.5%	24 2.8%	9 1.0%	10 1.2%	17 2.0%	9 1.0%	11 1.3%	36 4.2%

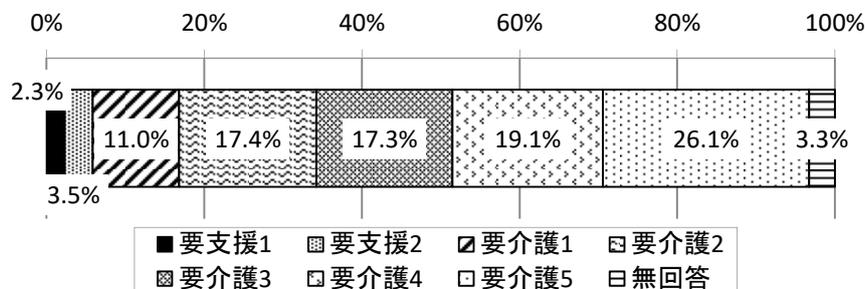
	合計	利用期間		
		2001日～2500日	2501日以上	無回答
全体	1,075 100.0%	29 2.7%	34 3.2%	14 1.3%
末期がんあり	211 100.0%	2 0.9%	2 0.9%	5 2.4%
末期がんなし	863 100.0%	27 3.1%	32 3.7%	9 1.0%

## ⑤ 要介護度

### 1) 利用開始時

利用開始時の要介護度は、「要介護 5」が 26.1%、「要介護 4」が 19.1%であった。

図表5-6 要介護度:利用開始時(n=1,075) (問 54.①)

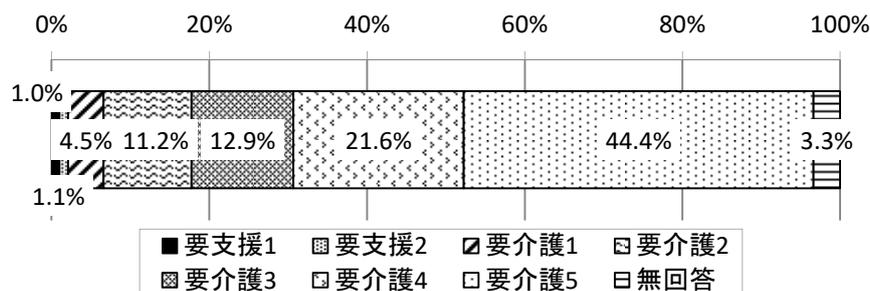


	合計	Q54① 要介護度:利用開始時							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	1,075	25	38	118	187	186	205	281	35
	100.0%	2.3%	3.5%	11.0%	17.4%	17.3%	19.1%	26.1%	3.3%
末期がんあり	211	6	16	34	39	31	33	31	21
	100.0%	2.8%	7.6%	16.1%	18.5%	14.7%	15.6%	14.7%	10.0%
末期がんなし	863	19	22	84	147	155	172	250	14
	100.0%	2.2%	2.5%	9.7%	17.0%	18.0%	19.9%	29.0%	1.6%

### 2) 直近の認定

直近の要介護度は、「要介護 5」が 44.4%、「要介護 4」が 21.6%であった。

図表5-7 要介護度:直近の認定 (n=1,075) (問 54.②)



	合計	Q54② 要介護度:直近の認定							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	1,075	11	12	48	120	139	232	477	36
	100.0%	1.0%	1.1%	4.5%	11.2%	12.9%	21.6%	44.4%	3.3%
末期がんあり	211	7	8	21	31	27	38	57	22
	100.0%	3.3%	3.8%	10.0%	14.7%	12.8%	18.0%	27.0%	10.4%
末期がんなし	863	4	4	27	88	112	194	420	14
	100.0%	0.5%	0.5%	3.1%	10.2%	13.0%	22.5%	48.7%	1.6%

### 3) 利用開始別直近

図表5-8 要介護度:利用開始時別直近

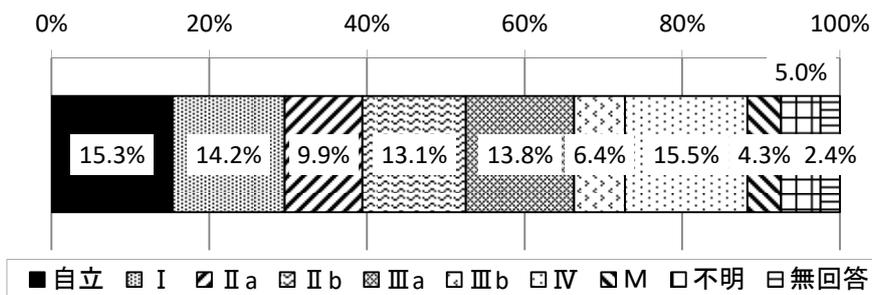
		合計	Q54② 要介護度:直近の認定							
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全体		1,075 100.0%	11 1.0%	12 1.1%	48 4.5%	120 11.2%	139 12.9%	232 21.6%	477 44.4%	36 3.3%
Q54① 要介護度: 利用開始 時	要支援 1	25 100.0%	7 28.0%	1 4.0%	1 4.0%	4 16.0%	3 12.0%	3 12.0%	6 24.0%	0 0.0%
	要支援 2	38 100.0%	0 0.0%	9 23.7%	2 5.3%	7 18.4%	3 7.9%	7 18.4%	8 21.1%	2 5.3%
	要介護 1	118 100.0%	2 1.7%	1 0.8%	41 34.7%	11 9.3%	8 6.8%	23 19.5%	30 25.4%	2 1.7%
	要介護 2	187 100.0%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.6%	93 49.7%	16 8.6%	29 15.5%	41 21.9%	3 1.6%
	要介護 3	186 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	102 54.8%	28 15.1%	52 28.0%	2 1.1%
	要介護 4	205 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.5%	3 1.5%	131 63.9%	62 30.2%	6 2.9%
	要介護 5	281 100.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	6 2.1%	269 95.7%	3 1.1%

## ⑥ 認知症高齢者の日常生活自立度

### 1) 利用開始時

利用開始時の認知症高齢者の日常生活自立度は、「IV」が15.5%、「自立」が15.3%、「I」が14.2%であった。

図表5-9 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時 (n=1,075) (問 55.①)



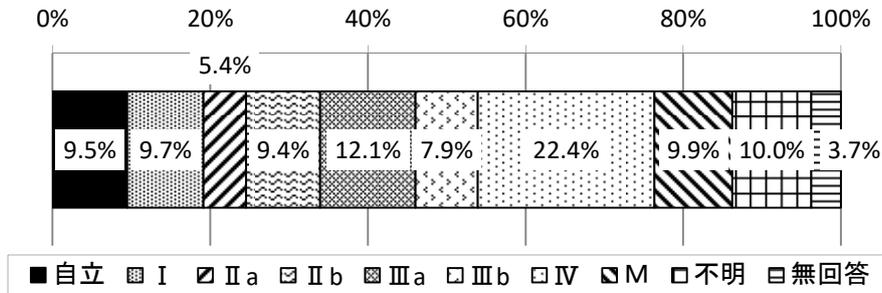
	合計	Q55① 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時							
		自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
全体	1,075 100.0%	165 15.3%	153 14.2%	106 9.9%	141 13.1%	148 13.8%	69 6.4%	167 15.5%	46 4.3%
末期がんあり	211 100.0%	71 33.6%	42 19.9%	23 10.9%	23 10.9%	16 7.6%	4 1.9%	15 7.1%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	94 10.9%	111 12.9%	83 9.6%	118 13.7%	132 15.3%	65 7.5%	151 17.5%	44 5.1%

	合計	Q55① 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時	
		不明	無回答
全体	1,075 100.0%	54 5.0%	26 2.4%
末期がんあり	211 100.0%	9 4.3%	6 2.8%
末期がんなし	863 100.0%	45 5.2%	20 2.3%

2) 直近（死亡数日前）

直近（死亡数日前）の認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅳ」が22.4%、「Ⅲa」が12.1%であった。

図表5-10 認知症高齢者の日常生活自立度:直近(死亡数日前) (n=1,075) (問 55.②)



	合計	Q55② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近							
		自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
全体	1,075 100.0%	102 9.5%	104 9.7%	58 5.4%	101 9.4%	130 12.1%	85 7.9%	241 22.4%	106 9.9%
末期がんあり	211 100.0%	49 23.2%	32 15.2%	14 6.6%	24 11.4%	16 7.6%	5 2.4%	17 8.1%	16 7.6%
末期がんなし	863 100.0%	53 6.1%	72 8.3%	44 5.1%	77 8.9%	114 13.2%	80 9.3%	223 25.8%	90 10.4%

	合計	Q55② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近	
		不明	無回答
全体	1,075 100.0%	108 10.0%	40 3.7%
末期がんあり	211 100.0%	28 13.3%	10 4.7%
末期がんなし	863 100.0%	80 9.3%	30 3.5%

3) 利用開始時別直近（死亡数日前）

図表5-11 要介護度：利用開始時別直近（死亡数日前）

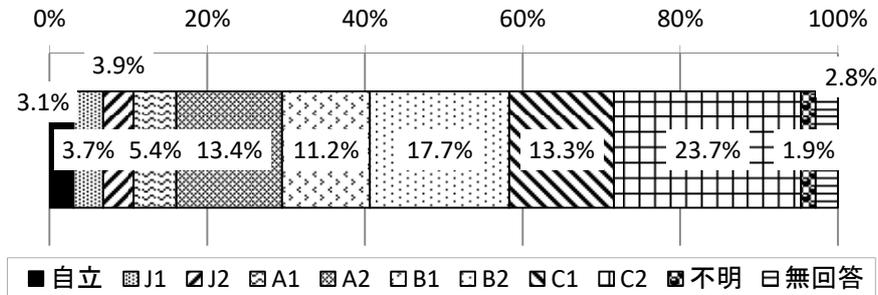
		合計	Q55② 認知症高齢者の日常生活自立度：直近									
			自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	不明	無回答
全体		1,075 100.0%	102 9.5%	104 9.7%	58 5.4%	101 9.4%	130 12.1%	85 7.9%	241 22.4%	106 9.9%	108 10.0%	40 3.7%
Q55 ① 利用開始時	自立	165 100.0%	99 60.0%	23 13.9%	7 4.2%	5 3.0%	3 1.8%	1 0.6%	9 5.5%	5 3.0%	10 6.1%	3 1.8%
	I	153 100.0%	1 0.7%	74 48.4%	13 8.5%	13 8.5%	18 11.8%	6 3.9%	7 4.6%	9 5.9%	10 6.5%	2 1.3%
	Ⅱ a	106 100.0%	1 0.9%	2 1.9%	35 33.0%	16 15.1%	10 9.4%	8 7.5%	10 9.4%	7 6.6%	13 12.3%	4 3.8%
	Ⅱ b	141 100.0%	0 0.0%	2 1.4%	2 1.4%	62 44.0%	21 14.9%	16 11.3%	18 12.8%	9 6.4%	8 5.7%	3 2.1%
	Ⅲ a	148 100.0%	0 0.0%	3 2.0%	0 0.0%	4 2.7%	74 50.0%	14 9.5%	34 23.0%	7 4.7%	9 6.1%	3 2.0%
	Ⅲ b	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	35 50.7%	20 29.0%	7 10.1%	7 10.1%	0 0.0%
	Ⅳ	167 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.4%	1 0.6%	140 83.8%	15 9.0%	6 3.6%	1 0.6%
	M	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	1 2.2%	43 93.5%	1 2.2%	0 0.0%
	不明	54 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	3 5.6%	1 1.9%	4 7.4%	44 81.5%	1 1.9%

⑦ 日常生活自立度

1) 利用開始時

利用開始時の日常生活自立度は、「B2」が17.7%、「A2」が13.4%、「C1」が13.3%であった。

図表5-12 日常生活自立度:利用開始時 (n=1,075) (問 56.①)



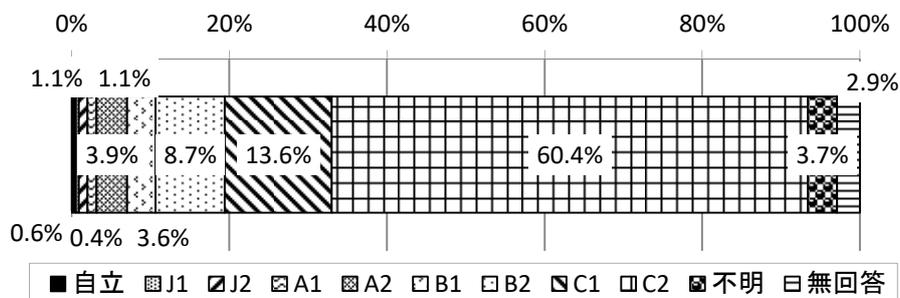
	合計	Q56① 日常生活自立度:利用開始時							
		自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1
全体	1,075 100.0%	33 3.1%	40 3.7%	42 3.9%	58 5.4%	144 13.4%	120 11.2%	190 17.7%	143 13.3%
末期がんあり	211 100.0%	19 9.0%	14 6.6%	13 6.2%	15 7.1%	36 17.1%	29 13.7%	29 13.7%	22 10.4%
末期がんなし	863 100.0%	14 1.6%	26 3.0%	29 3.4%	43 5.0%	108 12.5%	91 10.5%	160 18.5%	121 14.0%

	合計	Q56① 日常生活自立度:利用開始時		
		C2	不明	無回答
全体	1,075 100.0%	255 23.7%	20 1.9%	30 2.8%
末期がんあり	211 100.0%	27 12.8%	2 0.9%	5 2.4%
末期がんなし	863 100.0%	228 26.4%	18 2.1%	25 2.9%

## 2) 直近（死亡数日前）

直近（死亡数日前）の日常生活自立度は、「C2」が60.4%、「C1」が13.6%、「B2」が8.7%であった。

図表5-13 日常生活自立度:直近(死亡数日前) (n=1,075) (問 56.②)



	合計	Q56② 日常生活自立度:直近							
		自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1
全体	1,075 100.0%	6 0.6%	4 0.4%	12 1.1%	12 1.1%	42 3.9%	39 3.6%	94 8.7%	146 13.6%
末期がんあり	211 100.0%	1 0.5%	2 0.9%	5 2.4%	3 1.4%	13 6.2%	10 4.7%	19 9.0%	29 13.7%
末期がんなし	863 100.0%	5 0.6%	2 0.2%	7 0.8%	9 1.0%	29 3.4%	29 3.4%	74 8.6%	117 13.6%

	合計	Q56② 日常生活自立度:直近		
		C2	不明	無回答
全体	1,075 100.0%	649 60.4%	40 3.7%	31 2.9%
末期がんあり	211 100.0%	112 53.1%	11 5.2%	6 2.8%
末期がんなし	863 100.0%	537 62.2%	29 3.4%	25 2.9%

3) 利用開始別直近（死亡数日前）

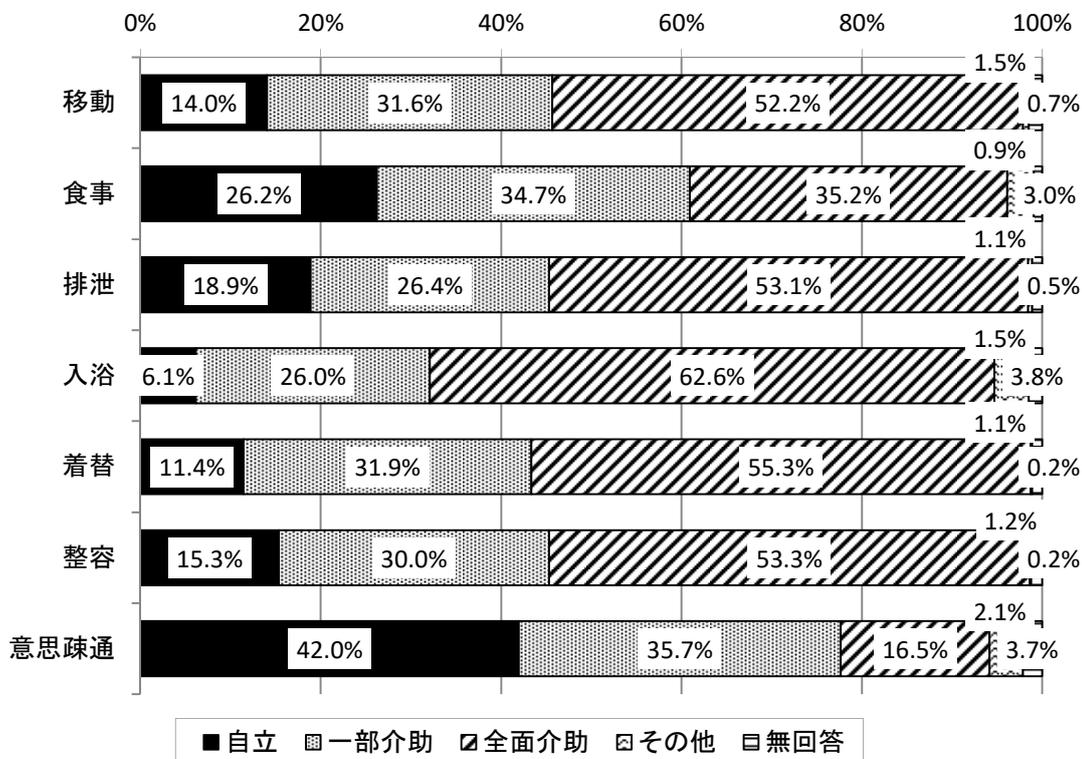
図表5-14 日常生活自立度：利用開始時別直近(死亡数日前)

		合計	Q56② 日常生活自立度：直近										
			自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体		1,075 100.0%	6 0.6%	4 0.4%	12 1.1%	12 1.1%	42 3.9%	39 3.6%	94 8.7%	146 13.6%	649 60.4%	40 3.7%	31 2.9%
Q56 ① 日常生活自立度： 利用開始時	自立	33 100.0%	5 15.2%	1 3.0%	2 6.1%	1 3.0%	2 6.1%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	18 54.5%	1 3.0%	0 0.0%
	J1	40 100.0%	0 0.0%	3 7.5%	2 5.0%	1 2.5%	4 10.0%	1 2.5%	2 5.0%	5 12.5%	18 45.0%	4 10.0%	0 0.0%
	J2	42 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 19.0%	2 4.8%	5 11.9%	2 4.8%	3 7.1%	6 14.3%	14 33.3%	1 2.4%	1 2.4%
	A1	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 13.8%	2 3.4%	3 5.2%	9 15.5%	7 12.1%	24 41.4%	5 8.6%	0 0.0%
	A2	144 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 16.0%	6 4.2%	10 6.9%	28 19.4%	71 49.3%	5 3.5%	1 0.7%
	B1	120 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.7%	22 18.3%	15 12.5%	20 16.7%	58 48.3%	2 1.7%	1 0.8%
	B2	190 100.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	48 25.3%	20 10.5%	115 60.5%	1 0.5%	4 2.1%
	C1	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.4%	3 2.1%	56 39.2%	78 54.5%	3 2.1%	0 0.0%
	C2	255 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	0 0.0%	3 1.2%	1 0.4%	241 94.5%	6 2.4%	2 0.8%
	不明	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	7 35.0%	11 55.0%	0 0.0%

⑧ 利用開始時のADLの状況

利用開始時のADLの状況は、以下の通りであった。

図表5-15 利用開始時のADLの状況 (n=1,075) (問 57)



	合計	Q57-1 利用開始時ADL状況:移動				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,075	151	340	561	7	16
	100.0%	14.0%	31.6%	52.2%	0.7%	1.5%
末期がんあり	211	51	81	74	3	2
	100.0%	24.2%	38.4%	35.1%	1.4%	0.9%
末期がんなし	863	100	259	486	4	14
	100.0%	11.6%	30.0%	56.3%	0.5%	1.6%

	合計	Q57-2 利用開始時ADL状況:食事				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,075	282	373	378	32	10
	100.0%	26.2%	34.7%	35.2%	3.0%	0.9%
末期がんあり	211	72	82	50	6	1
	100.0%	34.1%	38.9%	23.7%	2.8%	0.5%
末期がんなし	863	210	290	328	26	9
	100.0%	24.3%	33.6%	38.0%	3.0%	1.0%

	合計	Q57-3 利用開始時 ADL 状況:排泄				
		自立	一部 介助	全面 介助	その 他	無回 答
全体	1,075 100.0%	203 18.9%	284 26.4%	571 53.1%	5 0.5%	12 1.1%
末期がんあり	211 100.0%	69 32.7%	63 29.9%	76 36.0%	1 0.5%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	134 15.5%	220 25.5%	495 57.4%	4 0.5%	10 1.2%

	合計	Q57-4 利用開始時 ADL 状況:入浴				
		自立	一部 介助	全面 介助	その 他	無回 答
全体	1,075 100.0%	66 6.1%	279 26.0%	673 62.6%	41 3.8%	16 1.5%
末期がんあり	211 100.0%	25 11.8%	81 38.4%	91 43.1%	11 5.2%	3 1.4%
末期がんなし	863 100.0%	41 4.8%	198 22.9%	581 67.3%	30 3.5%	13 1.5%

	合計	Q57-5 利用開始時 ADL 状況:着替				
		自立	一部 介助	全面 介助	その 他	無回 答
全体	1,075 100.0%	123 11.4%	343 31.9%	595 55.3%	2 0.2%	12 1.1%
末期がんあり	211 100.0%	44 20.9%	89 42.2%	77 36.5%	0 0.0%	1 0.5%
末期がんなし	863 100.0%	79 9.2%	253 29.3%	518 60.0%	2 0.2%	11 1.3%

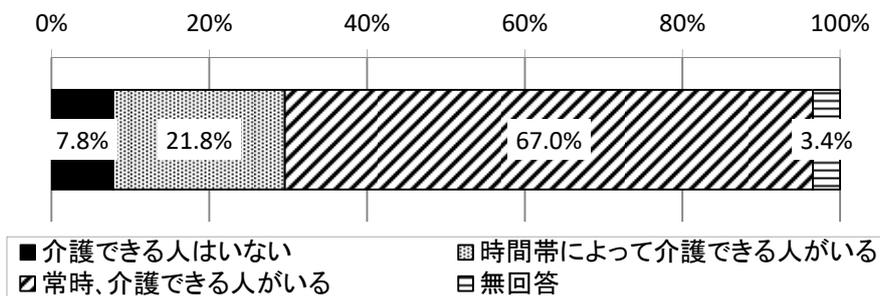
	合計	Q57-6 利用開始時 ADL 状況:整容				
		自立	一部 介助	全面 介助	その 他	無回 答
全体	1,075 100.0%	165 15.3%	322 30.0%	573 53.3%	2 0.2%	13 1.2%
末期がんあり	211 100.0%	57 27.0%	84 39.8%	68 32.2%	0 0.0%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	108 12.5%	238 27.6%	504 58.4%	2 0.2%	11 1.3%

	合計	Q57-7 利用開始時 ADL 状況:意思疎通				
		自立	一部 介助	全面 介助	その 他	無回 答
全体	1,075 100.0%	451 42.0%	384 35.7%	177 16.5%	40 3.7%	23 2.1%
末期がんあり	211 100.0%	136 64.5%	50 23.7%	18 8.5%	5 2.4%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	315 36.5%	333 38.6%	159 18.4%	35 4.1%	21 2.4%

### ⑨ 介護力

介護力は、「常時、介護できる人がいる」が67.0%、「時間帯によって介護できる人がいる」が21.8%であった。

図表5-16 介護力 (n=1,075) (問 58)

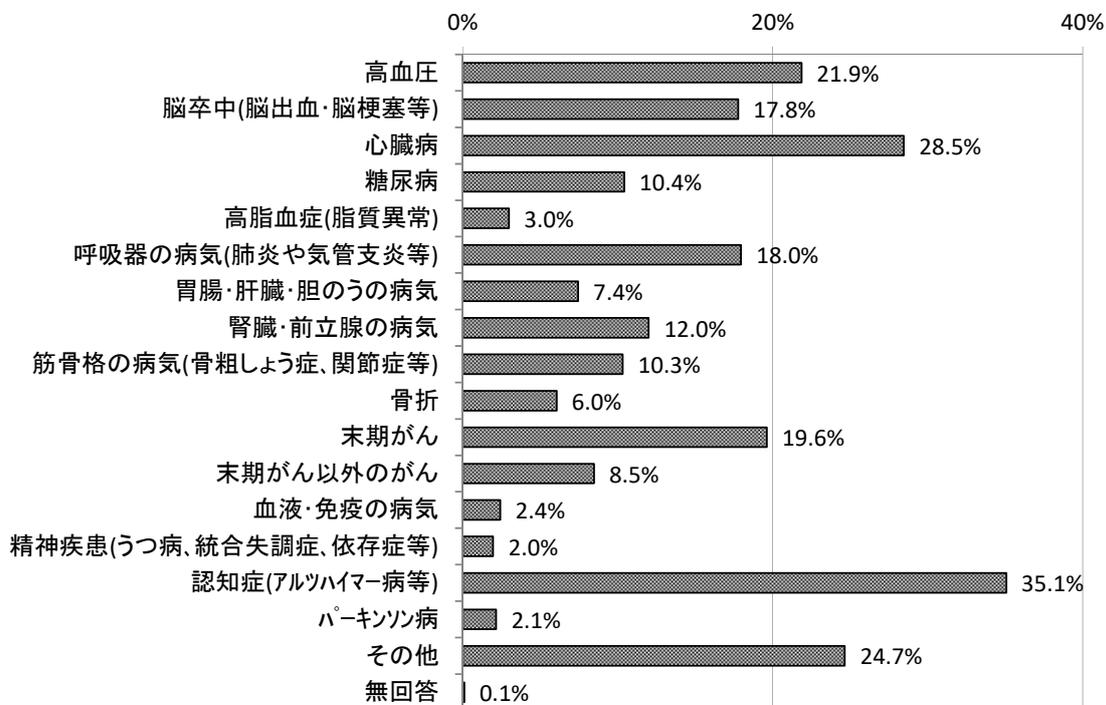


	合計	Q58 介護力			
		介護 でき る人 はい ない	時間 帯に よっ て介 護で きる 人が いる	常時、 介護 でき る人 が いる	無回 答
全体	1,075 100.0%	84 7.8%	234 21.8%	720 67.0%	37 3.4%
末期がんあり	211 100.0%	16 7.6%	45 21.3%	143 67.8%	7 3.3%
末期がんなし	863 100.0%	68 7.9%	189 21.9%	576 66.7%	30 3.5%

⑩ 在宅療養をしていた原因の病名

在宅療養をしていた原因の病名は、「認知症（アルツハイマー病等）」が 35.1%、「心臓病」が 28.5%、「高血圧」が 21.9%であった。

図表5-17 在宅療養をしていた原因の病名（複数回答）(n=1,075) (問 59)



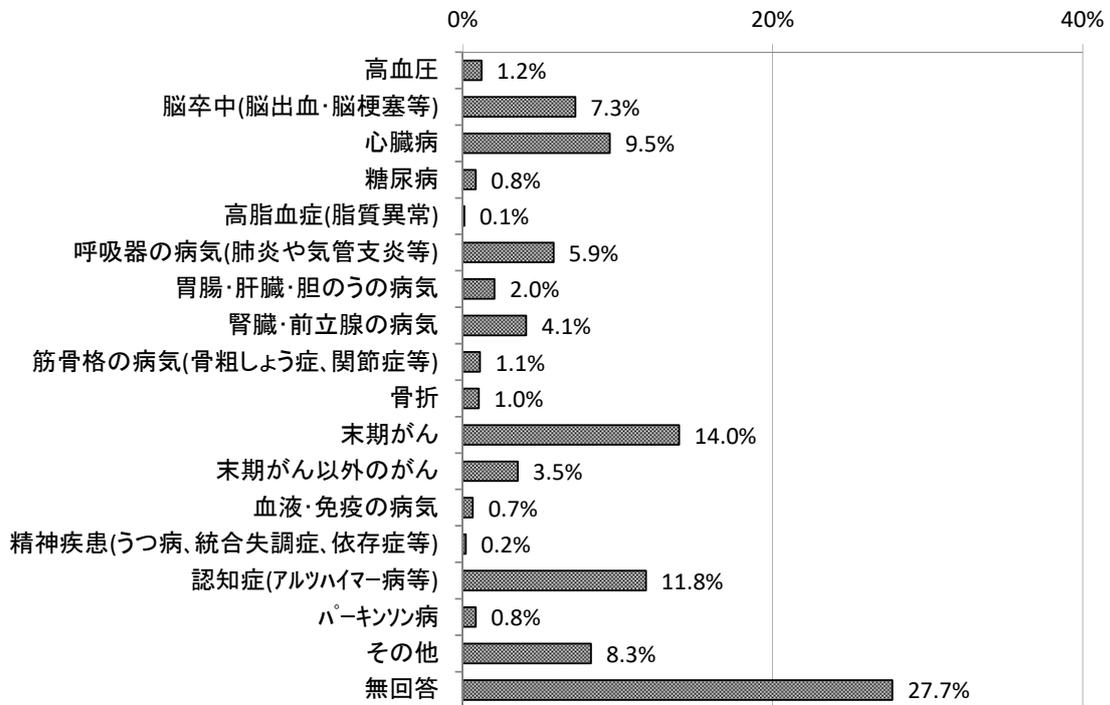
	合計	Q59 在宅療養を続けている原因の病名							
		高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	1,075 100.0%	235 21.9%	191 17.8%	306 28.5%	112 10.4%	32 3.0%	193 18.0%	80 7.4%	129 12.0%
末期がんあり	211 100.0%	16 7.6%	14 6.6%	23 10.9%	14 6.6%	1 0.5%	22 10.4%	12 5.7%	20 9.5%
末期がんなし	863 100.0%	219 25.4%	177 20.5%	283 32.8%	98 11.4%	31 3.6%	171 19.8%	68 7.9%	109 12.6%

	合計	Q59 在宅療養を続けている原因の病名							
		筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)	骨折	末期がん	末期がん以外 のがん	血液・免疫の病 気	精神疾患 (うつ病、統 合失調症、 依存症等)	認知症(アル ツハイマー 病等)	パーキン ソン病
全体	1,075 100.0%	111 10.3%	65 6.0%	211 19.6%	91 8.5%	26 2.4%	21 2.0%	377 35.1%	23 2.1%
末期がんあり	211 100.0%	1 0.5%	4 1.9%	211 100.0%	4 1.9%	5 2.4%	4 1.9%	34 16.1%	4 1.9%
末期がんなし	863 100.0%	110 12.7%	61 7.1%	0 0.0%	87 10.1%	21 2.4%	17 2.0%	343 39.7%	19 2.2%

	合計	Q59 在宅療養を続けている原因の病名	
		その他	無回答
全体	1,075 100.0%	265 24.7%	1 0.1%
末期がんあり	211 100.0%	19 9.0%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	246 28.5%	0 0.0%

主傷病は、「末期がん」が14.0%、「認知症（アルツハイマー病等）」が11.8%、「心臓病」が9.5%であった。

図表5-18 主傷病 (n=1,075) (問 59)



	合計	Q59sq 主傷病							
		高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	1,075 100.0%	13 1.2%	78 7.3%	102 9.5%	9 0.8%	1 0.1%	63 5.9%	22 2.0%	44 4.1%
末期がんあり	211 100.0%	1 0.5%	3 1.4%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	3 1.4%
末期がんなし	863 100.0%	12 1.4%	75 8.7%	101 11.7%	9 1.0%	1 0.1%	62 7.2%	22 2.5%	41 4.8%

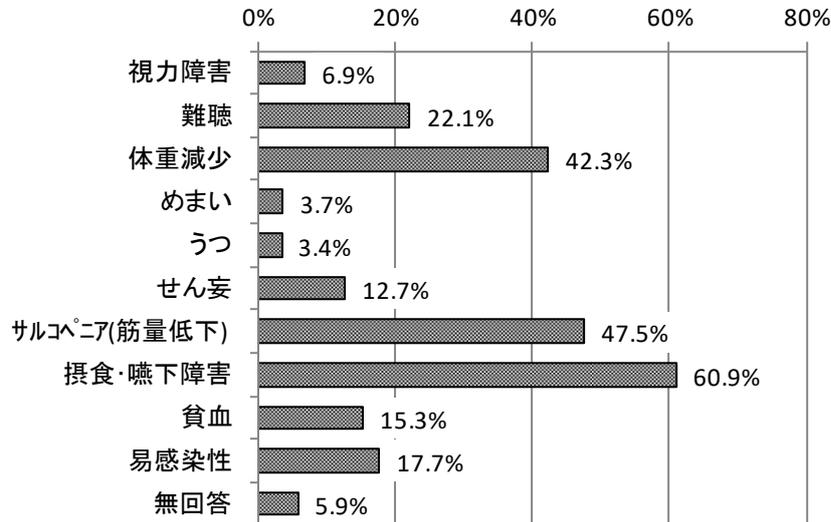
	合計	Q59sq 主傷病							
		筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	骨折	末期がん	末期がん以外のがん	血液・免疫の病気	精神疾患(うつ病、統合失調症、依存症等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病
全体	1,075 100.0%	12 1.1%	11 1.0%	150 14.0%	38 3.5%	7 0.7%	2 0.2%	127 11.8%	9 0.8%
末期がんあり	211 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	150 71.1%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	12 1.4%	11 1.3%	0 0.0%	37 4.3%	6 0.7%	2 0.2%	127 14.7%	9 1.0%

	合計	Q59sq 主傷病	
		その他	無回答
全体	1,075 100.0%	89 8.3%	298 27.7%
末期がんあり	211 100.0%	2 0.9%	48 22.7%
末期がんなし	863 100.0%	87 10.1%	249 28.9%

### ⑪ 利用者が抱える健康障害

利用者が抱える健康障害は、「摂食・嚥下障害」が 60.9%、「サルコペニア（筋量低下）」が 47.5%、「体重減少」が 42.3%であった。

図表5-19 利用者が抱える健康障害 (n=1,075) (複数回答) (問 60)



	合計	Q60 利用者が抱える健康障害							
		視力障害	難聴	体重減少	めまい	うつ	せん妄	サルコペニア(筋量低下)	摂食・嚥下障害
全体	1,075 100.0%	74 6.9%	238 22.1%	455 42.3%	40 3.7%	37 3.4%	136 12.7%	511 47.5%	655 60.9%
末期がんあり	211 100.0%	4 1.9%	19 9.0%	117 55.5%	13 6.2%	6 2.8%	30 14.2%	89 42.2%	124 58.8%
末期がんなし	863 100.0%	70 8.1%	219 25.4%	338 39.2%	27 3.1%	31 3.6%	106 12.3%	422 48.9%	531 61.5%

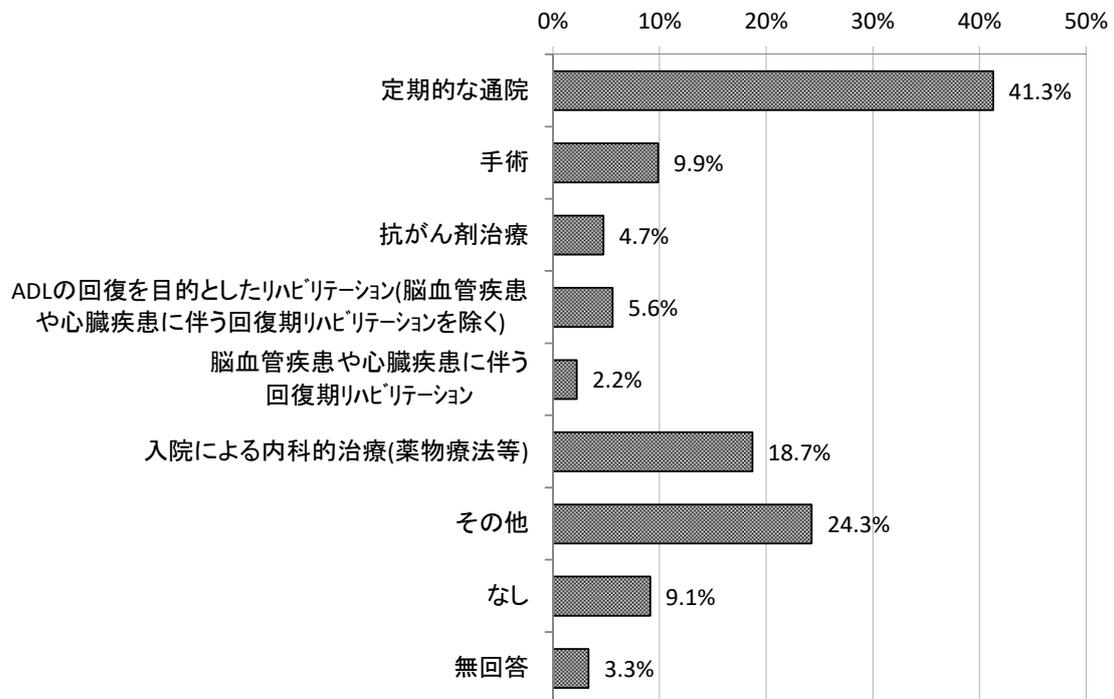
	合計	Q60 利用者が抱える健康障害		
		貧血	易感染性	無回答
全体	1,075 100.0%	164 15.3%	190 17.7%	63 5.9%
末期がんあり	211 100.0%	46 21.8%	35 16.6%	13 6.2%
末期がんなし	863 100.0%	118 13.7%	155 18.0%	49 5.7%

## 2. 訪問看護の提供の状況等

### ① 訪問看護サービス開始時に受けていた診療

訪問看護サービス開始時に受けていた診療は、「定期的な通院」が41.3%、「入院による内科的治療（薬物療法等）」が18.7%、「手術」が9.9%であった。

図表5-20 訪問看護サービス開始時に受けていた診療（複数回答）（問 61）

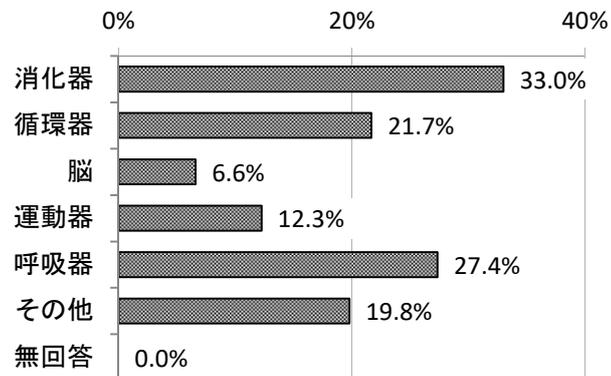


	合計	Q61 訪問看護サービス開始時に受けていた診療								
		定期的な通院	手術	抗がん剤治療	ADLの回復を目的としたリハビリテーション(除右欄)	脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション	入院による内科的治療(薬物療法等)	その他	なし	無回答
全体	1,075 100.0%	444 41.3%	106 9.9%	51 4.7%	60 5.6%	24 2.2%	201 18.7%	261 24.3%	98 9.1%	36 3.3%
末期がんあり	211 100.0%	96 45.5%	34 16.1%	40 19.0%	10 4.7%	1 0.5%	52 24.6%	36 17.1%	18 8.5%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	348 40.3%	72 8.3%	11 1.3%	50 5.8%	23 2.7%	149 17.3%	225 26.1%	79 9.2%	34 3.9%

1) (「手術」を受けていた場合) 部位

「手術」を受けていた場合、その部位は、「消化器」が 33.0%、「呼吸器」が 27.4%、「循環器」が 21.7%であった。

図表5-21 「手術」を受けていた場合: 部位 (n=106) (複数回答) (問 61)

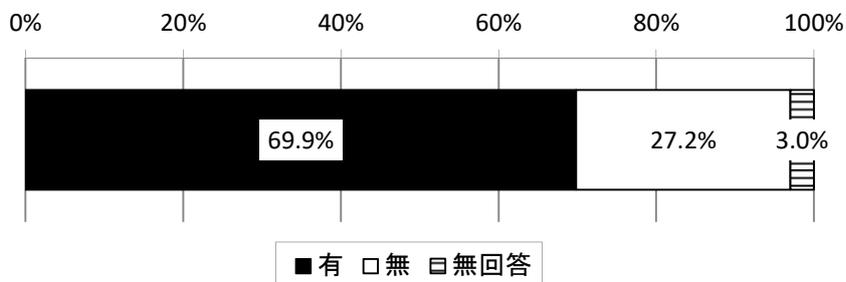


	合計	Q61sq 手術内容						
		消化器	循環器	脳	運動器	呼吸器	その他	無回答
全体	106 100.0%	35 33.0%	23 21.7%	7 6.6%	13 12.3%	29 27.4%	21 19.8%	0 0.0%
末期がんあり	34 100.0%	14 41.2%	2 5.9%	3 8.8%	3 8.8%	6 17.6%	11 32.4%	0 0.0%
末期がんなし	72 100.0%	21 29.2%	21 29.2%	4 5.6%	10 13.9%	23 31.9%	10 13.9%	0 0.0%

## ② 余命の見込みに関する説明の有無

余命の見込みに関する説明は、「有」が 69.9%であった。「有」の場合、説明があった時期は、死亡の平均 2.7 か月前であった。

図表5-22 余命の見込みに関する説明の有無 (n=1,075) (問 62)



	合計	Q62 余命の見込みに関する説明の有無		
		有	無	無回答
全体	1,075 100.0%	751 69.9%	292 27.2%	32 3.0%
末期がんあり	211 100.0%	175 82.9%	33 15.6%	3 1.4%
末期がんなし	863 100.0%	575 66.6%	259 30.0%	29 3.4%

図表5-23 余命の見込みに関する説明が「有」の場合:時期 (問 62)

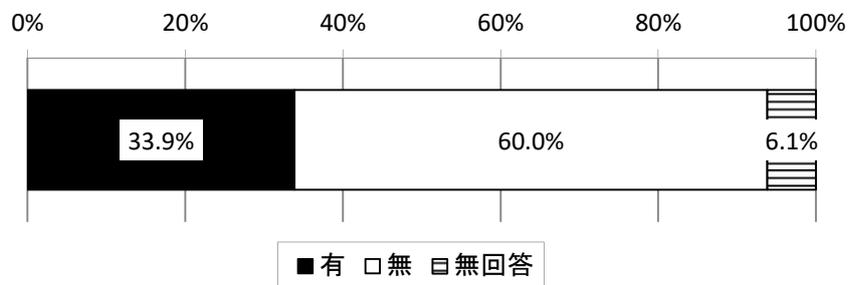
単位：か月前

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	634	2.7	3.8	1.0
末期がんあり	134	3.2	3.3	2.0
末期がんなし	499	2.6	3.9	1.0

③ ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無

ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載は、「有」が 33.9%であった。「有」の場合、余命の見込みの記載は、平均 2.2 か月であった。

図表5-24 訪問看護指示書への記載の有無 (n=1,075) (問 63)



	合計	Q63 ターミナル期であるか主治医による訪問看護指示書への記載の有無		
		有	無	無回答
全体	1,075 100.0%	364 33.9%	645 60.0%	66 6.1%
末期がんあり	211 100.0%	133 63.0%	65 30.8%	13 6.2%
末期がんなし	863 100.0%	231 26.8%	579 67.1%	53 6.1%

図表5-25 訪問看護指示書への記載が「有」の場合:余命の見込みの記載 (問 63)

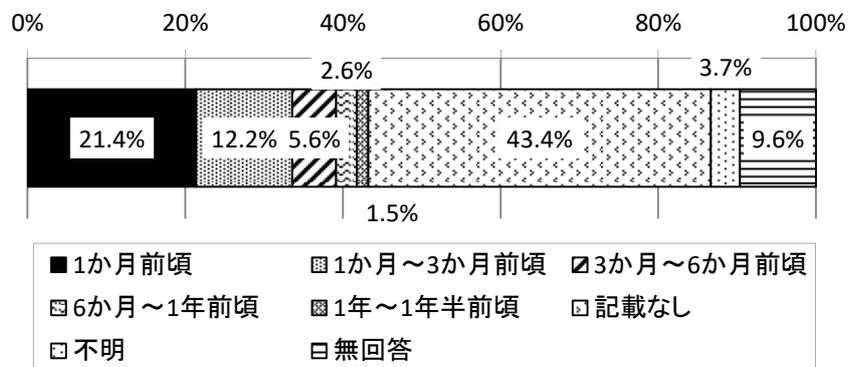
単位:か月

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	166	2.2	2.4	1.0
末期がんあり	52	2.5	2.7	1.0
末期がんなし	114	2.0	2.2	1.0

#### ④ 訪問看護指示書へのターミナル期等の記載

訪問看護指示書へのターミナル期等の記載時期は、「1か月前頃」が21.4%、「1か月～3か月前頃」が12.2%であり、「記載なし」が43.4%であった。

図表5-26 訪問看護指示書への記載時期（複数回答）(n=1,075) (問 64)



	合計	Q64 主治医による訪問看護指示書にターミナル期等の記載時期							
		1か月前頃	1か月～3か月前頃	3か月～6か月前頃	6か月～1年前頃	1年～1年半前頃	記載なし	不明	無回答
全体	1,075 100.0%	230 21.4%	131 12.2%	60 5.6%	28 2.6%	16 1.5%	467 43.4%	40 3.7%	103 9.6%
末期がんあり	211 100.0%	68 32.2%	52 24.6%	24 11.4%	10 4.7%	3 1.4%	31 14.7%	7 3.3%	16 7.6%
末期がんなし	863 100.0%	162 18.8%	79 9.2%	36 4.2%	18 2.1%	13 1.5%	435 50.4%	33 3.8%	87 10.1%

⑤ 介護保険での看護職員の訪問回数（終了前1か月間）

終了1か月前の介護保険での看護職員の訪問回数は、「30分以上1時間未満」が平均5.7回、「30分未満」が平均3.1回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均0.7回、「作業療法士」が平均0.2回であった。

看護職員の訪問回数とリハビリ職員の訪問回数の合計は、平均10.7回であった。

図表5-27 介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月) (問65)

単位：回

	全体(n=999)			末期がんあり (n=163)			末期がんなし(n=835)		
	平均	標準偏差	中央値	平均	標準偏差	中央値	平均	標準偏差	中央値
20分未満	0.2	1.2	0.0	0.2	1.6	0.0	0.2	1.1	0.0
30分未満	3.1	7.1	0.0	2.0	5.7	0.0	3.3	7.3	0.0
30分以上 1時間未満	5.7	6.5	4.0	3.5	5.5	0.0	6.1	6.6	5.0
1時間以上 1時間30分未満	0.9	2.8	0.0	1.1	3.5	0.0	0.9	2.7	0.0
合計	9.8	9.4	8.0	6.9	9.1	4.0	10.4	9.3	8.0

図表5-28 介護保険での看護職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月) (問65)

	合計	Q65 介護保険での看護職員訪問回数:合計					
		0回	1回～ 3回	4回	5回～ 9回	10回 以上	無回答
全体	1,075 100.0%	94 8.7%	108 10.0%	97 9.0%	304 28.3%	396 36.8%	76 7.1%
末期がんあり	211 100.0%	65 30.8%	9 4.3%	10 4.7%	32 15.2%	47 22.3%	48 22.7%
末期がんなし	863 100.0%	29 3.4%	99 11.5%	87 10.1%	271 31.4%	349 40.4%	28 3.2%

図表5-29 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)(問66)

単位：回

(理学療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	999	0.7	2.7	0.0
末期がんあり	163	0.3	1.9	0.0
末期がんなし	835	0.7	2.8	0.0

(作業療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	999	0.2	1.4	0.0
末期がんあり	163	0.0	0.3	0.0
末期がんなし	835	0.2	1.5	0.0

(言語聴覚士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	999	0.0	0.3	0.0
末期がんあり	163	0.0	0.1	0.0
末期がんなし	835	0.0	0.4	0.0

(合計)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	999	0.9	3.2	0.0
末期がんあり	163	0.4	1.9	0.0
末期がんなし	835	1.0	3.4	0.0

図表5-30 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数の合計の分布(終了前1か月)(問66)

	合計	Q66 介護保険でのリハビリ職員訪問回数:合計					
		0回	1回～3回	4回	5回～9回	10回以上	無回答
全体	1,075	881	26	20	43	29	76
	100.0%	82.0%	2.4%	1.9%	4.0%	2.7%	7.1%
末期がんあり	211	153	2	4	2	2	48
	100.0%	72.5%	0.9%	1.9%	0.9%	0.9%	22.7%
末期がんなし	863	727	24	16	41	27	28
	100.0%	84.2%	2.8%	1.9%	4.8%	3.1%	3.2%

図表5-31 介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)

単位：回

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	999	10.7	10.0	9.0
末期がんあり	163	7.3	9.7	4.0
末期がんなし	835	11.4	10.0	9.0

図表5-32 介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の訪問回数の合計の分布（終了前1か月）

	合計	Q65Q66 介護保険での看護職員+リハビリ職員訪問回数：合計					
		0回	1回～3回	4回	5回～9回	10回以上	無回答
全体	1,075 100.0%	91 8.5%	95 8.8%	88 8.2%	281 26.1%	444 41.3%	76 7.1%
末期がんあり	211 100.0%	64 30.3%	9 4.3%	10 4.7%	31 14.7%	49 23.2%	48 22.7%
末期がんなし	863 100.0%	27 3.1%	86 10.0%	78 9.0%	249 28.9%	395 45.8%	28 3.2%

小計が0の場合を除くと、看護職員の訪問回数は、「30分以上1時間未満」が平均6.2回、「30分未満」が平均3.4回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均5.7回、「作業療法士」が平均1.8回であった。

図表5-33 介護保険での看護職員の訪問回数(終了前1か月)※合計が0の場合を除く(問65)

単位：回

	全体(n=905)			末期がんあり(n=98)			末期がんなし(n=806)		
20分未満	0.2	1.3	0.0	0.4	2.1	0.0	0.2	1.1	0.0
30分未満	3.4	7.4	0.0	3.4	7.0	0.0	3.4	7.4	1.0
30分以上1時間未満	6.2	6.5	5.0	5.9	6.1	4.5	6.3	6.6	5.0
1時間以上1時間30分未満	1.0	2.9	0.0	1.8	4.4	0.0	0.9	2.7	0.0
合計	10.8	9.3	9.0	11.5	9.3	9.0	10.8	9.3	9.0

図表5-34 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(終了前1か月)※合計が0の場合を除く(問66)

単位：回

(理学療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	118	5.7	5.8	4.0
末期がんあり	10	5.7	5.3	4.0
末期がんなし	108	5.7	5.9	4.0

(作業療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	118	1.8	3.8	0.0
末期がんあり	10	0.5	1.3	0.0
末期がんなし	108	1.9	4.0	0.0

(言語聴覚士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	118	0.2	0.9	0.0
末期がんあり	10	0.1	0.3	0.0
末期がんなし	108	0.2	1.0	0.0

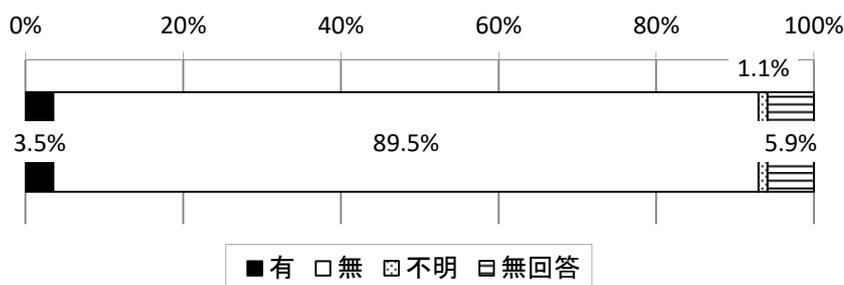
(合計)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	118	7.7	5.8	6.0
末期がんあり	10	6.3	4.7	4.0
末期がんなし	108	7.8	5.8	6.0

⑥ 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無（終了前1か月間）

終了前1か月間における、他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問は、「有」が3.5%であった。「有」の場合、訪問回数は平均7.3回であった。

図表5-35 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無（終了前1か月間）

(n=1,075) (問 67)



	合計	Q67 他訪問看護事業所の看護・リハビリ職員の訪問の有無			
		有	無	不明	無回答
全体	1,075 100.0%	38 3.5%	962 89.5%	12 1.1%	63 5.9%
末期がんあり	211 100.0%	10 4.7%	174 82.5%	2 0.9%	25 11.8%
末期がんなし	863 100.0%	28 3.2%	787 91.2%	10 1.2%	38 4.4%

図表5-36 訪問が「有」の場合：訪問回数（問 67）

単位：回

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	30	7.3	7.4	4.0
末期がんあり	7	7.9	7.6	6.0
末期がんなし	23	7.1	7.5	4.0

⑦ 医療保険での訪問看護の回数（終了前1か月間）

終了前1か月間における、医療保険での訪問看護は、「あり」が33.7%であった。「あり」の場合、訪問看護の回数は平均6.8回であった。

図表5-37 医療保険での訪問看護の有無（問72）

	合計	Q68 医療保険での訪問看護の回数(終了前1か月間)		
		訪問看護あり	訪問看護なし	無回答
全体	1,075 100.0%	362 33.7%	602 56.0%	111 10.3%
末期がんあり	211 100.0%	137 64.9%	55 26.1%	19 9.0%
末期がんなし	863 100.0%	225 26.1%	546 63.3%	92 10.7%

図表5-38 医療保険での訪問看護の回数（問68）

単位：回

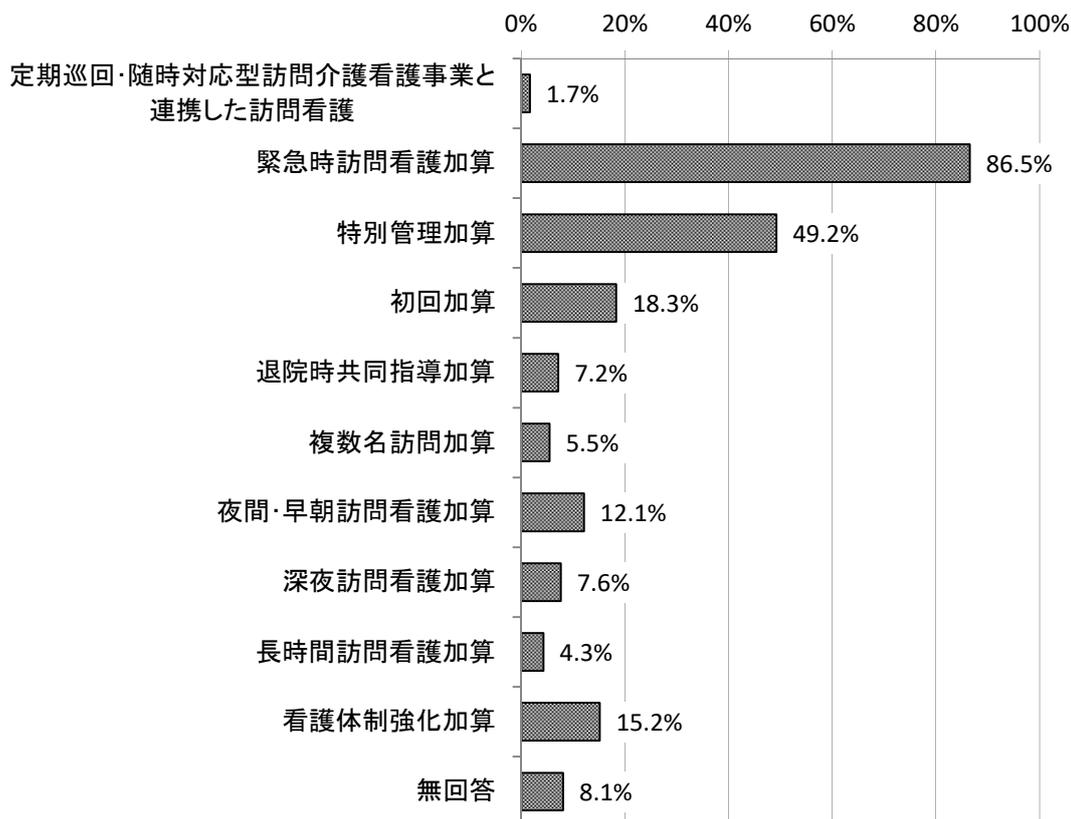
	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	964	6.8	13.5	0.0
末期がんあり	192	15.3	18.6	10.0
末期がんなし	771	4.7	11.0	0.0

⑧ 訪問看護の加算等の状況

訪問看護の加算等の状況は、「緊急時訪問看護加算」が86.5%、「特別管理加算」が49.2%であった。

「看護体制強化加算」と回答した場合、加算の種別は「Ⅱ」が57.1%、「Ⅰ」が39.3%であった。

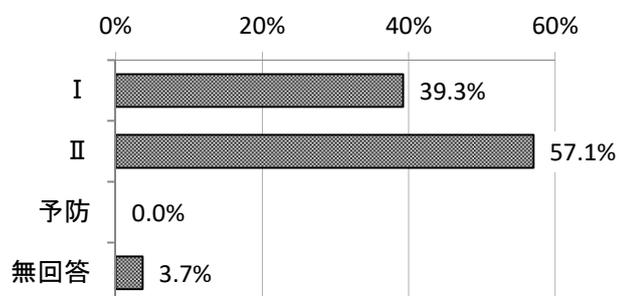
図表5-39 訪問看護加算等の状況（複数回答）(n=1,075) (問 69)



	合計	Q69 訪問看護の加算等の状況							
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業と連携した訪問看護	緊急時訪問看護加算	特別管理加算	初回加算	退院時共同指導加算	複数名訪問加算	夜間・早朝訪問看護加算	深夜訪問看護加算
全体	1,075 100.0%	18 1.7%	930 86.5%	529 49.2%	197 18.3%	77 7.2%	59 5.5%	130 12.1%	82 7.6%
末期がんあり	211 100.0%	3 1.4%	165 78.2%	104 49.3%	42 19.9%	27 12.8%	13 6.2%	38 18.0%	23 10.9%
末期がんなし	863 100.0%	15 1.7%	764 88.5%	425 49.2%	155 18.0%	50 5.8%	46 5.3%	92 10.7%	59 6.8%

	合計	Q69 訪問看護の加算等の状況		
		長時間訪問看護加算	看護体制強化加算	無回答
全体	1,075 100.0%	46 4.3%	163 15.2%	87 8.1%
末期がんあり	211 100.0%	18 8.5%	19 9.0%	30 14.2%
末期がんなし	863 100.0%	28 3.2%	144 16.7%	57 6.6%

図表5-40 看護体制強化加算:加算の種別 (複数回答) (n=163) (問 69)



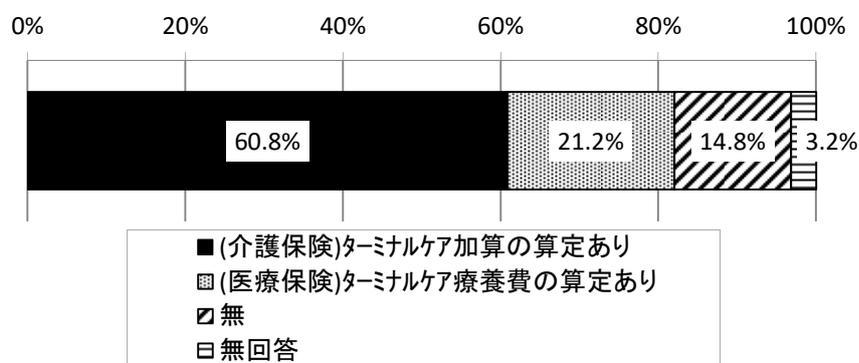
	合計	Q69sq 看護体制強化加算:種別			
		I	II	予防	無回答
全体	163 100.0%	64 39.3%	93 57.1%	0 0.0%	6 3.7%
末期がんあり	19 100.0%	6 31.6%	10 52.6%	0 0.0%	3 15.8%
末期がんなし	144 100.0%	58 40.3%	83 57.6%	0 0.0%	3 2.1%

### ⑨ ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費の算定状況

ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費の算定状況は、「（介護保険）ターミナルケア加算の算定あり」が60.8%、「（医療保険）ターミナルケア療養費の算定あり」が21.2%、「無」が14.8%であった。

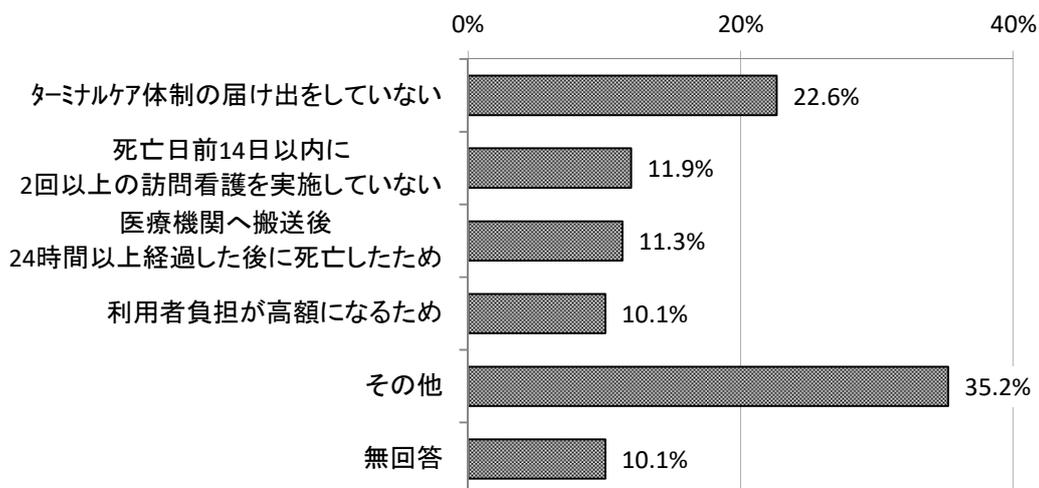
「無」の場合、算定をしていない理由は、「ターミナルケア体制の届け出をしていない」が22.6%、「死亡日前14日以内に2回以上の訪問看護を実施していない」が11.9%であった。「その他」の具体的な内容としては「急変のため」「計画書に記載がなかった」「医療機関・主治医が算定したため」等であった。

図表5-41 ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費の算定状況 (n=1,075) (問 70)



	合計	Q70 ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費の算定状況			
		(介護保険)ターミナルケア加算の算定あり	(医療保険)ターミナルケア療養費の算定あり	無	無回答
全体	1,075 100.0%	654 60.8%	228 21.2%	159 14.8%	34 3.2%
末期がんあり	211 100.0%	50 23.7%	125 59.2%	31 14.7%	5 2.4%
末期がんなし	863 100.0%	603 69.9%	103 11.9%	128 14.8%	29 3.4%

図表5-42 「無」の場合:算定をしていない理由(複数回答)(n=159)(問 70)

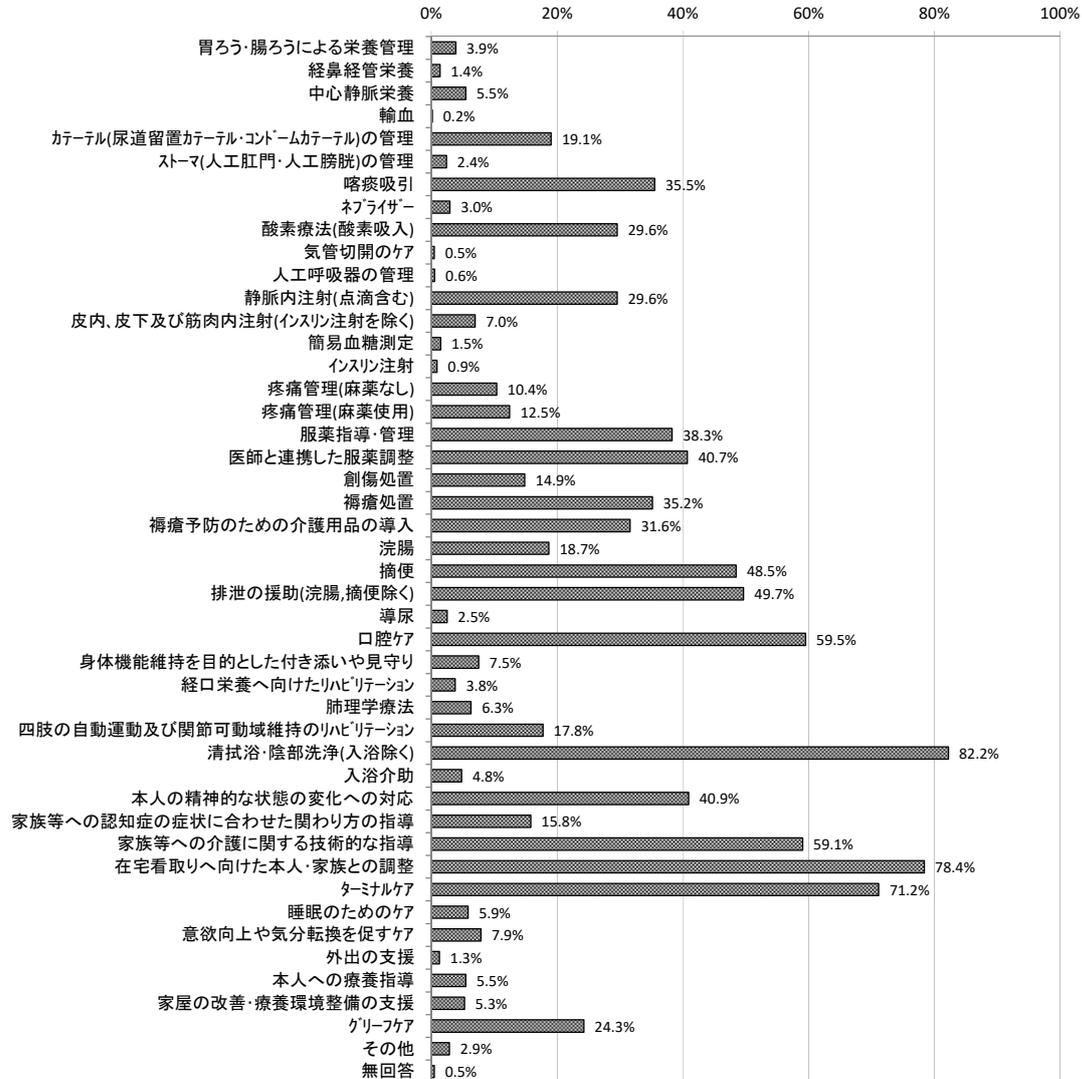


	合計	Q70sq 算定無の理由					
		ターミナルケア体制の届け出をしていない	死亡日前14日以内に2回以上の訪問看護を実施していない	医療機関へ搬送後24時間以上経過した後に死亡したため	利用者負担が高額になるため	その他	無回答
全体	159 100.0%	36 22.6%	19 11.9%	18 11.3%	16 10.1%	56 35.2%	16 10.1%
末期がんあり	31 100.0%	9 29.0%	3 9.7%	7 22.6%	4 12.9%	10 32.3%	0 0.0%
末期がんなし	128 100.0%	27 21.1%	16 12.5%	11 8.6%	12 9.4%	46 35.9%	16 12.5%

### ⑩ 死亡前 14 日間に提供したケア

死亡前 14 日間に提供したケアは、「清拭浴・陰部洗浄（入浴除く）」が 82.2%、「在宅看取りへ向けた本人・家族との調整」が 78.4%、「ターミナルケア」が 71.2%、「口腔ケア」が 59.5%、「家族等への介護に関する技術的な指導」が 59.1%であった。

図表5-43 死亡前 14 日間に提供したケア（複数回答）(n=1,075)（問 71）



	合計	Q71 死亡前 14 日間に提供したケア							
		胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	輸血	カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）の管理	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	喀痰吸引	ネブライザー
全体	1,075 100.0%	42 3.9%	15 1.4%	59 5.5%	2 0.2%	205 19.1%	26 2.4%	382 35.5%	32 3.0%
末期がんあり	211 100.0%	5 2.4%	1 0.5%	23 10.9%	1 0.5%	50 23.7%	10 4.7%	65 30.8%	5 2.4%
末期がんなし	863 100.0%	37 4.3%	14 1.6%	36 4.2%	1 0.1%	155 18.0%	16 1.9%	317 36.7%	27 3.1%

	合計	Q71 死亡前 14 日間に提供したケア							
		酸素療法（酸素吸入）	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射（点滴含む）	皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く）	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理（麻薬なし）
全体	1,075 100.0%	318 29.6%	5 0.5%	6 0.6%	318 29.6%	75 7.0%	16 1.5%	10 0.9%	112 10.4%
末期がんあり	211 100.0%	70 33.2%	0 0.0%	0 0.0%	63 29.9%	18 8.5%	3 1.4%	1 0.5%	40 19.0%
末期がんなし	863 100.0%	248 28.7%	5 0.6%	6 0.7%	255 29.5%	57 6.6%	13 1.5%	9 1.0%	72 8.3%

	合計	Q71 死亡前 14 日間に提供したケア							
		疼痛管理（麻薬使用）	服薬指導・管理	医師と連携した服薬調整	創傷処置	褥瘡処置	褥瘡予防のための介護用品の導入	浣腸	排便
全体	1,075 100.0%	134 12.5%	412 38.3%	438 40.7%	160 14.9%	378 35.2%	340 31.6%	201 18.7%	521 48.5%
末期がんあり	211 100.0%	96 45.5%	111 52.6%	129 61.1%	29 13.7%	65 30.8%	74 35.1%	33 15.6%	83 39.3%
末期がんなし	863 100.0%	38 4.4%	301 34.9%	309 35.8%	131 15.2%	313 36.3%	266 30.8%	168 19.5%	438 50.8%

	合計	Q71 死亡前14日間に提供したケア							
		排泄の援助 (浣腸、 排便を除く)	導尿	口腔ケア	身体機能維持 を目的とした 付き添いや見 守り	経口栄養 へ向けたリハ ビリテーシ ョン	肺理学 療法	四肢の 自動運 動及び 関節可 動域維 持のリハ ビリテーシ ョン	清拭 浴・陰 部洗浄 (入浴 除く)
全体	1,075 100.0%	534 49.7%	27 2.5%	640 59.5%	81 7.5%	41 3.8%	68 6.3%	191 17.8%	884 82.2%
末期がんあり	211 100.0%	104 49.3%	8 3.8%	123 58.3%	21 10.0%	3 1.4%	11 5.2%	27 12.8%	164 77.7%
末期がんなし	863 100.0%	429 49.7%	19 2.2%	517 59.9%	60 7.0%	38 4.4%	57 6.6%	164 19.0%	719 83.3%

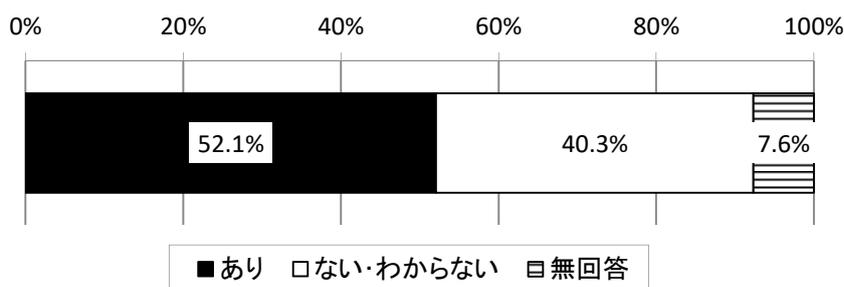
	合計	Q71 死亡前14日間に提供したケア							
		入浴介 助	本人の 精神的 な状態 の変化 への対 応	家族等 への認 知症の 症状に 合わせ た関わ り方の 指導	家族等 への介 護に関 する技 術的な 指導	在宅看 取りへ 向けた 本人・ 家族と の調整	ターミナル ケア	睡眠の ための ケア	意欲向 上や気 分転換 を促す ケア
全体	1,075 100.0%	52 4.8%	440 40.9%	170 15.8%	635 59.1%	843 78.4%	765 71.2%	63 5.9%	85 7.9%
末期がんあり	211 100.0%	14 6.6%	136 64.5%	23 10.9%	139 65.9%	181 85.8%	161 76.3%	21 10.0%	28 13.3%
末期がんなし	863 100.0%	38 4.4%	304 35.2%	146 16.9%	495 57.4%	661 76.6%	603 69.9%	42 4.9%	57 6.6%

	合計	Q71 死亡前14日間に提供したケア					
		外出の 支援	本人へ の療養 指導	家屋の 改善・ 療養環 境整備 の支援	グリーフ ケア	その他	無回答
全体	1,075 100.0%	14 1.3%	59 5.5%	57 5.3%	261 24.3%	31 2.9%	5 0.5%
末期がんあり	211 100.0%	6 2.8%	22 10.4%	16 7.6%	64 30.3%	5 2.4%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	8 0.9%	37 4.3%	41 4.8%	197 22.8%	26 3.0%	3 0.3%

⑪ 直近の退院・退所月と退院・退所施設

直近の退院・退所は「あり」が52.1%であった。「あり」の場合、退所月は「平成30年4月～平成30年6月」が25.4%、「平成30年7月～」が24.8%であった。退所施設は「病院」が88.4%、「介護老人保健施設」が1.6%であった。

図表5-44 直近の退院・退所の有無 (n=1,075) (問 72)

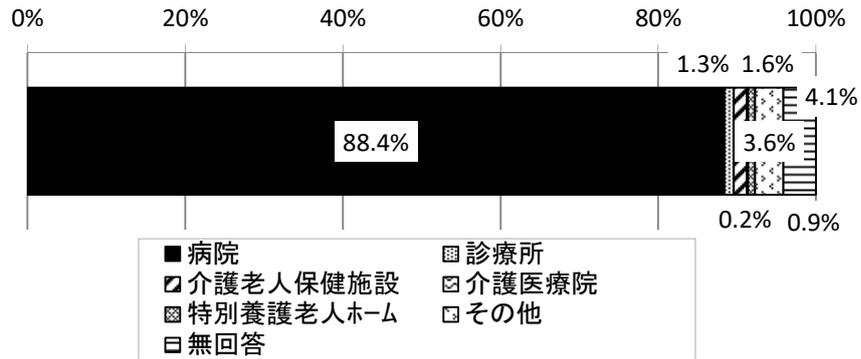


	合計	Q72 直近の退院・退所の有無		
		あり	ない・わからない	無回答
全体	1,075 100.0%	560 52.1%	433 40.3%	82 7.6%
末期がんあり	211 100.0%	137 64.9%	53 25.1%	21 10.0%
末期がんなし	863 100.0%	423 49.0%	379 43.9%	61 7.1%

図表5-45 直近の退院・退所月 (問 72)

	合計	Q72sq1 直近の退院・退所時期					無回答
		～H28.12	H29.1～H29.12	H30.1～H30.3	H30.4～H30.6	H30.7～	
全体	560 100.0%	69 12.3%	125 22.3%	66 11.8%	142 25.4%	139 24.8%	19 3.4%
末期がんあり	137 100.0%	5 3.6%	28 20.4%	14 10.2%	41 29.9%	45 32.8%	4 2.9%
末期がんなし	423 100.0%	64 15.1%	97 22.9%	52 12.3%	101 23.9%	94 22.2%	15 3.5%

図表5-46 「あり」の場合：直近の退院・退所施設 (n=560) (問 72)

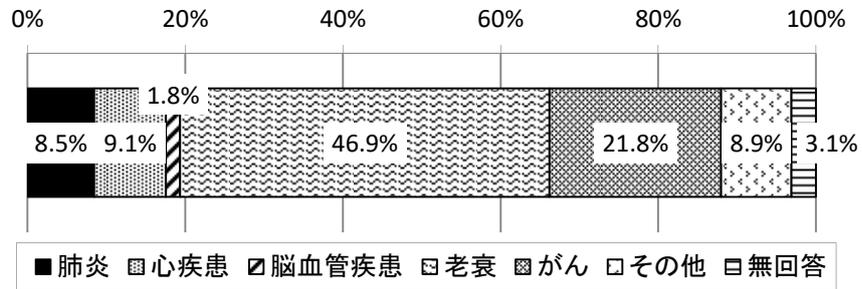


	合計	Q72sq2 直近の退院・退所施設						
		病院	診療所	介護老人保健施設	介護医療院	特別養護老人ホーム	その他	無回答
全体	560 100.0%	495 88.4%	7 1.3%	9 1.6%	1 0.2%	5 0.9%	20 3.6%	23 4.1%
末期がんあり	137 100.0%	123 89.8%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	5 3.6%	7 5.1%
末期がんなし	423 100.0%	372 87.9%	6 1.4%	9 2.1%	1 0.2%	4 0.9%	15 3.5%	16 3.8%

⑫ 死因

死因は「老衰」が46.9%、「がん」が21.8%であった。

図表5-47 死因 (n=1,075) (問 73)

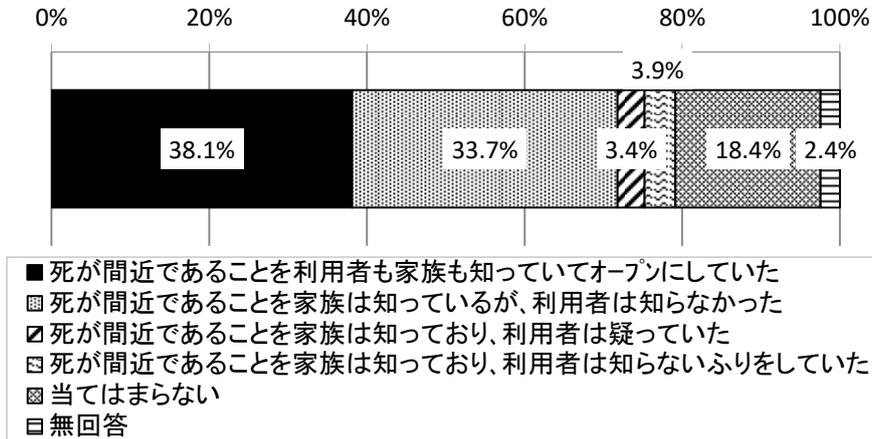


	合計	Q73 死因						
		肺炎	心疾患	脳血管疾患	老衰	がん	その他	無回答
全体	1,075 100.0%	91 8.5%	98 9.1%	19 1.8%	504 46.9%	234 21.8%	96 8.9%	33 3.1%
末期がんあり	211 100.0%	3 1.4%	3 1.4%	1 0.5%	11 5.2%	190 90.0%	1 0.5%	2 0.9%
末期がんなし	863 100.0%	88 10.2%	95 11.0%	18 2.1%	492 57.0%	44 5.1%	95 11.0%	31 3.6%

⑬ 死が間近であることの利用者の認識

死が間近であることの利用者の認識は、「死が間近であることを利用者也家族も知っていてオープンにしていた」が 38.1%、「死が間近であることを家族は知っているが、利用者は知らなかった」が 33.7%であった。

図表5-48 死が間近であることの利用者の認識 (n=1,075) (問 74)

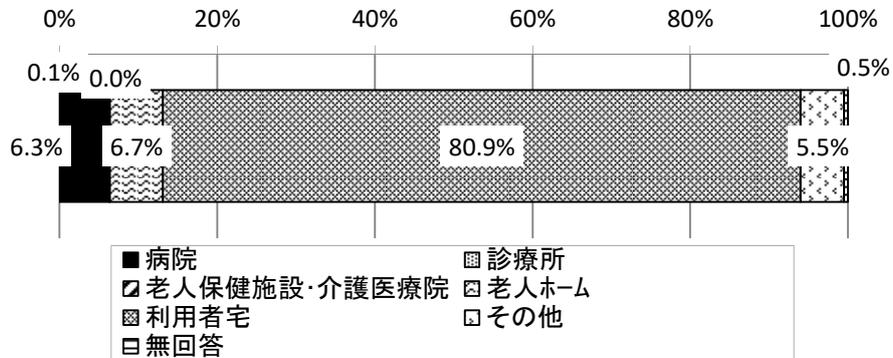


	合計	Q74 死が間近であることの利用者の認識					
		死が間近であることを利用者也家族も知っていてオープンにしていた	死が間近であることを家族は知っているが、利用者は知らなかった	死が間近であることを家族は知っており、利用者は疑っていた	死が間近であることを家族は知っており、利用者は知らないふりをしていた	当てはまらない	無回答
全体	1,075 100.0%	410 38.1%	362 33.7%	37 3.4%	42 3.9%	198 18.4%	26 2.4%
末期がんあり	211 100.0%	104 49.3%	62 29.4%	11 5.2%	16 7.6%	12 5.7%	6 2.8%
末期がんなし	863 100.0%	306 35.5%	299 34.6%	26 3.0%	26 3.0%	186 21.6%	20 2.3%

⑭ 死亡場所

死亡場所は、「利用者宅」が80.9%、「老人ホーム」が6.7%、「病院」が6.3%であった。

図表5-49 死亡場所 (n=1,075) (問 75)

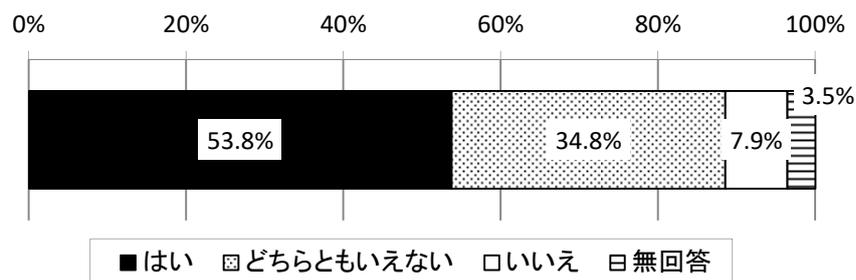


	合計	Q75 死亡場所						
		病院	診療所	老人保健施設・介護医療院	老人ホーム	利用者宅	その他	無回答
全体	1,075 100.0%	68 6.3%	1 0.1%	0 0.0%	72 6.7%	870 80.9%	59 5.5%	5 0.5%
末期がんあり	211 100.0%	24 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.8%	166 78.7%	12 5.7%	1 0.5%
末期がんなし	863 100.0%	44 5.1%	1 0.1%	0 0.0%	64 7.4%	703 81.5%	47 5.4%	4 0.5%

⑮ 本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、利用者本人が多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人による意思決定を基本に人生の最終段階における医療・ケアが行われたか

本人による意思決定を基本に人生の最終段階で医療・ケアを受けられたかをたずねたところ、「はい」が53.8%、「どちらともいえない」が34.8%、「いいえ」が7.9%であった。

図表5-50 本人による意思決定を基本に人生の最終段階で医療・ケアを受けられたか (n=1,075)  
(問 76)

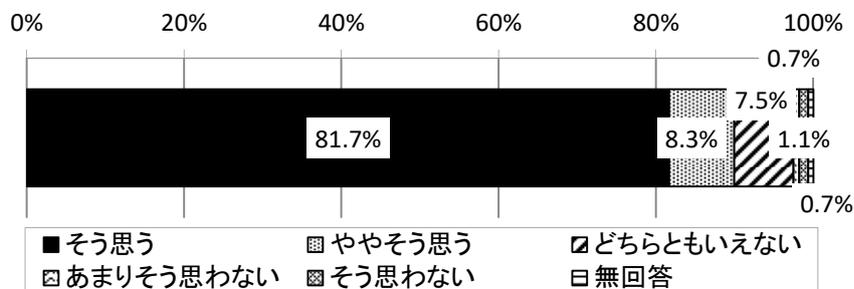


	合計	Q76 本人による意思決定を基本に医療・ケアを行ったか			
		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答
全体	1,075 100.0%	578 53.8%	374 34.8%	85 7.9%	38 3.5%
末期がんあり	211 100.0%	137 64.9%	59 28.0%	8 3.8%	7 3.3%
末期がんなし	863 100.0%	441 51.1%	314 36.4%	77 8.9%	31 3.6%

1) 利用者が望む場所で最期を迎えられたか

利用者が望む場所で最期を迎えられたかをたずねたところ、「そう思う」が81.7%、「ややそう思う」が8.3%であった。

図表5-51 利用者の望む場所で最期を迎えられたか(n=1,075) (問 77)

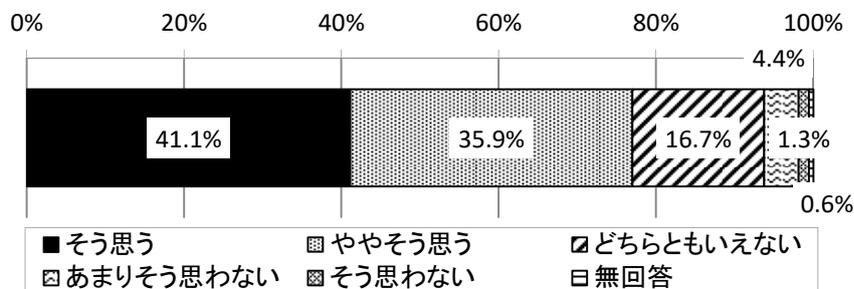


	合計	Q77 利用者が望んだ場所で最期を迎えられましたか					
		そう思 う	ややそ う思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体	1,075 100.0%	878 81.7%	89 8.3%	81 7.5%	8 0.7%	12 1.1%	7 0.7%
末期がんあり	211 100.0%	178 84.4%	17 8.1%	15 7.1%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	699 81.0%	72 8.3%	66 7.6%	7 0.8%	12 1.4%	7 0.8%

## 2) 利用者はからだの苦痛が少なく過ごせたか

利用者はからだの苦痛が少なく過ごせたかをたずねたところ、「そう思う」が41.1%、「ややそう思う」が35.9%であった。

図表5-52 利用者はからだの苦痛が少なく過ごせたか (n=1,075) (問 78)

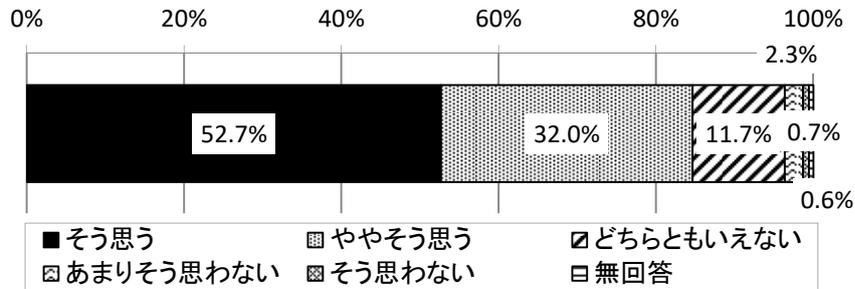


	合計	Q78 利用者はからだの苦痛が少なく過ごせましたか					
		そう思 う	ややそ う思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体	1,075 100.0%	442 41.1%	386 35.9%	180 16.7%	47 4.4%	14 1.3%	6 0.6%
末期がんあり	211 100.0%	74 35.1%	78 37.0%	44 20.9%	13 6.2%	2 0.9%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	367 42.5%	308 35.7%	136 15.8%	34 3.9%	12 1.4%	6 0.7%

### 3) 利用者はおだやかな気持ちで過ごしていたか

利用者はおだやかな気持ちで過ごしていたかをたずねたところ、「そう思う」が52.7%、「ややそう思う」が32.0%であった。

図表5-53 利用者はおだやかな気持ちで過ごせていたか (n=1,075) (問 79)

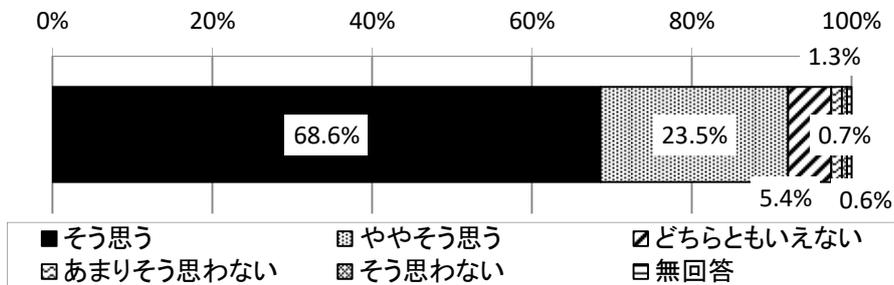


	合計	Q79 利用者はおだやかな気持ちで過ごされていましたか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,075 100.0%	566 52.7%	344 32.0%	126 11.7%	25 2.3%	8 0.7%	6 0.6%
末期がんあり	211 100.0%	103 48.8%	76 36.0%	27 12.8%	4 1.9%	1 0.5%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	462 53.5%	268 31.1%	99 11.5%	21 2.4%	7 0.8%	6 0.7%

#### 4) 利用者は落ち着いた環境で過ごしていたか

利用者は落ち着いた環境で過ごしていたかをたずねたところ、「そう思う」が68.6%、「ややそう思う」が23.5%であった。

図表5-54 利用者は落ち着いた環境で過ごせていたか (n=1,075) (問 80)

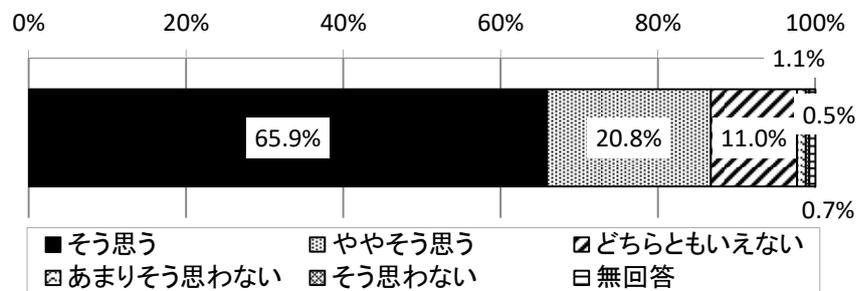


	合計	Q80 利用者は落ち着いた環境で過ごされましたか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,075 100.0%	737 68.6%	253 23.5%	58 5.4%	14 1.3%	7 0.7%	6 0.6%
末期がんあり	211 100.0%	142 67.3%	54 25.6%	13 6.2%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	594 68.8%	199 23.1%	45 5.2%	13 1.5%	6 0.7%	6 0.7%

### 5) 利用者の生き方や価値観が尊重されていたか

利用者の生き方や価値観が尊重されていたかをたずねたところ、「そう思う」が65.9%、「ややそう思う」が20.8%であった。

図表5-55 利用者の生き方や価値観が尊重されていたか (n=1,075) (問 81)

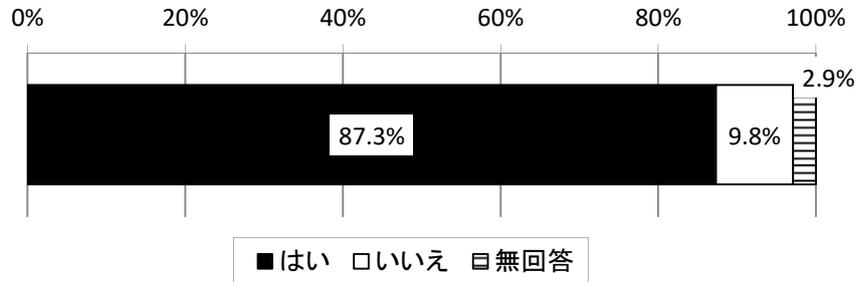


	合計	Q81 利用者の生き方や価値観が尊重されていましたか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,075 100.0%	708 65.9%	224 20.8%	118 11.0%	12 1.1%	5 0.5%	8 0.7%
末期がんあり	211 100.0%	134 63.5%	58 27.5%	18 8.5%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
末期がんなし	863 100.0%	573 66.4%	166 19.2%	100 11.6%	11 1.3%	5 0.6%	8 0.9%

⑩ 最期は利用者の希望する看取りができたか

最期は利用者の希望する看取りができたかをたずねたところ、「はい」が87.3%、「いいえ」が9.8%であった。

図表5-56 最期は利用者の希望する看取りができたか (n=1,075) (問 82)

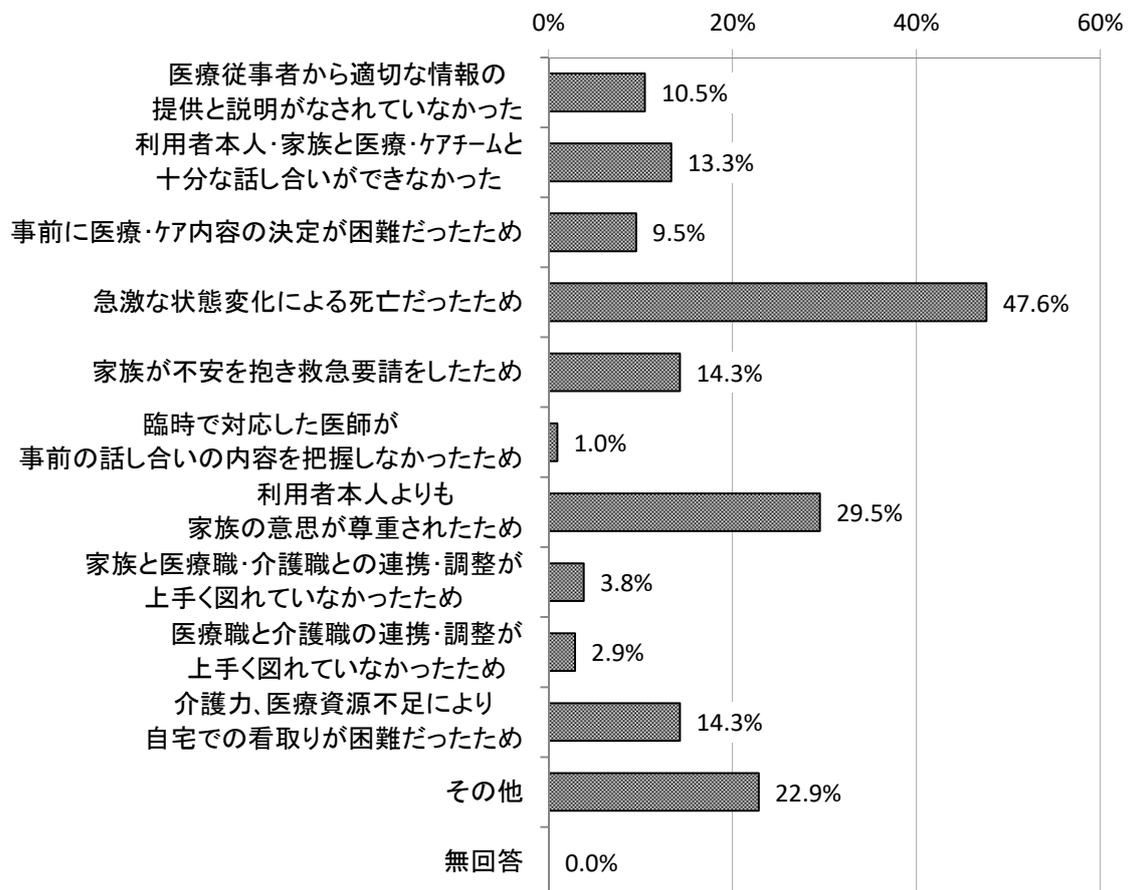


	合計	Q82 最期は、利用者の希望される看取られ方ができましたか		
		はい	いいえ	無回答
全体	1,075 100.0%	939 87.3%	105 9.8%	31 2.9%
末期がんあり	211 100.0%	188 89.1%	20 9.5%	3 1.4%
末期がんなし	863 100.0%	750 86.9%	85 9.8%	28 3.2%

1) (「いいえ」の場合) 利用者が希望する看取りができなかった理由

「いいえ」の場合、利用者が希望する看取りができなかった理由は、「急激な状態変化による死亡だったため」が 47.6%、「利用者本人よりも家族の意思が尊重されたため」が 29.5%であった。

図表5-57 「いいえ」の場合:希望する看取りができなかった理由(複数回答)(n=105)(問 83)



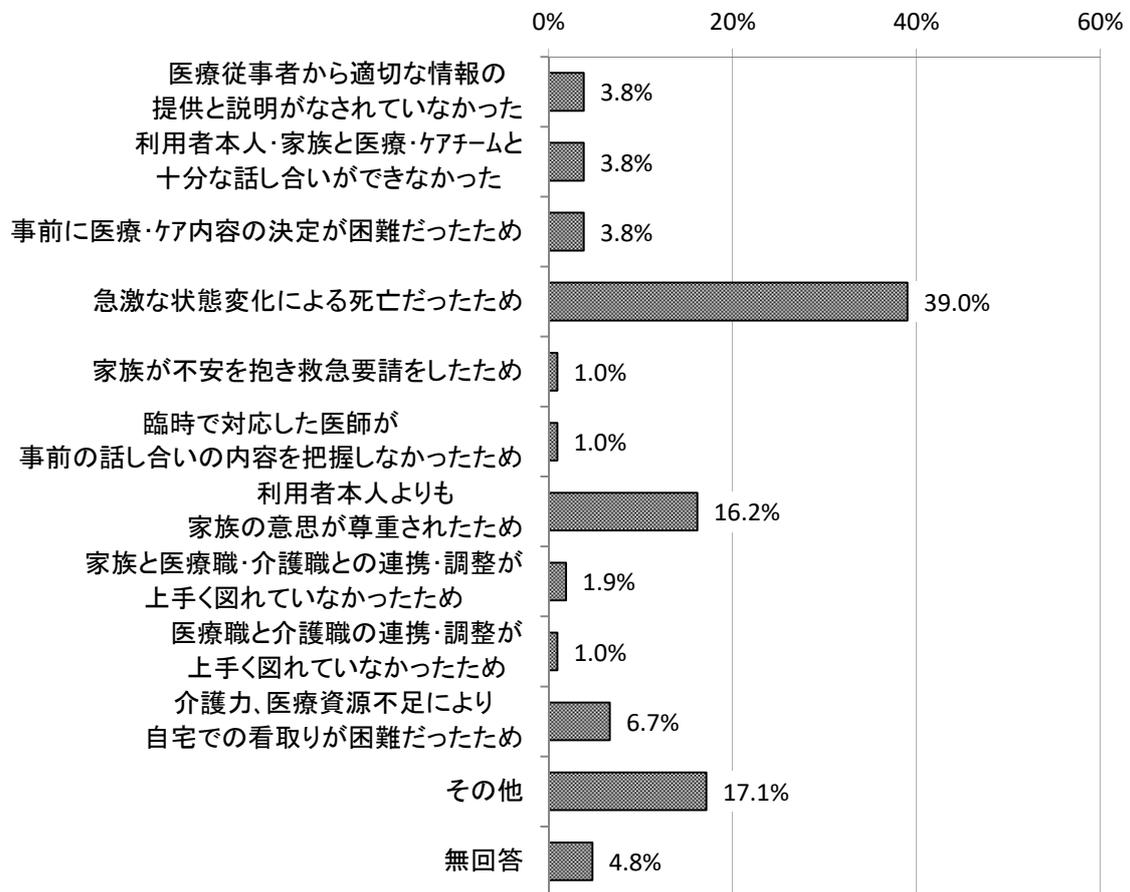
	合計	Q83 最期を希望するように看取れなかった理由							
		医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされていなかった	利用者本人・家族と医療・ケアチームと十分な話し合いができなかった	事前に医療・ケア内容の決定が困難だったため	急激な状態変化による死亡だったため	家族が不安を抱き救急要請をしたため	臨時で対応した医師が事前の話し合いの内容を把握しなかったため	利用者本人よりも家族の意思が尊重されたため	家族と医療職・介護職との連携・調整が上手く図れていなかったため
全体	105 100.0%	11 10.5%	14 13.3%	10 9.5%	50 47.6%	15 14.3%	1 1.0%	31 29.5%	4 3.8%
末期がんあり	20 100.0%	1 5.0%	4 20.0%	1 5.0%	11 55.0%	5 25.0%	0 0.0%	6 30.0%	0 0.0%
末期がんなし	85 100.0%	10 11.8%	10 11.8%	9 10.6%	39 45.9%	10 11.8%	1 1.2%	25 29.4%	4 4.7%

	合計	Q83 最期を希望するように看取れなかった理由			
		医療職と介護職の連携・調整が上手く図れていなかったため	介護力、医療資源不足により自宅での看取りが困難だったため	その他	無回答
全体	105 100.0%	3 2.9%	15 14.3%	24 22.9%	0 0.0%
末期がんあり	20 100.0%	0 0.0%	5 25.0%	3 15.0%	0 0.0%
末期がんなし	85 100.0%	3 3.5%	10 11.8%	21 24.7%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

2) (「いいえ」の場合)理由として、最もあてはまるもの

「いいえ」の場合、最もあてはまる理由は、「急激な状態変化による死亡だったため」が39.0%、「利用者本人よりも家族の意思が尊重されたため」が16.2%であった。

図表5-58 「いいえ」の場合:最もあてはまる理由(n=105)(問83)



	合計	Q83sq 最期を希望するように看取れなかった1番の理由							
		医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされていなかった	利用者本人・家族と医療・ケアチームと十分な話し合いができなかった	事前に医療・ケア内容の決定が困難だったため	急激な状態変化による死亡だったため	家族が不安を抱き救急要請をしたため	臨時で対応した医師が事前の話し合いの内容を把握しなかったため	利用者本人よりも家族の意思が尊重されたため	家族と医療職・介護職との連携・調整が上手く回らなかったため
全体	105 100.0%	4 3.8%	4 3.8%	4 3.8%	41 39.0%	1 1.0%	1 1.0%	17 16.2%	2 1.9%
末期がんあり	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	10 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%
末期がんなし	85 100.0%	4 4.7%	3 3.5%	3 3.5%	31 36.5%	1 1.2%	1 1.2%	14 16.5%	2 2.4%

	合計	Q83sq 最期を希望するように看取れなかった1番の理由			
		医療職と介護職の連携・調整が上手く回らなかったため	介護力、医療資源不足により自宅での看取りが困難だったため	その他	無回答
全体	105 100.0%	1 1.0%	7 6.7%	18 17.1%	5 4.8%
末期がんあり	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	2 10.0%	2 10.0%
末期がんなし	85 100.0%	1 1.2%	6 7.1%	16 18.8%	3 3.5%

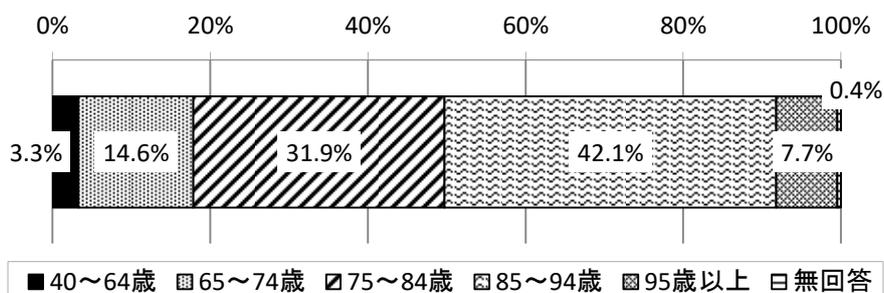
## 第6節 要介護の利用者（利用者票④）の結果の詳細

### 1. 利用者の状態等

#### ① 年齢

利用者の年齢は、「85～94歳」が42.1%、「75～84歳」が31.9%であった。

図表6-1 年齢 (n=1,556) (問 84)



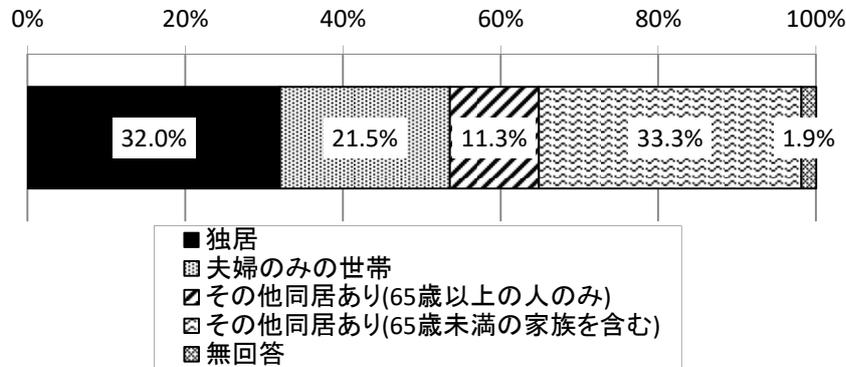
	合計	Q84 年齢					
		40～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答
全体	1,556 100.0%	51 3.3%	227 14.6%	496 31.9%	655 42.1%	120 7.7%	7 0.4%
要介護1	338 100.0%	9 2.7%	43 12.7%	133 39.3%	142 42.0%	8 2.4%	3 0.9%
要介護2	350 100.0%	8 2.3%	59 16.9%	100 28.6%	163 46.6%	20 5.7%	0 0.0%
要介護3	269 100.0%	9 3.3%	35 13.0%	86 32.0%	112 41.6%	25 9.3%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	6 2.4%	33 13.4%	79 32.0%	106 42.9%	21 8.5%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	17 5.2%	56 17.0%	92 27.9%	121 36.7%	44 13.3%	0 0.0%

※表中の要介護度は直近の要介護度。以下同じ。

## ② 世帯構成

利用者の世帯構成は、「その他同居あり（65歳未満の家族を含む）」が33.3%、「独居」が32.0%であった。

図表6-2 世帯構成 (n=1,556) (問 85)

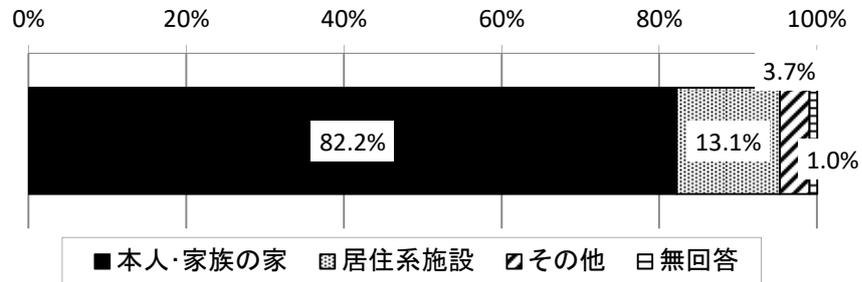


	合計	Q85 世帯構成				
		独居	夫婦のみの世帯	その他同居あり(65歳以上の人のみ)	その他同居あり(65歳未満の家族を含む)	無回答
全体	1,556 100.0%	498 32.0%	335 21.5%	176 11.3%	518 33.3%	29 1.9%
要介護1	338 100.0%	171 50.6%	65 19.2%	16 4.7%	80 23.7%	6 1.8%
要介護2	350 100.0%	132 37.7%	83 23.7%	36 10.3%	95 27.1%	4 1.1%
要介護3	269 100.0%	83 30.9%	63 23.4%	37 13.8%	82 30.5%	4 1.5%
要介護4	247 100.0%	47 19.0%	58 23.5%	36 14.6%	101 40.9%	5 2.0%
要介護5	330 100.0%	54 16.4%	65 19.7%	47 14.2%	154 46.7%	10 3.0%

### ③ 住まい

利用者の住まいは、「本人・家族の家」が 82.2%、「居住系施設」が 13.1%であった。

図表6-3 住まい (n=1,556) (問 86)



	合計	Q86 住まい			
		本人・家族の家	居住系施設	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	1,279 82.2%	204 13.1%	58 3.7%	15 1.0%
要介護 1	338 100.0%	280 82.8%	37 10.9%	17 5.0%	4 1.2%
要介護 2	350 100.0%	299 85.4%	35 10.0%	13 3.7%	3 0.9%
要介護 3	269 100.0%	220 81.8%	34 12.6%	10 3.7%	5 1.9%
要介護 4	247 100.0%	196 79.4%	45 18.2%	4 1.6%	2 0.8%
要介護 5	330 100.0%	265 80.3%	51 15.5%	13 3.9%	1 0.3%

#### ④ 訪問看護の利用開始時期

訪問看護の利用開始時期は、「平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月」が 27.5%、「平成 30 年 1 月～」が 23.5%であった。

図表6-4 訪問看護の利用開始時期（問 86）

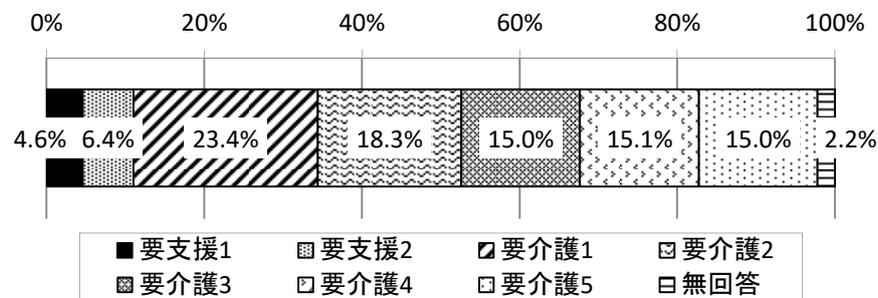
	合計	Q87 訪問看護の利用開始時期						
		～ H20.12	H21.1 ～ H25.12	H26.1 ～ H26.12	H27.1 ～ H27.12	H28.1 ～ H28.12	H29.1 ～ H29.12	H30.1 ～
全体	1,556 100.0%	51 3.3%	192 12.3%	96 6.2%	178 11.4%	245 15.7%	428 27.5%	366 23.5%
要介護 1	338 100.0%	2 0.6%	28 8.3%	22 6.5%	37 10.9%	59 17.5%	99 29.3%	91 26.9%
要介護 2	350 100.0%	11 3.1%	39 11.1%	14 4.0%	38 10.9%	61 17.4%	103 29.4%	84 24.0%
要介護 3	269 100.0%	6 2.2%	27 10.0%	13 4.8%	37 13.8%	37 13.8%	77 28.6%	72 26.8%
要介護 4	247 100.0%	13 5.3%	29 11.7%	16 6.5%	24 9.7%	36 14.6%	74 30.0%	55 22.3%
要介護 5	330 100.0%	18 5.5%	64 19.4%	30 9.1%	40 12.1%	49 14.8%	74 22.4%	55 16.7%

## ⑤ 要介護度

### 1) 利用開始時

利用開始時の要介護度は、「要介護1」が23.4%、「要介護2」が18.3%であった。

図表6-5 要介護度:利用開始時 (n=1,556) (問 88.①)

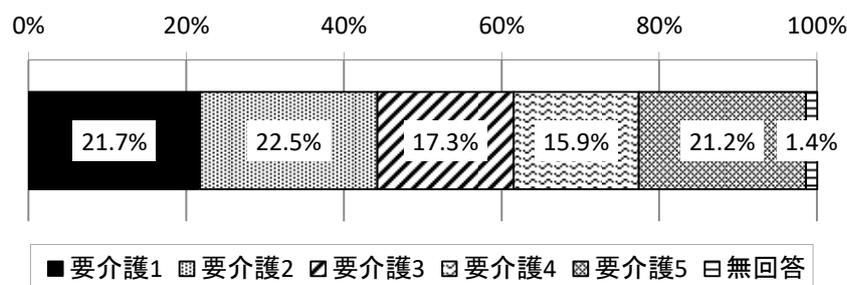


	合計	Q88① 要介護度:利用開始時							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	1,556 100.0%	71 4.6%	100 6.4%	364 23.4%	284 18.3%	234 15.0%	235 15.1%	234 15.0%	34 2.2%
要介護1	338 100.0%	44 13.0%	35 10.4%	200 59.2%	28 8.3%	12 3.6%	10 3.0%	4 1.2%	5 1.5%
要介護2	350 100.0%	16 4.6%	30 8.6%	93 26.6%	154 44.0%	25 7.1%	18 5.1%	5 1.4%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	6 2.2%	14 5.2%	46 17.1%	50 18.6%	127 47.2%	20 7.4%	3 1.1%	3 1.1%
要介護4	247 100.0%	2 0.8%	8 3.2%	17 6.9%	34 13.8%	34 13.8%	120 48.6%	26 10.5%	6 2.4%
要介護5	330 100.0%	2 0.6%	8 2.4%	7 2.1%	14 4.2%	34 10.3%	65 19.7%	195 59.1%	5 1.5%

### 2) 直近の認定

直近の要介護度は、「要介護2」が22.5%、「要介護1」が21.7%であった。

図表6-6 要介護度:直近の認定 (n=1,556) (問 88.②)



### 3) 利用開始時別直近

図表6-7 要介護度:利用開始時別直近

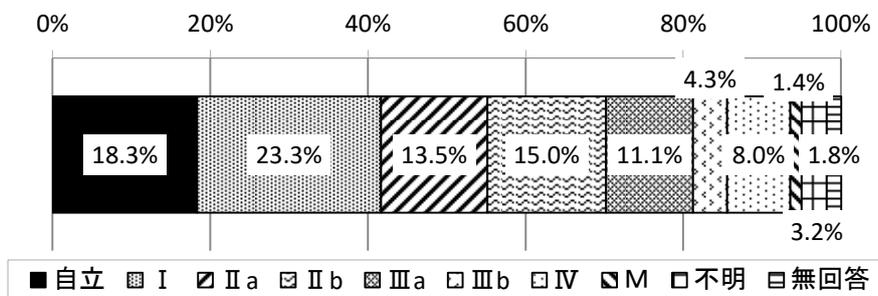
		合計	Q88② 要介護度:直近の認定					無回答
			要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
全体		1,556 100.0%	338 21.7%	350 22.5%	269 17.3%	247 15.9%	330 21.2%	22 1.4%
Q88① 要介護 度:利用 開始時	要支援 1	71 100.0%	44 62.0%	16 22.5%	6 8.5%	2 2.8%	2 2.8%	1 1.4%
	要支援 2	100 100.0%	35 35.0%	30 30.0%	14 14.0%	8 8.0%	8 8.0%	5 5.0%
	要介護 1	364 100.0%	200 54.9%	93 25.5%	46 12.6%	17 4.7%	7 1.9%	1 0.3%
	要介護 2	284 100.0%	28 9.9%	154 54.2%	50 17.6%	34 12.0%	14 4.9%	4 1.4%
	要介護 3	234 100.0%	12 5.1%	25 10.7%	127 54.3%	34 14.5%	34 14.5%	2 0.9%
	要介護 4	235 100.0%	10 4.3%	18 7.7%	20 8.5%	120 51.1%	65 27.7%	2 0.9%
	要介護 5	234 100.0%	4 1.7%	5 2.1%	3 1.3%	26 11.1%	195 83.3%	1 0.4%

## ⑥ 認知症高齢者の日常生活自立度

### 1) 利用開始時

利用開始時の認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」が23.3%、「自立」が18.3%、「IIb」が15.0%であった。

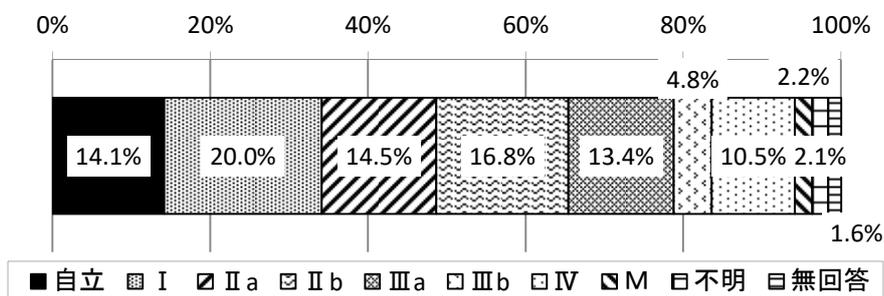
図表6-8 認知症高齢者の日常生活自立度:利用開始時 (n=1,556) (問 89.①)



### 2) 直近

直近の認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」が20.0%、「IIb」が16.8%、「IIa」が14.5%であった。

図表6-9 認知症高齢者の日常生活自立度:直近 (n=1,556) (問 89.②)



	合計	Q89② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近							
		自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
全体	1,556 100.0%	220 14.1%	311 20.0%	226 14.5%	261 16.8%	208 13.4%	75 4.8%	164 10.5%	34 2.2%
要介護1	338 100.0%	71 21.0%	83 24.6%	78 23.1%	71 21.0%	24 7.1%	5 1.5%	2 0.6%	0 0.0%
要介護2	350 100.0%	65 18.6%	94 26.9%	54 15.4%	61 17.4%	45 12.9%	10 2.9%	4 1.1%	2 0.6%
要介護3	269 100.0%	40 14.9%	52 19.3%	35 13.0%	58 21.6%	43 16.0%	20 7.4%	11 4.1%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	29 11.7%	45 18.2%	30 12.1%	41 16.6%	35 14.2%	14 5.7%	35 14.2%	6 2.4%
要介護5	330 100.0%	13 3.9%	30 9.1%	23 7.0%	28 8.5%	58 17.6%	26 7.9%	111 33.6%	24 7.3%

	合計	Q89② 認知症高齢者の日常生活自立度:直近	
		不明	無回答
全体	1,556 100.0%	32 2.1%	25 1.6%
要介護1	338 100.0%	2 0.6%	2 0.6%
要介護2	350 100.0%	4 1.1%	11 3.1%
要介護3	269 100.0%	6 2.2%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	5 2.0%	7 2.8%
要介護5	330 100.0%	15 4.5%	2 0.6%

### 3) 利用開始時別直近

図表6-10 認知症高齢者の日常生活自立度：利用開始時別直近

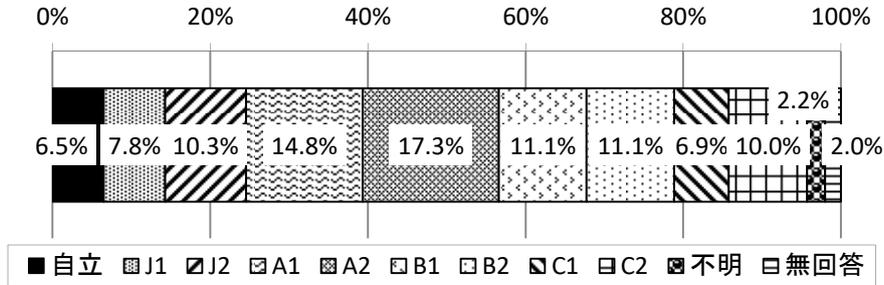
		合計	Q89② 認知症高齢者の日常生活自立度：直近									
			自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体		1,556 100.0%	220 14.1%	311 20.0%	226 14.5%	261 16.8%	208 13.4%	75 4.8%	164 10.5%	34 2.2%	32 2.1%	25 1.6%
Q89 ① 利用 開始 時	自立	285 100.0%	207 72.6%	40 14.0%	11 3.9%	12 4.2%	7 2.5%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	6 2.1%	1 0.4%
	I	363 100.0%	11 3.0%	251 69.1%	47 12.9%	27 7.4%	15 4.1%	2 0.6%	7 1.9%	0 0.0%	2 0.6%	1 0.3%
	II a	210 100.0%	0 0.0%	6 2.9%	145 69.0%	26 12.4%	18 8.6%	4 1.9%	7 3.3%	3 1.4%	0 0.0%	1 0.5%
	II b	234 100.0%	0 0.0%	3 1.3%	10 4.3%	173 73.9%	25 10.7%	11 4.7%	7 3.0%	2 0.9%	0 0.0%	3 1.3%
	III a	172 100.0%	0 0.0%	3 1.7%	2 1.2%	12 7.0%	119 69.2%	10 5.8%	20 11.6%	1 0.6%	1 0.6%	4 2.3%
	III b	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	2 3.0%	8 11.9%	43 64.2%	9 13.4%	3 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
	IV	125 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	2 1.6%	6 4.8%	4 3.2%	2 1.6%	103 82.4%	6 4.8%	0 0.0%	0 0.0%
	M	22 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	18 81.8%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	50 100.0%	0 0.0%	3 6.0%	2 4.0%	3 6.0%	7 14.0%	2 4.0%	8 16.0%	1 2.0%	23 46.0%	1 2.0%

## ⑦ 日常生活自立度

### 1) 利用開始時

利用開始時の日常生活自立度は、「A2」が17.3%、「A1」が14.8%、「B1」、「B2」がそれぞれ11.1%であった。

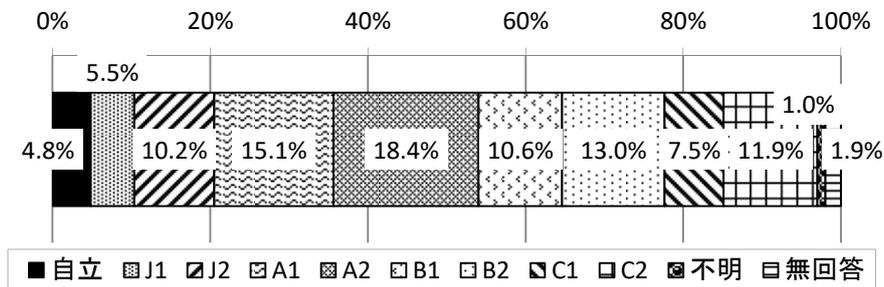
図表6-11 日常生活自立度:利用開始時 (n=1,556) (問 90.①)



### 2) 直近

直近の日常生活自立度は、「A2」が18.4%、「A1」が15.1%、「B2」が13.0%であった。

図表6-12 日常生活自立度:直近 (n=1,556) (問 90.②)



	合計	Q90② 日常生活自立度:直近							
		自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1
全体	1,556 100.0%	75 4.8%	86 5.5%	158 10.2%	235 15.1%	287 18.4%	165 10.6%	202 13.0%	117 7.5%
要介護 1	338 100.0%	43 12.7%	42 12.4%	70 20.7%	73 21.6%	81 24.0%	15 4.4%	8 2.4%	1 0.3%
要介護 2	350 100.0%	21 6.0%	23 6.6%	53 15.1%	87 24.9%	86 24.6%	43 12.3%	21 6.0%	4 1.1%
要介護 3	269 100.0%	9 3.3%	10 3.7%	27 10.0%	45 16.7%	75 27.9%	48 17.8%	36 13.4%	8 3.0%
要介護 4	247 100.0%	0 0.0%	5 2.0%	7 2.8%	24 9.7%	26 10.5%	40 16.2%	68 27.5%	37 15.0%
要介護 5	330 100.0%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	2 0.6%	15 4.5%	17 5.2%	68 20.6%	66 20.0%

	合計	Q90② 日常生活自立度:直近		
		C2	不明	無回答
全体	1,556 100.0%	185 11.9%	16 1.0%	30 1.9%
要介護 1	338 100.0%	0 0.0%	1 0.3%	4 1.2%
要介護 2	350 100.0%	0 0.0%	3 0.9%	9 2.6%
要介護 3	269 100.0%	0 0.0%	5 1.9%	6 2.2%
要介護 4	247 100.0%	29 11.7%	3 1.2%	8 3.2%
要介護 5	330 100.0%	154 46.7%	4 1.2%	2 0.6%

### 3) 利用開始特別直近

図表6-13 日常生活自立度：利用開始特別直近

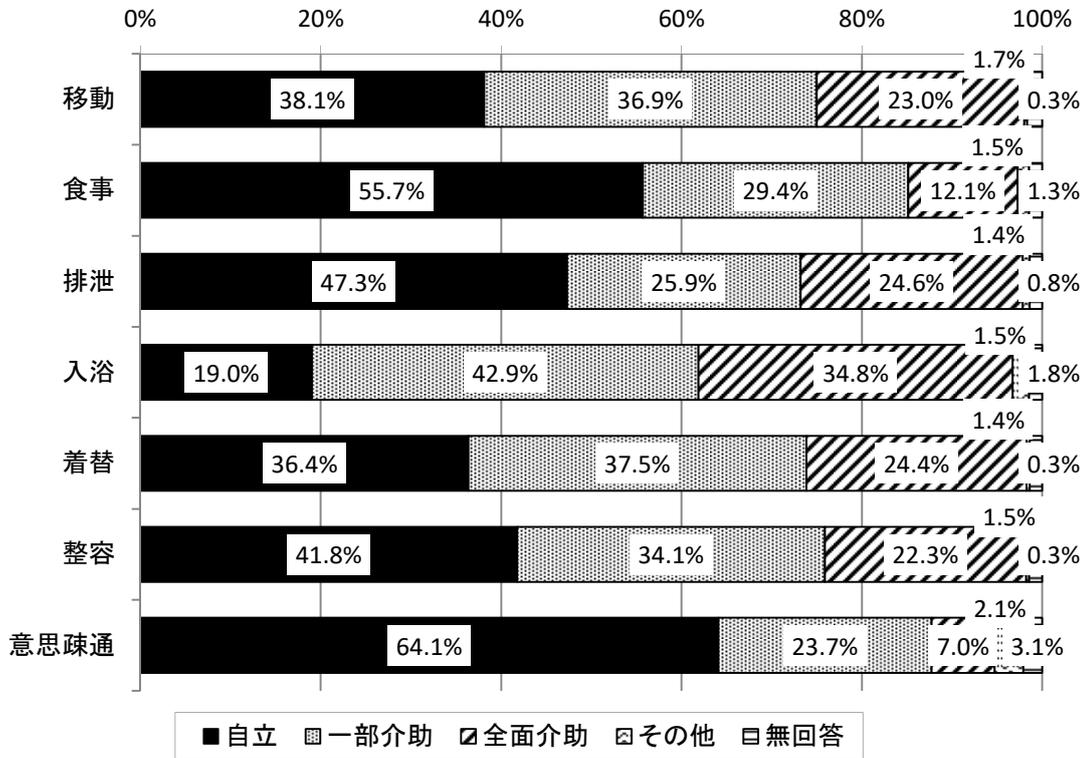
		合計	Q90② 日常生活自立度：直近										
			自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体		1,556 100.0%	75 4.8%	86 5.5%	158 10.2%	235 15.1%	287 18.4%	165 10.6%	202 13.0%	117 7.5%	185 11.9%	16 1.0%	30 1.9%
Q90 ① 日常生活自立度： 利用開始時	自立	101 100.0%	67 66.3%	5 5.0%	8 7.9%	6 5.9%	3 3.0%	3 3.0%	3 3.0%	1 1.0%	2 2.0%	1 1.0%	2 2.0%
	J1	121 100.0%	1 0.8%	67 55.4%	29 24.0%	11 9.1%	10 8.3%	1 0.8%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	J2	160 100.0%	0 0.0%	3 1.9%	100 62.5%	26 16.3%	17 10.6%	6 3.8%	3 1.9%	0 0.0%	3 1.9%	0 0.0%	2 1.3%
	A1	230 100.0%	0 0.0%	6 2.6%	6 2.6%	150 65.2%	32 13.9%	9 3.9%	16 7.0%	6 2.6%	1 0.4%	1 0.4%	3 1.3%
	A2	269 100.0%	3 1.1%	2 0.7%	9 3.3%	21 7.8%	180 66.9%	22 8.2%	12 4.5%	11 4.1%	7 2.6%	0 0.0%	2 0.7%
	B1	173 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	10 5.8%	20 11.6%	98 56.6%	26 15.0%	11 6.4%	5 2.9%	0 0.0%	1 0.6%
	B2	173 100.0%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	11 6.4%	15 8.7%	115 66.5%	8 4.6%	16 9.2%	2 1.2%	2 1.2%
	C1	108 100.0%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.6%	5 4.6%	5 4.6%	11 10.2%	70 64.8%	10 9.3%	0 0.0%	0 0.0%
	C2	155 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	2 1.3%	2 1.3%	9 5.8%	4 2.6%	135 87.1%	1 0.6%	0 0.0%
	不明	35 100.0%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.7%	3 8.6%	4 11.4%	2 5.7%	3 8.6%	4 11.4%	3 8.6%	11 31.4%	1 2.9%

⑧ ADL の状況

1) 利用開始時

利用開始時の ADL の状況は、以下の通りであった。

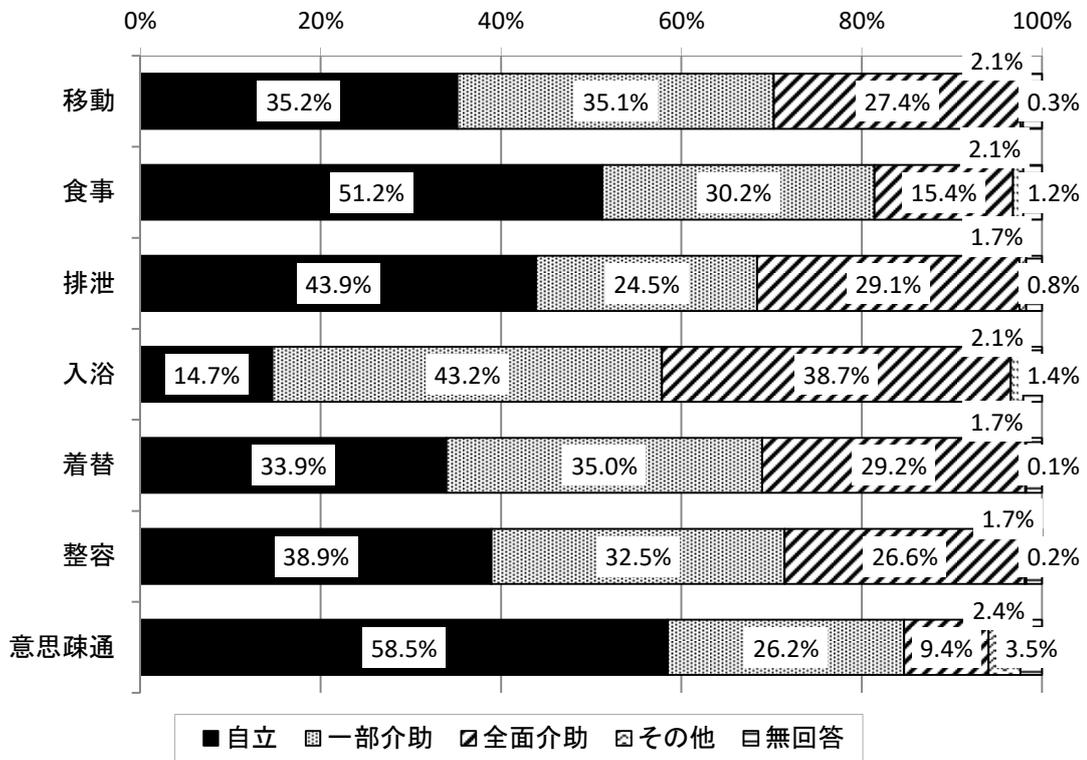
図表6-14 ADLの状況:利用開始時 (n=1,556) (問 91.①)



2) 直近

直近のADLの状況は、以下の通りであった。

図表6-15 ADLの状況:直近 (n=1,556) (問 91.②)



	合計	Q91②a 直近のADL状況:移動				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	547 35.2%	546 35.1%	426 27.4%	4 0.3%	33 2.1%
要介護1	338 100.0%	240 71.0%	88 26.0%	1 0.3%	0 0.0%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	175 50.0%	158 45.1%	6 1.7%	0 0.0%	11 3.1%
要介護3	269 100.0%	94 34.9%	139 51.7%	30 11.2%	0 0.0%	6 2.2%
要介護4	247 100.0%	23 9.3%	107 43.3%	113 45.7%	0 0.0%	4 1.6%
要介護5	330 100.0%	4 1.2%	49 14.8%	272 82.4%	3 0.9%	2 0.6%

	合計	Q91②b 直近のADL状況:食事				
		自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	797 51.2%	470 30.2%	239 15.4%	18 1.2%	32 2.1%
要介護1	338 100.0%	272 80.5%	51 15.1%	1 0.3%	3 0.9%	11 3.3%
要介護2	350 100.0%	252 72.0%	86 24.6%	1 0.3%	1 0.3%	10 2.9%
要介護3	269 100.0%	158 58.7%	97 36.1%	10 3.7%	2 0.7%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	80 32.4%	130 52.6%	30 12.1%	3 1.2%	4 1.6%
要介護5	330 100.0%	19 5.8%	103 31.2%	195 59.1%	9 2.7%	4 1.2%

	合計	Q91②c 直近のADL状況:排泄				
		自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	683 43.9%	381 24.5%	453 29.1%	12 0.8%	27 1.7%
要介護1	338 100.0%	279 82.5%	48 14.2%	1 0.3%	1 0.3%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	239 68.3%	90 25.7%	7 2.0%	5 1.4%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	118 43.9%	116 43.1%	32 11.9%	1 0.4%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	28 11.3%	88 35.6%	124 50.2%	3 1.2%	4 1.6%
要介護5	330 100.0%	6 1.8%	35 10.6%	285 86.4%	2 0.6%	2 0.6%

	合計	Q91②d 直近のADL状況:入浴				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	228 14.7%	672 43.2%	602 38.7%	22 1.4%	32 2.1%
要介護1	338 100.0%	126 37.3%	179 53.0%	13 3.8%	6 1.8%	14 4.1%
要介護2	350 100.0%	75 21.4%	233 66.6%	30 8.6%	3 0.9%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	18 6.7%	172 63.9%	73 27.1%	3 1.1%	3 1.1%
要介護4	247 100.0%	3 1.2%	55 22.3%	182 73.7%	4 1.6%	3 1.2%
要介護5	330 100.0%	1 0.3%	22 6.7%	299 90.6%	6 1.8%	2 0.6%

	合計	Q91②e 直近のADL状況:着替				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	528 33.9%	545 35.0%	454 29.2%	2 0.1%	27 1.7%
要介護1	338 100.0%	242 71.6%	85 25.1%	2 0.6%	0 0.0%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	182 52.0%	153 43.7%	6 1.7%	0 0.0%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	74 27.5%	154 57.2%	37 13.8%	1 0.4%	3 1.1%
要介護4	247 100.0%	18 7.3%	105 42.5%	121 49.0%	0 0.0%	3 1.2%
要介護5	330 100.0%	1 0.3%	42 12.7%	284 86.1%	1 0.3%	2 0.6%

	合計	Q91②f 直近のADL状況:整容				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	606 38.9%	506 32.5%	414 26.6%	3 0.2%	27 1.7%
要介護1	338 100.0%	245 72.5%	81 24.0%	2 0.6%	0 0.0%	10 3.0%
要介護2	350 100.0%	205 58.6%	128 36.6%	8 2.3%	0 0.0%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	109 40.5%	125 46.5%	31 11.5%	2 0.7%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	31 12.6%	114 46.2%	99 40.1%	0 0.0%	3 1.2%
要介護5	330 100.0%	3 0.9%	52 15.8%	272 82.4%	1 0.3%	2 0.6%

	合計	Q91②g 直近のADL状況:意思疎通				
		自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	910 58.5%	408 26.2%	146 9.4%	55 3.5%	37 2.4%
要介護1	338 100.0%	266 78.7%	61 18.0%	1 0.3%	1 0.3%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	254 72.6%	80 22.9%	2 0.6%	5 1.4%	9 2.6%
要介護3	269 100.0%	175 65.1%	70 26.0%	11 4.1%	8 3.0%	5 1.9%
要介護4	247 100.0%	122 49.4%	81 32.8%	27 10.9%	9 3.6%	8 3.2%
要介護5	330 100.0%	77 23.3%	113 34.2%	103 31.2%	32 9.7%	5 1.5%

3) 利用開始時別直近

図表6-16 ADLの状況:利用開始時別直近 (問 91.②)

		合計	Q91②a 直近のADL状況:移動				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	547 35.2%	546 35.1%	426 27.4%	4 0.3%	33 2.1%
Q91①a 利用開始時 ADL状況: 移動	自立	593 100.0%	456 76.9%	100 16.9%	25 4.2%	0 0.0%	12 2.0%
	一部介助	574 100.0%	74 12.9%	394 68.6%	95 16.6%	1 0.2%	10 1.7%
	全面介助	358 100.0%	11 3.1%	45 12.6%	301 84.1%	0 0.0%	1 0.3%
	その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%

		合計	Q91②b 直近のADL状況:食事				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	797 51.2%	470 30.2%	239 15.4%	18 1.2%	32 2.1%
Q91①b 利用開始時 ADL状況: 食事	自立	867 100.0%	727 83.9%	107 12.3%	13 1.5%	3 0.3%	17 2.0%
	一部介助	458 100.0%	56 12.2%	337 73.6%	59 12.9%	0 0.0%	6 1.3%
	全面介助	188 100.0%	4 2.1%	19 10.1%	162 86.2%	2 1.1%	1 0.5%
	その他	20 100.0%	2 10.0%	2 10.0%	2 10.0%	13 65.0%	1 5.0%

		合計	Q91②c 直近の ADL 状況:排泄				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	683 43.9%	381 24.5%	453 29.1%	12 0.8%	27 1.7%
Q91①c 利用開始時 ADL 状況: 排泄	自立	736 100.0%	603 81.9%	85 11.5%	32 4.3%	1 0.1%	15 2.0%
	一部介助	403 100.0%	59 14.6%	264 65.5%	72 17.9%	2 0.5%	6 1.5%
	全面介助	383 100.0%	14 3.7%	27 7.0%	341 89.0%	1 0.3%	0 0.0%
	その他	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%

		合計	Q91②d 直近の ADL 状況:入浴				
			自立	一部介助	全面介助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	228 14.7%	672 43.2%	602 38.7%	22 1.4%	32 2.1%
Q91①d 利用開始時 ADL 状況: 入浴	自立	296 100.0%	195 65.9%	77 26.0%	17 5.7%	0 0.0%	7 2.4%
	一部介助	667 100.0%	25 3.7%	530 79.5%	91 13.6%	6 0.9%	15 2.2%
	全面介助	542 100.0%	7 1.3%	49 9.0%	482 88.9%	2 0.4%	2 0.4%
	その他	28 100.0%	0 0.0%	8 28.6%	6 21.4%	14 50.0%	0 0.0%

		合計	Q91②e 直近の ADL 状況:着替				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	528 33.9%	545 35.0%	454 29.2%	2 0.1%	27 1.7%
Q91①e 利 用開始時 ADL 状況: 着替	自立	566 100.0%	460 81.3%	79 14.0%	15 2.7%	0 0.0%	12 2.1%
	一部介 助	583 100.0%	56 9.6%	427 73.2%	91 15.6%	0 0.0%	9 1.5%
	全面介 助	380 100.0%	7 1.8%	32 8.4%	341 89.7%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%

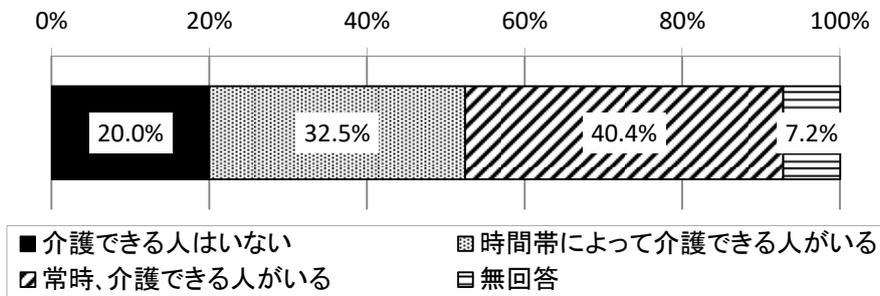
		合計	Q91②f 直近の ADL 状況:整容				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	606 38.9%	506 32.5%	414 26.6%	3 0.2%	27 1.7%
Q91①f 利 用開始時 ADL 状況: 整容	自立	650 100.0%	546 84.0%	79 12.2%	14 2.2%	0 0.0%	11 1.7%
	一部介 助	531 100.0%	47 8.9%	388 73.1%	85 16.0%	1 0.2%	10 1.9%
	全面介 助	347 100.0%	7 2.0%	32 9.2%	308 88.8%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%

		合計	Q91②g 直近の ADL 状況:意思疎通				
			自立	一部介 助	全面介 助	その他	無回答
全体		1,556 100.0%	910 58.5%	408 26.2%	146 9.4%	55 3.5%	37 2.4%
Q91①g 利 用開始時 ADL 状況: 意思疎通	自立	997 100.0%	870 87.3%	97 9.7%	9 0.9%	5 0.5%	16 1.6%
	一部介 助	368 100.0%	27 7.3%	292 79.3%	42 11.4%	1 0.3%	6 1.6%
	全面介 助	109 100.0%	1 0.9%	12 11.0%	92 84.4%	4 3.7%	0 0.0%
	その他	49 100.0%	0 0.0%	2 4.1%	2 4.1%	45 91.8%	0 0.0%

### ⑨ 介護力

介護力は、「常時、介護できる人がいる」が40.4%、「時間帯によって介護できる人がいる」が32.5%であった。

図表6-17 介護力 (n=1,556) (問 92)

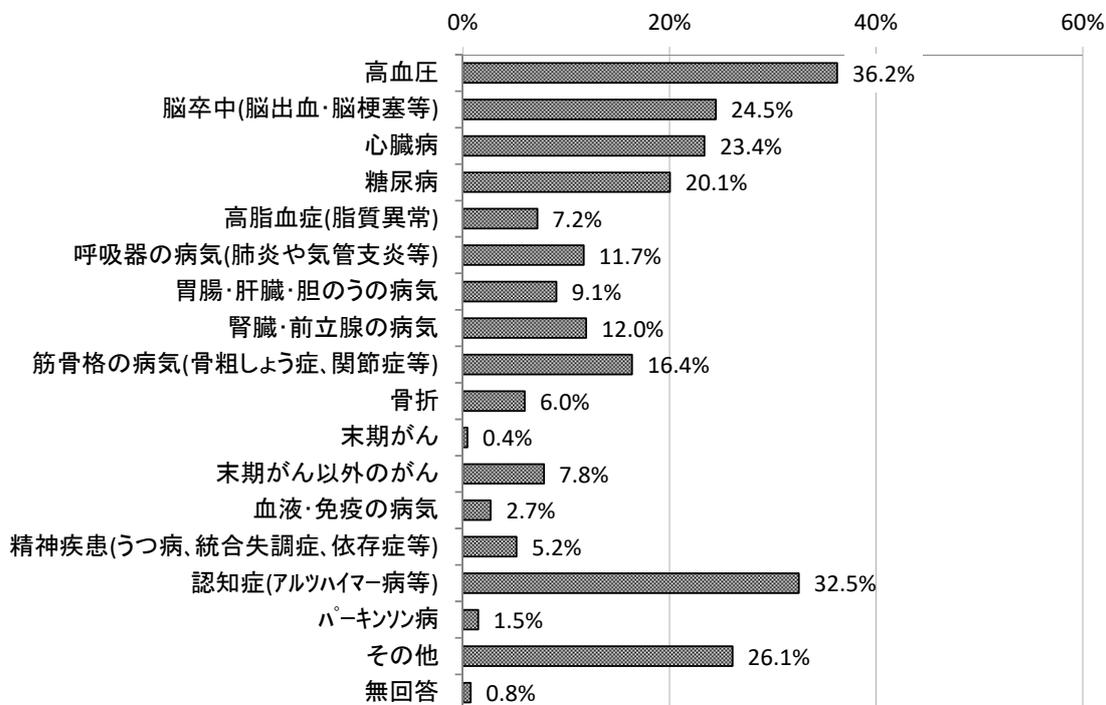


	合計	Q92 介護力			
		介護できる人はいない	時間帯によって介護できる人がいる	常時、介護できる人がいる	無回答
全体	1,556 100.0%	311 20.0%	505 32.5%	628 40.4%	112 7.2%
要介護1	338 100.0%	123 36.4%	120 35.5%	74 21.9%	21 6.2%
要介護2	350 100.0%	84 24.0%	126 36.0%	107 30.6%	33 9.4%
要介護3	269 100.0%	39 14.5%	109 40.5%	102 37.9%	19 7.1%
要介護4	247 100.0%	29 11.7%	66 26.7%	137 55.5%	15 6.1%
要介護5	330 100.0%	30 9.1%	76 23.0%	201 60.9%	23 7.0%

⑩ 現在在宅治療を続けている原因の病名

現在在宅治療を続けている原因の病名は、「高血圧」が36.2%、「認知症（アルツハイマー病等）」が32.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が24.5%であった。

図表6-18 現在在宅治療を続けている原因の病名（複数回答）(n=1,556) (問 93)



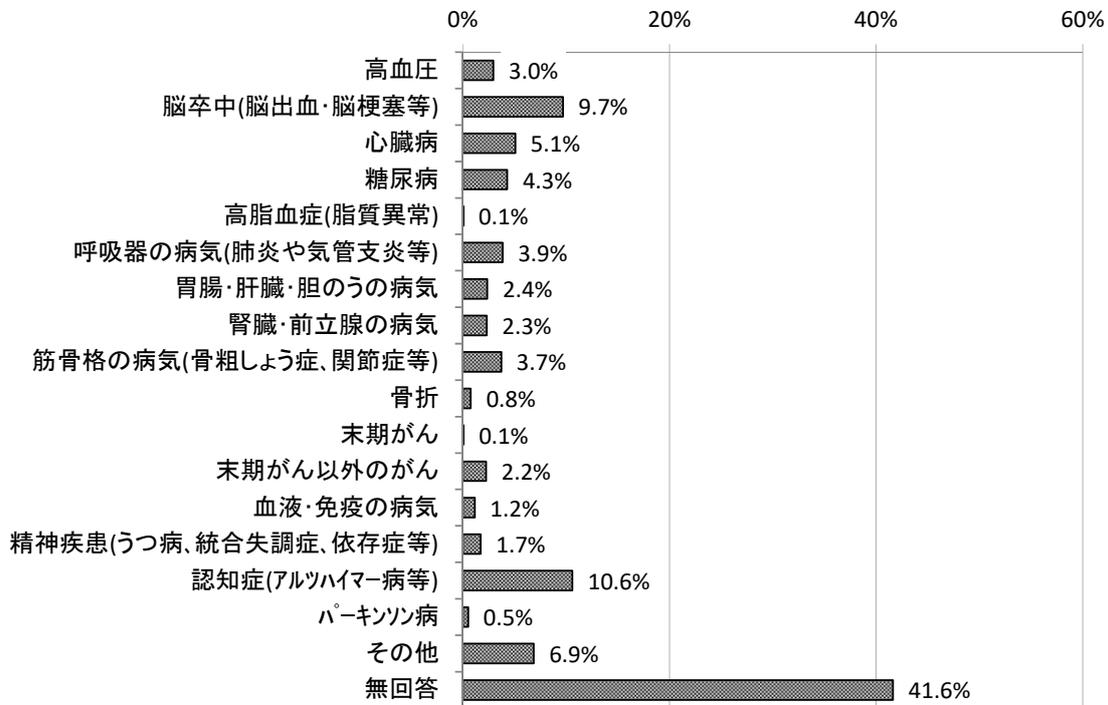
	合計	Q93① 現在在宅治療を続けている原因の病名							
		高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	1,556 100.0%	564 36.2%	381 24.5%	364 23.4%	312 20.1%	112 7.2%	182 11.7%	141 9.1%	186 12.0%
要介護1	338 100.0%	145 42.9%	43 12.7%	90 26.6%	82 24.3%	37 10.9%	40 11.8%	28 8.3%	41 12.1%
要介護2	350 100.0%	148 42.3%	68 19.4%	86 24.6%	81 23.1%	27 7.7%	42 12.0%	39 11.1%	41 11.7%
要介護3	269 100.0%	81 30.1%	55 20.4%	66 24.5%	54 20.1%	16 5.9%	28 10.4%	24 8.9%	43 16.0%
要介護4	247 100.0%	80 32.4%	70 28.3%	48 19.4%	49 19.8%	17 6.9%	25 10.1%	20 8.1%	32 13.0%
要介護5	330 100.0%	101 30.6%	142 43.0%	70 21.2%	40 12.1%	13 3.9%	46 13.9%	29 8.8%	28 8.5%

	合計	Q93① 現在在宅療養を続けている原因の病名							
		筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	骨折	末期がん	末期がん以外のがん	血液・免疫の病気	精神疾患(うつ病、統合失調症、依存症等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病
全体	1,556 100.0%	255 16.4%	93 6.0%	7 0.4%	122 7.8%	42 2.7%	81 5.2%	506 32.5%	23 1.5%
要介護1	338 100.0%	42 12.4%	17 5.0%	0 0.0%	32 9.5%	7 2.1%	22 6.5%	123 36.4%	3 0.9%
要介護2	350 100.0%	73 20.9%	15 4.3%	3 0.9%	37 10.6%	10 2.9%	18 5.1%	91 26.0%	1 0.3%
要介護3	269 100.0%	54 20.1%	21 7.8%	0 0.0%	17 6.3%	5 1.9%	11 4.1%	90 33.5%	7 2.6%
要介護4	247 100.0%	45 18.2%	18 7.3%	0 0.0%	14 5.7%	12 4.9%	16 6.5%	67 27.1%	6 2.4%
要介護5	330 100.0%	37 11.2%	19 5.8%	4 1.2%	19 5.8%	8 2.4%	11 3.3%	128 38.8%	6 1.8%

	合計	Q93① 現在在宅療養を続けている原因の病名	
		その他	無回答
全体	1,556 100.0%	406 26.1%	12 0.8%
要介護1	338 100.0%	83 24.6%	1 0.3%
要介護2	350 100.0%	85 24.3%	3 0.9%
要介護3	269 100.0%	54 20.1%	2 0.7%
要介護4	247 100.0%	84 34.0%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	94 28.5%	3 0.9%

主傷病は、「認知症(アルツハイマー病等)」が 10.6%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が 9.7%、「心臓病」が 5.1%であった。

図表6-19 主傷病 (n=1,556) (問 93)



	合計	Q93② 現在在宅療養を続けている原因の主傷病							
		高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	1,556 100.0%	46 3.0%	151 9.7%	79 5.1%	67 4.3%	1 0.1%	60 3.9%	37 2.4%	36 2.3%
要介護 1	338 100.0%	16 4.7%	13 3.8%	30 8.9%	21 6.2%	1 0.3%	15 4.4%	3 0.9%	8 2.4%
要介護 2	350 100.0%	11 3.1%	24 6.9%	17 4.9%	19 5.4%	0 0.0%	22 6.3%	12 3.4%	5 1.4%
要介護 3	269 100.0%	7 2.6%	18 6.7%	17 6.3%	15 5.6%	0 0.0%	6 2.2%	7 2.6%	7 2.6%
要介護 4	247 100.0%	2 0.8%	29 11.7%	10 4.0%	9 3.6%	0 0.0%	7 2.8%	7 2.8%	11 4.5%
要介護 5	330 100.0%	10 3.0%	65 19.7%	4 1.2%	3 0.9%	0 0.0%	9 2.7%	7 2.1%	5 1.5%

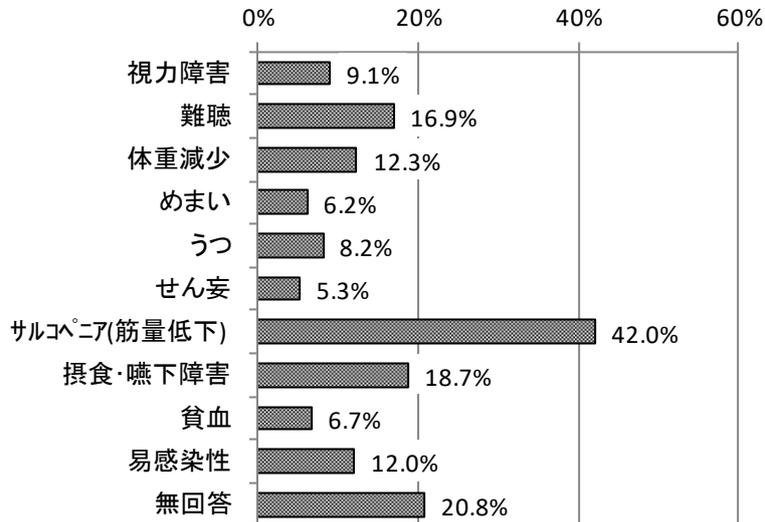
	合計	Q93② 現在在宅療養を続けている原因の主傷病							
		筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	骨折	末期がん	末期がん以外のがん	血液・免疫の病気	精神疾患(うつ病、統合失調症、依存症等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病
全体	1,556 100.0%	58 3.7%	12 0.8%	1 0.1%	35 2.2%	18 1.2%	27 1.7%	165 10.6%	8 0.5%
要介護1	338 100.0%	6 1.8%	1 0.3%	0 0.0%	10 3.0%	3 0.9%	12 3.6%	43 12.7%	1 0.3%
要介護2	350 100.0%	21 6.0%	2 0.6%	0 0.0%	11 3.1%	6 1.7%	6 1.7%	33 9.4%	1 0.3%
要介護3	269 100.0%	13 4.8%	4 1.5%	0 0.0%	7 2.6%	2 0.7%	4 1.5%	31 11.5%	4 1.5%
要介護4	247 100.0%	10 4.0%	3 1.2%	0 0.0%	2 0.8%	4 1.6%	2 0.8%	19 7.7%	1 0.4%
要介護5	330 100.0%	8 2.4%	2 0.6%	1 0.3%	5 1.5%	3 0.9%	1 0.3%	35 10.6%	1 0.3%

	合計	Q93② 現在在宅療養を続けている原因の主傷病	
		その他	無回答
全体	1,556 100.0%	107 6.9%	648 41.6%
要介護1	338 100.0%	19 5.6%	136 40.2%
要介護2	350 100.0%	22 6.3%	138 39.4%
要介護3	269 100.0%	16 5.9%	111 41.3%
要介護4	247 100.0%	20 8.1%	111 44.9%
要介護5	330 100.0%	29 8.8%	142 43.0%

### ⑪ 利用者が抱える健康障害

利用者が抱える健康障害は、「サルコペニア（筋量低下）」が42.0%、「摂食・嚥下障害」が18.7%、「難聴」が16.9%であった。

図表6-20 利用者が抱える健康障害（複数回答）(n=1,556) (問 94)



	合計	Q94 利用者が抱える健康障害							
		視力障害	難聴	体重減少	めまい	うつ	せん妄	サルコペニア(筋量低下)	摂食・嚥下障害
全体	1,556 100.0%	141 9.1%	263 16.9%	192 12.3%	96 6.2%	127 8.2%	82 5.3%	654 42.0%	291 18.7%
要介護1	338 100.0%	33 9.8%	54 16.0%	37 10.9%	27 8.0%	38 11.2%	10 3.0%	115 34.0%	12 3.6%
要介護2	350 100.0%	39 11.1%	73 20.9%	35 10.0%	29 8.3%	35 10.0%	8 2.3%	138 39.4%	23 6.6%
要介護3	269 100.0%	23 8.6%	53 19.7%	32 11.9%	18 6.7%	20 7.4%	14 5.2%	117 43.5%	29 10.8%
要介護4	247 100.0%	19 7.7%	39 15.8%	33 13.4%	10 4.0%	21 8.5%	16 6.5%	117 47.4%	45 18.2%
要介護5	330 100.0%	27 8.2%	41 12.4%	51 15.5%	10 3.0%	11 3.3%	33 10.0%	158 47.9%	178 53.9%

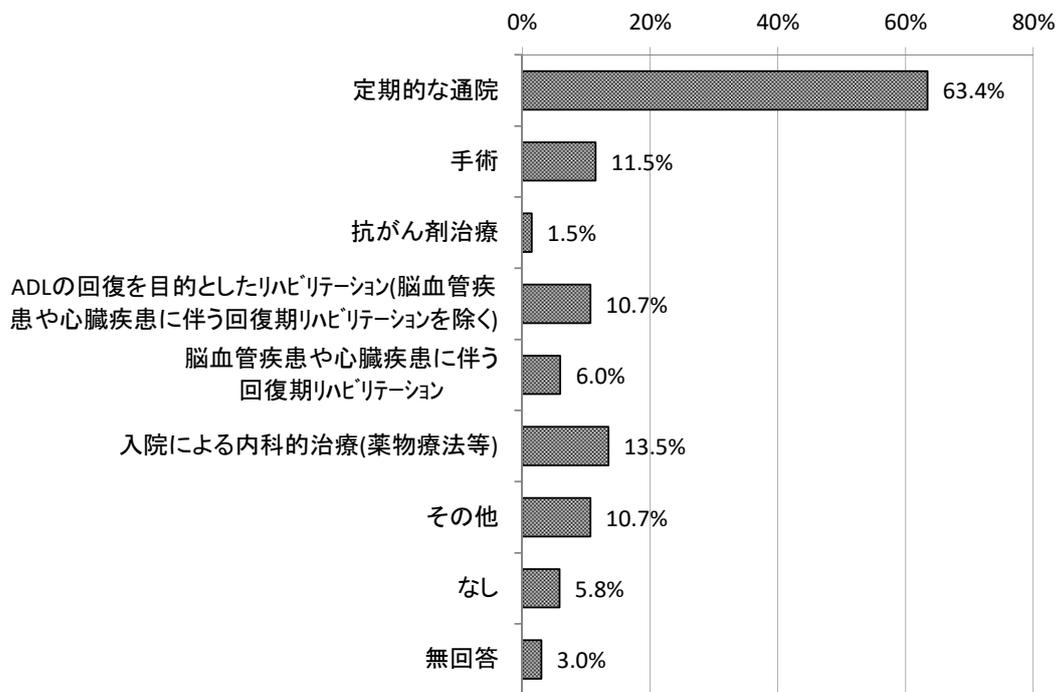
	合計	Q94 利用者が抱える健康障害		
		貧血	易感染性	無回答
全体	1,556 100.0%	105 6.7%	187 12.0%	323 20.8%
要介護 1	338 100.0%	17 5.0%	25 7.4%	98 29.0%
要介護 2	350 100.0%	18 5.1%	33 9.4%	85 24.3%
要介護 3	269 100.0%	29 10.8%	28 10.4%	56 20.8%
要介護 4	247 100.0%	24 9.7%	36 14.6%	43 17.4%
要介護 5	330 100.0%	15 4.5%	64 19.4%	31 9.4%

## 2. 訪問看護の提供の状況等

### ① 訪問看護サービス開始時に受けていた診療

訪問看護サービス開始時に受けていた診療は、「定期的な通院」が63.4%、「入院による内科的治療（薬物療法等）」が13.5%、「手術」が11.5%であった。

図表6-21 訪問看護サービス開始時に受けていた診療（複数回答）(n=1,556) (問 95)

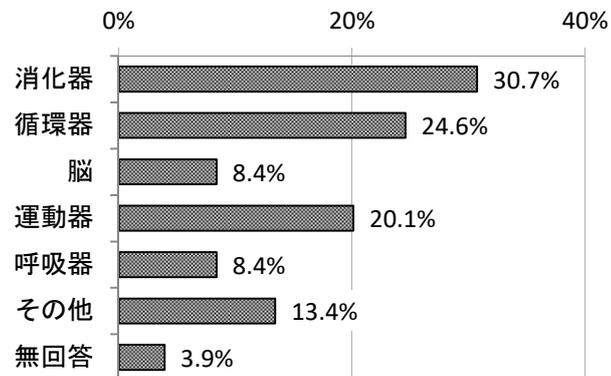


	合計	Q95 訪問看護サービス開始時に受けていた診療								
		定期的な通院	手術	抗がん剤治療	ADLの回復を目的としたリハビリテーション(除右欄)	脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション	入院による内科的治療(薬物療法等)	その他	なし	無回答
全体	1,556 100.0%	987 63.4%	179 11.5%	23 1.5%	166 10.7%	93 6.0%	210 13.5%	166 10.7%	91 5.8%	47 3.0%
要介護1	338 100.0%	265 78.4%	42 12.4%	5 1.5%	28 8.3%	12 3.6%	26 7.7%	25 7.4%	13 3.8%	4 1.2%
要介護2	350 100.0%	257 73.4%	50 14.3%	4 1.1%	28 8.0%	19 5.4%	30 8.6%	24 6.9%	13 3.7%	15 4.3%
要介護3	269 100.0%	170 63.2%	21 7.8%	5 1.9%	39 14.5%	17 6.3%	30 11.2%	25 9.3%	22 8.2%	10 3.7%
要介護4	247 100.0%	151 61.1%	30 12.1%	4 1.6%	27 10.9%	11 4.5%	51 20.6%	27 10.9%	10 4.0%	8 3.2%
要介護5	330 100.0%	134 40.6%	33 10.0%	5 1.5%	40 12.1%	33 10.0%	70 21.2%	64 19.4%	32 9.7%	9 2.7%

1) (「手術」を受けていた場合) 部位

「手術」を受けていた場合、その部位は、「消化器」が 30.7%、「循環器」が 24.6%、「運動器」が 20.1%であった。

図表6-22 「手術」を受けていた場合:部位 (複数回答) (n=179) (問 95)

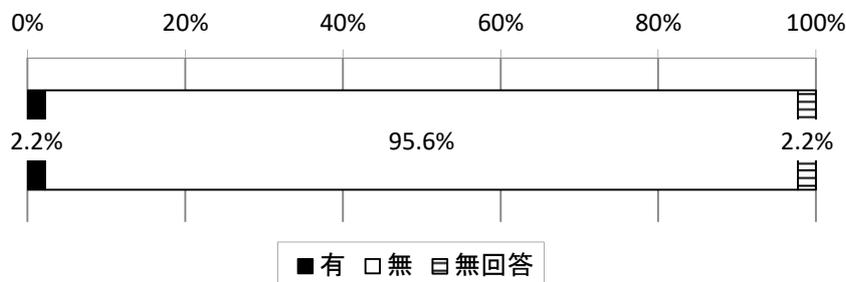


	合計	Q95sq 訪問看護サービス開始時に受けていた手術内容						
		消化器	循環器	脳	運動器	呼吸器	その他	無回答
全体	179 100.0%	55 30.7%	44 24.6%	15 8.4%	36 20.1%	15 8.4%	24 13.4%	7 3.9%
要介護 1	42 100.0%	15 35.7%	8 19.0%	1 2.4%	6 14.3%	2 4.8%	8 19.0%	2 4.8%
要介護 2	50 100.0%	18 36.0%	15 30.0%	2 4.0%	11 22.0%	7 14.0%	4 8.0%	3 6.0%
要介護 3	21 100.0%	3 14.3%	6 28.6%	1 4.8%	4 19.0%	2 9.5%	5 23.8%	1 4.8%
要介護 4	30 100.0%	11 36.7%	6 20.0%	4 13.3%	9 30.0%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%
要介護 5	33 100.0%	8 24.2%	7 21.2%	7 21.2%	6 18.2%	3 9.1%	5 15.2%	0 0.0%

## ② 余命の見込みに関する説明の有無

余命の見込みに関する説明は、「有」が2.2%であった。「有」の場合、余命の見込みは平均5.6か月であった。

図表6-23 余命の見込みに関する説明の有無 (n=1,556) (問 96)



	合計	Q96 余命の見込みに関する説明の有無		
		有	無	無回答
全体	1,556 100.0%	34 2.2%	1,487 95.6%	35 2.2%
要介護1	338 100.0%	3 0.9%	326 96.4%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	6 1.7%	334 95.4%	10 2.9%
要介護3	269 100.0%	2 0.7%	263 97.8%	4 1.5%
要介護4	247 100.0%	2 0.8%	241 97.6%	4 1.6%
要介護5	330 100.0%	21 6.4%	301 91.2%	8 2.4%

図表6-24 余命の見込みに関する説明が「有」の場合：余命の見込み (問 96)

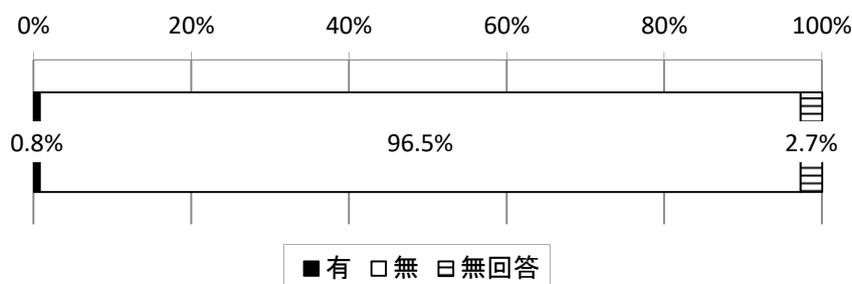
単位：か月

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	13	5.6	4.2	6.0
要介護1	0			
要介護2	2	6.0		6.0
要介護3	1	12.0		12.0
要介護4	1	1.0		1.0
要介護5	9	5.3	4.4	6.0

③ ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無

ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載は、「有」が0.8%であった。「有」の場合、余命の見込みの記載は1件のみで、具体的には1か月であった。

図表6-25 訪問看護指示書への記載の有無 (n=1,556) (問 97)



	合計	Q97 ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無		
		有	無	無回答
全体	1,556 100.0%	12 0.8%	1,502 96.5%	42 2.7%
要介護1	338 100.0%	1 0.3%	328 97.0%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	2 0.6%	336 96.0%	12 3.4%
要介護3	269 100.0%	0 0.0%	264 98.1%	5 1.9%
要介護4	247 100.0%	1 0.4%	240 97.2%	6 2.4%
要介護5	330 100.0%	8 2.4%	313 94.8%	9 2.7%

図表6-26 訪問看護指示書への記載が「有」の場合:余命の見込みの記載 (問 97)

単位: か月

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1	1.0		1.0
要介護1	0			
要介護2	0			
要介護3	0			
要介護4	0			
要介護5	1	1.0		1.0

④ 介護保険での看護職員の訪問回数（平成 30 年 9 月）

平成 30 年 9 月の介護保険での看護職員の訪問回数は、「30 分以上 1 時間未満」が平均 2.7 回、「30 分未満」が平均 2.2 回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均 1.6 回、「作業療法士」が平均 0.4 回であった。

看護職員の訪問回数とリハビリ職員の訪問回数の合計は、平均 7.6 回であった。

図表6-27 介護保険での看護職員の訪問回数(平成 30 年 9 月) (問 98)

単位：回

20 分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	0.4	3.9	0.0
要介護 1	335	0.0	0.5	0.0
要介護 2	346	0.1	1.3	0.0
要介護 3	268	0.2	1.9	0.0
要介護 4	245	0.6	5.5	0.0
要介護 5	327	1.0	6.7	0.0

30 分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	2.2	4.4	0.0
要介護 1	335	2.2	3.2	0.0
要介護 2	346	2.0	3.3	0.0
要介護 3	268	1.9	4.4	0.0
要介護 4	245	2.3	4.7	0.0
要介護 5	327	2.6	6.1	0.0

30 分以上 1 時間未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	2.7	3.3	2.0
要介護 1	335	2.4	3.0	0.0
要介護 2	346	2.3	2.9	0.0
要介護 3	268	2.6	3.2	1.0
要介護 4	245	2.8	3.2	2.0
要介護 5	327	3.7	4.0	4.0

1 時間以上 1 時間 30 分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	0.3	1.5	0.0
要介護 1	335	0.1	0.9	0.0
要介護 2	346	0.2	1.0	0.0
要介護 3	268	0.2	1.2	0.0
要介護 4	245	0.6	2.0	0.0
要介護 5	327	0.4	2.0	0.0

合計

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	5.5	6.5	4.0
要介護 1	335	4.7	3.4	4.0
要介護 2	346	4.5	3.7	4.0
要介護 3	268	4.8	4.8	4.0
要介護 4	245	6.2	7.6	4.0
要介護 5	327	7.6	10.3	4.0

図表6-28 介護保険での看護職員の訪問回数の合計の分布（平成 30 年 9 月）（問 98）

	合計	Q98 介護保険での看護職員訪問回数:合計					
		0 回	1 回～3 回	4 回	5 回～9 回	10 回以上	無回答
全体	1,556 100.0%	64 4.1%	335 21.5%	621 39.9%	386 24.8%	136 8.7%	14 0.9%
要介護 1	338 100.0%	15 4.4%	77 22.8%	152 45.0%	67 19.8%	24 7.1%	3 0.9%
要介護 2	350 100.0%	21 6.0%	82 23.4%	154 44.0%	67 19.1%	22 6.3%	4 1.1%
要介護 3	269 100.0%	13 4.8%	69 25.7%	100 37.2%	70 26.0%	16 5.9%	1 0.4%
要介護 4	247 100.0%	7 2.8%	46 18.6%	104 42.1%	62 25.1%	26 10.5%	2 0.8%
要介護 5	330 100.0%	8 2.4%	57 17.3%	101 30.6%	115 34.8%	46 13.9%	3 0.9%

図表6-29 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(平成30年9月)(問99)

単位：回

(理学療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	1.6	4.1	0.0
要介護1	335	1.2	3.6	0.0
要介護2	346	1.7	4.3	0.0
要介護3	268	1.8	4.5	0.0
要介護4	245	1.9	4.4	0.0
要介護5	327	1.4	3.9	0.0

(作業療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	0.4	2.0	0.0
要介護1	335	0.3	1.8	0.0
要介護2	346	0.4	1.8	0.0
要介護3	268	0.6	2.4	0.0
要介護4	245	0.6	2.5	0.0
要介護5	327	0.3	1.5	0.0

(言語聴覚士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	0.1	0.7	0.0
要介護1	335	0.0	0.5	0.0
要介護2	346	0.0	0.7	0.0
要介護3	268	0.0		0.0
要介護4	245	0.0	0.3	0.0
要介護5	327	0.1	1.2	0.0

(合計)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	2.0	4.8	0.0
要介護1	335	1.5	4.3	0.0
要介護2	346	2.1	4.9	0.0
要介護3	268	2.4	5.1	0.0
要介護4	245	2.6	5.2	0.0
要介護5	327	1.9	4.5	0.0

図表6-30 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数の合計の分布（平成30年9月）（問99）

	合計	Q99 介護保険でのリハビリ職員訪問回数：合計					
		0回	1回～3回	4回	5回～9回	10回以上	無回答
全体	1,556 100.0%	1,208 77.6%	33 2.1%	58 3.7%	125 8.0%	118 7.6%	14 0.9%
要介護1	338 100.0%	283 83.7%	7 2.1%	8 2.4%	15 4.4%	22 6.5%	3 0.9%
要介護2	350 100.0%	276 78.9%	3 0.9%	8 2.3%	31 8.9%	28 8.0%	4 1.1%
要介護3	269 100.0%	197 73.2%	8 3.0%	11 4.1%	32 11.9%	20 7.4%	1 0.4%
要介護4	247 100.0%	179 72.5%	7 2.8%	9 3.6%	24 9.7%	26 10.5%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	255 77.3%	8 2.4%	20 6.1%	23 7.0%	21 6.4%	3 0.9%

図表6-31 介護保険での看護職員の訪問回数＋リハビリ職員の訪問回数（平成30年9月）

単位：回

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,542	7.6	7.7	4.0
要介護1	335	6.2	5.4	4.0
要介護2	346	6.6	5.3	4.0
要介護3	268	7.3	6.6	4.0
要介護4	245	8.7	8.9	6.0
要介護5	327	9.5	10.9	7.0

図表6-32 介護保険での看護職員の訪問回数+リハビリ職員の合計の訪問回数（平成30年9月）

	合計	Q98Q99 介護保険での看護職員+リハビリ職員訪問回数:合計					
		0回	1回~3回	4回	5回~9回	10回以上	無回答
全体	1,556 100.0%	14 0.9%	242 15.6%	541 34.8%	419 26.9%	326 21.0%	14 0.9%
要介護1	338 100.0%	4 1.2%	64 18.9%	142 42.0%	73 21.6%	52 15.4%	3 0.9%
要介護2	350 100.0%	2 0.6%	56 16.0%	140 40.0%	87 24.9%	61 17.4%	4 1.1%
要介護3	269 100.0%	3 1.1%	45 16.7%	88 32.7%	73 27.1%	59 21.9%	1 0.4%
要介護4	247 100.0%	0 0.0%	34 13.8%	80 32.4%	65 26.3%	66 26.7%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	5 1.5%	41 12.4%	82 24.8%	114 34.5%	85 25.8%	3 0.9%

合計が0の場合を除くと、看護職員の訪問回数は、「30分以上1時間未満」が平均2.9回、「30分未満」が平均2.3回であった。

リハビリ職員の訪問回数は、「理学療法士」が平均7.3回、「作業療法士」が平均1.9回であった。

図表6-33 介護保険での看護職員の訪問回数(平成30年9月)※合計が0の場合を除く(問98)

単位：回

20分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,478	0.4	4.0	0.0
要介護1	320	0.0	0.5	0.0
要介護2	325	0.1	1.4	0.0
要介護3	255	0.2	1.9	0.0
要介護4	238	0.6	5.6	0.0
要介護5	319	1.0	6.8	0.0

30分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,478	2.3	4.5	0.0
要介護1	320	2.3	3.3	1.0
要介護2	325	2.1	3.4	0.0
要介護3	255	2.0	4.5	0.0
要介護4	238	2.4	4.7	0.0
要介護5	319	2.6	6.2	0.0

30分以上1時間未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,478	2.9	3.3	2.0
要介護1	320	2.5	3.0	1.0
要介護2	325	2.4	3.0	1.0
要介護3	255	2.7	3.2	2.0
要介護4	238	2.8	3.2	2.5
要介護5	319	3.8	4.0	4.0

1時間以上1時間30分未満

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,478	0.3	1.5	0.0
要介護1	320	0.1	0.9	0.0
要介護2	325	0.2	1.1	0.0
要介護3	255	0.3	1.3	0.0
要介護4	238	0.6	2.0	0.0
要介護5	319	0.4	2.1	0.0

合計

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	1,478	5.8	6.5	4.0
要介護1	320	4.9	3.3	4.0
要介護2	325	4.8	3.6	4.0
要介護3	255	5.1	4.7	4.0
要介護4	238	6.4	7.6	4.0
要介護5	319	7.8	10.3	5.0

図表6-34 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(平成30年9月)※合計が0の場合を除く (問99)

単位：回

(理学療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	334	7.3	6.2	8.0
要介護1	52	7.6	6.0	8.0
要介護2	70	8.3	6.1	8.0
要介護3	71	7.0	6.5	7.0
要介護4	66	7.1	6.1	6.5
要介護5	72	6.5	6.1	4.0

(作業療法士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	334	1.9	3.9	0.0
要介護1	52	2.0	4.2	0.0
要介護2	70	1.7	3.8	0.0
要介護3	71	2.2	4.3	0.0
要介護4	66	2.3	4.4	0.0
要介護5	72	1.4	3.0	0.0

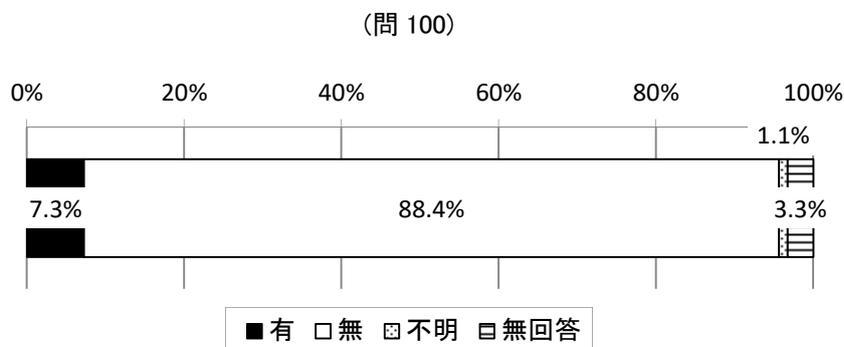
(言語聴覚士)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	334	0.3	1.5	0.0
要介護1	52	0.3	1.4	0.0
要介護2	70	0.2	1.5	0.0
要介護3	71	0.0		0.0
要介護4	66	0.1	0.6	0.0
要介護5	72	0.7	2.4	0.0

(合計)	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	334	9.4	5.9	8.0
要介護1	52	9.8	6.2	8.0
要介護2	70	10.3	5.8	8.0
要介護3	71	9.1	6.1	8.0
要介護4	66	9.5	5.8	8.0
要介護5	72	8.5	5.9	8.0

⑤ 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無（平成 30 年 9 月）

平成 30 年 9 月における、他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問は、「有」が 7.3%であった。「有」の場合、訪問回数は平均 6.5 回であった。

図表6-35 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無(平成 30 年 9 月) (n=1,556)



	合計	Q100 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無			
		有	無	不明	無回答
全体	1,556 100.0%	113 7.3%	1,375 88.4%	17 1.1%	51 3.3%
要介護 1	338 100.0%	9 2.7%	314 92.9%	3 0.9%	12 3.6%
要介護 2	350 100.0%	21 6.0%	314 89.7%	3 0.9%	12 3.4%
要介護 3	269 100.0%	19 7.1%	238 88.5%	4 1.5%	8 3.0%
要介護 4	247 100.0%	20 8.1%	215 87.0%	2 0.8%	10 4.0%
要介護 5	330 100.0%	43 13.0%	275 83.3%	5 1.5%	7 2.1%

図表6-36 訪問が「有」の場合:訪問回数 (問 100)

単位:回

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	104	6.5	4.0	4.0
要介護 1	5	8.0	4.9	8.0
要介護 2	21	6.7	4.4	4.0
要介護 3	17	7.1	3.3	8.0
要介護 4	20	5.5	2.5	5.0
要介護 5	40	6.3	4.5	4.0

⑥ 医療保険での訪問看護の回数（平成 30 年 9 月）

平成 30 年 9 月における、医療保険での訪問看護は、「あり」が 2.6%であった。「あり」の場合、訪問看護の回数は平均 17.0 回であった。

図表6-37 医療保険での訪問看護の有無（平成 30 年 9 月）（問 101）

	件数	構成比
訪問看護あり	40	2.6%
訪問看護なし	1,329	85.4%
無回答	187	12.0%
全体	1,556	100.0%

	合計	Q101 医療保険での訪問看護の回数		
		訪問看護あり	訪問看護なし	無回答
全体	1,556 100.0%	40 2.6%	1,329 85.4%	187 12.0%
要介護 1	338 100.0%	4 1.2%	289 85.5%	45 13.3%
要介護 2	350 100.0%	1 0.3%	306 87.4%	43 12.3%
要介護 3	269 100.0%	9 3.3%	226 84.0%	34 12.6%
要介護 4	247 100.0%	7 2.8%	217 87.9%	23 9.3%
要介護 5	330 100.0%	19 5.8%	274 83.0%	37 11.2%

図表6-38 医療保険での訪問看護の回数(平成 30 年 9 月)（問 101）

単位：回

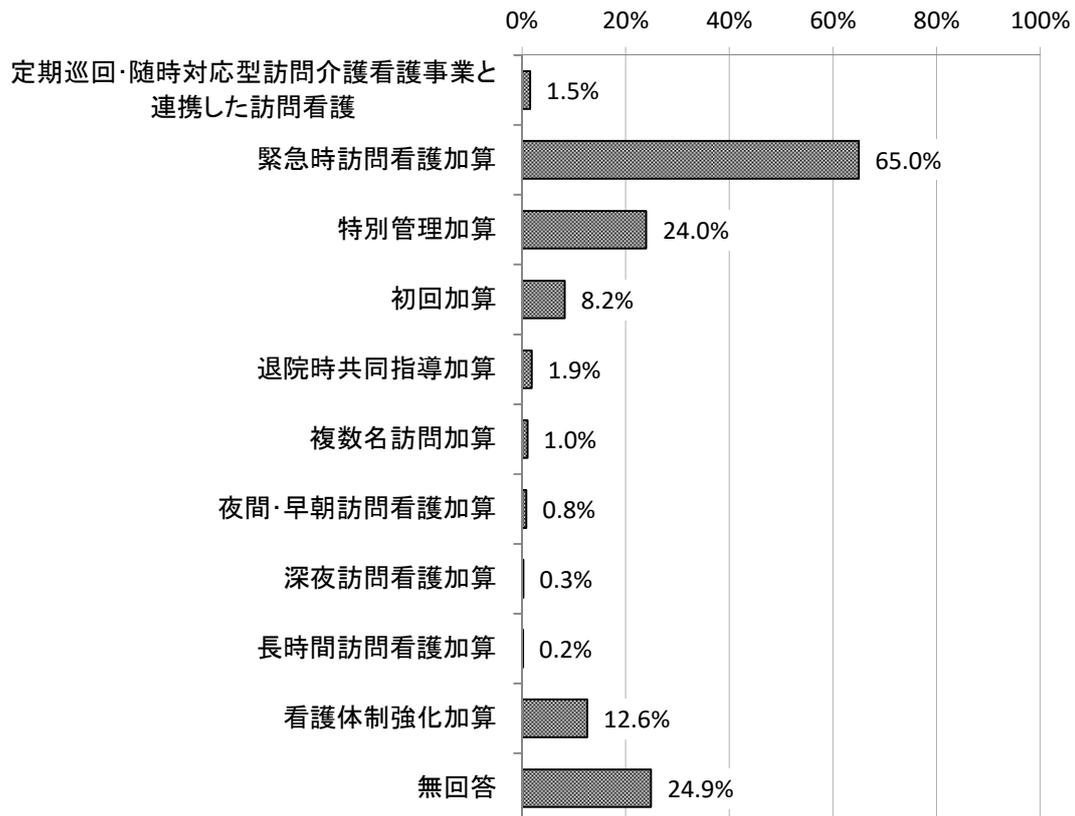
	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	40	17.0	21.9	12.0
要介護 1	4	5.3	2.5	4.0
要介護 2	1	4.0		4.0
要介護 3	9	29.6	41.9	10.0
要介護 4	7	8.7	4.8	12.0
要介護 5	19	17.2	10.3	15.0

⑦ 訪問看護の加算等の状況

訪問看護の加算等の状況は、「緊急時訪問看護加算」が65.0%、「特別管理加算」が24.0%であった。

「看護体制強化加算」と回答した場合、加算の種別は「Ⅱ」が56.6%、「Ⅰ」が37.2%であった。

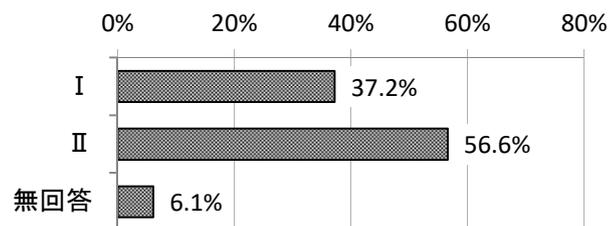
図表6-39 訪問看護の加算等の状況（複数回答）(n=1,556) (問 102)



	合計	Q102 訪問看護の加算等の状況							
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業と連携した訪問看護	緊急時訪問看護加算	特別管理加算	初回加算	退院時共同指導加算	複数名訪問加算	夜間・早朝訪問看護加算	深夜訪問看護加算
全体	1,556 100.0%	24 1.5%	1,011 65.0%	373 24.0%	128 8.2%	29 1.9%	16 1.0%	13 0.8%	4 0.3%
要介護1	338 100.0%	5 1.5%	187 55.3%	36 10.7%	26 7.7%	4 1.2%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
要介護2	350 100.0%	1 0.3%	199 56.9%	58 16.6%	37 10.6%	3 0.9%	1 0.3%	3 0.9%	1 0.3%
要介護3	269 100.0%	6 2.2%	171 63.6%	53 19.7%	22 8.2%	6 2.2%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%
要介護4	247 100.0%	2 0.8%	185 74.9%	74 30.0%	22 8.9%	6 2.4%	1 0.4%	3 1.2%	0 0.0%
要介護5	330 100.0%	9 2.7%	257 77.9%	150 45.5%	19 5.8%	9 2.7%	10 3.0%	6 1.8%	3 0.9%

	合計	Q102 訪問看護の加算等の状況		
		長時間訪問看護加算	看護体制強化加算	無回答
全体	1,556 100.0%	3 0.2%	196 12.6%	387 24.9%
要介護1	338 100.0%	0 0.0%	28 8.3%	114 33.7%
要介護2	350 100.0%	0 0.0%	32 9.1%	108 30.9%
要介護3	269 100.0%	1 0.4%	24 8.9%	75 27.9%
要介護4	247 100.0%	1 0.4%	49 19.8%	46 18.6%
要介護5	330 100.0%	1 0.3%	60 18.2%	39 11.8%

図表6-40 看護体制強化加算:加算の種別(複数回答)(n=196)(問102)

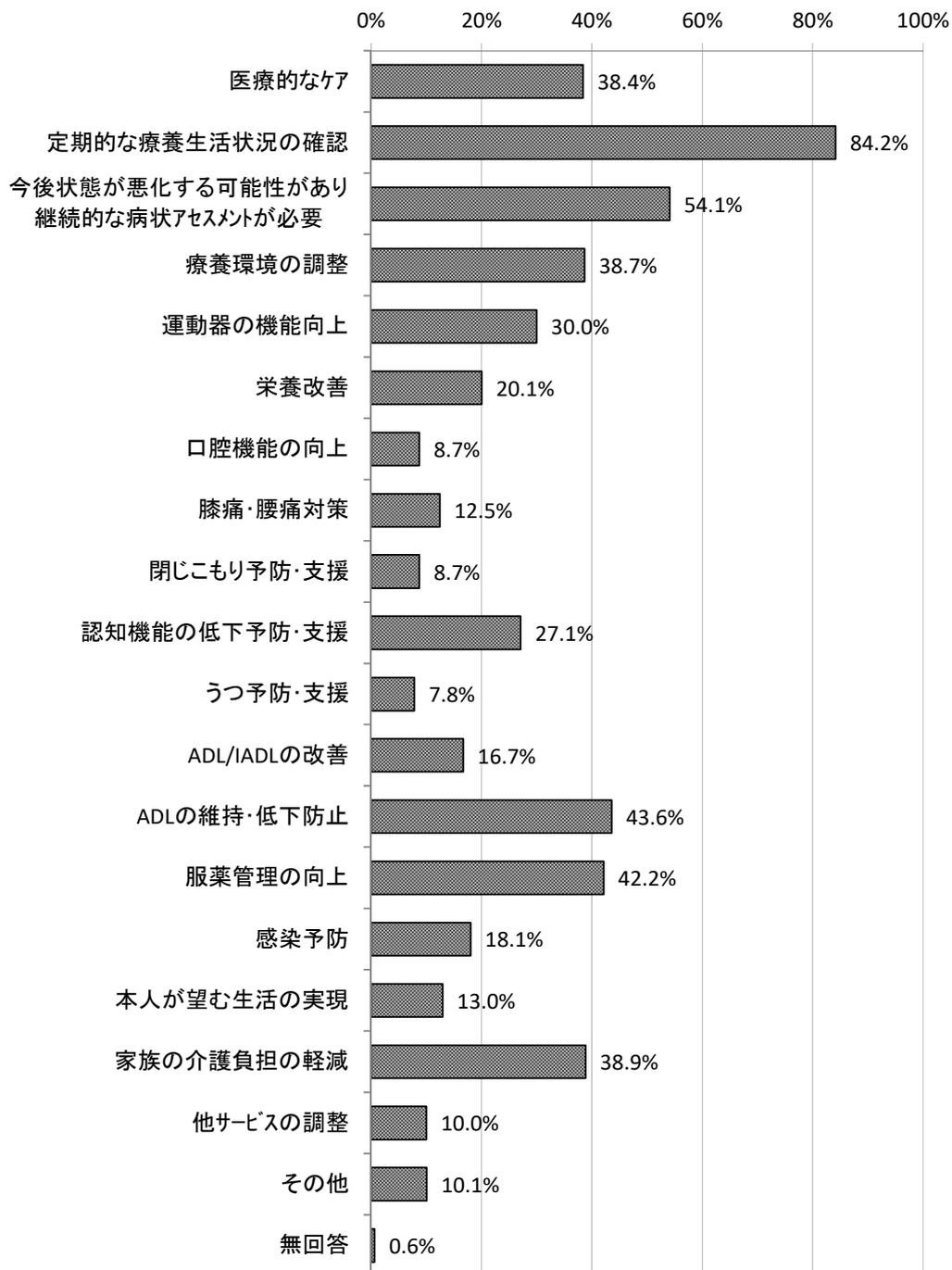


	合計	Q102sq 看護体制強化加算		
		I	II	無回答
全体	196 100.0%	73 37.2%	111 56.6%	12 6.1%
要介護1	28 100.0%	12 42.9%	15 53.6%	1 3.6%
要介護2	32 100.0%	10 31.3%	19 59.4%	3 9.4%
要介護3	24 100.0%	13 54.2%	10 41.7%	1 4.2%
要介護4	49 100.0%	20 40.8%	25 51.0%	4 8.2%
要介護5	60 100.0%	17 28.3%	40 66.7%	3 5.0%

### ⑧ 訪問看護の目的

訪問看護の目的は、「定期的な療養生活状況の確認」が 84.2%、「今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要」が 54.1%、「ADL の維持・低下防止」が 43.6%であった。

図表6-41 訪問看護の目的（複数回答）(n=1,556) (問 103)



	合計	Q103① 訪問看護の目的							
		医療的なケア	定期的な療養生活状況の確認	今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要	療養環境の調整	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	膝痛・腰痛対策
全体	1,556 100.0%	598 38.4%	1,310 84.2%	842 54.1%	602 38.7%	467 30.0%	312 20.1%	136 8.7%	194 12.5%
要介護1	338 100.0%	81 24.0%	279 82.5%	160 47.3%	128 37.9%	96 28.4%	60 17.8%	11 3.3%	48 14.2%
要介護2	350 100.0%	99 28.3%	289 82.6%	177 50.6%	131 37.4%	107 30.6%	62 17.7%	7 2.0%	50 14.3%
要介護3	269 100.0%	83 30.9%	222 82.5%	137 50.9%	97 36.1%	96 35.7%	46 17.1%	20 7.4%	41 15.2%
要介護4	247 100.0%	126 51.0%	211 85.4%	148 59.9%	102 41.3%	76 30.8%	61 24.7%	24 9.7%	35 14.2%
要介護5	330 100.0%	200 60.6%	287 87.0%	206 62.4%	135 40.9%	86 26.1%	82 24.8%	73 22.1%	16 4.8%

	合計	Q103① 訪問看護の目的							
		閉じこもり予防・支援	認知機能の低下予防・支援	うつ予防・支援	ADL/IADLの改善	ADLの維持・低下防止	服薬管理の向上	感染予防	本人が望む生活の実現
全体	1,556 100.0%	136 8.7%	422 27.1%	122 7.8%	260 16.7%	678 43.6%	656 42.2%	281 18.1%	202 13.0%
要介護1	338 100.0%	52 15.4%	117 34.6%	40 11.8%	54 16.0%	142 42.0%	219 64.8%	32 9.5%	53 15.7%
要介護2	350 100.0%	34 9.7%	92 26.3%	32 9.1%	58 16.6%	154 44.0%	164 46.9%	43 12.3%	50 14.3%
要介護3	269 100.0%	29 10.8%	89 33.1%	23 8.6%	55 20.4%	132 49.1%	108 40.1%	37 13.8%	37 13.8%
要介護4	247 100.0%	14 5.7%	60 24.3%	19 7.7%	57 23.1%	118 47.8%	85 34.4%	60 24.3%	35 14.2%
要介護5	330 100.0%	5 1.5%	59 17.9%	6 1.8%	32 9.7%	123 37.3%	71 21.5%	108 32.7%	24 7.3%

	合計	Q103① 訪問看護の目的			
		家族の 介護負 担の軽 減	他サービ スの調 整	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	605 38.9%	156 10.0%	157 10.1%	10 0.6%
要介護 1	338 100.0%	88 26.0%	30 8.9%	33 9.8%	3 0.9%
要介護 2	350 100.0%	104 29.7%	30 8.6%	42 12.0%	3 0.9%
要介護 3	269 100.0%	90 33.5%	28 10.4%	26 9.7%	1 0.4%
要介護 4	247 100.0%	120 48.6%	27 10.9%	30 12.1%	1 0.4%
要介護 5	330 100.0%	196 59.4%	40 12.1%	24 7.3%	2 0.6%

訪問看護の主な目的は、「定期的な療養生活状況の確認」が 26.5%、「医療的なケア」が 16.1%、「今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要」が 8.8%であった。

図表6-42 訪問看護の主な目的 (n=1,556) (問 103)



	合計	Q103② 訪問看護の主な目的							
		医療的なケア	定期的な療養生活状況の確認	今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要	療養環境の調整	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	膝痛・腰痛対策
全体	1,556 100.0%	250 16.1%	413 26.5%	137 8.8%	5 0.3%	45 2.9%	7 0.4%	5 0.3%	7 0.4%
要介護1	338 100.0%	25 7.4%	81 24.0%	31 9.2%	0 0.0%	11 3.3%	0 0.0%	1 0.3%	5 1.5%
要介護2	350 100.0%	46 13.1%	85 24.3%	17 4.9%	2 0.6%	16 4.6%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.6%
要介護3	269 100.0%	30 11.2%	82 30.5%	21 7.8%	3 1.1%	7 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
要介護4	247 100.0%	50 20.2%	71 28.7%	30 12.1%	0 0.0%	5 2.0%	3 1.2%	2 0.8%	0 0.0%
要介護5	330 100.0%	94 28.5%	87 26.4%	37 11.2%	0 0.0%	6 1.8%	3 0.9%	2 0.6%	0 0.0%

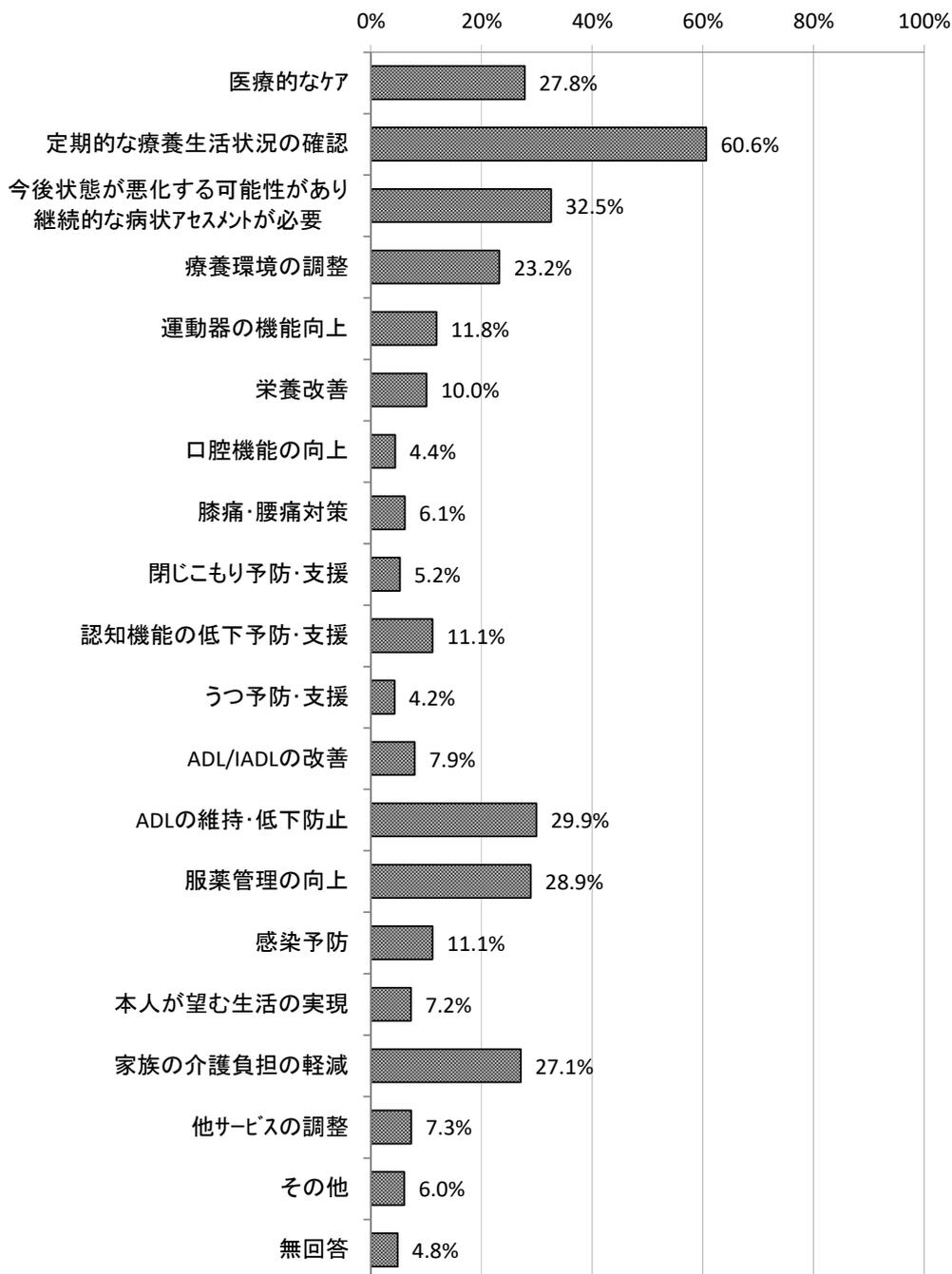
	合計	Q103② 訪問看護の主な目的							
		閉じこもり予防・支援	認知機能の低下予防・支援	うつ予防・支援	ADL/IADLの改善	ADLの維持・低下防止	服薬管理の向上	感染予防	本人が望む生活の実現
全体	1,556 100.0%	6 0.4%	23 1.5%	9 0.6%	19 1.2%	96 6.2%	120 7.7%	9 0.6%	6 0.4%
要介護1	338 100.0%	1 0.3%	11 3.3%	5 1.5%	5 1.5%	15 4.4%	59 17.5%	1 0.3%	2 0.6%
要介護2	350 100.0%	2 0.6%	4 1.1%	1 0.3%	6 1.7%	25 7.1%	39 11.1%	1 0.3%	2 0.6%
要介護3	269 100.0%	3 1.1%	7 2.6%	2 0.7%	6 2.2%	21 7.8%	17 6.3%	2 0.7%	0 0.0%
要介護4	247 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	1 0.4%	19 7.7%	3 1.2%	3 1.2%	0 0.0%
要介護5	330 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	15 4.5%	2 0.6%	2 0.6%	2 0.6%

	合計	Q103② 訪問看護の主な目的			
		家族の 介護負 担の軽 減	他サービ スの調 整	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	26 1.7%	2 0.1%	61 3.9%	310 19.9%
要介護1	338 100.0%	5 1.5%	0 0.0%	11 3.3%	69 20.4%
要介護2	350 100.0%	4 1.1%	1 0.3%	18 5.1%	78 22.3%
要介護3	269 100.0%	4 1.5%	1 0.4%	11 4.1%	52 19.3%
要介護4	247 100.0%	2 0.8%	0 0.0%	10 4.0%	46 18.6%
要介護5	330 100.0%	11 3.3%	0 0.0%	10 3.0%	58 17.6%

### ⑨ 回答時点で目的・目標の達成ができた項目

回答時点で目的・目標の達成ができた項目は、「定期的な療養生活状況の確認」が60.6%、「今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要」が32.5%、「ADLの維持・低下防止」が29.9%であった。

図表6-43 回答時点で目的・目標の達成ができた項目（複数回答）(n=1,556) (問 104)



	合計	Q104① 訪問看護の目的・目標が達成できた項目							
		医療的なケア	定期的な療養生活状況の確認	今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要	療養環境の調整	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	膝痛・腰痛対策
全体	1,556 100.0%	432 27.8%	943 60.6%	506 32.5%	361 23.2%	184 11.8%	156 10.0%	68 4.4%	95 6.1%
要介護1	338 100.0%	51 15.1%	188 55.6%	91 26.9%	79 23.4%	40 11.8%	33 9.8%	6 1.8%	27 8.0%
要介護2	350 100.0%	68 19.4%	211 60.3%	107 30.6%	78 22.3%	37 10.6%	28 8.0%	4 1.1%	22 6.3%
要介護3	269 100.0%	59 21.9%	155 57.6%	85 31.6%	63 23.4%	42 15.6%	16 5.9%	10 3.7%	22 8.2%
要介護4	247 100.0%	89 36.0%	154 62.3%	93 37.7%	63 25.5%	29 11.7%	35 14.2%	12 4.9%	16 6.5%
要介護5	330 100.0%	156 47.3%	220 66.7%	120 36.4%	74 22.4%	33 10.0%	44 13.3%	36 10.9%	6 1.8%

	合計	Q104① 訪問看護の目的・目標が達成できた項目							
		閉じこもり予防・支援	認知機能の低下予防・支援	うつ予防・支援	ADL/IADLの改善	ADLの維持・低下防止	服薬管理の向上	感染予防	本人が望む生活の実現
全体	1,556 100.0%	81 5.2%	173 11.1%	66 4.2%	123 7.9%	465 29.9%	449 28.9%	173 11.1%	112 7.2%
要介護1	338 100.0%	32 9.5%	51 15.1%	28 8.3%	33 9.8%	98 29.0%	150 44.4%	22 6.5%	30 8.9%
要介護2	350 100.0%	17 4.9%	42 12.0%	13 3.7%	28 8.0%	116 33.1%	121 34.6%	28 8.0%	28 8.0%
要介護3	269 100.0%	21 7.8%	32 11.9%	8 3.0%	21 7.8%	86 32.0%	69 25.7%	18 6.7%	16 5.9%
要介護4	247 100.0%	8 3.2%	22 8.9%	13 5.3%	28 11.3%	83 33.6%	60 24.3%	37 15.0%	22 8.9%
要介護5	330 100.0%	2 0.6%	24 7.3%	3 0.9%	12 3.6%	78 23.6%	40 12.1%	68 20.6%	14 4.2%

	合計	Q104① 訪問看護の目的・目標が達成できた項目			
		家族の介護負担の軽減	他サービスの調整	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	421 27.1%	113 7.3%	93 6.0%	75 4.8%
要介護1	338 100.0%	64 18.9%	22 6.5%	18 5.3%	20 5.9%
要介護2	350 100.0%	64 18.3%	24 6.9%	21 6.0%	18 5.1%
要介護3	269 100.0%	59 21.9%	16 5.9%	17 6.3%	8 3.0%
要介護4	247 100.0%	91 36.8%	22 8.9%	20 8.1%	11 4.5%
要介護5	330 100.0%	140 42.4%	28 8.5%	16 4.8%	16 4.8%

最も目的・目標の達成ができた項目は、「定期的な療養生活状況の確認」が19.1%、「医療的なケア」が10.9%、「ADLの維持・低下防止」が9.4%であった。

図表6-44 利用終了時に最も目的・目標の達成ができた項目 (n=1,556) (問 104)



	合計	Q104② 訪問看護の目的・目標が最も達成できた項目							
		医療的なケア	定期的な療養生活状況の確認	今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要	療養環境の調整	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	膝痛・腰痛対策
全体	1,556 100.0%	169 10.9%	297 19.1%	91 5.8%	35 2.2%	37 2.4%	20 1.3%	9 0.6%	15 1.0%
要介護1	338 100.0%	19 5.6%	47 13.9%	13 3.8%	12 3.6%	6 1.8%	4 1.2%	1 0.3%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	36 10.3%	74 21.1%	14 4.0%	6 1.7%	6 1.7%	3 0.9%	0 0.0%	2 0.6%
要介護3	269 100.0%	24 8.9%	49 18.2%	25 9.3%	9 3.3%	11 4.1%	1 0.4%	2 0.7%	1 0.4%
要介護4	247 100.0%	28 11.3%	53 21.5%	14 5.7%	1 0.4%	5 2.0%	6 2.4%	1 0.4%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	56 17.0%	72 21.8%	24 7.3%	7 2.1%	8 2.4%	6 1.8%	5 1.5%	1 0.3%

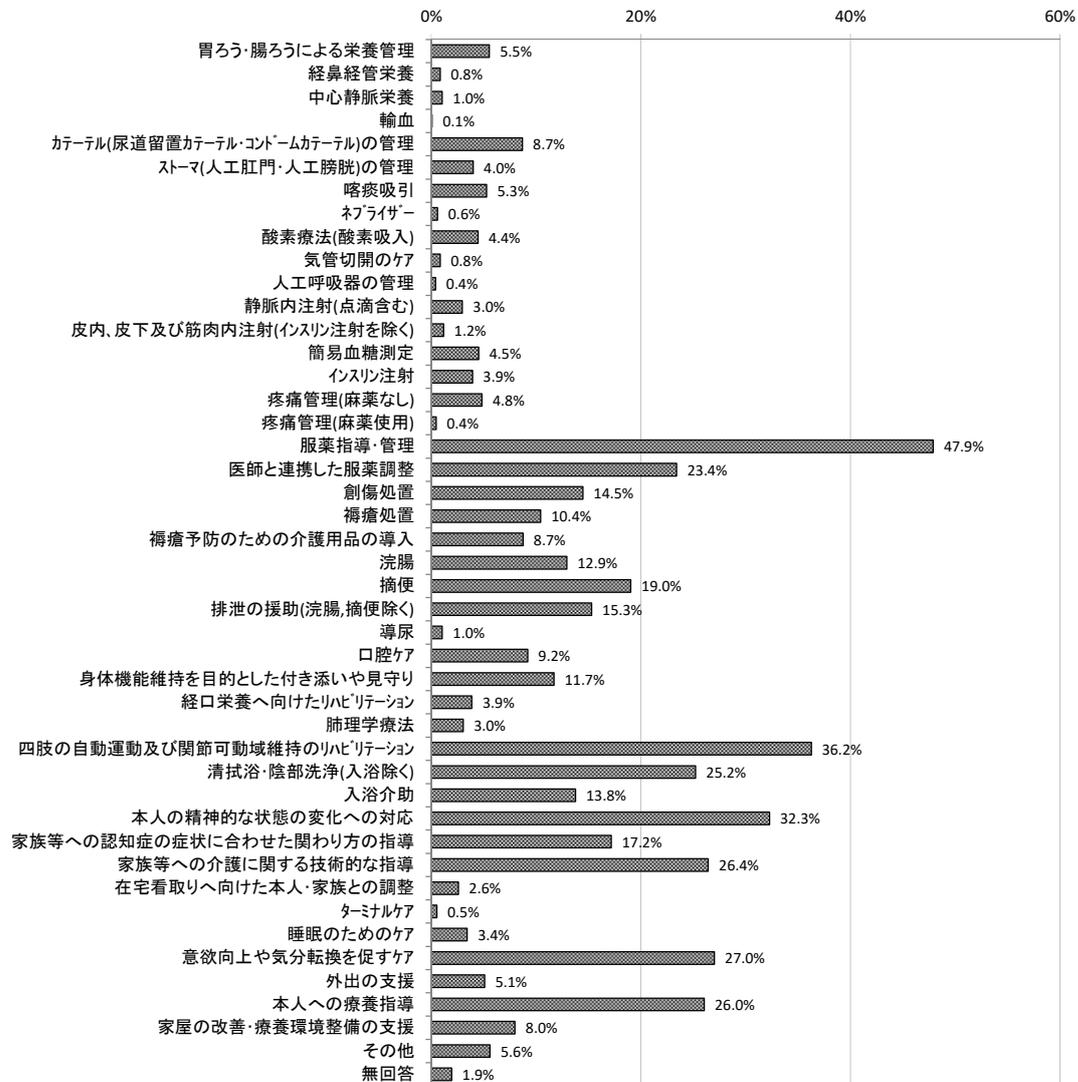
	合計	Q104② 訪問看護の目的・目標が最も達成できた項目							
		閉じこもり予防・支援	認知機能の低下予防・支援	うつ予防・支援	ADL/IADLの改善	ADLの維持・低下防止	服薬管理の向上	感染予防	本人が望む生活の実現
全体	1,556 100.0%	16 1.0%	15 1.0%	9 0.6%	35 2.2%	146 9.4%	130 8.4%	13 0.8%	16 1.0%
要介護1	338 100.0%	7 2.1%	4 1.2%	5 1.5%	9 2.7%	32 9.5%	61 18.0%	1 0.3%	6 1.8%
要介護2	350 100.0%	3 0.9%	9 2.6%	1 0.3%	11 3.1%	34 9.7%	36 10.3%	2 0.6%	5 1.4%
要介護3	269 100.0%	5 1.9%	1 0.4%	0 0.0%	5 1.9%	28 10.4%	20 7.4%	3 1.1%	3 1.1%
要介護4	247 100.0%	1 0.4%	1 0.4%	1 0.4%	6 2.4%	31 12.6%	8 3.2%	2 0.8%	0 0.0%
要介護5	330 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.6%	3 0.9%	20 6.1%	5 1.5%	5 1.5%	2 0.6%

	合計	Q104② 訪問看護の目的・目標が最も達成できた項目			
		家族の介護負担の軽減	他サービスの調整	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	82 5.3%	18 1.2%	44 2.8%	359 23.1%
要介護1	338 100.0%	11 3.3%	5 1.5%	9 2.7%	77 22.8%
要介護2	350 100.0%	11 3.1%	7 2.0%	9 2.6%	81 23.1%
要介護3	269 100.0%	16 5.9%	2 0.7%	8 3.0%	56 20.8%
要介護4	247 100.0%	18 7.3%	2 0.8%	8 3.2%	59 23.9%
要介護5	330 100.0%	25 7.6%	2 0.6%	9 2.7%	78 23.6%

### ⑩ 提供したケア

提供したケアは、「服薬指導・管理」が47.9%、「四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション」が36.2%、「本人の精神的な状態の変化への対応」が32.3%、「意欲向上や気分転換を促すケア」が27.0%であった。

図表6-45 提供したケア（複数回答）(n=1,556) (問 105)



	合計	Q105 提供したケア							
		胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	輸血	カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）の管理	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	喀痰吸引	ネブライザー
全体	1,556 100.0%	86 5.5%	13 0.8%	16 1.0%	1 0.1%	135 8.7%	62 4.0%	82 5.3%	9 0.6%
要介護 1	338 100.0%	1 0.3%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%	6 1.8%	13 3.8%	2 0.6%	3 0.9%
要介護 2	350 100.0%	3 0.9%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	12 3.4%	19 5.4%	2 0.6%	2 0.6%
要介護 3	269 100.0%	7 2.6%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	16 5.9%	12 4.5%	2 0.7%	0 0.0%
要介護 4	247 100.0%	8 3.2%	4 1.6%	2 0.8%	1 0.4%	50 20.2%	8 3.2%	10 4.0%	0 0.0%
要介護 5	330 100.0%	67 20.3%	9 2.7%	8 2.4%	0 0.0%	51 15.5%	9 2.7%	66 20.0%	4 1.2%

	合計	Q105 提供したケア							
		酸素療法（酸素吸入）	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射（点滴含む）	皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く）	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理（麻薬なし）
全体	1,556 100.0%	69 4.4%	13 0.8%	6 0.4%	46 3.0%	18 1.2%	70 4.5%	61 3.9%	75 4.8%
要介護 1	338 100.0%	13 3.8%	2 0.6%	1 0.3%	5 1.5%	2 0.6%	21 6.2%	23 6.8%	16 4.7%
要介護 2	350 100.0%	19 5.4%	2 0.6%	1 0.3%	7 2.0%	7 2.0%	17 4.9%	18 5.1%	13 3.7%
要介護 3	269 100.0%	11 4.1%	1 0.4%	0 0.0%	8 3.0%	1 0.4%	8 3.0%	5 1.9%	23 8.6%
要介護 4	247 100.0%	6 2.4%	0 0.0%	1 0.4%	9 3.6%	4 1.6%	12 4.9%	7 2.8%	15 6.1%
要介護 5	330 100.0%	19 5.8%	8 2.4%	3 0.9%	17 5.2%	4 1.2%	11 3.3%	8 2.4%	8 2.4%

	合計	Q105 提供したケア							
		疼痛管理(麻薬使用)	服薬指導・管理	医師と連携した服薬調整	創傷処置	褥瘡処置	褥瘡予防のための介護用品の導入	浣腸	排便
全体	1,556 100.0%	7 0.4%	745 47.9%	364 23.4%	225 14.5%	162 10.4%	136 8.7%	201 12.9%	296 19.0%
要介護1	338 100.0%	0 0.0%	200 59.2%	73 21.6%	34 10.1%	7 2.1%	6 1.8%	12 3.6%	9 2.7%
要介護2	350 100.0%	2 0.6%	170 48.6%	70 20.0%	36 10.3%	16 4.6%	13 3.7%	10 2.9%	15 4.3%
要介護3	269 100.0%	3 1.1%	126 46.8%	53 19.7%	31 11.5%	16 5.9%	10 3.7%	23 8.6%	27 10.0%
要介護4	247 100.0%	0 0.0%	113 45.7%	74 30.0%	48 19.4%	53 21.5%	37 15.0%	48 19.4%	79 32.0%
要介護5	330 100.0%	2 0.6%	124 37.6%	89 27.0%	70 21.2%	70 21.2%	68 20.6%	103 31.2%	162 49.1%

	合計	Q105 提供したケア							
		排泄の援助(浣腸排便を除く)	導尿	口腔ケア	身体機能維持を目的とした付き添いや見守り	経口栄養へ向けたリハビリテーション	肺理学療法	四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション	清拭浴・陰部洗浄(入浴除く)
全体	1,556 100.0%	238 15.3%	16 1.0%	143 9.2%	182 11.7%	60 3.9%	47 3.0%	564 36.2%	392 25.2%
要介護1	338 100.0%	11 3.3%	2 0.6%	7 2.1%	46 13.6%	1 0.3%	10 3.0%	102 30.2%	21 6.2%
要介護2	350 100.0%	23 6.6%	5 1.4%	11 3.1%	37 10.6%	5 1.4%	7 2.0%	116 33.1%	39 11.1%
要介護3	269 100.0%	36 13.4%	3 1.1%	11 4.1%	42 15.6%	5 1.9%	3 1.1%	107 39.8%	49 18.2%
要介護4	247 100.0%	64 25.9%	3 1.2%	30 12.1%	30 12.1%	15 6.1%	4 1.6%	105 42.5%	100 40.5%
要介護5	330 100.0%	101 30.6%	3 0.9%	83 25.2%	23 7.0%	33 10.0%	22 6.7%	127 38.5%	176 53.3%

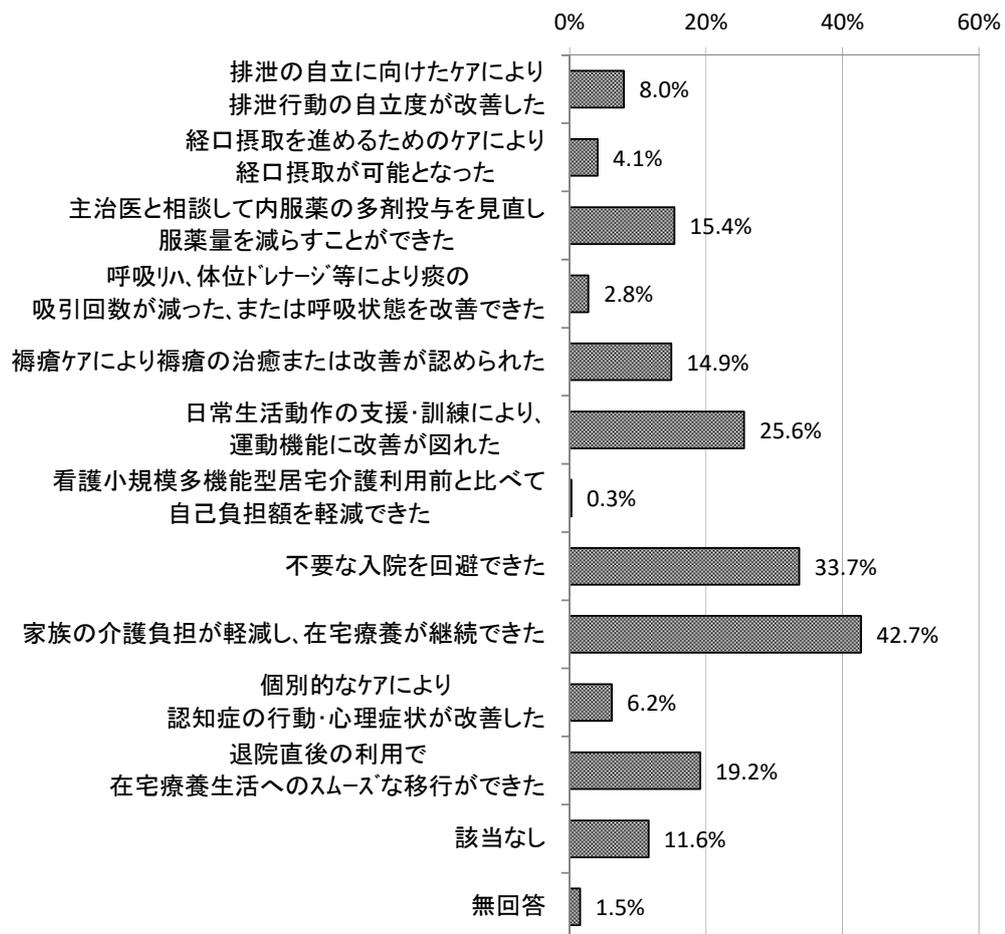
	合計	Q105 提供したケア							
		入浴介助	本人の精神的な状態の変化への対応	家族等への認知症の症状に合わせた関わり方の指導	家族等への介護に関する技術的な指導	在宅看取りに向けた本人・家族との調整	ターミナルケア	睡眠のためのケア	意欲向上や気分転換を促すケア
全体	1,556 100.0%	214 13.8%	502 32.3%	267 17.2%	411 26.4%	40 2.6%	8 0.5%	53 3.4%	420 27.0%
要介護1	338 100.0%	48 14.2%	131 38.8%	45 13.3%	35 10.4%	3 0.9%	1 0.3%	19 5.6%	108 32.0%
要介護2	350 100.0%	58 16.6%	105 30.0%	70 20.0%	56 16.0%	4 1.1%	1 0.3%	13 3.7%	110 31.4%
要介護3	269 100.0%	43 16.0%	99 36.8%	50 18.6%	71 26.4%	2 0.7%	0 0.0%	5 1.9%	82 30.5%
要介護4	247 100.0%	37 15.0%	79 32.0%	44 17.8%	100 40.5%	8 3.2%	2 0.8%	7 2.8%	64 25.9%
要介護5	330 100.0%	25 7.6%	80 24.2%	51 15.5%	146 44.2%	21 6.4%	4 1.2%	8 2.4%	51 15.5%

	合計	Q105 提供したケア				
		外出の支援	本人への療養指導	家屋の改善・療養環境整備の支援	その他	無回答
全体	1,556 100.0%	79 5.1%	405 26.0%	124 8.0%	87 5.6%	30 1.9%
要介護1	338 100.0%	28 8.3%	116 34.3%	30 8.9%	14 4.1%	11 3.3%
要介護2	350 100.0%	17 4.9%	116 33.1%	26 7.4%	19 5.4%	6 1.7%
要介護3	269 100.0%	12 4.5%	80 29.7%	23 8.6%	15 5.6%	6 2.2%
要介護4	247 100.0%	13 5.3%	60 24.3%	20 8.1%	14 5.7%	4 1.6%
要介護5	330 100.0%	8 2.4%	29 8.8%	23 7.0%	24 7.3%	3 0.9%

⑪ 利用開始時から回答までの間に、訪問看護を提供することにより得られた効果

訪問看護を提供することにより得られた効果は、「家族の介護負担が軽減し、在宅療養が継続できた」が42.7%、「不要な入院を回避できた」が33.7%、「日常生活動作の支援・訓練により、運動機能に改善が図れた」が25.6%であった。

図表6-46 訪問看護を提供することにより得られた効果（複数回答）(n=1,556) (問 106)



	合計	Q106 訪問看護を提供することにより得られた効果							
		排泄の自立に向けたケアにより排泄行動の自立度が改善した	経口摂取を進めるためのケアにより経口摂取が可能となった	主治医と相談して内服薬の多剤投与を見直し服薬量を減らすことができた	呼吸リ、体位ドレージ等により痰の吸引回数が減った、または呼吸状態を改善できた	褥瘡ケアにより褥瘡の治癒または改善が認められた	日常生活動作の支援・訓練により、運動機能が改善が図れた	看護小規模多機能型居宅介護利用前と比べて自己負担額を軽減できた	不要な入院を回避できた
全体	1,556 100.0%	124 8.0%	64 4.1%	239 15.4%	43 2.8%	232 14.9%	398 25.6%	4 0.3%	524 33.7%
要介護1	338 100.0%	18 5.3%	6 1.8%	54 16.0%	5 1.5%	8 2.4%	91 26.9%	0 0.0%	89 26.3%
要介護2	350 100.0%	22 6.3%	6 1.7%	52 14.9%	10 2.9%	23 6.6%	102 29.1%	0 0.0%	104 29.7%
要介護3	269 100.0%	29 10.8%	6 2.2%	40 14.9%	4 1.5%	23 8.6%	89 33.1%	1 0.4%	76 28.3%
要介護4	247 100.0%	38 15.4%	13 5.3%	41 16.6%	7 2.8%	75 30.4%	63 25.5%	1 0.4%	101 40.9%
要介護5	330 100.0%	14 4.2%	32 9.7%	48 14.5%	17 5.2%	103 31.2%	48 14.5%	2 0.6%	147 44.5%

	合計	Q106 訪問看護を提供することにより得られた効果				
		家族の介護負担が軽減し、在宅療養が継続できた	個別的なケアにより認知症の行動・心理症状が改善した	退院直後の利用で在宅療養生活へのスムーズな移行ができた	該当なし	無回答
全体	1,556 100.0%	665 42.7%	96 6.2%	298 19.2%	180 11.6%	24 1.5%
要介護1	338 100.0%	118 34.9%	28 8.3%	56 16.6%	54 16.0%	5 1.5%
要介護2	350 100.0%	134 38.3%	17 4.9%	54 15.4%	57 16.3%	7 2.0%
要介護3	269 100.0%	101 37.5%	19 7.1%	47 17.5%	29 10.8%	5 1.9%
要介護4	247 100.0%	119 48.2%	16 6.5%	62 25.1%	21 8.5%	2 0.8%
要介護5	330 100.0%	184 55.8%	13 3.9%	74 22.4%	16 4.8%	4 1.2%



# 調 査 票



平成30年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業  
訪問看護事業所における看護師等の従業者数の規模別にみたサービス実態に関する調査研究事業  
訪問看護ステーション票

※本調査票は、訪問看護ステーションの管理者の方がご記入下さい。  
※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。  
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。  
分からない場合は「-」と記入して下さい。  
※調査時点は、平成30年10月1日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴事業所の基本情報についてお伺いします。

1) 事業所名									
2) 所在地	( ) 都・道・府・県 ( ) 市・区・町・村								
3) 開設年	西暦 ( ) 年								
4) 開設主体	1 医療法人	2 営利法人(会社)	3 社会福祉法人	4 医師会					
	5 看護協会	6 その他の社団・財団法人	7 協同組合	8 地方公共団体					
	9 特定非営利活動法人(NPO法人)	10 その他 ( )							
5) (営利法人の場合) 資本金	( ) 円								
6) サテライト事業所の有無	1 有→事業所数 ( ) か所 2 無								
7) 貴事業所と同一法人が他に有する訪問看護事業所数	1 有→ ( ) か所 2 無 (※貴事業所はか所数には含まない。都道府県外の事業所数を含む)								
8) 同一敷地内または隣接、道を隔て立地している施設・事業所(複数回答可)うち、貴事業所が訪問している施設には◎	1 介護老人福祉施設	2 養護老人ホーム	3 軽費老人ホーム						
	4 介護付有料老人ホーム	5 住宅型有料老人ホーム							
	6 サービス付高齢者向け住宅→(a 特定施設 b 非特定施設)								
	7 認知症対応型共同生活介護	8 障害福祉サービス事業所							
	9 その他 ( )	10 特になし							
9) 8)で施設への訪問があると回答した場合、同一建物等減算の有無	1 有 2 無								

10)平成30年10月1日現在の職員数	看護職員	リハビリ職員	看護補助者	事務員	その他
①常勤職員:実人数※注1	人	人	人	人	人
②非常勤職員:実人数	人	人	人	人	人
③常勤+非常勤職員の常勤換算数※注2	人	人	人	人	人
→③のうち60歳以上の職員常勤換算数	人	人	人	人	人
④平成29年度の新規採用数:実人数	人	人	人	人	人
→内、新卒者の人数	人	人	人	人	人
→内、直前に看護師として勤務していなかった者(潜在看護師)の人数	人				
⑤平成29年度の退職者数:実人数	人	人	人	人	人

※注1)看護補助者と事務員を兼務している場合などは、実人数は、主たる業務に1と計上してください。  
なお管理者業務については、「看護職員」として計上してください。  
※注2)常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷当事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。該当の職種の職員がいるのに、得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。  
看護補助者、事務員及びその他の職種については、実人数で計上した分類とは別に、それぞれの職種での業務時間を常勤換算計上。

⑥職員の定年制の有無	1 有→ ( ) 歳 2 無	
------------	----------------	--

⑦継続雇用制度の有無	1 無 2 有 → (a 再雇用制度 b 勤務延長制度)		
⑧平成29年10月1日時点と比べ、各職種の人数についてa,b,cのいずれかに○をつけ、a,bの場合は平成30年10月1日時点における貴事業所の常勤換算による職員数の増減をご記入ください。			
看護職員	a. 増加 ( ) 人	b. 減少 ( ) 人	c. 変化無し
リハビリ職	a. 増加 ( ) 人	b. 減少 ( ) 人	c. 変化無し
その他の職員	a. 増加 ( ) 人	b. 減少 ( ) 人	c. 変化無し

2. 訪問看護の提供実績等(平成30年9月)についてお伺いします。

11)平成30年9月(1か月間)の訪問看護の利用者数等をご記入ください。  
※①の利用実人員欄には、介護保険法による(介護予防)訪問看護を1回でも利用した者について計上してください。  
※訪問回数の合計欄には、支給限度額を超えた訪問回数も含め計上してください。  
※リハビリ職員の訪問回数は、訪問時間が20分以上の場合、報酬の算定回数に関わらず、訪問回数は1回とします。算定回数は、報酬の算定回数を記入してください。(例:1回の訪問で40分のサービス提供→訪問回数=1 算定回数=2)  
※②①の利用者に対する医療保険の訪問看護とは、9月中に介護保険による給付と、医療保険による給付が行われた場合をいいます。

	① 介護保険の訪問看護					② ①の利用者に対する医療保険の訪問看護		③ 医療保険のみ利用者	
	利用実人員数 (a)	看護職員の訪問回数合計	リハビリ職員の訪問回数	リハビリ職員の算定回数	複数のステーションが関与している人数	利用実人員数 (a)の内数	医療保険による訪問	利用実人員数	訪問回数合計
要支援1	人	回	回	回	人	人	回	人	回
要支援2	人	回	回	回	人	人	回		
要介護1	人	回	回	回	人	人	回		
要介護2	人	回	回	回	人	人	回		
要介護3	人	回	回	回	人	人	回		
要介護4	人	回	回	回	人	人	回		
要介護5	人	回	回	回	人	人	回		
合計	人	回	回	回	人	人	回		

12)介護保険で訪問看護を提供した利用者における要介護度別の認知症高齢者日常生活自立度(9月末の時点での利用者の状態による自立度を記載してください)【重要設問ですので、お手数をおかけしますが、ご回答をお願いします】

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
要支援1	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要支援2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護1	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護3	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護4	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護5	人	人	人	人	人	人	人	人	人

13) 11)の②において、要介護被保険者等のうち9月中に医療保険での訪問看護が必要となった理由別人数 注)各利用者について、必要となった理由を1つだけ選んで計上	
1 急性増悪等により一時的に頻回の訪問看護を行う必要性を認め、特別訪問看護指示書が発行されたため	人
2 末期の悪性腫瘍と診断され医療保険の対象となったため	人
3 認知症以外の精神疾患と診断され医療保険の対象となったため	人
4 2.3以外の疾患の診断で医療保険の対象となったため	人
5 その他( )	人

14) 要支援者について、主に訪問する職種別に人数を回答してください。注)1人の利用者につき、いずれか1つに計上	
1 主に看護職員による訪問を行った利用者 (看護職訪問>リハ職訪問)	人
2 主にリハビリ職員による訪問を行った利用者 (看護職訪問≤リハ職訪問)	人

15)平成30年9月の介護保険における加算等の取得状況についてお伺いします。届出をしているが算定がなかった場合は0件とご記入ください。	
① 退院時共同指導加算 (平成30年9月における介護保険の算定状況)	1 有 ( ) 件      2 無
② 緊急時訪問看護加算の届出 (平成30年9月における介護保険の算定状況)	1 有 →緊急時訪問看護加算算定件数 ( ) 件 緊急時介護予防訪問看護加算算定件数 ( ) 件 2 無 →その理由を一つ選択 a 人材不足で体制確保ができない b 24時間対応が必要な利用者がいない c 他の事業所が対応しており、地域で充足している d その他 ( )
③ 特別管理加算の届出 (平成30年9月における介護保険の算定状況)	1 有 →訪問看護(要介護者)の算定件数 I ( ) 件、II ( ) 件 介護予防訪問看護(要支援者)の算定件数 I ( ) 件、II ( ) 件 2 無
④ ターミナルケア加算の届出 (平成29年10月1日～平成30年9月末日の1年間ターミナルケア療養費含む)	1 有 →ターミナルケア加算(介護保険) ( ) 件 →ターミナルケア療養費(医療保険) ( ) 件※H30.4～ターミナルケア療養費1 →ターミナルケア療養費のうち、介護保険利用者で死亡前14日以内に医療保険で訪問看護をしてターミナルケア療養費を算定した件数 ( ) 件 2 無
⑤ 看護体制強化加算の届出(複数回答可) (平成30年9月における介護保険の算定状況)	1 I    2 II    3 予防    4 無
⑤-1:⑤で「2 II」の場合 I の届出をしていない理由(複数回答可)	1 看取りを行う時期には医療保険での訪問に切り替わり、ターミナルケア加算の算定要件を満たせないため 2 ターミナル期で在宅看取りの希望がある利用者・家族が少ないため 3 看取り期の利用者が少ないため 4 その他 ( )

⑤-2:⑤で「4 無」の場合 看護体制強化加算の届出していない理由(複数回答可)	1 緊急時訪問看護加算の算定の対象となる利用者が少ない 2 他の訪問看護事業所で緊急時訪問看護加算を算定している利用者が多い 3 医療保険で24時間対応体制加算を算定している利用者が多い 4 特別管理加算の対象となる利用者が少ない 5 他の訪問看護事業所で特別管理加算を算定している利用者が多い 6 医療保険で特別管理加算を算定している利用者が多い 7 特別管理加算の算定者割合の変動が大きく維持が難しい 8 看取りを行う時期には医療保険での訪問看護に切り替わり、ターミナルケア加算の算定要件を満たせないため 9 ターミナル期で在宅看取りの希望がある利用者・家族が少ないため 10 月によって届出の要件を満たしたり、満たさなかったりするため、毎月届出を変更したくないから 11 その他 ( )
⑥ 複数名訪問加算(I及びIIの合計)	1-1 算定実人数 ( ) 人 1-2 算定延件数…イ:身体的理由 ( ) 件 ロ:暴力行為等 ( ) 件 ハ:その他 ( ) 件 2-1 複数名で訪問したが加算が算定できなかった延件数 イ ( ) 件、ロ ( ) 件、ハ ( ) 件 2-2 算定できなかった理由 a 同意が得られなかった ( ) 件 b その他 ( ) 件
⑦ 定期巡回・随時対応型訪問介護事業所と連携した訪問看護の提供	1 有 ( ) 人 →連携型による訪問看護の提供に関して当てはまるものを回答してください(複数回答可) a 特に問題ない b 日中の緊急訪問の要請が多く、対応が大変である c 夜間の緊急訪問の要請が多く、対応が大変である d 訪問回数に報酬が見合っていない e 介護事業所との連携が上手く取れずやりづらさを感じる f 頻回の訪問を求められ、他の利用者も含めた訪問計画が組めない g その他 ( ) 2 無 →連携することがない理由について当てはまるものを回答してください(複数回答可) a 緊急時訪問看護加算の届出をしていない b 周囲に当該事業所がなく依頼がない c 人員の問題から連携依頼を受けることができない d 報酬が見合わない e その他 ( )
⑧ サービス担当者会議	平成30年4月～9月の6か月間 サービス担当者会議への参加 ( ) 回

3. 利用終了者についてお伺いします。

16) 平成 30 年 7 月～9 月まで3か月間の利用終了者について、要介護度別訪問看護の利用期間別の人数、要介護度別転帰が「死亡」「入院・入所」「改善(在宅)」「その他」の別の人数について、記入してください。  
注)医療保険のみの利用者は除く

	訪問看護の利用期間					転帰			
	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上	死亡	入院・入所	改善 (在宅・他サービス利用含む)	その他
要支援1	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要支援2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護1	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護2	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護3	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護4	人	人	人	人	人	人	人	人	人
要介護5	人	人	人	人	人	人	人	人	人

4. 事業所の運営等の状況についてお伺いします。

17)平成 30 年 7 月～9 月の3か月間の緊急の電話対応、緊急訪問の対応状況について回答ください。

	営業日				営業日以外			
	早朝 (6～8時)	日中 (8～18時)	夜間 (18～22時)	深夜 (22～6時)	早朝 (6～8時)	日中 (8～18時)	夜間 (18～22時)	深夜 (22～6時)
電話	件	件	件	件	件	件	件	件
訪問	件	件	件	件	件	件	件	件
うち 算定 件数	件	件	件	件	件	件	件	件

18) 緊急対応の体制について回答ください。

夜間対応の手当の有無	1 有 待機 ( ) 円/日 出動した場合 ( ) 円/ ( 単位) 例: 1 訪問あたり〇円 等 2 無
------------	---

19) 医療機関や介護保険施設からの退院・退所日に訪問看護が必要にも関わらず、介護保険における訪問看護が提供できなかったことはありますか。

1 有→ H30.4 月～9 月まで約 ( ) 人  
具体的な利用者の状態と必要なケアの内容:

2 無

20) 訪問看護師の記録にかかる時間を把握したいと思います。50音順で最初の看護師(管理者を除く、常勤フルタイムの方)1人について、調査期間中の任意の1日の業務のうち、記録にかかった時間を教えてください。  
※ 勤務表作成や請求業務といった管理業務は除きます

①日々の記録にかかった時間 ※「記録書Ⅱ」「経過票の入力等」の記録	約 ( ) 分/日
②日々の記録以外の利用者の記録にかかった時間 ※「記録書Ⅰ」「計画書」「報告書等」の利用者に関する日々の記録以外の記録	約 ( ) 分/日
③該当の1日の業務時間合計	約 ( ) 分/日

21) 訪問対象としている地域はおよそ何キロ以内ですか	事業所から約 ( ) キロ以内			
22) 事業所から利用者宅まで、移動時間に一番時間を要する利用者ではどのような移動手段で何分かかりますか(片道)	移動手段: 1 自転車 2 車 3 その他 ( ) 時間: 約 ( ) 分			
23)自治体の事業への協力または自治体が開催する会議への参加について平成 29 年度に実績のあるものに○をつけてください。(複数回答可)				
1 地域ケア会議への参加 ( ) 回 2 介護保険事業計画や介護保険事業支援計画に関する会議への参加 3 地域の在宅医療介護連携の多職種会議への参加 4 地域の認知症施策への協力 → 有りの場合 (下記の該当する項目をご回答ください) ①認知症初期集中支援チームへの協力 ②認知症疾患医療センター等の認知症に関する専門医療機関との連携 ③その他 ( ) 5 その他 ( ) 6 特になし				
24)その他の地域活動について平成 29 年度に実施したものに○をつけてください(複数回答可)				
1 利用者以外からの健康相談に対応している 2 地域住民向けの医療・介護相談窓口を開設している 3 医療・介護従事者の相談に対応している 4 介護予防に資する住民運営の通いの場 (体操や趣味活動等) に参加している 5 その他 ( ) 6 特になし				
25)訪問看護に関する啓発、研修活動の実績(平成 29 年度)はありますか。(複数回答可)				
1 事業所の活動や訪問看護の PR をしている 2 地域住民向けの介護研修を行っている 3 学生の実習を受け入れている ➡ 1 看護 2 リハ 3 その他 ( ) 4 自事業所の従業員以外も対象とした医療・介護人材育成のための研修や実習の受け入れをしている 5 その他 ( ) 6 特になし				
26)他の介護サービス事業所等との連携により今後取り組みそうなことはありますか(複数回答可)				
1 他の事業所と連携して夜間の定期訪問への対応 2 他の事業所と連携して 24 時間の電話対応 3 他の事業所と連携して 24 時間の緊急時訪問の対応 4 他の事業所と連携して従業員の能力向上のための合同研修 5 他の事業所との提携による請求事務の外注 6 他の事業所と専門領域 (小児・ターミナルケア等) を区別して相互に利用者を紹介 7 他の事業所と連携して訪問エリアを整理し、対応する利用者を調整 8 特になし 9 その他 ( )				
27) 貴事業所におけるICTの活用状況についてお伺いします。				
	取り組んでいる	今後取り組む予定	可能であれば取り組みたい	取り組む予定はない
① 記録の電子化	1	2	3	4
② 記録や職員との情報連携のためスマートフォンやタブレット端末等の活用	1	2	3	4
③ スマートフォンやタブレット端末等を利用した利用者・家族からの緊急時などの相談対応	1	2	3	4
④ サービス担当者会議をオンラインで実施	1	2	3	4
⑤ 退院時共同指導に関するカンファレンスをオンラインで実施	1	2	3	4

28) 貴事業所において、訪問看護の質を高めるため取り組んでいることはありますか(複数回答可)	
1	ステーション内で管理者や職員が講師となって勉強会を行っている
2	ステーション内で、外部の講師を招いて勉強会を行っている
3	ステーション内で、ケースの振り返り・検討会を行っている
4	法人本部・法人内での研修に参加している
5	勤務を調整し外部の研修に参加している
6	インシデントレポートの分析を行いフィードバックしている
7	利用者の満足度調査を定期的に行いサービスの評価をしている
8	事業所自己評価ガイドライン(全国訪問看護事業協会)に基づき事業所の自己評価をしている
9	第三者評価をしている
10	各自に任せている(特に事業所としては行っていない)
11	その他( )

29) 外部の専門性の高い看護師との連携について

(1) 下記のような利用者への対応・ケア提供や、事業所としての体制整備に関して、今後強化していきたいことはありますか。①～⑫の各領域について、選択肢1～4からあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

(2) ①～⑫の各領域について、外部の専門性の高い看護師(認定看護師、専門看護師等)に、支援や助言を受けたいと思うことはありますか。選択肢1～6からあてはまる番号すべてに○をつけてください。すでに受けていることには◎をつけてください。

※診療報酬の訪問看護基本療養費(I)(II)のハ(がん緩和ケアや褥瘡ケア、ストーマケアに関する専門性の高い看護師の同日訪問)に限らず、全ての領域についてお答えください。

	(1) 今後強化したい領域				(2) 専門性の高い看護師による支援・助言の希望								
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
	強化したい	積極的に強化したい	ある程度強化したい	あまり強化するつもりはない	強化するつもりはない	同行訪問による支援や助言	例の電話相談	問題発生時や困難事例	実践指導	ケア方法や手技の実践	事業所の体制整備に関する助言	開催	専門領域の研修会の開催
①認知症のBPSDやせん妄への対応・ケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
②精神疾患(認知症以外)のケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
③皮膚疾患や褥瘡のケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
④がん緩和ケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑤非がん疾患の緩和ケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑥看取りのケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑦摂食・嚥下障害のケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑧排泄障害のケア	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑨脳卒中のリハビリテーション	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑩利用者の急変時の対応・救急処置	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑪災害時の利用者の安全・健康の確保	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			
⑫感染症の予防や発生時の対応	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6			

5. 収支の状況についてお伺いします。

30) 訪問看護ステーションの収支比率(平成30年9月または直近)	1 黒字	2 ほぼ均衡している
	3 赤字	4 不明

31) 貴ステーションの平成29年度(または直近把握可能な年度)の収益についてお伺いします。			
介護報酬収益	医療保険等の療養費収益	保険外事業収益	収益計
万円	万円	万円	万円
32) 貴ステーションの平成29年度(または直近把握可能な年度)の費用(注1参照)についてお伺いします。			
給与費	その他	(うち)委託費	費用計
万円	万円	万円	万円
注1)・給与費＝給料、各種手当(通勤、時間外等)、賞与、法定福利費、退職給付引当金等を含めた金額です。 ・給与費について、ケアマネジャー等を兼任している職員については、訪問看護への従事時間で按分してください。 ・経費をステーション単体で区分することが困難な場合は、概算で按分してください。 ・各費目の記入が困難な場合には、「収益計」および「費用計」のみご記入ください。			
33) 看護職員に対する時間外手当(平成30年9月または直近1か月分の総額)			円
34) 平成30年9月(1か月)の保険外事業収益の主な項目についてお教えてください。			
1	認知症グループホームとの契約 ( ) 件		
2	特別養護老人ホームとの契約 ( ) 件		
3	就労継続支援事業など障害者施設との契約 ( ) 件		
4	学校への看護師派遣 学校数 ( ) 施設		
5	自治体からの事業委託(内容: ) ( ) 件		
6	その他 ( ) ( ) 件		

6 今後より充実したサービスの提供に向け、改善すべき点や課題についてお伺いします。

35) 訪問看護をする上で負担になっている手続きや基準や仕組みはありますか。あればご記入ください	
36) 今後実践していきたいことがあればご記入ください	
37) 今後、本調査のような調査票の回答について、パソコン等を使用したweb調査による回答は可能ですか。(web調査とは、回答用のホームページ等のURL及びパスワードが事業所に送付されたうえでの調査方法などを指します。)	1 できる 2 できない

7 利用料の請求等について

38) 医療保険の利用者について、利用者の希望の有無によらず、個別の費用毎に区別して記載した領収書とは別に、明細書を発行していますか。(1～5のうち1つを選択する。)	
1	明細書を発行していない
2	領収書に明細(書)が含まれており、明細書を別に発行していない
3	明細書を別に発行している⇒どのようなタイミングで発行していますか( )
4	利用者の希望があれば明細書を別に発行している⇒どのようなタイミングで発行していますか( )
5	その他( )

以上で、訪問看護ステーション票の質問は終わりです。引き続き利用者票の回答をお願いします。

利用者票①

対象：介護保険の予防訪問看護を利用終了した者（死亡・入院・入所を除く）で利用終了時に要支援1又は2の利用者（平成29年10月～30年9月の利用者）  
 ※主に看護師による訪問看護を行った直近の利用終了者  
 ※調査時点は、利用者の利用終了時点とします。

1) 年齢	1 40歳～64歳 2 65～74歳 3 75～84歳 4 85～94歳 5 95歳以上										
2) 世帯構成	1 独居 2 夫婦のみ世帯 3 その他同居あり (65歳以上の人のみ) 4 その他同居あり(65歳未満の家族を含む)										
3) 訪問看護の利用開始年月日	平成( )年( )月( )日										
4) 訪問看護の利用終了年月日	平成( )年( )月( )日										
5) 要介護度	①利用開始時	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5									
	②直近の認定	1 要支援1 2 要支援2									
6) 認知症高齢者の日常生活自立度	①利用開始時	1 自立	2 I	3 II a	4 II b	5 III a	6 III b	7 IV	8 M	9 不明	
	②直近	1 自立	2 I	3 II a	4 II b	5 III a	6 III b	7 IV	8 M	9 不明	
7) 日常生活自立度	①利用開始時	1 自立	2 J1	3 J2	4 A1	5 A2	6 B1	7 B2	8 C1	9 C2	10 不明
	②直近	1 自立	2 J1	3 J2	4 A1	5 A2	6 B1	7 B2	8 C1	9 C2	10 不明
8) ADLの状況(該当するものに○)											
①利用開始時 (訪問看護記録書から転記)	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通				
自立	1	1	1	1	1	1	1				
一部介助	2	2	2	2	2	2	2				
全面介助	3	3	3	3	3	3	3				
その他	4	4	4	4	4	4	4				
②サービス利用終了時	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通				
自立	1	1	1	1	1	1	1				
一部介助	2	2	2	2	2	2	2				
全面介助	3	3	3	3	3	3	3				
その他	4	4	4	4	4	4	4				
9) 介護力	1 介護できる人はいない 2 時間帯によって介護できる人がいる 3 常時、介護できる人がいる										
10) 在宅療養を続けている原因の病名(指示書にある傷病名複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症(脂質異常) 6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8 腎臓・前立腺の病気 9 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10 骨折 11 末期がん 12 末期がん以外のがん 13 血液・免疫の病気 14 精神疾患(うつ病、統合失調症、依存症等) 15 認知症(アルツハイマー病等) 16 パーキンソン病 17 その他( )										

上記のうち、「主傷病」について、選択肢の番号で1つ記入してください				
11) 利用者が抱える健康障害(複数回答可)	1 視力障害 2 難聴 3 体重減少 4 めまい 5 うつ 6 せん妄 7 サルコペニア(筋量低下) 8 摂食・嚥下障害 9 貧血 10 易感染性			
12) 訪問看護サービス開始(指示があった)時に受けていた診療(複数回答可)	0 なし 1 定期的な通院 2 手術→部位：a.消化器 b.循環器 c.脳 d.運動器 e.呼吸器 f.その他 3 抗がん剤治療 4 ADLの回復を目的としたリハビリテーション(5を除く) 5 脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション 6 入院による内科的治療(薬物療法等) 7 その他			
13) 余命の見込みに関する説明の有無	1 有(余命の見込み → か月) 2 無			
14) ターミナル期であるか主治医による訪問看護指示書への記載の有無	1 有(余命の見込みの記載 → か月) 2 無			
15) 介護保険での看護職員の訪問回数(算定回数)(終了前1か月間)	20分未満	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満
	回	回	回	回
16) 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(算定回数)(終了前1か月間) ※20分で1回と計上してください。	理学療法士		作業療法士	言語聴覚士
	回		回	回
17) 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無(終了前1か月間)	1 有( )回/月 2 無 3 不明			
18) 医療保険での訪問看護の回数(終了前1か月間)	回			
19) 訪問看護の加算等の状況 ※利用者の終了月の算定状況 ※複数回答可				
1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業と連携した訪問看護 2 緊急時介護予防訪問看護加算 3 特別管理加算 4 初回加算 5 退院時共同指導加算 6 複数名訪問加算 7 夜間・早朝訪問看護加算 8 深夜訪問看護加算 9 長時間介護予防訪問看護加算 10 看護体制強化加算(予防)				
20) 訪問看護の目的 ※複数回答可	1 医療的なケア 2 定期的な療養生活状況(治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況)の確認 3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要 4 療養環境の調整 5 運動器の機能向上 6 栄養改善 7 口腔機能の向上 8 膝痛・腰痛対策 9 閉じこもり予防・支援 10 認知機能の低下予防・支援 11 うつ予防・支援 12 ADL/IADLの改善 13 ADLの維持・低下防止 14 服薬管理の向上 15 感染予防 16 本人が望む生活の実現(趣味や家事等) 17 家族の介護負担の軽減 18 他サービスの調整 19 その他( )			
	上記のうち、「主な」目的1つを、選択肢の番号で記入してください			

21) 利用終了時に20)での目的・目標が達成できた項目 ※複数回答可	1 医療的なケア 2 定期的な療養生活状況（治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況）の確認 3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要 4 療養環境の調整 5 運動器の機能向上 6 栄養改善 7 口腔機能の向上 8 膝痛・腰痛対策 9 閉じこもり予防・支援 10 認知機能の低下予防・支援 11 うつ予防・支援 12 ADL/IADL の改善 13 ADL の維持・低下防止 14 服薬管理の向上 15 感染予防 16 本人が望む生活の実現（趣味や家事等） 17 家族の介護負担の軽減 18 他サービスの調整 19 その他（ ）
上記のうち、「最も」達成できたもの1つを、上記選択肢の番号で記入してください	
22) 提供したケア（複数回答可）	1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養 4 輸血 5 カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）の管理 6 ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理 7 喀痰吸引 8 ネブライザー 9 酸素療法（酸素吸入） 10 気管切開のケア 11 人工呼吸器の管理 12 静脈内注射（点滴含む） 13 皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く） 14 簡易血糖測定 15 インスリン注射 16 疼痛管理（麻薬なし） 17 疼痛管理（麻薬使用） 18 服薬指導・管理 19 医師と連携した服薬調整 20 創傷処置 21 褥瘡処置 22 褥瘡予防のための介護用品の導入 23 浣腸 24 摘便 25 排泄の援助（23,24 除く） 26 導尿 27 口腔ケア 28 身体機能維持を目的とした付き添いや見守り 29 経口栄養へ向けたリハビリテーション 30 肺理学療法 31 四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション 32 清拭浴・陰部洗浄（入浴除く） 33 入浴介助 34 本人の精神的な状態の変化への対応 35 家族等への認知症の症状に合わせた関わり方の指導 36 家族等への介護に関する技術的な指導 37 在宅看取りへ向けた本人・家族との調整 38 ターミナルケア 39 睡眠のためのケア 40 意欲向上や気分転換を促すケア 41 外出の支援 42 本人への療養指導 43 家屋の改善・療養環境整備の支援 44 その他（ ）
23) 訪問看護の終了理由（複数回答可）	1 要介護度が自立となったため 2 転居したため（居住系サービスへの入居を含む） 3 身体の状況が安定したため 4 在宅生活の環境が整ったため 5 訪問看護の継続は経済的に負担であるため 6 その他（ ）

### 利用者票②

対象：介護保険の予防訪問看護を利用終了した者（死亡・入院・入所を除く）で利用終了時に要支援1又は2の利用者（平成29年10月～30年9月の利用者）

※主にリハビリ職による訪問看護を行った直近の利用終了者

※調査時点は、利用者の利用終了時点とします。

24) 年齢	1 40歳～64歳	2 65～74歳	3 75～84歳	4 85～94歳	5 95歳以上						
25) 世帯構成	1 独居	2 夫婦のみ世帯	3 その他同居あり (65歳以上の人のみ)	4 その他同居あり(65歳未満の家族を含む)							
26)訪問看護の利用開始年月日	平成( )年( )月( )日										
27)訪問看護の利用終了年月日	平成( )年( )月( )日										
28) 要介護度	①利用開始時	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5									
	②直近の認定	1 要支援1 2 要支援2									
29) 認知症高齢者の日常生活自立度	①利用開始時	1 自立	2 I	3 II a	4 II b	5 III a	6 III b	7 IV	8 M	9 不明	
	②直近	1 自立	2 I	3 II a	4 II b	5 III a	6 III b	7 IV	8 M	9 不明	
30)日常生活自立度	①利用開始時	1 自立	2 J1	3 J2	4 A1	5 A2	6 B1	7 B2	8 C1	9 C2	10 不明
	②直近	1 自立	2 J1	3 J2	4 A1	5 A2	6 B1	7 B2	8 C1	9 C2	10 不明
31)ADLの状況(該当するものに○)											
①利用開始時(訪問看護記録書から転記)	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通				
自立	1	1	1	1	1	1	1				
一部介助	2	2	2	2	2	2	2				
全面介助	3	3	3	3	3	3	3				
その他	4	4	4	4	4	4	4				
②サービス利用終了時	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通				
自立	1	1	1	1	1	1	1				
一部介助	2	2	2	2	2	2	2				
全面介助	3	3	3	3	3	3	3				
その他	4	4	4	4	4	4	4				
32)介護力	1 介護できる人はいない 2 時間帯によって介護できる人がいる 3 常時、介護できる人がいる										
33)在宅療養を続けている原因の病名(指示書にある傷病名複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症(脂質異常) 6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8 腎臓・前立腺の病気 9 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10 骨折 11 末期がん 12 末期がん以外のがん 13 血液・免疫の病気 14 精神疾患(うつ病、統合失調症、依存症等) 15 認知症(アルツハイマー病等) 16 パーキンソン病 17 その他( )										

上記のうち、「主傷病」について、選択肢の番号で1つ記入してください			
34)利用者が抱える健康障害(複数回答可)	1 視力障害 2 難聴 3 体重減少 4 めまい 5 うつ 6 せん妄 7 サルコペニア(筋量低下) 8 摂食・嚥下障害 9 貧血 10 易感染性		
35)訪問看護サービス開始(指示があった)時に受けていた診療(複数回答可)	0 なし 1 定期的な通院 2 手術→部位:a.消化器 b.循環器 c.脳 d.運動器 e.呼吸器 f.その他 3 抗がん剤治療 4 ADLの回復を目的としたリハビリテーション(5を除く) 5 脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション 6 入院による内科的治療(薬物療法等) 7 その他		
36)余命の見込みに関する説明の有無	1 有(余命の見込み → か月) 2 無		
37)ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無	1 有(余命の見込みの記載 → か月) 2 無		
38)介護保険での看護職員の訪問回数(算定回数)(終了前1か月間)	20分未満	30分未満	30分以上1時間未満
	回	回	回
39)介護保険でのリハビリ職員の訪問回数(算定回数)(終了前1か月間)※20分で1回と計上してください。	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
	回	回	回
40)他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無(終了前1か月間)	1 有( )回/月 2 無 3 不明		
41)医療保険での訪問看護の回数(終了前1か月間)	回		
42)訪問看護の加算等の状況 ※利用者の回答月の算定状況 ※複数回答可			
1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業と連携した訪問看護 2 緊急時介護予防訪問看護加算 3 特別管理加算 4 初回加算 5 退院時共同指導加算 6 複数名訪問加算 7 夜間・早朝訪問看護加算 8 深夜訪問看護加算 9 長時間介護予防訪問看護加算 10 看護体制強化加算(予防)			
43)訪問看護の目的※複数回答可	1 医療的なケア 2 定期的な療養生活状況(治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況)の確認 3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要 4 療養環境の調整 5 運動器の機能向上 6 栄養改善 7 口腔機能の向上 8 膝痛・腰痛対策 9 閉じこもり予防・支援 10 認知機能の低下予防・支援 11 うつ予防・支援 12 ADL/IADLの改善 13 ADLの維持・低下防止 14 服薬管理の向上 15 感染予防 16 本人が望む生活の実現(趣味や家事等) 17 家族の介護負担の軽減 18 他サービスの調整 19 その他( )		
	上記のうち、「主な」目的1つを、選択肢の番号で記入してください		

44) 利用終了時に43)での目的・目標が達成できた項目 ※複数回答可	1 医療的なケア 2 定期的な療養生活状況（治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況）の確認 3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要 4 療養環境の調整 5 運動器の機能向上 6 栄養改善 7 口腔機能の向上 8 膝痛・腰痛対策 9 閉じこもり予防・支援 10 認知機能の低下予防・支援 11 うつ予防・支援 12 ADL/IADL の改善 13 ADL の維持・低下防止 14 服薬管理の向上 15 感染予防 16 本人が望む生活の実現（趣味や家事等） 17 家族の介護負担の軽減 18 他サービスの調整 19 その他（ ）
上記のうち、「最も」達成できたもの1つを、上記選択肢の番号で記入してください	
45)リハビリテーションが開始となった経緯	1 医師からリハビリテーションの指示があったため 2 ケアマネジャーからの依頼があったため 3 利用者や家族からの希望があったため 4 看護職員による利用者の病状等のアセスメントを踏まえて必要と判断したため 5 その他（ ）
46) リハビリテーションの内容(複数回答可)	1 機能回復訓練 2 基本的動作 3 応用的動作訓練 4 社会適応練習 5 コミュニケーション訓練 6 自己訓練練習 7 マッサージ 8 その他（ ）
47) 貴事業所において提供したケア(複数回答可)	1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養 4 輸血 5 カテーテル（尿道留置カテーテル・コントラカテーテル）の管理 6 ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理 7 喀痰吸引 8 ネブライザー 9 酸素療法（酸素吸入） 10 気管切開のケア 11 人工呼吸器の管理 12 静脈内注射（点滴含む） 13 皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く） 14 簡易血糖測定 15 インスリン注射 16 疼痛管理（麻薬なし） 17 疼痛管理（麻薬使用） 18 服薬指導・管理 19 医師と連携した服薬調整 20 創傷処置 21 褥瘡処置 22 褥瘡予防のための介護用品の導入 23 浣腸 24 摘便 25 排泄の援助（23,24 除く） 26 導尿 27 口腔ケア 28 身体機能維持を目的とした付き添いや見守り 29 経口栄養へ向けたリハビリテーション 30 肺理学療法 31 四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション 32 清拭浴・陰部洗浄（入浴除く） 33 入浴介助 34 本人の精神的な状態の変化への対応 35 家族等への認知症の症状に合わせた関わり方の指導 36 家族等への介護に関する技術的な指導 37 在宅看取りへ向けた本人・家族との調整 38 ターミナルケア 39 睡眠のためのケア 40 意欲向上や気分転換を促すケア 41 外出の支援 42 本人への療養指導 43 家屋の改善・療養環境整備の支援 44 その他（ ）
48) 訪問看護の終了理由(複数回答可)	1 要介護度が自立となったため 2 転居したため（居住系サービスへの入居を含む） 3 身体の状況が安定したため 4 在宅生活の環境が整ったため 5 訪問看護の継続は経済的に負担であるため 6 その他（ ）

### 利用者票③

対象：平成 29 年 10 月～30 年9月に、介護保険における利用者で直近の看取りを行った利用者（ターミナルケア加算算定者を優先し、いなければターミナルケア療養費算定者、または加算算定しなかった人とする。）

※調査時点は、利用者の利用終了時点とします。

49) 年齢	1 40歳～64歳	2 65～74歳	3 75～84歳	4 85～94歳	5 95歳以上		
50) 世帯構成	1 独居	2 夫婦のみ世帯	3 その他同居あり (65歳以上の人のみ)	4 その他同居あり(65歳未満の家族を含む)			
51) 住まい	1 本人・家族の家 2 居住系施設 (サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム等) 3 その他 ( )						
52) 訪問看護の利用開始年月日	平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日						
53) 訪問看護の利用終了年月日	平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日						
54) 要介護度	①利用開始時	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5					
	②直近の認定	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5					
55) 認知症高齢者の日常生活自立度	①利用開始時	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明					
	②直近 (死亡数日前)	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明					
56) 日常生活自立度	①利用開始時	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明					
	②直近 (死亡数日前)	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明					
57) 利用開始時のADLの状況: 訪問看護記録書から転記してください。(該当するものに○)							
	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通
自立	1	1	1	1	1	1	1
一部介助	2	2	2	2	2	2	2
全面介助	3	3	3	3	3	3	3
その他	4	4	4	4	4	4	4
58) 介護力	1 介護できる人はいない 2 時間帯によって介護できる人がいる 3 常時、介護できる人がいる						
59) 在宅療養をしていた原因の病名 (指示書にある傷病名 複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症 (脂質異常) 6 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8 腎臓・前立腺の病気 9 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 10 骨折 11 末期がん 12 末期がん以外のがん 13 血液・免疫の病気 14 精神疾患 (うつ病、統合失調症、依存症等) 15 認知症 (アルツハイマー病等) 16 パーキンソン病 17 その他 ( )						
上記のうち、「主傷病」について、選択肢の番号で1つ記入してください							
60) 利用者が抱える健康障害 (複数回答可)	1 視力障害 2 難聴 3 体重減少 4 めまい 5 うつ 6 せん妄 7 サルコペニア (筋量低下) 8 摂食・嚥下障害 9 貧血 10 易感染性						

61) 訪問看護サービス開始 (指示があった) 時に受けていた診療 (複数回答可)	0 なし 1 定期的な通院 2 手術 → 部位: a. 消化器 b. 循環器 c. 脳 d. 運動器 e. 呼吸器 f. その他 3 抗がん剤治療 4 ADL の回復を目的としたリハビリテーション (5を除く) 5 脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション 6 入院による内科的治療 (薬物療法等) 7 その他			
62) 余命の見込みに関する説明の有無	1 有 (いつ頃 → 死亡の か月前頃)	2 無		
63) ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無	1 有 (余命の見込みの記載 → か月) 2 無			
64) 主治医による訪問看護指示にターミナル期等の記載は死亡日前いつ頃からなされていましたか	1 1か月前頃	2 1か月～3か月前頃		
	3 3か月～6か月前頃	4 6か月～1年前頃		
	5 1年～1年半前頃	6 記載なし 7 不明		
65) 介護保険での看護職員の訪問回数 (算定回数) (終了前 1か月間)	20分未満	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満
	回	回	回	回
66) 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数 (算定回数) (終了前 1か月間) ※20分で1回と計上してください。	理学療法士		作業療法士	言語聴覚士
	回		回	回
67) 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無 (終了前 1か月間)	1 有 ( ) 回/月 2 無 3 不明			
68) 医療保険での訪問看護の回数 (終了前 1か月間)	回			
69) 訪問看護の加算等の状況 ※利用者の回答月の算定状況 ※複数回答可				
1 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業と連携した訪問看護 2 緊急時訪問看護加算 3 特別管理加算 4 初回加算 5 退院時共同指導加算 6 複数名訪問加算 7 夜間・早朝訪問看護加算 8 深夜訪問看護加算 9 長時間訪問看護加算 10 看護体制強化加算 → (a. I b. II c. 予防)				
70) ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費の算定状況	1 (介護保険) ターミナルケア加算の算定あり 2 (医療保険) ターミナルケア療養費の算定あり 3 無 → 理由 a ターミナルケア体制の届け出をしていない b 死亡日 14 日以内に 2 回以上の訪問看護を実施していない c 医療機関へ搬送後 24 時間以上経過した後に死亡したため d 利用者負担が高額になるため e その他 ( )			
	71) 死亡前 14 日間に提供したケア (複数回答可)			
1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養 4 輸血 5 カテーテル (尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル) の管理 6 ストマ (人工肛門・人工膀胱) の管理 7 喀痰吸引 8 ネブライザー 9 酸素療法 (酸素吸入) 10 気管切開のケア 11 人工呼吸器の管理 12 静脈内注射 (点滴含む) 13 皮内、皮下及び筋肉内注射 (インスリン注射を除く) 14 簡易血糖測定 15 インスリン注射 16 疼痛管理 (麻薬なし) 17 疼痛管理 (麻薬使用) 18 服薬指導・管理 19 医師と連携した服薬調整 20 創傷処置 21 褥瘡処置 22 褥瘡予防のための介護用品の導入 23 洗腸				

(次ページに選択肢が続きます)

死亡前 14 日間に提供したケア（複数回答可）	（前ページからの続き）				
	24 摘便	25 排泄の援助（23,24 除く）			
	26 導尿	27 口腔ケア			
	28 身体機能維持を目的とした付き添いや見守り				
	29 経口栄養へ向けたリハビリテーション	30 肺理学療法			
	31 四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション				
	32 清拭浴・陰部洗浄（入浴除く）	33 入浴介助			
	34 本人の精神的な状態の変化への対応				
	35 家族等への認知症の症状に合わせた関わり方の指導				
	36 家族等への介護に関する技術的な指導				
	37 在宅看取りへ向けた本人・家族との調整				
	38 ターミナルケア	39 睡眠のためのケア			
	40 意欲向上や気分転換を促すケア	41 外出の支援			
	42 本人への療養指導	43 家屋の改善・療養環境整備の支援			
	44 グリーフケア	45 その他（ ）			
72)直近の退院・退所月と退院・退所施設	1 平成（ ）年（ ）月 ➡a 病院 b 診療所 c 介護老人保健施設 d 介護医療院 d 特別養護老人ホーム e その他 2 ない・わからない				
73)死因	1 肺炎 2 心疾患 3 脳血管疾患 4 老衰 5 がん 6 その他（ ）				
74)死が間近であることの利用者の認識	1 死が間近であることを利用者も家族も知っていてオープンにしていた 2 死が間近であることを家族は知っているが、利用者は知らなかった 3 死が間近であることを家族は知っており、利用者は疑っていた 4 死が間近であることを家族は知っており、利用者は知らないふりをしていた 5 当てはまらない				
75)死亡場所	1 病院 2 診療所 3 老人保健施設・介護医療院 4 老人ホーム（養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・軽費有料老人ホーム・有料老人ホーム） 5 利用者宅（グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅） 6 その他				
76)本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、利用者本人が多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人による意思決定を基本に人生の最終段階における医療・ケアが行われましたか。	1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
77)利用者が望んだ場所で最期を迎えられましたか	1	2	3	4	5
78)利用者はからだの苦痛が少なく過ごせましたか	1	2	3	4	5
79)利用者はおだやかな気持ちで過ごされていましたか	1	2	3	4	5
80)利用者は落ち着いた環境で過ごされましたか	1	2	3	4	5
81)利用者の生き方や価値観が尊重されていましたか	1	2	3	4	5

82)最期は、利用者の希望される看取られ方ができましたか	1 はい	2 いいえ
83) 82)で「いいえ」と回答された場合に、お伺いします。(複数回答可) 最期を希望するように看取れなかった理由として当てはまるものすべてに○を付けてください。		
1 利用者本人・家族等へ医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされていなかった		
2 利用者本人・家族と医療・ケアチームと十分な話し合いができなかった		
3 事前に医療・ケア内容の決定が困難だったため		
4 急激な状態変化による死亡だったため		
5 家族が不安を抱き救急要請をしたため		
6 臨時で対応した医師が事前の話し合いの内容を把握しなかったため		
7 利用者本人よりも家族の意思が尊重されたため		
8 家族と医療職・介護職との連携・調整が上手く図れていなかったため		
9 医療職と介護職の連携・調整が上手く図れていなかったため		
10 介護力、医療資源不足により自宅での看取りが困難だったため		
11 その他（ ）		
上記のうち、1番の理由とお考えになる項目を、選択肢の番号で1つ記入してください		

利用者票④

対象：要介護1～5の利用者のうち、3か月以上介護保険の訪問看護を利用継続している人  
50音順で一番最初から2番目の利用者としてします。  
※調査時点は、質問に回答している時点としてします。

84) 年齢	1 40歳～64歳	2 65～74歳	3 75～84歳	4 85～94歳	5 95歳以上		
85) 世帯構成	1 独居	2 夫婦のみ世帯	3 その他同居あり (65歳以上の人のみ)	4 その他同居あり(65歳未満の家族を含む)			
86) 住まい	1 本人・家族の家 2 居住系施設 (サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム等) 3 その他 ( )						
87) 訪問看護の利用開始年月	平成 ( ) 年 ( ) 月						
88) 要介護度	①利用開始時	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5					
	②直近の認定	1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5					
89) 認知症高齢者の日常生活自立度	①利用開始時	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明					
	②直近	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明					
90) 日常生活自立度	①利用開始時	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明					
	②直近	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明					
91) ADLの状況：訪問看護記録書から転記してください。(該当するものに○)							
①利用開始時 (訪問看護記録書から転記)	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通
自立	1	1	1	1	1	1	1
一部介助	2	2	2	2	2	2	2
全面介助	3	3	3	3	3	3	3
その他	4	4	4	4	4	4	4
②直近	移動	食事	排泄	入浴	着替	整容	意思疎通
自立	1	1	1	1	1	1	1
一部介助	2	2	2	2	2	2	2
全面介助	3	3	3	3	3	3	3
その他	4	4	4	4	4	4	4
92) 介護力	1 介護できる人はいない 2 時間帯によって介護できる人がいる 3 常時、介護できる人がいる						

93) 現在在宅療養を続けている原因の病名 (指示書にある傷病名 複数回答可)	1 高血圧	2 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)		
	3 心臓病	4 糖尿病		
	5 高脂血症 (脂質異常)	6 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		
	7 胃腸・肝臓・胆のうの病気	8 腎臓・前立腺の病気		
	9 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	10 骨折		
	11 末期がん	12 末期がん以外のがん		
	13 血液・免疫の病気	14 精神疾患 (うつ病、統合失調症、依存症等)		
	15 認知症 (アルツハイマー病等)	16 パーキンソン病		
	17 その他 ( )			
上記のうち、「主傷病」について、選択肢の番号で1つ記入してください				
94) 利用者が抱える健康障害 (複数回答可)	1 視力障害 2 難聴 3 体重減少 4 めまい 5 うつ 6 せん妄 7 サルコペニア (筋量低下) 8 摂食・嚥下障害 9 貧血 10 易感染性			
95) 訪問看護サービス開始 (指示があった) 時に受けていた診療 (複数回答可)	0 なし 1 定期的な通院 2 手術→部位：a. 消化器 b. 循環器 c. 脳 d. 運動器 e. 呼吸器 f. その他 3 抗がん剤治療 4 ADLの回復を目的としたリハビリテーション (5を除く) 5 脳血管疾患や心臓疾患に伴う回復期リハビリテーション 6 入院による内科的治療 (薬物療法等) 7 その他			
96) 余命の見込みに関する説明の有無	1 有 (余命の見込み → か月) 2 無			
97) ターミナル期であるかの主治医による訪問看護指示書への記載の有無	1 有 (余命の見込みの記載 → か月) 2 無			
98) 介護保険での看護職員の訪問回数 (算定回数) (平成30年9月の1か月間)	20分未満	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満
	回	回	回	回
99) 介護保険でのリハビリ職員の訪問回数 (算定回数) (平成30年9月の1か月間) ※20分で1回と計上してください。	理学療法士		作業療法士	言語聴覚士
	回		回	回
100) 他の訪問看護事業所の看護またはリハビリ職員の訪問の有無 (平成30年9月の1か月間)	1 有 ( ) 回/月 2 無 3 不明			
101) 医療保険での訪問看護の回数 (平成30年9月の1か月間)	回			
102) 訪問看護の加算等の状況 ※利用者の回答月の算定状況 ※複数回答可				
1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業と連携した訪問看護 2 緊急時訪問看護加算 3 特別管理加算 4 初回加算 5 退院時共同指導加算 6 複数名訪問加算 7 夜間・早期訪問看護加算 8 深夜訪問看護加算 9 長時間訪問看護加算 10 看護体制強化加算 (a. I b. II)				
103) 訪問看護の目的 ※複数回答可	1 医療的なケア 2 定期的な療養生活状況 (治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況) の確認 3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要 4 療養環境の調整 5 運動器の機能向上 6 栄養改善 7 口腔機能の向上 8 膝痛・腰痛対策 9 閉じこもり予防・支援 10 認知機能の低下予防・支援 11 うつ予防・支援 12 ADL/IADLの改善 13 ADLの維持・低下防止 14 服薬管理の向上 15 感染予防 16 本人が望む生活の実現 (趣味や家事等) 17 家族の介護負担の軽減 18 他サービスの調整 19 その他 ( )			
	上記のうち、「主な」目的1つを、選択肢の番号で記入してください			

104) 回答時点で103)での目的・目標が達成できた項目 ※複数回答可	1 医療的なケア	
	2 定期的な療養生活状況（治療に伴う療養生活の変化に応じてセルフケアや食事、排泄、睡眠等の状況）の確認	
	3 今後状態が悪化する可能性があり継続的な病状アセスメントが必要	
	4 療養環境の調整	5 運動器の機能向上
	6 栄養改善	7 口腔機能の向上
	8 膝痛・腰痛対策	9 閉じこもり予防・支援
	10 認知機能の低下予防・支援	11 うつ予防・支援
	12 ADL/IADL の改善	13 ADL の維持・低下防止
	14 服薬管理の向上	15 感染予防
	16 本人が望む生活の実現（趣味や家事等）	
	17 家族の介護負担の軽減	18 他サービスの調整
	19 その他（	）

上記のうち、「最も」達成できたもの1つを、上記選択肢の番号で記入してください

105) 提供したケア(複数回答可)	1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理	2 経鼻経管栄養
	3 中心静脈栄養	4 輸血
	5 カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）の管理	
	6 ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	
	7 喀痰吸引	8 ネブライザー
	9 酸素療法（酸素吸入）	10 気管切開のケア
	11 人工呼吸器の管理	12 静脈内注射（点滴含む）
	13 皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く）	
	14 簡易血糖測定	15 インスリン注射
	16 疼痛管理（麻薬なし）	17 疼痛管理（麻薬使用）
	18 服薬指導・管理	19 医師と連携した服薬調整
	20 創傷処置	21 褥瘡処置
	22 褥瘡予防のための介護用品の導入	23 浣腸
	24 排便	25 排泄の援助（23,24 除く）
	26 導尿	27 口腔ケア
	28 身体機能維持を目的とした付き添いや見守り	
	29 経口栄養へ向けたリハビリテーション	30 肺理学療法
	31 四肢の自動運動及び関節可動域維持のリハビリテーション	
	32 清拭浴・陰部洗浄（入浴除く）	33 入浴介助
	34 本人の精神的な状態の変化への対応	
	35 家族等への認知症の症状に合わせた関わり方の指導	
	36 家族等への介護に関する技術的な指導	
	37 在宅看取りへ向けた本人・家族との調整	
	38 ターミナルケア	39 睡眠のためのケア
	40 意欲向上や気分転換を促すケア	41 外出の支援
	42 本人への療養指導	43 家屋の改善・療養環境整備の支援
	44 その他（	）

106) 利用開始から調査票回答までの間に、以下の項目の中で訪問看護を提供することにより得られた効果はありますか(複数回答可)

1 排泄の自立に向けたケアにより排泄行動の自立度が改善した
2 経口摂取を進めるためのケアにより経口摂取が可能となった
3 主治医と相談して内服薬の多剤投与を見直し服薬量を減らすことができた
4 呼吸リハ、体位ドレナージ等により痰の吸引回数が減った、または呼吸状態を改善できた
5 褥瘡ケアにより褥瘡の治癒または改善が認められた
6 日常生活動作の支援・訓練により、運動機能に改善が図れた
7 看護小規模多機能型居宅介護利用前と比べて自己負担額を軽減できた
8 不要な入院を回避できた
9 家族の介護負担が軽減し、在宅療養が継続できた
10 個別的なケアにより認知症の行動・心理症状（BPSD）が改善した
11 退院直後の利用で在宅療養生活へのスムーズな移行ができた
12 該当なし





平成 30 年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

訪問看護事業所における看護師等の従業者数の規模別にみた  
サービスの実態に関する調査研究事業

報 告 書

---

平成 31 (2019) 年 3 月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

電話 : 03-6733-1024